

トヨタ純正

トヨタ純正 SDナビゲーション

■型番 **NSDT-W59**

ナビゲーション/オーディオの操作

お買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、
記載された内容にしたがって正しくお使いください。
本書は紛失しないように車の中に保管してください。

トヨタ自動車株式会社

安全に正しくお使いになるために

この取扱書では「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」とその回避方法を下記の表示で記載しています。
これらは安全のために重要ですので、必ず読んで遵守してください。

 警告	記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること。
 注意	記載事項を守らないと、事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあること。

お車のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

 アドバイス	より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。
--	--

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 取扱書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。

取扱書の構成

本機では以下の取扱書およびCD-ROMを同梱しています。ご利用状況に応じて使い分けてください。

クイックガイド取扱書

本機の基本操作やご参考情報を説明している取扱書です。

- ナビゲーションを使うために必要な設定
- ナビゲーションの使い方
- オーディオの使い方
- 地図に表示されるいろいろなマーク



ナビゲーション/オーディオ取扱書

CD-ROMに収録されています。本機の基本機能やナビゲーション、オーディオなど全ての機能を説明しています。

- 本機の基本の機能操作
 - ・ディスプレイの角度調整
 - ・セキュリティ機能の設定
 - ・個人情報の初期化 など
- ナビゲーションの全ての機能操作
 - ・地図の操作
 - ・目的地の検索
 - ・ルートの探索
 - ・地点の登録 など
- オーディオの全ての機能操作
 - ・ラジオ、ワンセグ（地上デジタルTV放送）の操作
 - ・CD/DVDの操作
 - ・Bluetoothオーディオの操作 など
- ハンズフリーの操作
 - ・電話のかけ方
 - ・電話の受け方
 - ・電話帳の編集 など



目次一覧

お使いになる前に

1. NAVIGATION SYSTEM	14
ナビゲーションシステム	14
2. 安全上のご注意	15
3. 本書の見方	18
4. 特長	20
5. 本機について	24
各部の名称と操作	24
パネルスイッチ	24
タッチスイッチ	25
タッチスイッチの操作について	25
初めてお使いになるときは	26
地図 “SD メモリーカード” の 差し込み方	26
地図 “SD メモリーカード” の 出し方	27
電源の入れ方・切り方	29
本機の電源を入れる	29
オーディオの電源を切る	29
本機の作動条件について	30
マルチ画面の操作	31
マルチ画面の表示	31
マルチ画面の切り替え方	31
DISC の出し入れ	32
DISC の入れ方	32
DISC の出し方	33
ディスプレイの角度調整	34
液晶パネルについて	35
本機のモードについて	36
各モードの呼び出し	37
マルチ画面	37

ナビゲーション画面	37
オーディオ操作画面	37
オンスクリーン表示について	38
携帯電話でナビの操作方法 を見る	38
携帯電話からモバイルサイトへの アクセスについて	38
6. 本機の設定	40
操作音の設定	40
画面の調整・設定	41
画質調整画面を表示する	41
画質の調整	41
コントラスト	42
明るさ	42
色合い (映像画面時のみ)	42
色の濃さ (映像画面時のみ)	42
ライト点灯時に昼画表示に 切り替える	42
画面を消す	42
ラジオアンテナの設定	43
設定内容の初期化	44
QUICK SETUP を行う	45
自宅を登録する	46
地図から登録する	46
住所から登録する	47
ナビの音声案内の音量を設定する	47
車両ナンバーを登録する	48
セキュリティを設定する	48
Bluetooth 対応の携帯電話を 登録する	50
Bluetooth 対応のオーディオを 登録する	51
7. ハンズフリー機能について	52
ハンズフリーについて	52

Bluetooth 携帯電話について	52	通話中の操作	68
ハンズフリーが使用できないとき	53	通話中画面で操作する	68
マイクについて	54	受話音量を調整する	68
ハンズフリー操作について	54	通話を終了する	69
音声について	54	10 キー入力する	69
お車を手放すとき	54	送話音をミュート（消音）する	69
Bluetooth 機器使用上の 注意事項	55	通話を転送する	70
各種表示について	55	簡易画面での操作	70
受信レベル表示	55	簡易画面で操作する	70
電池残量表示	56	ハンズフリーの設定	71
Bluetooth 接続状態表示	56	初期設定画面（電話）を表示する	71
ハンズフリーの準備	57	音量の設定をする	73
携帯電話の登録	57	音量の設定をする	73
携帯電話の接続	59	高速走行時の自動音量切替を 設定する	73
携帯電話を自動で接続する	59	使用する通信機器を選択する	74
携帯電話を手動で接続する	60	電話機詳細情報を表示する	74
Bluetooth 接続の再接続について	61	携帯電話の名称を変更する	75
電話のかけ方	61	パスキー・機器名称を変更する	76
ダイヤル画面を表示する	61	Bluetooth 電話機の登録を 削除する	77
ダイヤル発信する	62	着信割り込み表示を変更する	77
電話帳発信する	63	自動着信応答を変更する	78
履歴発信する	64	ACC-ON 時の Bluetooth 接続 確認案内を表示する	78
ワンタッチ発信する	65	電話帳の編集	79
交通・ナビから発信する	65	電話帳について	79
携帯電話本体から発信する	66	電話帳編集画面を表示する	79
発信を中断する	66	携帯電話の電話帳データを 転送する	79
電話の受け方	66	電話帳に新規データを追加する	81
電話を受ける	66	名称、名称読みの編集をする	82
着信中画面で操作する	67	電話番号を編集する	82
電話を保留する（応答保留）	67	電話帳の選択をする	83
着信音量を調整する	68	電話帳のデータを修正する	83
着信拒否する	68	電話帳のデータを削除する	84

電話帳のデータを個別に削除する	84
電話帳のデータをすべて削除する	84
ワンタッチダイヤルを登録する	85
ワンタッチダイヤルを削除する	86
ワンタッチダイヤルを個別に削除する	86
ワンタッチダイヤルをすべて削除する	86
履歴の削除	87
履歴を削除する	87
電話帳制限設定の設定	87
電話帳制限設定について	87
ロック No. を変更する	87
電話帳・発着信履歴制限をする	89
設定を初期化する	90
8. セキュリティを設定する	91
セキュリティを作動させる	91
セキュリティ機能を設定する	91
パスワードを変更する	93
セキュリティのロックを解除する	94
インジケータを解除する	94
セキュリティを停止する	95
9. 個人情報をもとに戻す	96
個人情報の初期化	96

はじめに

1. GPS ボイスナビゲーションについて	98
GPS ボイスナビゲーションをお使いになる前に	98
ナビゲーション画面の見方	98

基本操作

1. ナビメニュー画面・リスト画面について	100
ナビメニュー画面	100
ナビ詳細設定画面	101
リスト画面の切り替え方	103
リスト画面の切り替え表示	103
行の切り替え表示	103
2. 画面の調整・音声の設定	104
画面切り替え時の動画表現の設定	104
音量の設定	104
音量を調節する	104
高速時の自動音量切り替えを設定する	105
3. 地図の表示	106
現在地の表示	106
地図の移動 (ワンタッチスクロール)	106
自車位置マークの切り替え	107
希望の縮尺に切り替える	108
市街図を表示する	109
走行軌跡の表示	109
走行軌跡を表示する	110
走行軌跡の消去・表示解除をする	110
地図向きの切り替え	111
フロントワイド表示について	111
高速略図画面	112
高速略図画面を操作する	113
高速略図画面を解除する	113

道路形状警告（合流警告・カーブ警告）の設定	114
道路形状警告を設定する	115
施設の表示	115
簡易操作で表示する	116
施設ランドマークを消去する	116
複数ジャンルを表示する	117
周辺の施設を検索する	118
ルートを考慮したリストを表示する	119
4. 地図の呼び出し方法	120
50音で地図を呼び出す	122
住所で地図を呼び出す	123
携帯電話で地図を呼び出す	125
本機の操作	125
施設情報を表示する	126
履歴で地図を呼び出す	126
お気に入り地点で地図を呼び出す	127
電話番号で地図を呼び出す	127
施設／ジャンルで地図を呼び出す	128
最後に表示していた地図を呼び出す	129
マップコードで地図を呼び出す	130
5. 呼び出した地図の操作	131
位置の変更	131
ナビゲーション案内	
1. 目的地設定・ルート探索について	132
2. 目的地を設定してルート探索	133
目的地の設定	134
地図スクロールから設定する	134
自宅を設定する	134
地図の呼び出し方法から設定する	135
ルート探索	135
全ルート図表示	136
全ルート図の表示・タッチスイッチについて	137
表示について	137
タッチスイッチについて	138
季節規制区間のメッセージ表示	138
5ルート同時表示（5ルート探索機能）	138
渋滞考慮探索	140
3. 探索ルートの変更	141
目的地の変更	141
目的地の消去	142
4. 目的地履歴について	143
目的地履歴の消去	143
5. 目的地案内の開始	144
案内の開始	144
デモンストレーション（デモ）	144
6. 目的地案内について	145
交差点・レーン（車線）案内	145
分岐しない交差点について	145
分岐する交差点（交差点拡大図）について	145
交差点拡大図を解除する	146

交差点拡大図を表示する	146
3D イラスト拡大図について	146
立体交差点拡大図について	146
フェリー航路の案内	147
到着予想時刻表示の設定	147
平均車速を設定する	147
料金案内表示について	148
車両ナンバーを設定する	148
高速分岐案内（ジャンクション レーンアシスト）	149
高速分岐模式図を解除する	150
高速分岐模式図を表示する	150
料金所レーン案内	150
音声案内	151
7. 案内ルートの操作	152
全ルート図の再表示	152
8. ルートの再探索	153
ルートの再探索	153
自動再探索	153
地点の登録	
1. 地点の登録とは	154
2. お気に入り地点の登録・修正・ 消去	155
お気に入り地点の登録	155
ワンタッチで登録する	155
離れた場所を登録する	155
自宅の登録	156
お気に入り地点の修正・入力	157
お気に入り地点修正画面を 表示する	157
お気に入り地点の記号を 変更する	158
方向付きを設定する場合	158
お気に入り地点の名称を 入力する	159
ひらがな・漢字を 入力するには	160
カタカナを入力するには	161
アルファベット（記号）を 入力するには	162
数字を入力するには	163
お気に入り地点の名称を 表示する	164
お気に入り地点の名称読みを 入力する	165
お気に入り地点の位置を 修正する	165
お気に入り地点の電話番号を 修正する	166
お気に入り地点の消去	166
お気に入り地点を消去する	166
自宅を消去する	167
VICS 機能	
1. VICS 情報について	168
VICS とは	168
VICS のメディア概要	169
VICS 特有の事項	169
FM 多重放送特有の事項	170
電波ビーコン特有の事項	170
光ビーコン特有の事項	171
VICS 情報提供内容と 表示について	172
VICS 文字情報（レベル 1）	172
VICS 図形情報（レベル 2）	172
VICS 地図情報（レベル 3）	172

2. 放送局の受信	173
VICS 提供放送局の選択	173
自動で選択する	174
エリアで選択する	174
周波数を手動で選択する.....	174
3. VICS 情報の表示・案内	176
VICS 情報表示の設定	176
VICS 表示道路色を切り替える	177
VICS 情報の表示	178
VICS 情報を地図表示する.....	179
VICS マークの内容表示 について	179
VICS 情報を消去する	179
渋滞・規制音声案内	180
渋滞・規制の音声自動発声を 設定する	180
VICS 図形情報の表示	181
VICS 文字情報の表示	182
地図に表示される VICS 表示 マークについて	183
VICS の用語説明	184
VICS の問い合わせ先	184
オプション機能	
1. VICS ビーコンユニットを 操作する	185
VICS ビーコンユニットで できること	185
VICS ビーコンユニットの 構成	185
割り込み情報（ビーコン即時案内） の表示	185
割り込み情報の表示を設定する	186
割り込み情報の表示時間 を調整する	186
割り込み情報を呼び出す	187
渋滞考慮探索.....	187
2. ETC システムを操作する	188
ETC システムの状態を 確認する	188
車両情報などを ETC 車載器に 登録する（セットアップ）	188
ETC カード入手する	188
ETC とは	189
ETC メニュー画面	190
ETC カードの有効期限の 案内について	190
走行中の案内について	191
ETC レーンの通過案内について	191
ETC レーン（清算用）通過時	191
履歴情報を表示する	192
登録情報を表示する	192
ETC システムの設定をする	193
3. バックガイドモニターを 操作する	194
バックガイドモニター について	194
バックガイドモニターの注意点	194
カメラについての注意点	195
画面に映る範囲について	195
画面と実際の路面との誤差	196
立体物が近くにあるときの 注意点	197
ガイド方法について	198
並列駐車（車庫入れ）を するとき	198
縦列駐車をするとき	199

並列駐車をする	200	画面と実際の路面との誤差	221
進路表示モードで駐車する	200	後方の映像を表示する	222
画面の見方	200	画面の見方	222
進路表示モードで駐車する	201	後方の映像を表示する	222
駐車ガイド線表示モードで		ガイドの表示を設定する	222
駐車する	203	5. ブラインドコーナーモニター／	
画面の見方	203	サイドモニターシステムを	
駐車ガイド線表示モードで		操作する	223
駐車する	203	ブラインドコーナーモニター／サイド	
縦列駐車する	205	モニターシステムについて	223
縦列ガイドモードで駐車する	205	ブラインドコーナーモニター／サイド	
車の動きと画面・音声案内の		モニターシステム	
流れ	205	についての注意点	223
縦列ガイドモードで駐車する	207	カメラについての注意点	224
駐車ガイド線表示モードで		画面に映る範囲について	225
駐車する	213	ブラインドコーナーモニター	
画面の見方	213	について	225
駐車ガイド線表示モードで		サイドモニターシステム	
駐車する	213	について	226
バックガイドモニターの		周辺の映像を表示する	227
設定をする	215	周辺の映像を表示する	227
縦列ガイドの音量を設定する	215	サイドモニターシステムの	
はじめのコツを表示する	216	表示範囲を切り替える	228
駐車ガイド線の表示	217	ブラインドコーナーモニター／サイド	
こんなときは	218	モニターシステムの設定をする	228
システム初期化中の表示が		自動切り替えを設定する	228
でたときは	218	優先表示を設定する	229
停車しての操作	218		
走行しての操作	218		
バッテリーの脱着や本機の			
載せ替えをしたときは	218		
4. バックモニターを			
操作する	219		
バックモニターについて	219	1. 補正が必要なときは	230
バックモニターの注意点	219	現在地の修正	230
画面に映る範囲について	220	手動で補正する	230
距離目安線	220	2. 地図データの情報	232
		地図データの情報表示	232

こんなときは

1. 補正が必要なときは	230
現在地の修正	230
手動で補正する	230
2. 地図データの情報	232
地図データの情報表示	232

3. 精度と誤差	233
測位精度について	233
GPS衛星の電波の性質と受信状態について	233
現在地表示の誤差について	234
タイヤによる誤差について	234
マップマッチングによる自車位置検出の補正について	234
現在地表示、ルート案内の精度について	235
道路、地名データについて	236
ルート案内について	236

はじめに

1. ご使用になる前に	238
ディスクについて	240
ワンセグ／DTVについて	243

基本操作

1. ソースの切り替え方	244
ソースを切り替える	244
操作画面の表示	244
2. 各ソースの操作画面	245
3. 音の調整	247
主音量の調整	247
4. 音質の調整	248
音設定画面の表示	248
音量バランスの調整	248
音質の調整	248
5. 画面の設定	249

画面モード切り替え	249
-----------------	-----

オーディオの操作

1. ラジオの使い方	250
ラジオを聞く	250
聞きたい放送局を選ぶ	250
手動で選ぶ	250
自動で選ぶ	251
プリセットスイッチから選ぶ	251
放送局を記憶する	251
手動設定で記憶する	251
自動設定で記憶する	252
今いる地域の放送局を表示する	252
交通情報を聞く	252
ラジオを止める	252
2. CDプレーヤーの使い方	253
CDを聞く	253
聞きたい曲を選ぶ	253
早送り・早戻しする	254
同じ曲を繰り返し聞く	254
曲の順番をランダムに聞く	254
CDを止める	254
3. MP3/WMAプレーヤーの使い方	255
MP3/WMAを聞く	256
聞きたいフォルダを選ぶ	256
聞きたい音楽ファイルを選ぶ	256
フォルダ・ファイル選択スイッチから選ぶ	256
選曲・頭出しスイッチから選ぶ	256
早送り・早戻しする	257

同じ音楽ファイルを 繰り返して聞く	257
順番をランダムに聞く	257
同じ音楽フォルダを 繰り返して聞く	257
CD 内の全曲を ランダムに聞く	257
MP3/WMA を止める	257
MP3/WMA について	258
再生可能な MP3 ファイルの 規格について	258
再生可能な WMA ファイルの 規格について	258
ID3 タグ /WMA タグについて	259
使用できるメディアについて	259
使用できるディスクの フォーマットについて	260
ファイル名について	261
CD-R, CD-RW について	262
MP3/WMA の再生について	262
MP3/WMA の演奏時間表示 について	262
MP3/WMA ファイル、フォルダの リスト表示順番	262
MP3/WMA ファイルの作り方、 楽しみ方	263
インターネット上の MP3/WMA 音楽 配信サイトから入手する場合	263
音楽 CD から MP3/WMA ファイルに 変換する場合	263
CD-R/RW に書き込む場合	263
ワンセグを見る	265
見たいチャンネルを選ぶ	266
プリセットスイッチから選ぶ	266
放送局名から選ぶ	266
今いる地域の放送局を 表示する	266
各種切替画面の切り替え	267
音声を切り替える	267
音声多重放送を切り替える	267
字幕を切り替える	268
緊急警報放送を 受信したときは	268
EPG (電子番組表) を見る	268
番組の情報を見る	269
ワンセグを終わる	269
2. DTV をお使いになる前に	270
地上デジタル放送 (DTV) について	270
DTV の使い方	271
DTV (地上デジタル放送) を 見る	271
基本操作	272
見たいチャンネルを選ぶ	272
地上デジタル TV の チャンネル構成について	272
パネルスイッチから選ぶ	273
手動で選ぶ	273
自動で選ぶ	273
プリセットスイッチから選ぶ	273
放送局名から選ぶ	273
番組を切り替える	273
EPG (電子番組表) を見る	274
データ放送を見る	274
地上デジタル放送を止める	274

ビジュアルの操作

1. ワンセグの使い方	264
初期設定をする	264

今いる地域の放送局を表示する	275	映像を止める	285
TV 放送の受信方法を設定する	275	ディスクメニューを操作する	286
主音声と副音声を切り替える	276	画面を直接タッチして操作する	286
いろいろな設定について	276	タッチスイッチから操作する	286
緊急警報放送 (EWS) を受信したときは	277	DVD を止める	287
チャンネルを記憶する	277	見たい映像を探す	287
チャンネルを手動で記憶する	277	チャプターから探す	287
チャンネルを自動で記憶する	277	タイトル番号から探す	287
自動で記憶したチャンネルを変更する	277	指定位置から再生する	288
3. DVD プレーヤーをお使いになる前に	278	画面表示・音声の切り替え	288
DVD の特長	278	アングルを切り替える	288
マルチ音声機能について	278	字幕言語を切り替える	289
マルチアングル機能について	278	音声言語を切り替える	289
字幕表示機能について	279	DVD プレーヤーの設定	290
ディスクについて	280	音声言語を設定する	291
再生できるディスクの種類について	280	コードを入力する	291
再生可能なディスクの地域番号(リージョンコード)について	281	字幕言語を設定する	291
ディスクに表示されているマークについて	281	コードを入力する	292
ディスクの構成について	282	メニュー言語を設定する	292
DVD ビデオディスクの構成	282	コードを入力する	292
操作の流れについて	283	マルチアングルマークの表示を設定する	293
4. DVD プレーヤーの使い方	284	視聴制限を設定する	293
DVD を見る	284	走行中の自動再生を設定する	294
映像を操作する	285	映像出力を切り替える	295
映像を再生する	285	言語コード一覧	296
早送り・早戻しする	285	5. VTR の使い方	297
映像を一時止める	285	VTR を見る	297
映像をスロー再生する	285	外部入力設定画面の切り替え	297
		VTR を終わる	297

ポータブルオーディオ機器 接続時の操作

1. iPod プレーヤーの使い方	298	手動で接続する	307
iPod を接続する	298	接続中の表示について	307
iPod を取りはずす	298	Bluetooth 接続状態表示	307
iPod を聞く	299	電池残量表示	308
早送り・早戻しする	300	Bluetooth オーディオを聞く	308
聞きたい音楽ファイルを選ぶ	300	早送り・早戻しする	308
聞きたい音楽ファイルを リストから探す	300	聞きたい音楽ファイルを選ぶ	309
メニューから探す	300	アルバムを切り替える	309
選曲モードリスト切替スイッチから 探す	301	同じ音楽ファイルを 繰り返して聞く	309
同じ音楽ファイルを 繰り返して聞く	302	音楽ファイルの順番を ランダムに聞く	309
音楽ファイルの順番を ランダムに聞く	302	ライブラリから探す	309
今聞いているリストの中から ランダムに聞く	302	再生リストから探す	310
リストをランダムに聞く	302	Bluetooth オーディオを 止める	310
iPod を止める	303	Bluetooth オーディオの設定	310
対応可能な iPod について	303	ポータブルオーディオを 切り替える	311
2. Bluetooth オーディオの 使い方	304	機器名称およびパスキーを 変更する	311
Bluetooth オーディオ について	304	機器名称を変更する	312
対応 Bluetooth 仕様および 対応プロファイルについて	304	パスキーを変更する	312
ポータブルオーディオを 登録する	305	Bluetooth 自動接続を設定する	313
ポータブルオーディオを 接続する	306	詳細情報を表示する	313
自動で接続する	306	機器名称の変更	314
3. AUX の使い方	316	接続方法の変更	314
ポータブルオーディオを お使いになる前に	316	ポータブルオーディオの登録を 削除する	315
ポータブルオーディオを 接続する (取りはずす)	317	初期設定にもどす	315

ポータブルオーディオを聞く.....	317
ポータブルオーディオを 終わる	317

オプション機能

1. ステアリングスイッチから 操作する	318
ステアリングスイッチ について	318
各部の機能名称と概要	318
共通操作.....	318
CD/DVD・MP3/WMA プレーヤー の操作	319
ラジオの操作.....	319
ワンセグの操作.....	319
DTV の操作.....	320
Bluetooth オーディオプレーヤーの 操作	320
iPod の操作.....	320
ハンズフリーの操作	320
2. 後席ディスプレイを 操作する	321
後席ディスプレイについて	321
後席ディスプレイに表示される 画面について	321
後席ディスプレイの操作 について	321
リモコンについて	322
各部の機能名称と概要	322
共通操作.....	323
ラジオの操作.....	324
CD プレーヤーの操作	325
MP3/WMA プレーヤーの 操作	325
ワンセグの操作	325
DTV の操作	326

DVD プレーヤーの操作.....	326
Bluetooth オーディオプレーヤーの 操作	327
iPod の操作	327

ご参考に

1. 知っておいて いただきたいこと	328
こんなメッセージが 表示されたときは	328
共通操作関係.....	328
ナビゲーション関係	328
オーディオ・ビジュアル関係.....	330
故障とお考えになる前に	331
共通操作関係.....	331
ナビゲーション関係	332
オーディオ・ビジュアル関係.....	334
2. 用語説明	336
3. 市街図収録都市リスト	339
4. VICS 情報有料放送サービス 契約約款	344
5. バッテリーの交換について	345
バッテリー交換、地図データの 全更新をする前に	345
6. お手入れについて	346
本機のお手入れについて	346
アンテナのお手入れについて	346
7. 仕様	347
8. 凡例	349

1. NAVIGATION SYSTEM

ナビゲーションシステム

ナビゲーションは、あくまでも走行の参考として地図と音声で案内するのですが、精度により、まれに不適切な案内をする場合があります。

案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

＜地図データについて＞

このナビゲーションシステムの「地図」は財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「2008年度版全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地理情報に基づいて、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社と株式会社トヨタマップマスターが2008年10月現在までに収集した情報に基づき、製作したものです。（一部新設道路を除く）但し、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制にしたがってください。

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

●この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院発行の5万分の1地形図および2.5万分の1地形図を使用しました。

●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の2.5万分の1地形図を使用しました。（測量法第30条に基づく成果使用承認 平15企指向第2号）

●この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数值情報を使用しました。

●この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第44条に基づく成果使用承認 90-060）

●交通規制データの出典について

使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

●高速道路料金データについて

使用している高速道路・都市高速の料金データは、2008年10月現在のものです。（一部新設道路を除く）

●道路交通規制の優先について

このデータが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

●道路交通情報データについて

道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。

データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

©2009 財団法人 日本デジタル道路地図協会

© アイシン・エイ・ダブリュ (株) & ZENRIN CO., LTD & (株) トヨタマップマスター

2. 安全上のご注意

△ 警告

- 本機は DC 12V エアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車で使用しないでください。火災の原因となります。
- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する可能性があり、交通事故の原因となります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。前方不注意となり事故の原因となります。
- 運転者は走行中に音量調整などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中にディスクの切り替えをしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者がテレビやビデオなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- 走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。
- ディスクおよびSDメモリーカード差し込み口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起つたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。
- 車内に直射日光が差し込んだ場合、製品に光が反射する場合があります。十分に注意して運転頂きますようお願い致します。
- 運転中は、絶対にヘッドホン・イヤホンを使用しないでください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

2. 安全上のご注意

△ 注意

- 本機はエンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態でご使用ください。
- 本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 電源ON時は、ボリュームに注意してください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ディスプレイに強い力を加えたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- ディスプレイの上にコップや間などの異物を置かないでください。また、ディスプレイを倒したままにしないでください。故障の原因となることがあります。
- ディスクおよびSDメモリーカード差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお求めの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規則にしたがって廃棄してください。
- 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。

ディスク等を取り出すときや、チルト位置を設定する際に、下記に注意してください。

＜A／T車の場合＞

- ・ ディスク等を取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。(コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。)
- ・ チルト位置を設定する際、Pまたは⑩、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

＜M／T車の場合＞

- ・ ディスク等を取り出す際、1・3・5・⑩ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。但し、走行中は操作しないでください。
- ・ チルト位置を設定する際、1・3・5・⑩ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)
- お車のラジオアンテナがモーターアンテナの場合、アンテナを折らないように注意してください。本機ではFM多重放送のVICS情報を常時受信するためにオーディオの電源をOFFにしてもアンテナは下がりません。駐車場など天井の低い場所に入る前は、ラジオアンテナの設定をモーターアンテナ車に設定し、必ずアンテナが収納されていることを確認してください。アンテナを収納しないで天井の低い場所に入ると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。

 アドバイス

- 走行中操作できないものは走行状態になると色がトーンダウンし、操作できません。また、操作できないスイッチにタッチすると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。
- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクおよび“SDメモリーカード”的データを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。
- 本機に結露が発生した場合、1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
- 本機をお買いあげ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくするとGPSの測位によって表示位置などが修正されます。
- 本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。お買いあげ後、お客様が記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとるなどして保管してください。
- なお、次のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。本機を装着もしくはご使用されたときは、次の内容を承認されたものとみなさせていただきます。
 - ① 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電気的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録された“SDメモリーカード”内のデータ等が変化・消失した場合。
 - ② お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、“SDメモリーカード”内の地図データや基本プログラムが変化・消失した場合。
 - ③ 本機の故障・修理に際し、お客様が記録された“SDメモリーカード”内のデータ等が変化・消失した場合。
- 本機は他の電装品からの電気的ノイズに対して影響を受けにくい構造になっておりますが、強力なノイズを発生する電装品があり、本機のそばで使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動することがあります。その場合は、原因と思われる電装品の使用をやめてください。
- 地図データに情報が無い場合、路線名の表示や施設の検索、ルートの案内などをすることができません。
- 施設の表示やルートの案内などは、実際と異なることがあります。
- 本機が探索するルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート、早く行けるルート、渋滞していないルートではありません。
- 交差点案内や音声案内などは、状況により異なることがあります。また、まれに誤った案内をすることがあります。

3. 本書の見方

項目タイトル

項目ごとにNo.とタイトル
がつけられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトル
がつけられています。

チェック

操作前におこなうこと
などを記述しています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作して
ください。

操作画面

操作する画面を
表示しています。

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

ナビゲーション案内

2. 目的地を設定してルート探索

目的地の設定

チェック

目的地を設定する場合は800mスケール図
以下の詳細な地図で設定してください。

地図スクロールから設定する

地図(タッチスイッチ以外の場所)にタッチ
して地図を移動します。

1 タッチスイッチ以外の場所にタッチ
します。

2 「ここに行く」にタッチします。

● 800mスケール図より広域な地図を表示
させたときは、800mスケール図に
切り替わります。

● ①の位置に目的地が②マークで表示さ
れ、ルート探索が開始されます。



● 「ここに行く」にタッチしたとき、高速道路
や有料道路、トンネルの付近では、目的地
の道路の種類を選択画面が表示されるこ
とがあります。この場合は、「設定する」
、または「他の道路」にタッチして、目的地
を設定する道路の種類を選びます。



■自宅を設定する

1 ナビゲーション画面で、「自宅」にタッ
チします。

● 自宅が登録されていないときは、「自宅」
にタッチすると、自宅を登録するメッセージ
が表示されます。「はい」にタッチする
と自宅を登録することができます。



2 「はい」にタッチします。

● 自宅に目的地が②マークで表示され、
ルート探索が開始されます。



チェック

本書では、一部を除きオプション機器が接続されている画面で説明しています。

ナビゲーションは、一部を除きノースアップ1画面で説明しています。

■地図の呼び出し方法から設定する

1 ナビゲーション画面で、[目的地]にタップします。

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地図の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」(120ページ)、「呼び出した地図の操作」(131ページ)を参照してください。



3 [ここに行く]にタップします。

- ①の位置に目的地が②マークで表示され、ルート探索が開始されます。



- 「ここに行く」にタップすると、高速道路や有料道路、トンネルの付近では、目的地の道路の種類を過ぎた画面が表示されることがあります。この場合は、「設定する」、または「他の道路」にタップして、目的地を設定する道路の種類を選びます。

ナビゲーション案内
2. 目的地を設定してルート探索



ルート探索

目的地を設定すると自動でルート探索を開始します。

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えて探索は続けれています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- ルート探索が終了すると、全ルート表示画面(現在地から目的地までの全体ルート)になります。「全ルート図表示」(136ページ参照)

アドバイス

操作に関連することなどを記述しています。

アドバイス

- ルートの探索は、道幅が5.5m以上の道路を対象としています。しかし、主要道路が5.5m未満の場合、道路は灰色で表示され、ルート探索は行われません。
- 高速道路や有料道路のインターチェンジ(IC)・サービスエリア(SA)・パークインエリア(PA)内などルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、「ルートの再探索」(153ページ)を行ってください。

135

チェック

スイッチ表示について

パネルスイッチを押すときは、①(②・③など)でスイッチ名称を表示しています。

画面のタッチスイッチにタップするときは、④⑤⑥でスイッチ名称を表示しています。

1つ前の画面にもどすときは、⑦[もどる]にタップするとタップした画面で行った操作がキャンセルされます。(一部の機能では、キャンセルされないものがあります。)

4. 特長

様々な機能を簡単に・思いのままに操作することができるスイッチ

パネルスイッチでの操作を最小限にし、タッチスイッチ、G.U.I (Graphical User Interface) デザインによるメニュー やアイコンなど、画面に直接触れるだけで、簡単に・思いのままに情報や機能、画面を呼び出すことができます。

ナビゲーションと各オーディオ操作画面を同時に表示するマルチ画面機能 (31 ページ参照)

ナビゲーションの画面と各オーディオ操作画面を左右に分割して同時に表示します。



Bluetooth 接続によるハンズフリー機能 (52 ページ参照)

Bluetooth 携帯電話と本機を無線で接続して、電話をかけたり、受けたりすることができます。また、通信モジュールを装着してさらにオプションの自動車専用ハンズフリー電話を契約した場合は、携帯電話がなくてもハンズフリーが利用できます。



盗難抑止効果が期待できるセキュリティ機能

(91 ページ参照)

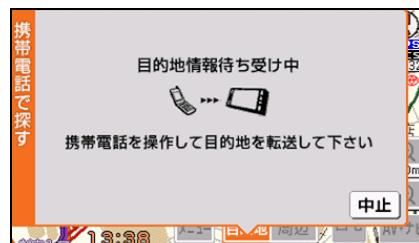
ナビゲーションやオーディオ機能のロック、インジケータの点滅により、盗難抑止の効果が期待できます。



携帯電話を使って簡単に情報を転送できる Bluetooth 通信機能

(125 ページ参照)

携帯電話のBluetooth通信機能を使って、目的地の設定を行うことができます。



走行した道路をひと目で確認できる走行軌跡表示 (109 ページ参照)

地図上に軌跡を表示して、走行した道路を確認することができます。
表示できる軌跡は、約 1000km です。



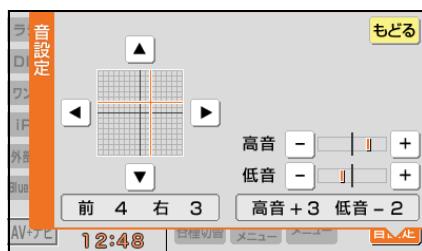
渋滞などの情報を表示する VICS 機能 (168 ページ参照)

VICSセンターから提供される交通情報を受信し、その情報を文字情報（レベル1）・簡単图形情報（レベル2）・地図情報（レベル3）で表示します。



お好みの音質・音量バランスに設定できる音質調整機能 (248 ページ参照)

各オーディオソースをお好みの音質や音量バランスに設定して楽しむことができます。



画面モードが選べる DVD・VTR (249 ページ参照)

お好みの画面モードに切り替えることで、DVD・VTRの映像をより楽しむことができます。



4. 特長

アルバム数枚分を収録した音楽ディスクを再生する MP3/WMA プレーヤー (255 ページ参照)

音楽データを約 1/10 サイズに圧縮できる MP3 圧縮技術。本機は MP3 データを収録した CD-R/RW の再生が可能です。

また、MP3 よりも高い圧縮率の WMA データを再生することもできます。



乱れのない安定した TV 映像が楽しめるワンセグチューナー

(264 ページ参照)

地上デジタル TV 放送ならではの、乱れのない安定した映像という特長はそのままに、放送するデータ量を少なくすることでより広範囲なエリアで視聴できるワンセグ放送を受信することができます。



美しい映像と迫力あるサウンドが楽しめる DVD プレーヤー (278 ページ参照)

高画質・高音質で記録された DVD ビデオを再生します。(DVD は、映画 1 本分に相当する高画質映像と、CD を上回る高音質なデジタルサウンドを記録することができるメディアです。)



ポータブルオーディオをワイヤレスで操作可能な Bluetooth オーディオ

(304 ページ参照)

Bluetooth を搭載したポータブルオーディオなどを Bluetooth 接続すると、本機でワイヤレス操作ができます。



システムアップ

● VICSビーコンユニット (185 ページ参照)

VICSビーコンユニットを接続すると、光・電波ビーコンを受信し、渋滞情報を考慮したルート探索やリアルタイムな割り込み情報を表示します。

● ETCシステム (188 ページ参照)

ETC (Electronic Toll Collection) システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

● バックガイドモニター (194 ページ参照)

エンジレバーを④にすると本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像を映すことができます。

● ブラインドコーナーモニター (223 ページ参照)

見通しの悪い交差点やT字路などで、車両前方を画面に映して確認することができます。

● サイドモニターシステム (223 ページ参照)

車両左前方を画面に映して確認するシステムです。用途に合わせて、画面に表示する範囲を切り替えることができます。

● 地上デジタルTVチューナー (DTV) (270 ページ参照)

オプションの地上デジタルTVチューナーを接続すると、本機で地上デジタルTV放送を受信することができます。

● VTRアダプター (297 ページ参照)

オプションのVTRアダプターを接続すると、本機で、ビデオカメラなどの映像をご覧ることができます。

● iPod接続用ケーブル (298 ページ参照)

オプションのiPod接続用ケーブルを接続すると、本機でiPodの操作をすることができます。

● 後席ディスプレイ (321 ページ参照)

オプションの後席ディスプレイを接続すると、走行中でも後席でDVDなどの映像をご覧になることができます。また、付属のリモコンでオーディオの操作をすることができます。

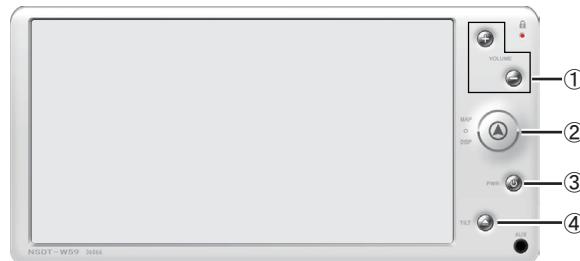
5. 本機について

各部の名称と操作

本機はパネルに配置しているスイッチ（パネルスイッチ）を押したり、画面に表示されるスイッチ（タッチスイッチ）を直接タッチして操作します。

■ パネルスイッチ

それぞれのパネルスイッチを押して操作します。



①	VOLスイッチ	オーディオの音量を調整するときに押します。
②	現在地スイッチ	ナビゲーション画面、またはマルチ画面で現在地を表示するときに押します。 画質を調整するときに1秒以上押します。
③	POWER ON/OFFスイッチ	オーディオの電源を入れるとき、切るときに押します。
④	TILT/EJECTスイッチ	ディスプレイを開くときや、画面の角度調整をするときに押します。

■ ▲を押すと



現在地画面が表示されます。

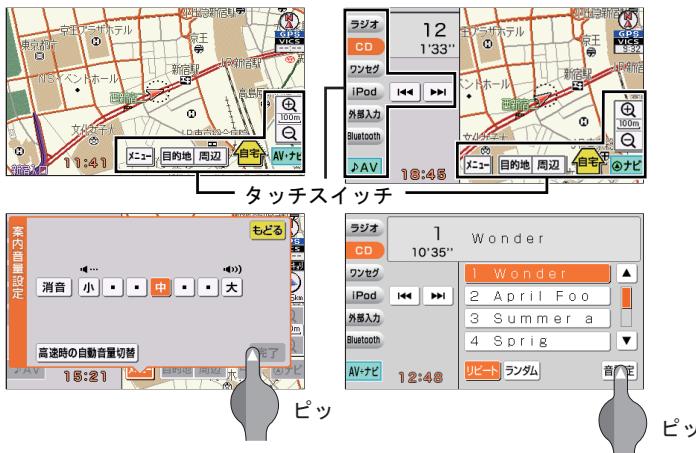
■タッチスイッチ

画面のスイッチにタッチして操作します。

△ 注意

タッチスイッチは指でタッチしてください。

ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。



タッチスイッチの操作について

- タッチスイッチは“ピッ”という応答音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。
- スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチの色が明るくなるものがあります。

■ メニューにタッチすると



ナビメニュー画面が表示されます。

5. 本機について

初めてお使いになるときは

本機をお買い上げ後、初めてお使いになる場合は、地図が収録されている“SDメモリーカード”を本機に差し込みます。

■ 地図“SDメモリーカード”的差し込み方

△ 注意

- 同梱している地図“SDメモリーカード”以外は使用することができません。(地図データをコピーした“SDメモリーカード”は使用することができません。)
- 本機以外での地図“SDメモリーカード”的ご使用は絶対に行わないでください。その際、破損した場合は保証できませんのでご容赦ください。(デジタルカメラへの挿入、パソコンでのフォーマットなどを行うと、地図データが全て消失します。)
- 同梱している地図“SDメモリーカード”的フォーマット(初期化)は絶対に行わないでください。(地図データが使用できなくなります。)
- デジタルカメラや携帯音楽プレイヤーなど、他の機器に同梱されている“SDメモリーカード”は使用しないでください。
- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー(“P”位置)もしくはシフトレバー(1・3・5・⑧位置)やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- 地図“SDメモリーカード”的差し込み途中に **CLOSE**、または **⑧** を押さないでください。
- ディスプレイを開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、“SDメモリーカード”を出し入れするとき以外は、ディスプレイを閉じておいてください。

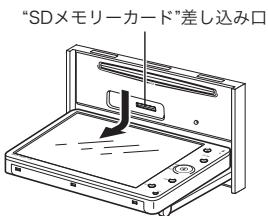
1 エンジンスイッチをONにします。

2 ⑧を押します。

3 **Full OPEN**にタッチします。

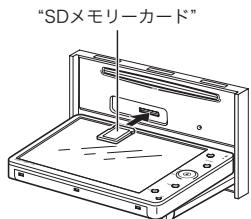


- ディスプレイが開き、差し込み口があらわれます。



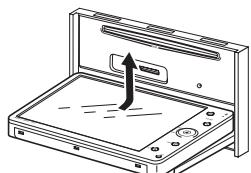
4 差し込み口に地図“SDメモリーカード”を差し込みます。

- 地図“SDメモリーカード”はラベル面を上側にし、▶マークを奥にして、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。



5 地図“SDメモリーカード”が奥まで差し込まれたことを確認してから、**CLOSE**にタッチします。

- ディスプレイが閉じます。
- ▲を押してもディスプレイ部は閉じます。



アドバイス

地図データをコピーした“SDメモリーカード”は、使用することができません。

■ 地図“SDメモリーカード”的出し方

△ 注意

- “SDメモリーカード”を取り出すとき、押し出された状態のままディスプレイを閉じないでください。本機および“SDメモリーカード”を破損するおそれがあります。
- ディスプレイを手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイを開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、“SDメモリーカード”などを出し入れするとき以外は、ディスプレイを閉じておいてください。

1 ▲を押します。

2 **Full OPEN**にタッチします。

- ディスプレイが開き、差し込み口があらわれます。



3 “SDメモリーカード”を軽く押して取り出します。

5. 本機について

4

取り出し後、**CLOSE** にタッチします。

- ディスプレイが閉じます。
-  を押してもディスプレイ部は閉じます。

アドバイス

■ “SDメモリーカード”について



SDHCロゴは商標です。

- 静電気や電気的ノイズを受ける恐れのある場所に、“SDメモリーカード”を放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- “SDメモリーカード”的取り扱いについて
 - 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



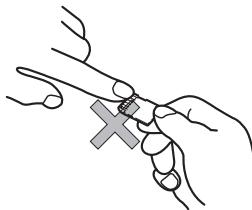
- ラベルがはがれている“SDメモリーカード”は使用しないでください。また、ヌムテープ（ラベル）などは貼らないでください。



- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。
- “SDメモリーカード”が使用できなくなる場合があります



- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



電源の入れ方・切り方

本機は、車のエンジンをかけると自動的に電源が入り、ラスト画面[※]を表示します。エンジンを切ると電源も切れます。

※ ラスト画面は、エンジンを切る前の状態を表示（再現）します。

ワンセグを視聴していた場合は、ワンセグの映像と音声が出力されます。

■ 本機の電源を入れる



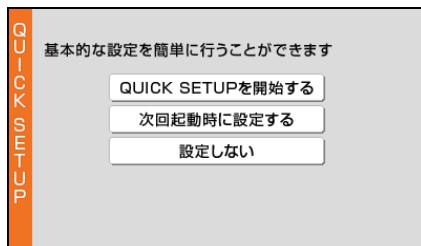
■ オーディオの電源を切る



POWER ON/OFFスイッチを押します。

アドバイス

- 初めて本機を起動したときまたは、QUICK SETUP画面で **次回起動時に設定する** を選択したときは、以下の画面が表示されます。



設定方法については、「クイックガイド」を参照してください。

設定しない を選択もしくは、再設定する場合は、「QUICK SETUPを行う」(45ページ) を参照してください。

5. 本機について

- オーディオの電源が入らないときは、マルチ画面、またはオーディオ操作画面で切り替えたいソースにタッチしてください。詳しくは、「ソースを切り替える」(244ページ) を参照してください。
- ナビゲーションの電源は切ることができません。

本機の作動条件について

本機の機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置）により、操作できる場合とできない場合があります。

○：操作できます ×：操作できません

各機能	エンジンスイッチ					ディスプレイが オープン状態
	OFF (LOCK)	ACC	ON停車中 ^{※1}	ON走行中		
ナビゲーション／設定・情報	×	○	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	○
オーディオ ^{※2}	×	○	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	○
ハンズフリー	×	○	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	○
DISCおよび“SDメモリーカード”的出し入れ／ディスプレイの角度調整	エンジンOFF後はディスプレイを閉じることができます	○	○	○	ディスプレイの角度調整はできません	

※1 パーキングブレーキがかかっている状態。

※2 映像を伴わないオーディオモード…AM、FM、CD、MP3/WMA、Bluetoothオーディオ、AUX 映像を伴うオーディオモード…DVD、ワンセグ（DTV）、VTR

アドバイス

操作できないスイッチは、色がトーンダウンし、操作できません。また、走行中に操作できないスイッチを操作すると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。

マルチ画面の操作

ナビゲーションの画面やオーディオ、ワンセグなどの操作画面を左右に分割して、同時に表示することができます。



● マルチ画面



● オーディオ操作画面

アドバイス

マルチ画面のときは、DVD、ワンセグ、VTR の映像は表示されません。映像を表示するときは、**フル映像** または **♪AV** にタッチしてください。

■ マルチ画面の表示

ナビゲーション画面、オーディオ、ワンセグなどの操作画面から、マルチ画面へ切り替えます。

1 ナビゲーション画面、オーディオ、ワンセグなどの操作画面で、**♪AV+ナビ** にタッチします。

● マルチ画面が表示されます。



● ナビゲーション画面

■ マルチ画面の切り替え方

マルチ画面からナビゲーション画面、オーディオ、ワンセグなどの操作画面に切り替えます。

1 マルチ画面で、**④ナビ**、または**♪AV** にタッチします。



● マルチ画面

④ナビ :

ナビゲーション画面に切り替わります。

♪AV :

オーディオ、ワンセグなどのオーディオ操作画面に切り替わります。

5. 本機について

DISC の出し入れ

音楽をお聞きになるときは CD を、DVD ビデオを再生するときは DVD ディスクを差し込み口に入れてください。

■ DISC の入れ方

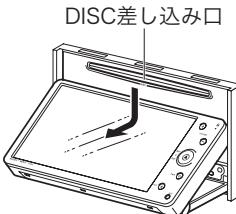
△ 注意

- 地図ディスクは使用できませんので差し込まないでください。
- 本機は8cm CD／DVDを再生することができます。故障の原因となるため、アダプタ等は使用せず、そのまま差し込んでください。
- ディスプレイを開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、各ディスクを出し入れするとき以外は、ディスプレイを閉じておいてください。
- DISCの差し込み途中に **CLOSE** 、または **△** を押さないでください。

1 **△** を押します。

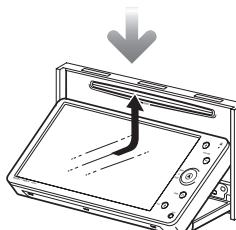
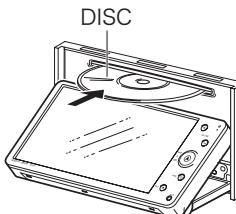
2 **▲DISCを入れる** にタッチします。

- ディスプレイが開き、差し込み口があらわれます。



3 差し込み口にDISCを差し込みます。

- DISC差し込み後、ディスプレイが自動で閉じます。
- DISC は、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にして差し込んでください。



■DISC の出し方

△ 注意

- ディスクを取り出す際、下記に注意してください。

＜A／T車＞

DISCを取り出す際、Pレンジで干渉する場合は、Nレンジに切り替えてから操作してください。(コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。)

＜M／T車＞

DISCを取り出す際、1・3・5・⑧ポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。

- DISCを取り出すとき、押し出された状態のままディスプレイを閉じないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。
- ディスプレイを手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイを開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、DISCなどを出し入れするとき以外は、ディスプレイを閉じておいてください。

- 1 ◇ を押します。

- 2 ▲DISC を取り出す にタッチします。

- 自動でディスクが押し出されます。



- 3 取り出し後、CLOSE にタッチします。

- ◇ を押してもディスプレイは閉じます。
- 使用できるディスクについては、「ディスクについて」(240ページ参照) を参照してください。

5. 本機について

ディスプレイの角度調整

車外からの光などで画面が見にくいときは画面の角度を調整できます。

△ 注意

- ディスプレイの角度調整をするときは手などをはさまないよう注意してください。けがの原因や、ディスプレイの故障の原因になります。
- ディスプレイがTILT状態のときに上部のすき間からディスクを差し込まないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。
- ディスプレイの角度調整をする際、下記に注意してください。

〈A/T車〉

チルト位置を設定する際、Pまたは⑥、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

〈M/T車〉

チルト位置を設定する際、1・3・5・⑧ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(干渉する場合はチルト位置の設定をしないでください。)

1

△ を押します。

2

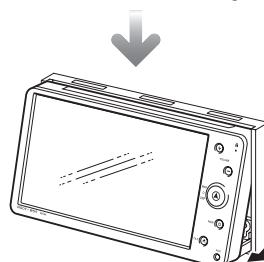
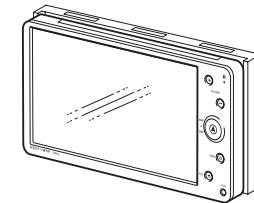
角度調整の、▲ ▾ または ▶ ▷ にタッチします。

- ▲ ▾ :

タッチすることにディスプレイが傾いた状態から1段階(5°)ずつもどります。(最大6段階30°)

- ▶ ▷ :

タッチすることにディスプレイが斜め下方に1段階(5°)ずつ傾きます。(最大6段階30°)



3

調整後、Ⓐ を押します。

⌚ アドバイス

- ディスプレイを傾けた状態でも、ディスプレイを開くことができます。ディスプレイを閉じると、元の傾いた状態にもどります。
- ディスプレイを傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的にディスプレイが閉じた状態になります。次にエンジンスイッチをACCまたはONにしたときは、元の傾いた状態にもどります。

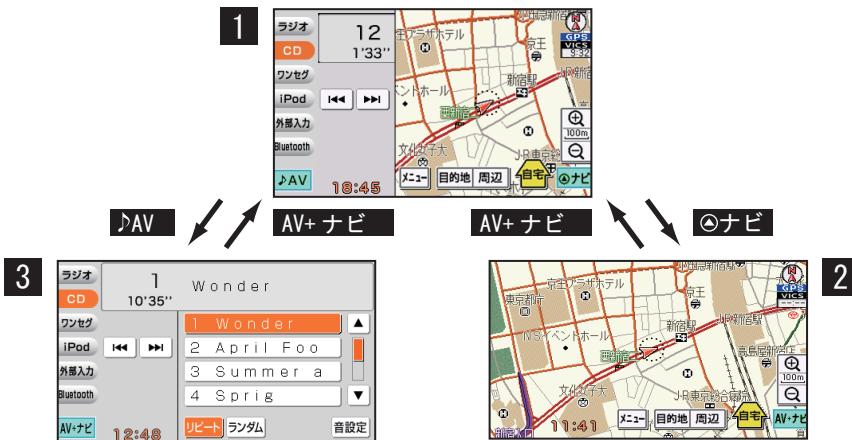
液晶パネルについて

- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

5. 本機について

本機のモードについて

本機には大きく分けて「マルチ」・「ナビゲーション」・「オーディオ」の3つのモードがあります。



	モード	主な機能
1	マルチ	<ul style="list-style-type: none"> ● ナビゲーション画面およびオーディオ操作画面の切り替え ● オーディオソースの切り替え ● 各オーディオソースの操作 ● ナビゲーション画面の操作・表示（現在地の表示、目的地の設定、目的地案内、地点の登録など） ● ナビメニューの表示（VICS設定、ナビ詳細設定など）
2	ナビゲーション	<ul style="list-style-type: none"> ● マルチ画面の切り替え ● 現在地の表示 ● 目的地の案内 ● 地点（自宅・お気に入り地点）の登録など ● 目的地の設定 ● ナビメニューの表示（VICS設定、ナビ詳細設定など）
3	オーディオ (ラジオ・CD・ワンセグ・DTV・iPod・Bluetooth・外部入力)	<ul style="list-style-type: none"> ● マルチ画面の切り替え ● AM・FM放送の受信 ● CDプレーヤーの操作 ● MP3/WMAプレーヤーの操作 ● ワンセグ放送の受信 ● DTV放送の受信（オプション） ● iPodの操作（オプション） ● Bluetoothの操作 ● 外部入力の表示（オプション） ● 音質の調整

※ 走行中は、操作できない機能があります。

各モードの呼び出し

次のスイッチを押すと各画面に切り替わります。

■マルチ画面

ナビゲーション画面、またはオーディオ操作画面で、**AV+ナビ** にタッチします。



■ナビゲーション画面

マルチ画面で、**④ナビ** にタッチします。



■オーディオ操作画面

マルチ画面で、**④AV** にタッチします。
(CD プレーヤー作動時) ^{※1}



(OFF画面) ^{※2}



※1 オーディオの機能が作動しているときに表示します。オーディオの操作については「ソースを切り替える」(244ページ) を参照してください。

※2 オーディオの機能が OFF のときに表示されます。

5. 本機について

■ オンスクリーン表示について

ナビゲーション画面表示中にCDを差し込んだり、iPodを接続したりするとオンスクリーンが表示されます。

オンスクリーン表示はしばらくすると、自動で解除されます。

オンスクリーン表示



アドバイス

ワンセグの全画面表示時はオンスクリーンが表示されません。

携帯電話でナビの操作方法をみる

携帯電話からモバイルサイトにアクセスしてナビの操作説明を見ることができます。

■ 携帯電話からモバイルサイトへのアクセスについて

携帯電話でURLを入力、または2次元バーコードを読み取ってアクセスすることができます。

チェック

- 下記の携帯電話を使用することができます。

	対応機種／シリーズ
NTT docomo	<ul style="list-style-type: none"> ● FOMA 全機種 ● 503i シリーズ以降の mova
au	<ul style="list-style-type: none"> ● WIN 全機種 ● A30XX シリーズ ● 5XX シリーズ
Soft Bank	<ul style="list-style-type: none"> ● V6XX シリーズ以降の機種

※ 上記シリーズに含まれていても、機種やお客様の設定によってはご利用いただけない場合があります。ご了承ください。

1

ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

- オーディオ操作画面を表示しているときは、マルチ画面に切り替えてから行ってください。



2

携帯マニュアルにタッチします。

- 携帯マニュアル画面では2次元バーコードおよびURLが表示されます。



3

携帯電話に2次元バーコードを読み込む、またはURL（下記参照）を入力して携帯マニュアルにアクセスします。

- **サイズ変更**にタッチすると2次元バーコードが拡大されます。



アドバイス

携帯電話の通話料は、お客様のご負担となります。

6. 本機の設定

本機はナビゲーションやオーディオの操作設定の他に、下記の設定をすることができます。

- 操作音の設定 (40 ページ参照)
- 画面の調整・設定 (41 ページ参照)
- ラジオアンテナの設定 (43 ページ参照)
- 設定内容の初期化 (44 ページ参照)

操作音の設定

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの“ピッ”という操作音を設定することができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

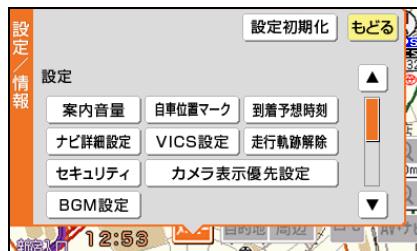
- オーディオ操作画面を表示しているときは、マルチ画面に切り替えてから行ってください。



2 **設定 / 情報** にタッチします。



3 **ナビ詳細設定** にタッチします。



4 操作音の設定の **1**、**2**、**3**、**4**、**OFF** (消音) のいずれかにタッチします。

- 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され、直前の画面にもどります。



画面の調整・設定

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切り替わります。

● ライト消灯時…<昼画表示>



● ライト点灯時…<夜画表示>



■ 画質調整画面を表示する

● チェック

画質調整画面は、マルチ画面、ナビゲーション画面、オーディオ操作画面、または映像画面のときに表示させることができます。

1 **Ⓐ** を1秒以上押します。

2 調整が終了したら、**完了** にタッチします。



■ 画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



● ナビゲーション画面時

6. 本機の設定



- オーディオ操作画面時

コントラスト

1 強くするときは **強** 、弱くするときは **弱** にタッチします。

明るさ

1 明るくするときは **明** 、暗くするときは **暗** にタッチします。

- ライト消灯時の初期設定は中間です。

色合い（映像画面時のみ）

1 緑色を強くするときは **緑** 、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

- 操作画面、設定画面を表示している間は調整することができません。

色の濃さ（映像画面時のみ）

1 濃くするときは **濃** 、淡くするときは **淡** にタッチします。

- 操作画面、設定画面を表示している間は調整することができません。

■ ライト点灯時に昼画表示に切り替える

1

夜画表示のときに **昼画面** にタッチします。

- タッチするごとに、夜画表示と昼画表示が切り替わります。



■ 画面を消す

1

画質調整画面で、**画面消** にタッチします。

- 再度、画面を表示させるには **Ⓐ** を押します。

アドバイス

本機の電源を入れると、パネルスイッチは常時点灯します。

ラジオアンテナの設定

お車のラジオアンテナがモーターアンテナの場合、オーディオの電源の ON/OFF に合わせてアンテナが自動で上下するように設定することができます。

△ 注意

お車のラジオアンテナがモーターアンテナの場合、アンテナを折らないように注意してください。

本機ではFM多重放送のVICS情報を常時受信するためにオーディオの電源をOFFにしてもアンテナは下がりません。駐車場など天井の低い場所に入る前は、ラジオアンテナの設定をモーターアンテナ車に設定し、必ずアンテナが収納されていることを確認してください。

アンテナを収納しないで天井の低い場所に入ると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- オーディオ操作画面を表示しているときは、マルチ画面に切り替えてから行ってください。



2

設定 / 情報 にタッチします。



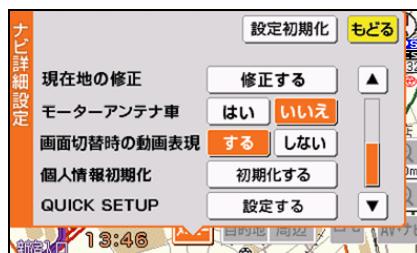
3

ナビ詳細設定 にタッチします。



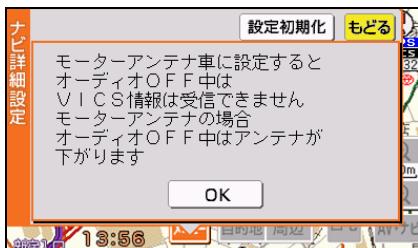
4

モーターアンテナ車の **はい** にタッチします。

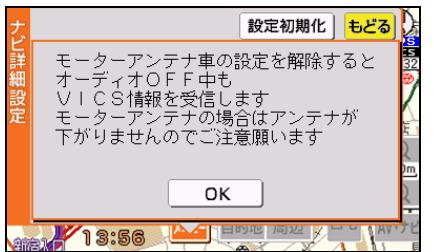


6. 本機の設定

5 OK にタッチします。



- 4 で **いいえ** を選択した場合、以下の画面が表示されます。



アドバイス

ラジオアンテナの設定をモーターアンテナ車に設定した場合、オーディオの電源をOFFにするとアンテナが下がるためFM多重放送のVICS情報が受信できなくなります。このときは、モーターアンテナ車の設定を解除してください。

設定内容の初期化

本機に設定／登録した内容を消去し、本機を初期状態にもどすことができます。

ナビ詳細設定の初期化（消去）される各項目は下記になります。

項目	初期化される内容
車両ナンバーの設定	ナンバープレートの分類設定
合流警告	高速道路走行中、自車マークが合流道路に近づくと、警告マークと音声で案内する設定

項目	初期化される内容
カーブ警告	自車マークが急カーブに近づくと、警告マークと音声で案内する設定
操作音の設定	パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音の設定
モーターアンテナ車	モーターアンテナ車の設定
画面切替時の動画表現	画面が切り替わるときの動きの表現設定

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- オーディオ操作画面を表示しているときは、マルチ画面に切り替えてから行ってください。



2 **設定／情報** にタッチします。



3

ナビ詳細設定 にタッチします。



4

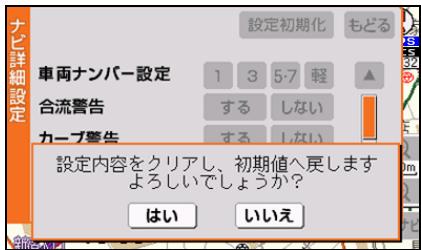
設定初期化 にタッチします。



5

はい にタッチします。

- 設定内容を初期化後、4 の画面にもどります。



アドバイス

一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。十分注意して初期化作業をおこなってください。

QUICK SETUP を行う

QUICK SETUP で [設定しない] を選択したとき、または設定をやり直すときに行います。

1

ナビゲーション画面で メニュー にタッチします。

2

設定 / 情報 にタッチします。

3

ナビ詳細設定 にタッチします。



4

QUICK SETUP の 設定する にタッチします。

5

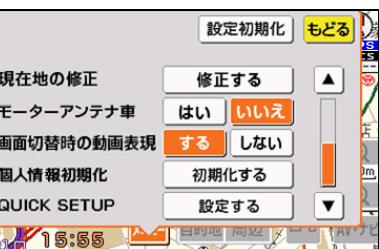
ナビ詳細設定 にタッチします。



4

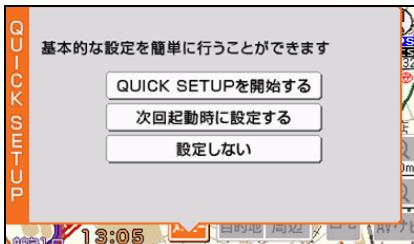
QUICK SETUP の 設定する にタッチします。

5



6. 本機の設定

5 QUICK SETUP を開始する にタッチします。



- 設定項目は、下記になります。

設定項目	内容	ページ
自宅登録	自宅を登録します。	46
案内音量設定	ナビの音声案内の音量を設定します。	47
車両情報	車両ナンバーを登録します。	48
セキュリティ設定	セキュリティの設定をします。	48
Bluetooth設定 (携帯電話) ^{※1}	Bluetooth対応の携帯電話を登録します。	50
Bluetooth設定 (オーディオ) ^{※2}	Bluetooth対応のオーディオを登録します。	51

※1 Bluetooth 対応の携帯電話をお持ちのお客様だけご利用いただけます。

※2 Bluetooth を搭載したポータブルオーディオをお持ちのお客様だけご利用いただけます。

アドバイス

- 登録または設定が完了した項目は、設定画面に **登録済** / **設定済** と表示されます。
- QUICK SETUP は、**終了** にタッチすることで、設定を途中で中止することができます。
- **終了** をタッチした場合、それまでに設定した内容が反映されます。

■自宅を登録する

自宅を登録しておくと、どこへ行っても現在地画面の「自宅」にタッチするだけで、自宅までのルートが表示できます。

地図から登録する

1 地図から登録 にタッチします。



2 セット にタッチします。



- 自宅が登録されました。



住所から登録する

1

住所から登録 にタッチします。



2

自宅の住所を入力します。

- 操作方法については、「住所で地図を呼び出す」(123ページ) を参照してください。

3

セット にタッチします。



- 自宅が登録されました。



- 次へ▶ にタッチすると、案内音量の設定に進みます。

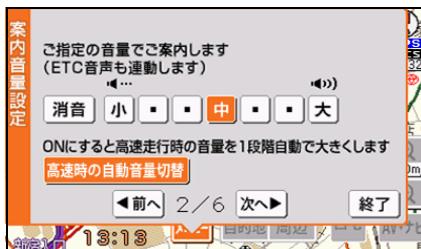
■ ナビの音声案内の音量を設定する

目的地案内中に聞こえる音声案内の音量を設定します。

初期設定は「中」に設定されています。

1

消音 · 小 · · · · 中 · · · · 大 のいずれかにタッチします。



- 次へ▶ にタッチすると、車両ナンバーの登録へ進みます。

アドバイス

高速時の自動音量切替の設定については、「高速時の自動音量切り替えを設定する」(105ページ) を参照してください。

6. 本機の設定

■車両ナンバーを登録する

車両ナンバーを登録しておくと、高速道路の料金を計算するときの基準になります。

- 1 ナンバーの分類番号の **1**・**3**・**5・7**・**軽** のいずれかにタッチします。



- **次へ▶** にタッチすると、セキュリティ設定に進みます。

アドバイス

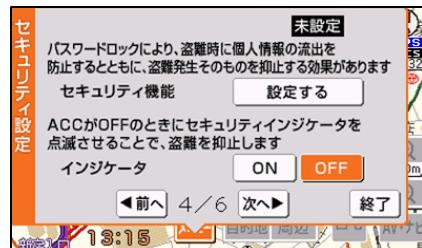
モーターアンテナの設定は、「ラジオアンテナの設定」(43ページ)を参照してください。

■セキュリティを設定する

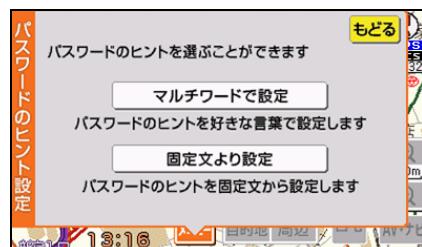
任意のパスワード（全角12文字／半角24文字 他人にわかりにくい言葉）を登録すると、本機にロックがかかり、万一盗難にあつた場合にナビを使えなくします。

盗難抑止のために、セキュリティが作動中 (ACC OFF 時) に、インジケーターを赤色点滅させます。(91 ページ参照)

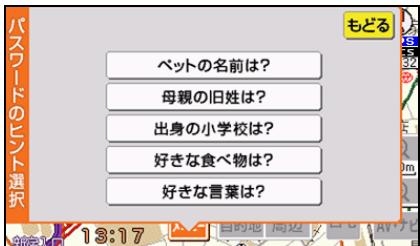
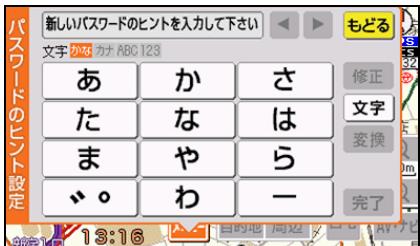
- 1 **設定する** にタッチします。



- 2 **マルチワードで設定**、または**固定文より設定** にタッチします。

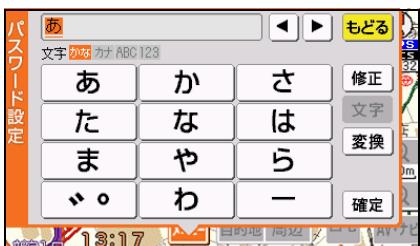


- 3** マルチワードで設定 にタッチしたときは、ヒントを入力します。
固定文より設定 にタッチしたときは、登録したいヒントにタッチします。



- 4** パスワードを入力します。

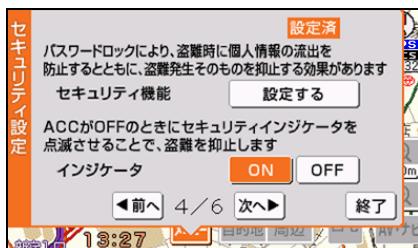
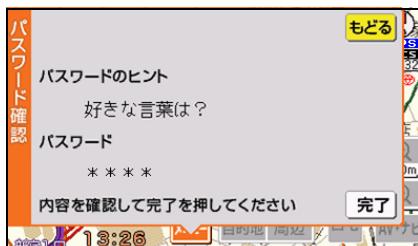
- 文字の入力方法は、「ひらがな・漢字を入力するには」(160ページ)を参照してください。



- 5** 確定 にタッチします。

- 6** 完了 にタッチします。

- パスワードが登録され、セキュリティ機能が設定されます。



- 次へ▶にタッチすると、Bluetooth設定(携帯電話)に進みます。

アドバイス

- インジケータの設定は、「インジケータを解除する」(94ページ)を参照してください。
- ヒントとパスワードは全角 12 文字 (半角 24 文字) まで入力することができます。全角／半角、大文字／小文字を区別しますのでご注意ください。
- 登録したパスワードは、ロックを解除するときに必要になります。登録したパスワードは忘れないよう控えておいてください。

6. 本機の設定

■ Bluetooth 対応の携帯電話を登録する

Bluetooth 対応の携帯電話を本機に登録(最大 5 台まで)すると、ハンズフリー通話がご利用できます。(52 ページ参照)

携帯電話側の操作については、携帯電話に付属の取扱説明書をご覧ください。

1

【登録】にタッチします。



2

携帯電話からBluetooth登録します。

- 携帯電話で機器名称とパスキーを入力します。
- 携帯電話側の登録操作は、必ずこの Bluetooth接続画面を表示させて行ってください。
- 中止したいときは、【中止】にタッチします。



- 携帯電話の登録が完了しました。



- 次へ▶にタッチすると、Bluetooth設定(オーディオ)に進みます。

アドバイス

- パスキーとは、Bluetooth 携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。(76 ページ参照)
- 携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にディヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。

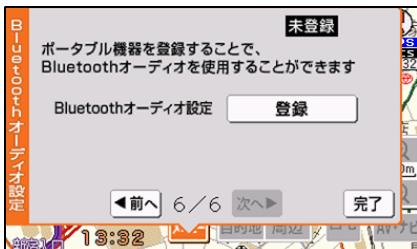
■ Bluetooth 対応のオーディオを登録する

Bluetooth 対応のオーディオを本機に登録すると、Bluetooth オーディオに収録された音楽を本機で再生できます。(308 ページ参照)

ポータブルオーディオ側の操作については、ポータブルオーディオに付属の取扱説明書をご覧ください。

1

「登録」にタッチします。



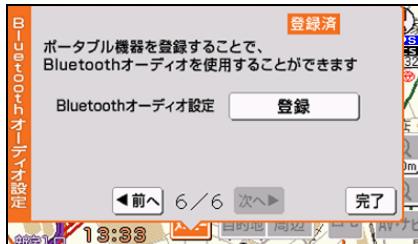
2

ポータブルオーディオから Bluetooth登録します。

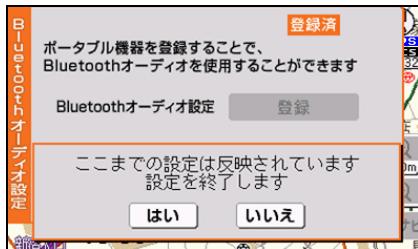
- ポータブルオーディオで機器名称とパスキーを入力します。
- ポータブルオーディオ側の登録操作は、必ずこのBluetooth接続画面を表示させて行ってください。
- 中止したいときは、「中止」にタッチします。



- ポータブルオーディオの登録が完了しました。



- 「完了」にタッチすると、QUICK SETUPが完了します。



- QUICK SETUPが完了すると確認メッセージが表示されます。設定を終了するときは「はい」、終了しないときは「いいえ」にタッチします。

アドバイス

- パスキーとは、Bluetooth オーディオを本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。「機器名称およびパスキーを変更する」(311 ページ) 参照してください。
- ポータブルオーディオを登録すると、一番新しく登録したポータブルオーディオが使用するポータブルオーディオとして選択されます。複数登録している場合は、使用するポータブルオーディオを選択(311 ページ参照)することができます。

7. ハンズフリー機能について

ハンズフリーについて

動作確認済の Bluetooth 携帯電話※（以下「携帯電話」）を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。本機に接続する携帯電話は、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ Bluetooth アダプターを装着した携帯電話を含みます。

■ 対応Bluetooth仕様

Bluetooth Specification Ver.1.1 以上 (Ver.2.0+EDR以上を推奨)

■ 対応Profile

- HFP (Hands Free Profile) Ver.1.0
- OPP (Object Push Profile) Ver.1.1



BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

■ Bluetooth 携帯電話について

Bluetooth 携帯電話は、他の機器との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

従来の携帯電話では、ハンズフリーを利用するため、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth 携帯電話では、どこにも接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。

例えば、胸ポケットに携帯電話を入れたままでも、そのままの状態でハンズフリーがご利用いただけます。

● Bluetooth接続の携帯電話



● 有線(ケーブル)接続の携帯電話



※ 本機では、有線(ケーブル)接続の携帯電話はご利用になれません。

■ ハンズフリーが使用できないとき

△ 警告

- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、安全のため、運転者は走行中に電話機の接続や、携帯電話本体は使用しないでください。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けしてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。

△ 注意

- 携帯電話は車室内に放置しないでください。(炎天下など、車室内が高温となる場合があります。)
- Bluetooth携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。

- 通話エリア外のとき
- 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- また、ハンズフリーを携帯電話で使用するときは、次の場合もハンズフリーを使用することができません。
- 携帯電話から電話帳データを転送中のとき
- 携帯電話から目的地を転送中のとき
- 携帯電話がダイヤルロックされているとき
- 携帯電話が故障しているとき
- 携帯電話が本機に接続されていないとき
- 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- 携帯電話の電源がOFFのとき

- 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
- 車載機側で電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき(切り替え中は本機にBluetooth接続状態表示が表示されません。)
- その他、携帯電話自体が使えないとき

△ アドバイス

- Bluetooth携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth携帯電話は、Bluetooth接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。
- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFにしてください。(設定については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。)
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- 接続する携帯電話によっては、動作や音量が異なることがあります。
- 通話中にエンジンスイッチをOFF(LOCK)にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になります。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、割込通話(キャッチホン)や第三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で割込通話(キャッチホン)や第三者通話を解除してからお使いください。

7. ハンズフリー機能について

■マイクについて

- 通話時に、音声入力マイクを使用します。

■ハンズフリー操作について

- 本機の画面に表示されるタッチスイッチを操作することにより、ハンズフリーのさまざまな機能が利用できます。ステアリングスイッチ装着車ではステアリング部のスイッチを操作して（318 ページ参照）音量を調整することができます。

■音声について

- 発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。
- 着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。ただし、状況によっては、片側のスピーカーから出力されることがあります。
- ハンズフリーで音声や呼出音などが出力されると、オーディオ音声やナビ案内音声などはミュート（消音）されます。

アドバイス

- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。（故障ではありません。）
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。通話相手側にエコーが聞こえることがあります。また、音声は大きくはっきりとお話しください。

- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。

- ・ 悪路走行時
- ・ 高速走行時
- ・ 窓を開けているとき
- ・ エアコンの吹き出し口をマイクの方に向かえたとき
- ・ エアコンのファンの音が大きいとき
- ・ 携帯電話をマイクに近づけたとき

- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。

- 他のBluetooth 対応機器（ポータブルオーディオ）が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。「個人情報の初期化」（96 ページ参照）

なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態にもどすことはできません。

間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。

- 電話帳データ
- 発信履歴および着信履歴
- ワンタッチダイヤル
- Bluetooth電話機の登録情報
- ロックNo.
- ハンズフリー関連の設定・編集項目

Bluetooth 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。

想定干渉距離は 10m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

アドバイス

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

各種表示について

■ 受信レベル表示

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、電話帳データの転送中は表示されません。

- 「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点にも注意してください。
 - ・ 受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
 - ・ Bluetooth 携帯電話未接続時は、「未接続」を表示します。

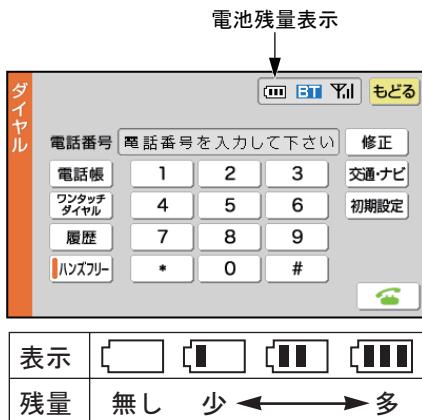


7. ハンズフリー機能について

■ 電池残量表示

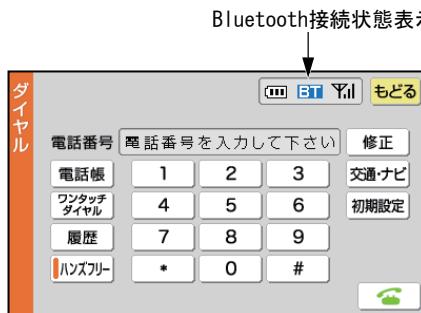
携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、電話帳データの転送中は表示されません。

- 電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 本機には携帯電話の充電機能はありません。



■ Bluetooth 接続状態表示

携帯電話の Bluetooth 接続状態を表示します。



- 青色表示 **BT**

Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。

- 黄色表示 **BT**

この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、携帯電話を移動してご使用ください。

- 灰色表示 **BT**

本機と携帯電話が接続されていないか、接続範囲外に離れています。本機と携帯電話を接続するか、表示が消える距離まで本機と携帯電話を近づけてください。

アドバイス

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナがディスプレイ内に内蔵されています。

次のような場所や状態で Bluetooth 携帯電話を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。

- ・ 携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき

(携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど)

- ・ 携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき

Bluetooth 携帯電話を使用するときは、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。

- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的にBluetooth接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

ハンズフリーの準備

ハンズフリーを使用する際には、使用する通信機器の設定をします。

■ 携帯電話の登録

携帯電話は、本機に最大 5 台まで登録することができます。

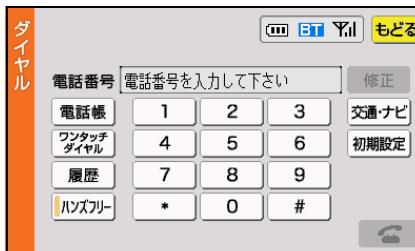
携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

1 **メニュー** にタッチします。

2 **電話** にタッチします。



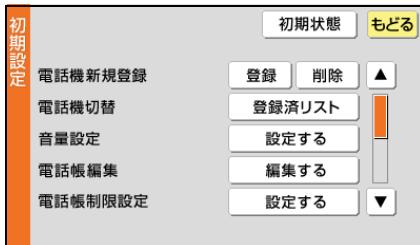
3 **初期設定** にタッチします。



7. ハンズフリー機能について

4 電話機新規登録の **登録** にタッチします。

- 複数の携帯電話を登録する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。



5 初期登録画面が表示されたら、携帯電話からBluetooth登録します。

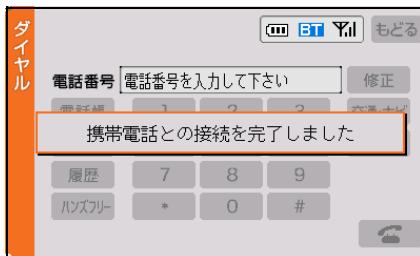
- 携帯電話側の登録操作は、必ずこのBluetooth接続画面を表示させて行ってください。
- 中止したいときは、 **中止** にタッチします。



6 携帯電話本体で、本機に表示されている機器名称を選択し、パスキーを入力します。

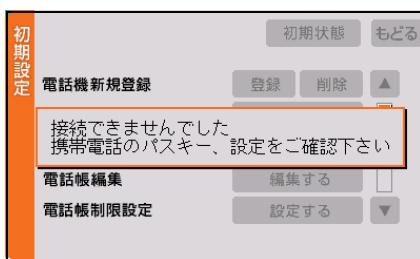
7 接続完了のメッセージが表示されます。

- 複数の携帯電話を使用する場合は、携帯電話の数だけ登録を繰り返します。



■ 接続失敗画面が表示されたとき

「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



アドバイス

- パスキーとは、Bluetooth 携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。(76 ページ参照)
- 携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- HFP に対応していない携帯電話は、本機に登録ができません。また、そのような携帯電話では、OPPのみのサービスは利用できません。
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。

- Bluetooth オーディオ再生中に携帯電話を登録する場合、Bluetoothオーディオの音声が途切れることができます。
- 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、本機の登録が完了しない場合があります。その場合、携帯電話側からBluetoothの接続を行ってください。

■ 携帯電話の接続

Bluetooth 携帯電話の本機への接続は、自動と手動の2通りの方法があります。

なお、携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

携帯電話を自動で接続する

自動電話機接続が **する** に設定されている場合、エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にするたびに、本機は選択されている携帯電話と自動的に Bluetooth 接続します。

■ 自動電話機接続を設定する

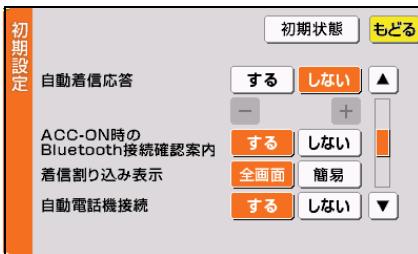
1 **メニュー** にタッチします。

2 **電話** にタッチします。

3 **初期設定** にタッチします。

4 自動電話機接続の **する**、または **しない** にタッチします。

- 通常は **する** を選択した状態で使用してください。
- 携帯電話は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。



5 **もどる** にタッチします。

アドバイス

- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがACCまたはONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFに設定してください。(設定については、携帯電話の取扱書をご覧ください。)
- ハンズフリーを使用する場合、他のBluetooth対応機器（ポータブルオーディオ）を使用しているときは、次のようになります。

- ・ 携帯電話のBluetooth接続が切断されることがあります。
- ・ ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
- ・ ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。

- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。

- Bluetooth オーディオ再生中に接続動作を行った場合、音声が途切れことがあります。



7. ハンズフリー機能について

- Bluetooth オーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中にBluetooth オーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。(60 ページ参照)

■ Bluetooth接続確認案内

初期設定画面（電話）のBluetooth接続確認案内で **する** を選択しているときは、Bluetooth接続されると、接続完了の案内が画面センター部に表示されます。(78 ページ参照)

ハンズフリーを使用するときは、この表示をご確認ください。



- Bluetooth が接続されたかどうかは、Bluetooth接続状態表示でも確認できます。(56 ページ参照)

■ 自動接続できなかった場合

自動接続は約60秒行います。自動接続を開始して約10秒経過した時点で接続完了していない場合「携帯電話が接続できませんでした。携帯電話を忘れていませんか?」というメッセージが表示され、同内容の音声案内が流れます。60秒以内に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(60 ページ参照)

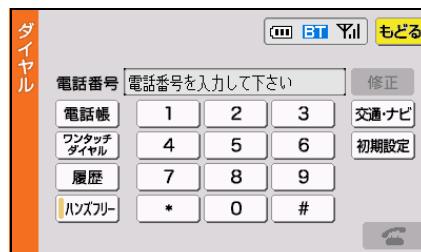
アドバイス

接続状況により、携帯電話がある場合でも案内が表示されることがあります。

携帯電話を手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや、自動接続 OFF 状態にしているときに Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

- 1 携帯電話をBluetooth接続可能な状態にします。
- 2 **メニュー** にタッチします。
- 3 **電話** にタッチします。
- 4 **ハンズフリー** にタッチします。



- 5 作動灯が点灯し、Bluetooth接続状態となります。
- 携帯電話の使用が可能です。
 - 作動灯が点灯中に再度、**ハンズフリー** にタッチすると、Bluetooth接続が解除されます。

アドバイス

- 接続完了の表示は、エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にした後、初めて携帯電話とBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されます。

接続失敗の表示がされてもその後接続できれば、接続完了の表示が1回のみ表示されます。

- 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

■ Bluetooth 接続の再接続について

エンジンスイッチが ACC または ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。この場合、接続完了しても表示はありません。

■ Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

携帯電話側からBluetooth接続をOFFにするなど、一度接続が成立したBluetooth接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

- 手動で接続する
- 改めて携帯電話を選択する（74 ページ参照）

アドバイス

再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。

電話のかけ方

本機では様々な方法で電話番号を呼び出し、電話をかけることができます。

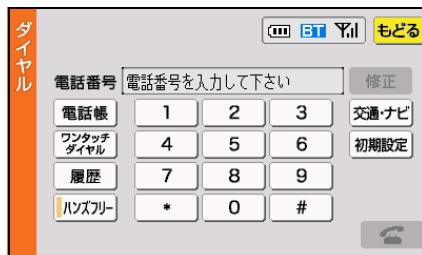
■ ダイヤル画面を表示する

1 メニュー にタッチします。

2 電話 にタッチします。

- ダイヤル画面が表示されます。

走行中に操作した場合は、ワンタッチダイヤル画面が表示されます。



- ダイヤル画面

この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

- ダイヤル発信（62 ページ参照）
電話番号を入力して電話をかける
- 電話帳発信（63 ページ参照）
本機の電話帳から電話をかける
- 履歴発信（64 ページ参照）
発信履歴または着信履歴から電話をかける
- ワンタッチ発信（65 ページ参照）
ワンタッチダイヤルから電話をかける
その他、次の方法で電話をかけることもできます。

7. ハンズフリー機能について

- 交通・ナビからの発信 (65 ページ参照)
ナビのデータから電話をかける
- 携帯電話本体からの発信 (66 ページ参照)
携帯電話本体から電話をかける

アドバイス

- ハンズフリーを使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点に注意してください。
 - ・ Bluetooth 携帯電話は、本機に携帯電話を登録してBluetooth接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(57 ページ参照)
 - ・ 携帯電話はBluetooth機能を使用できる状態にしてご使用ください。
携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。
 - ・ Bluetooth 接続状態表示が灰色の場合は、ハンズフリーはご使用になれません。
 - ・ 走行中は安全のため画面に電話番号などが表示されず、一部の操作ができなくなります。ただし、電話帳に登録されている電話番号のときは、電話帳に登録されている名称が表示されます。
 - ・ 電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。

■ ダイヤル発信する

電話番号を入力して電話をかけることができます。

ダイヤル画面を表示しているときに走行を開始すると、10 キーがトーンダウンして、操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。

1 ダイヤル画面で、1 行ずつタッチして電話番号を入力します。

● **修正** にタッチすると、最後の1行が消去できます。

タッチし続けると、最後から1行ずつ順に消去できます。



2 にタッチします。

3 発信すると、発信中画面が表示されます。

● 発信音が鳴った後、呼出音が鳴ります。



4

相手が電話に出ると、通話中画面が表示されます。

- この画面で通話ができます。



アドバイス

- 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
 - ・ 発信音や呼出音が鳴らず、無音になります。
 - ・ 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
 - ・ 通信事業者のサービスにより発信中画面で10キー入力する必要がある場合、10キー入力をしてトーン信号を送れないことがあります。10キー入力については、「10キー入力する」(69ページ参照)をご覧ください。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、Bluetoothオーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れことがあります。

電話帳発信する

あらかじめ電話番号を本機の電話帳に登録しておくことにより（79ページ参照）、登録した電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

1

ダイヤル画面で、**電話帳**にタッチします。

- 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。画面のメッセージにしたがって電話帳を登録してください。

2

必要に応じて、**電話帳選択**にタッチして、電話帳を切り替えます。

- ショートカットスイッチは、**その他**にタッチすると英数字ショートカット、**50音**にタッチすると50音ショートカットに切り替わります。

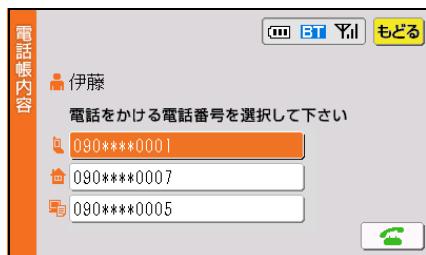


3

希望の通話相手にタッチします。

4

電話番号が2件以上登録してあるときは、希望の電話番号にタッチします。



5

にタッチします。

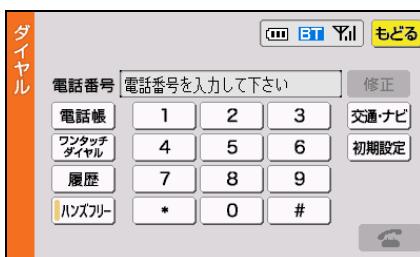
7. ハンズフリー機能について

■履歴発信する

過去に発信または着信した電話番号を、それぞれ最大5件記憶しています。それぞれの履歴は5件以上になると、古い履歴から自動で削除されます。

履歴に登録されている電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

- 1** ダイヤル画面で **履歴** にタッチします。



- 2** 必要に応じて、**発信履歴** または **着信履歴** にタッチして、履歴の表示を切り替えます。



- 3** 希望の通話相手にタッチします。

- 4** にタッチします。



アドバイス

- 着信履歴画面では、不在着信および着信拒否の電話番号の場合、それぞれアイコンが表示されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - 本機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も発信履歴に登録されます。
 - 同一電話番号から発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - 本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も着信履歴に登録されます。
 - 不在着信および着信拒否も着信履歴として登録されます。
 - 相手先電話番号の情報がない場合は、着信履歴に「通知不可」と表示されます。
- 履歴を削除したいときは、「履歴を削除する」(87ページ参照)をご覧ください。

■ワンタッチ発信する

電話帳に登録してある任意の電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておくことにより（85 ページ参照）、簡単な操作で電話をかけることができます。

また、ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

- 1** ダイヤル画面で、**ワンタッチダイヤル** にタッチします。

- 2** 希望の電話番号にタッチすると、発信されます。

- ページを切り替えるときは、**ワンタッチ1**、**ワンタッチ2**、**ワンタッチ3** のいずれかにタッチします。



■走行中に電話をかける場合

走行中にダイヤル画面を呼び出すと、ワンタッチダイヤル画面になり、ワンタッチで発信することができます。

アドバイス

走行中にワンタッチ発信する場合、タッチスイッチに電話番号は表示されません。

■交通・ナビから発信する

JAF（日本自動車連盟）や道路交通情報センターなどの電話番号を表示させることができます。また、設定されている目的地やお気に入り地点に電話番号が入力（155 ページ参照）されていれば、その地点の電話番号を表示させることができます。

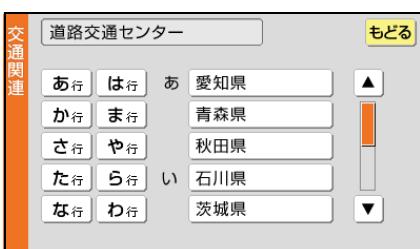
- 1** ダイヤル画面で、**交通・ナビ** にタッチします。

- 2** 表示させる項目にタッチします。

- **目的地** にタッチすると、名称と電話番号が表示されます。



- 3** 表示させる施設名称にタッチします。



7. ハンズフリー機能について

4

施設名称と電話番号が表示されます。

-  にタッチすると、呼び出した電話番号に電話をかけることができます。



アドバイス

- お気に入り地点に電話番号が入力されていないときは、リストを表示しますが電話番号を検索することはできません。
- 目的地に電話番号情報がないときは、タッチスイッチを表示しますが電話番号を検索することはできません。

■ 携帯電話本体から発信する

本機に Bluetooth 接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

警告

安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

■ ハンズフリー画面を表示する

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth 接続中であれば、メニュー画面で  にタッチすると、ハンズフリー画面が表示されます。

アドバイス

- 携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
 - ・ 携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に登録されません。
 - ・ 単独で通話中の携帯電話が本機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。

- 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書でご確認ください。

■ 発信を中断する

発信中画面で  タッチすると、発信を中断することができます。

- 携帯電話本体で電話を切った場合も、発信を中断します。(携帯電話接続時)
- 発信が中断されると、ハンズフリー画面が解除されます。

電話の受け方

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号が表示されません。(70 ページ参照)

■ 電話を受ける

- 1 表示中の画面に関わらず、電話がかかってくると着信音を鳴らして着信中画面を表示し、着信を通知します。



- 2  にタッチします。

- 通話中画面が表示されます。
- 通話終了後は、ハンズフリー画面が解除されます。

アドバイス

- 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご確認ください。
 - ・ ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
 - ・ 携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
 - ・ 着信音については、
 - ① 車両のスピーカーから聞こえる
 - ② 携帯電話から聞こえる
 - ③ 両方から聞こえる
- など、機種によって異なります。また、携帯電話の着信音が鳴らないときは、本機に登録されている着信音が鳴ることがあります。
- ・ 機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
- ・ 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
- 初期設定画面（電話）で自動着信応答を**する**に設定しておくと、自動で電話を受けることができます。（78 ページ参照）
- Bluetooth オーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。

着信中画面で操作する

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

電話を保留する（応答保留）

1 着信中、 にタッチします。

- 応答が保留されます。
- 応答保留中、**小** または **大** にタッチすると音量を調整できます。
- 応答保留中、 にタッチすると、電話を切って、ハンズフリー画面が解除されます。



2  にタッチします。

- 応答保留が解除され、通話できるようになります。



通話を転送する

Bluetooth 携帯電話では、応答保留中でも **通話転送** にタッチすると、通話を転送することができます。（70 ページ参照）

7. ハンズフリー機能について

着信音量を調整する

着信中画面で、**小** または **大** にタッチすると音量を調整できます。

着信拒否する

着信中画面で、 にタッチし続けると、着信拒否できます。ただし、携帯電話使用時は、携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

アドバイス

ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話の機種によっては、本機の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。
- 着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。

通話中の操作

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。(70 ページ参照)

通話中画面で操作する

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- 受話音量の調整
- 通話の終了
- 10キー入力
- 送話音のミュート
- 通話の転送



● 通話中画面

受話音量を調整する

通話中、次のいずれかの方法で調整します。

- 通話中画面で、**小** または **大** にタッチする。
- ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。(ステアリングスイッチ装着車の場合)

通話を終了する

通話中画面で  にタッチすると、通話を終了します。携帯電話使用時は、携帯電話本体で電話を切った場合も、通話は終了します。通話が終了すると、ハンズフリー画面が解除されます。

アドバイス

ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

- 画面に表示される通話時間は、通話時間の目安を表示します。そのため、携帯電話の表示と一致しないことがあります。
- 単独で通話中の携帯電話が本機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままで通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
- ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にする、またはエンジンをかけると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチがACCまたはONであれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(70 ページ参照)

10キー入力する

通話中画面で、**トーン** にタッチすると、トーン入力画面が表示され、10キー入力でできるようになります。



● トーン入力画面

送話音をミュート（消音）する

お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。(この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。)

通話中画面で **ミュート** にタッチします。

- ミュートを解除したいときは、再度 **ミュート** にタッチします。



アドバイス

携帯電話の機種により、送話音をミュート（消音）できない場合があります。

7. ハンズフリー機能について

通話を転送する

Bluetooth 携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。

ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

■ 画面で操作する

通話中画面または応答保留中画面で、**通話転送** にタッチします。

- 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

■ 携帯電話本体で操作する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

- 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、タッチスイッチでの操作ができます。
- 携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご確認ください。

アドバイス

画面で通話転送の操作をした場合、転送に失敗して音声が聞こえなくなることがあります。

簡易画面での操作

■ 簡易画面で操作する

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。

画面に電話番号および名称は表示されませんが、通常通り操作することができます。

電話が切れる、または電話を切ると、表示は解除されます。

■ 簡易画面

初期設定（電話）の着信割り込み表示（77ページ参照）で **簡易** を選択しているときに表示されます。



アドバイス

携帯電話の機種により、画面に電話番号が表示される場合があります。

ハンズフリーの設定

ここでは、ハンズフリーの各種設定方法について説明しています。

お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

■ 初期設定画面（電話）を表示する

1 メニューにタッチします。

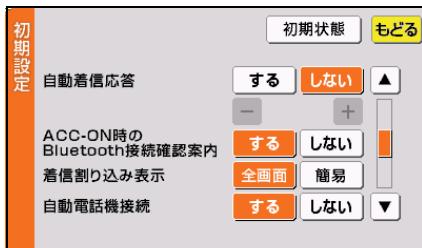
2 電話にタッチします。

3 初期設定にタッチします。

● 初期設定画面（電話）が表示されます。



● 初期設定画面（1ページ目）



● 初期設定画面（2ページ目）



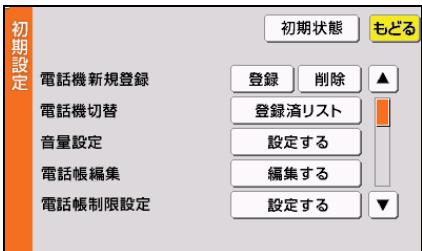
● 初期設定画面（3ページ目）

7. ハンズフリー機能について

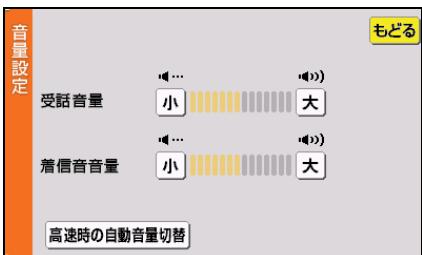
項目	設定 (タッチスイッチ)	機能	ページ
電話機新規登録	登録	携帯電話の登録	57
	削除	携帯電話の削除	77
電話機切替	登録リスト	使用する通信機器の選択	74
		電話機詳細情報の表示・変更	74
音量設定	設定する	ハンズフリーの各音量設定	73
電話帳編集	編集する	電話帳の転送・追加・登録・編集・削除	79~84
		ワンタッチダイヤルの登録・削除	85、86
電話帳制限設定	設定する	ロックNo.の変更	87
		電話帳・発着信履歴制限の設定	89
自動着信応答	する／しない	自動着信応答の設定	78
ACC - ON 時の Bluetooth 接続確 認案内	する／しない	ACC - ON 時のBluetooth接続確認案内の設定	78
着信割り込み表示	全画面／簡易	着信割り込み表示の設定	77
自動電話機接続	する／しない	自動電話機接続の設定	59
パスキー	変更	パスキーの変更	76
機器名称	変更	機器名称の変更	76
機器アドレス	-	機器アドレスの表示	76

■音量の設定をする

1 初期設定画面（電話）の音量設定で**設定する**にタッチします。



2 音量設定画面で各設定をします。



● 音量調整....右記

● 高速時の自動音量切替....右記

3 設定が終わったら、**もどる**にタッチします。

音量の設定をする

音量設定画面で、各音量の、**小** または**大** にタッチして調整します。

受話音量：通話相手の音声の音量が調整できます。

着信音量：着信音の音量が調整できます。

高速走行時の自動音量切替を設定する

音量設定画面で、**高速時の自動音量切替** にタッチするたびに、ON（自動で上がる）とOFF（上がらない）が切り替わります。

アドバイス

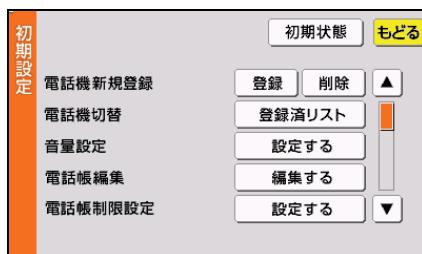
- 受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。
- 着信音音量は、着信中画面でも調整できます。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。工コーが出ることがあります。
- 高速時の自動音量切替をONにすると、車速が約80km/h以上になると、設定した音量が自動的に1段階上がるようになります。（車速が約70km/h以下になると、もとの音量に復帰します。）
- **初期状態** にタッチすると、初期設定（電話）の全項目が初期状態にもどります。

7. ハンズフリー機能について

■ 使用する通信機器を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。複数の携帯電話を使用するときは、必要に応じて通信機器を選択する必要があります。携帯電話は本機に最大5台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。

1 初期設定画面（電話）の電話機切替で**登録済リスト**にタッチします。



2 携帯電話を使用するときは、携帯電話をBluetooth接続可能状態にしておきます。

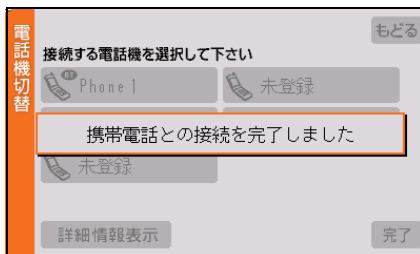
3 使用する携帯電話を選択しタッチします。



4 **完了**にタッチします。

● 他の携帯電話がBluetooth接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**はい**にタッチします。

5 接続完了のメッセージが表示されます。



アドバイス

- Bluetooth 接続中の携帯電話は、Bluetoothマークが表示されます。
- 携帯電話の登録については、「携帯電話の登録」（57ページ）を参照してください。
- Bluetoothオーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声が途切れことがあります。

■ 電話機詳細情報を表示する

電話機詳細情報は、本機に登録されている携帯電話に関する情報の表示と設定することができます。情報は、次の項目が表示されます。

- 機器名称 本機に表示される携帯電話の名称です。任意の名称に変更することができます。
- 機器アドレス 機器固有のアドレスで、変更することはできません。
- 自局電話番号 携帯電話の電話番号です。

1

電話機切替画面で、詳細情報を表示したい携帯電話を選択しタッチします。



2

「詳細情報表示」にタッチします。

- 電話機詳細情報画面が表示されます



- 電話機詳細情報画面

携帯電話の名称を変更する

本機に表示される携帯電話の名称を、任意の名称に変更することができます。全角で最大10文字、半角で最大20文字まで入力できます。

なお、本機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

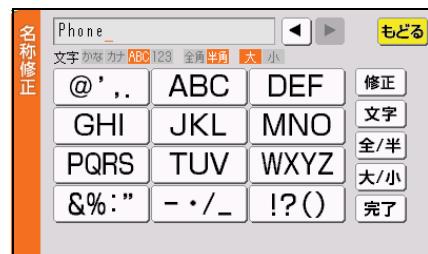
1

電話機詳細情報画面で **「変更」** にタッチします。



2

機器名称をソフトウェアキーボードで入力します。



7. ハンズフリー機能について

■ パスキー・機器名称を変更する

初期設定では、本機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。情報は、次の項目が表示されます。

● パスキー

携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。4~8桁の任意の数字に変更することができます。

● 機器名称

Bluetooth ネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。

● 機器アドレス

本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称やパスキーを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

1

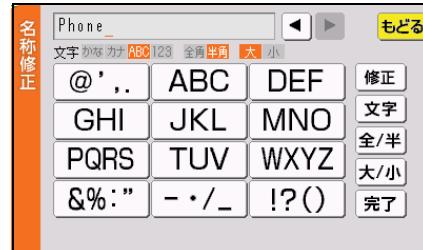
初期設定画面で、機器名称やパスキーを変更する場合は、この画面でそれぞれの **変更** にタッチします。



2

機器名称はソフトウェアキーボードで入力します。

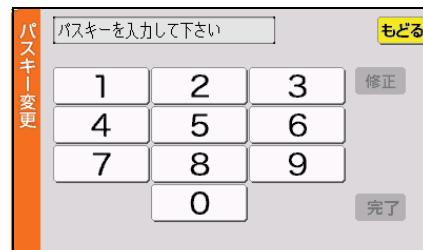
- 半角で最大20文字まで入力できます。
- 文字を修正するときは、**修正** にタッチします。



3

パスキーはパスキー変更画面で入力します。4~8桁の範囲で任意の数字を入力し、**完了** にタッチします。

- 数字を修正するときは、**修正** にタッチします。

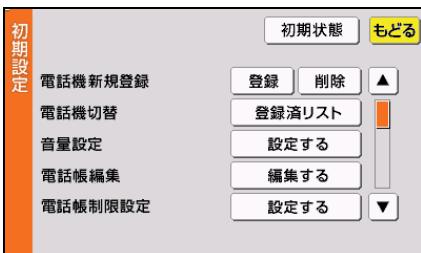


アドバイス

- **初期状態** にタッチすると、初期設定（電話）の全項目が初期状態にもどります。
- 機器名称を変更した場合、Bluetooth オーディオ設定の機器名称「機器名称およびパスキーを変更する」（311ページ参照）も同時に変更されます。パスキーについては、それぞれ別の数字を設定することができます。

■ Bluetooth 電話機の登録を削除する

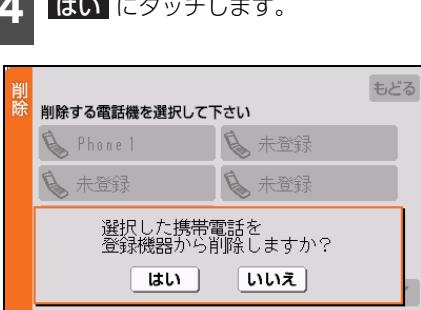
1 初期設定画面(電話)で、電話機新規登録の **削除** にタッチします。



2 削除する携帯電話にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

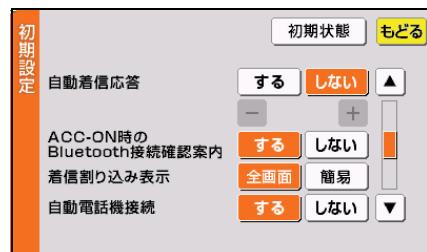


4 **はい** にタッチします。

■ 着信割り込み表示を変更する

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を選択できます。

1 初期設定画面(電話)で、着信割り込み表示の **全画面**、または **簡易** にタッチします。



● 全画面：

着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、タッチスイッチで操作することができます。



7. ハンズフリー機能について

● 簡易：

着信中、通話中および応答保留中に、電話番号および名称を表示しない簡易画面が表示されます。全画面同様、タッチスイッチで操作することができます。

⌚ アドバイス

携帯電話の機種により、画面に電話番号が表示される場合があります。

自動着信応答を変更する

自動着信応答を設定しておくと、電話がかかってきたときに、あらかじめ設定した待ち時間を経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話することができます。

1 初期設定画面で、自動着信応答の **する** にタッチします。

2 **-** 、または **+** にタッチして、自動応答するまでの待ち時間を1~60秒の間で設定します。

● 設定を解除するときは **しない** にタッチします。



⌚ アドバイス

初期状態 にタッチすると、初期設定の全項目が初期状態にもどります。

■ ACC-ON時のBluetooth接続確認案内を表示する

エンジンスイッチを OFF(LOCK)から ACC または ON にして、携帯電話と自動的に Bluetooth 接続したときに、接続確認の案内を画面センター部に表示するかしないかを選択できます。

1 初期設定画面で、ACC-ON時の Bluetooth接続確認案内の **する**、または **しない** にタッチします。



● Bluetooth接続確認案内

■ 自動接続できなかった場合

自動接続は約60秒行います。自動接続を開始して約10秒経過した時点で接続完了していない場合「携帯電話が接続できませんでした。携帯電話を忘れていませんか?」というメッセージが表示され、同内容の音声案内が流れます。60秒以内に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(60 ページ参照)

⌚ アドバイス

- **初期状態** にタッチすると、初期設定の全項目が初期状態にもどります。
- 携帯電話の機種により、Bluetooth 接続確認案内が表示されない場合があります。
- ACC-ON 時の Bluetooth 接続確認案内を **する** に設定した状態で、携帯電話との接続が確認できなかった場合、「携帯電話を忘れていませんか?」と案内表示と音声でお知らせします。
- 接続状況により、携帯電話がある場合でも案内が表示されることがあります。

電話帳の編集

■電話帳について

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

- 携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送する
- 本機の電話帳に新規登録する（82 ページ参照）
- 発信履歴または着信履歴から登録する（82 ページ参照）

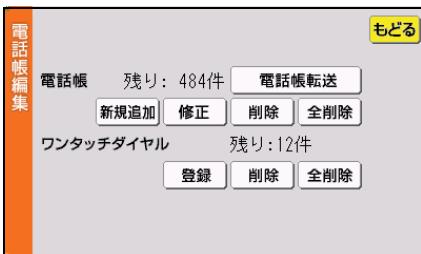
また、登録したデータは、本機で編集することができます。

この電話帳は 1 名につき最大 3 件の電話番号が登録でき、最大 500 名分のデータが登録できます。

また、各データは電話帳でまとめることができます。最大 5 つ使用できます。

■電話帳編集画面を表示する

初期設定画面（電話）の電話帳編集で **編集する** にタッチすると、電話帳編集画面が表示されます。



- 電話帳編集画面

電話帳編集画面から、以下の操作を行うことができます。

- 電話帳データの転送
- 新規データの追加（81 ページ参照）
- 電話帳データの修正（83 ページ参照）

- 電話帳データの削除（84 ページ参照）
- ワンタッチダイヤルの登録（85 ページ参照）
- ワンタッチダイヤルの削除（86 ページ参照）

アドバイス

低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。

■携帯電話の電話帳データを転送する

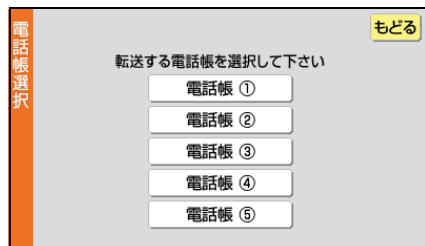
携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。本機の電話帳は、1 名につき最大 3 件の電話番号が登録でき、最大 500 名分のデータが登録できます。転送するときは、エンジンをかけた状態で行ってください。

この機能は、OPP に対応していない携帯電話では使用できません。

また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話に添付の取扱書を合わせてご覧ください。

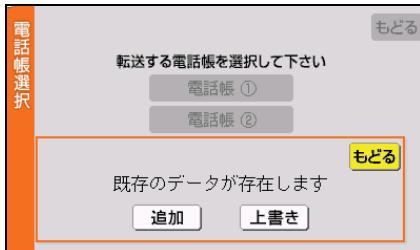
1 電話帳編集画面で、**電話帳転送** にタッチします。

2 電話帳データを転送したい電話帳を選択しタッチします。



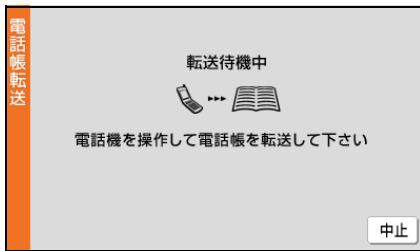
7. ハンズフリー機能について

- 3** 選択した電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法の確認メッセージが表示されます。既存のデータに上書きするときは**追加**、既存のデータに追加するときは**上書き**にタッチします。



- 4** 電話帳データ転送画面が表示されたら、携帯電話を操作して電話帳データを転送します。

- 携帯電話側の転送操作は、必ず下の画面を表示させた状態で行ってください。
- 転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままでお待ちください。
- 転送を中止したいときは、**中止**にタッチします。
- 転送が完了すると、転送完了のメッセージが表示され、電話帳編集画面にもどります。
- 転送失敗のメッセージが表示されたときは、転送操作を最初からやり直してください。



- 電話帳データ転送画面

アドバイス

- 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
 - ・ 携帯電話の電話帳で1つの名称に4件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
 - ・ 電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
 - ・ 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります。)
 - ・ 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
 - ・ 本機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
- 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められます。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。
- 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
 - ・ 転送には10分程度かかる場合があります。
 - ・ 電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。

- 電話帳データ転送中は、次のように対応します。

- ・電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
- ・電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
- ・電話帳データ転送中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンをかけて、再度転送操作をやり直してください。

- 次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。

- ・本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
- ・何らかの原因で転送が中断されたとき

- 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。

- 電話帳データ転送中は、Bluetooth オーディオの接続が切断されます。この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります。)

■電話帳に新規データを追加する

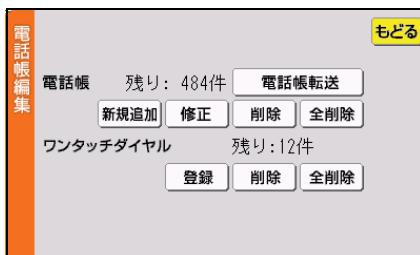
本機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。

電話帳には、1件のデータにつき、次の項目が登録できます。

- 名称、名称読み、電話番号（最大3件）、電話番号アイコン（各電話番号に1つずつ）、電話帳

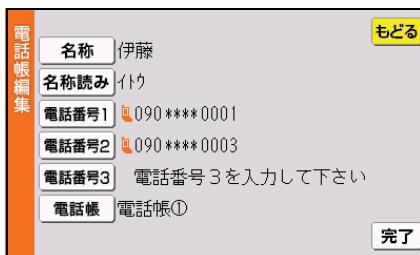
1

電話帳編集画面で、**新規追加** にタッチします。



2

電話帳編集画面（詳細）で、各項目のスイッチにタッチして編集します。（82 ページ参照）



●電話帳編集画面（詳細）

3

編集が終わったら、**完了** にタッチします。

次の画面からも、電話帳編集画面を呼び出して、電話帳を編集することができます。

■履歴内容画面

履歴内容画面（64 ページ参照）で、**新規登録** にタッチします。

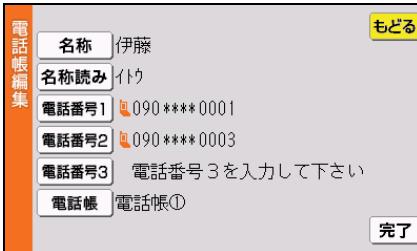


7. ハンズフリー機能について

名称、名称読みの編集をする

名称、名称読みは省略することができますが、その場合、電話帳画面には電話番号が表示されます。

- 1 電話帳編集画面（詳細）で、編集する項目のスイッチ（**名称**、**名称読み**）にタッチします。



- 2 ソフトウェアキーボードで入力します。



- 名称：
全角で最大12文字、半角で最大24文字まで
- 名称読み：
半角で最大24文字まで

電話番号を編集する

電話番号は、電話番号1、2、3にそれぞれ1件ずつ登録でき、1名につき最大3件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

- 1 電話帳編集画面（詳細）で、**電話番号1**、**電話番号2**、**電話番号3** またはにタッチします。

- 2 電話番号画面で電話番号を入力し、**完了** にタッチします。



- 3 アイコン選択画面で、アイコンを選択しタッチします。



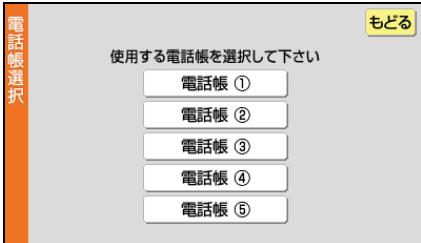
電話帳の選択をする

電話帳を設定しておくと、電話帳選択画面で電話帳単位で表示できるので、通話相手を素早く検索することができます。

電話帳は、**電話帳①**～**電話帳⑤**の5つの中から選択できます。

1 電話帳編集画面（詳細）で**電話帳**にタッチします。

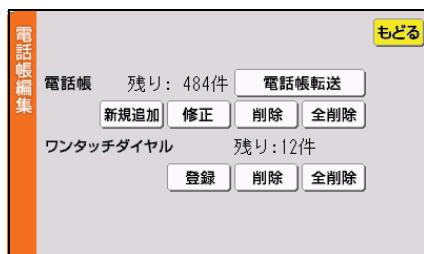
2 電話帳選択画面で、電話帳を選択しタッチします。



■電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

1 電話帳編集画面で、電話帳の**修正**にタッチします。

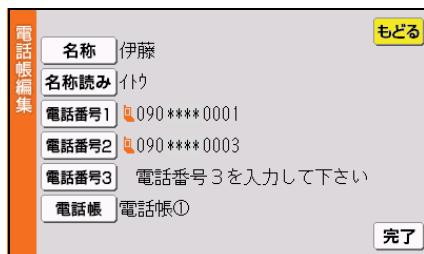


2 修正したいデータにタッチします。

● **電話帳選択**にタッチすると、電話帳を選択することができます。



3 各項目のスイッチにタッチして編集します。



4 編集が終わったら、**完了**にタッチします。

7. ハンズフリー機能について

■電話帳のデータを削除する

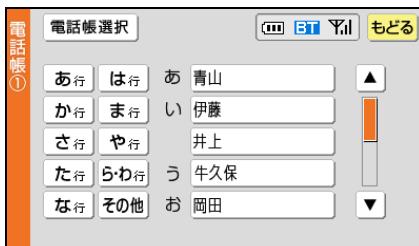
電話帳データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

電話帳のデータを個別に削除する

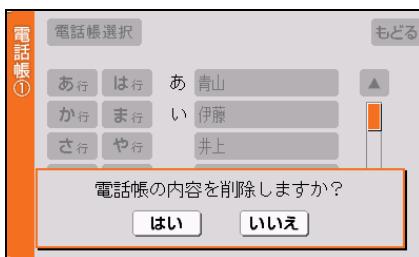
1 電話帳編集画面で、電話帳の **削除** にタッチします。

2 削除したいデータにタッチします。

● **電話帳選択** にタッチすると、電話帳を選択することができます。

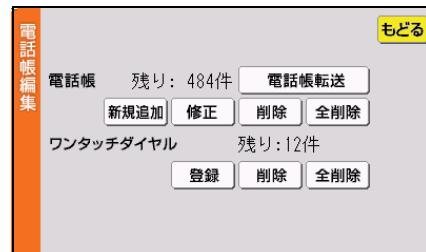


3 **はい** にタッチします。

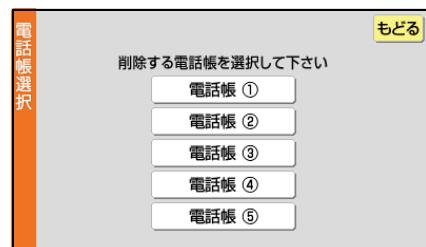


電話帳のデータをすべて削除する

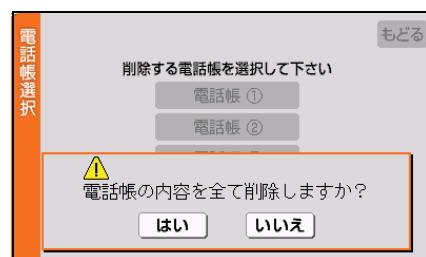
1 電話帳編集画面で、電話帳の **全削除** にタッチします。



2 削除する電話帳にタッチします。



3 **はい** にタッチします。



アドバイス

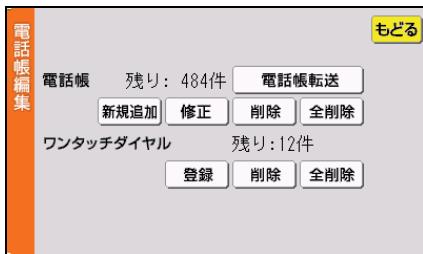
お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(96 ページ参照)

■ ワンタッチダイヤルを登録する

電話帳に登録してある任意の電話番号を、最大17件までワンタッチダイヤルに登録することができます。

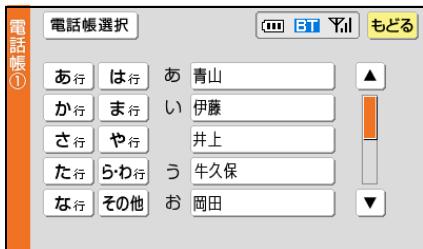
1 ページ目の6件目には、自動的に最新の発信履歴（リダイヤル）が登録されます。

1 電話帳編集画面で、ワンタッチダイヤルの **登録** にタッチします。



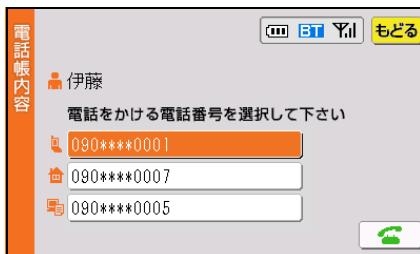
2 登録したいデータにタッチします。

● **電話帳選択** にタッチすると、電話帳を選択することができます。



3

登録したい電話番号にタッチします。



4

登録したいスイッチにタッチします。



5

登録済スイッチを選択したときは、置き換え確認のメッセージが表示されます。置き換えしてもよいときは **はい** にタッチします。



7. ハンズフリー機能について

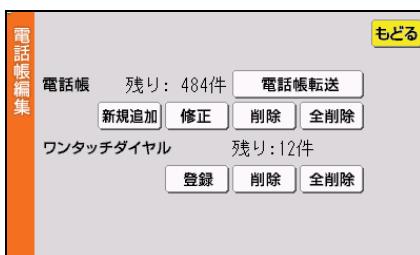
■ ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルの01～17は、個別に選択して削除できます。

全削除すると、17件すべてが削除できます。

ワンタッチダイヤルを個別に削除する

1 電話帳編集画面でワンタッチダイヤルの **削除** にタッチします。



2 削除したいワンタッチダイヤルのスイッチにタッチします。

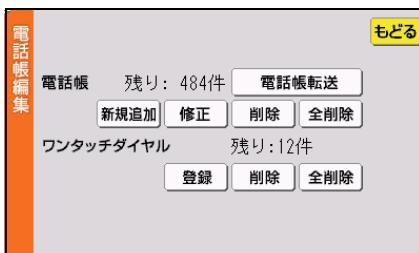


3 **はい** にタッチします。

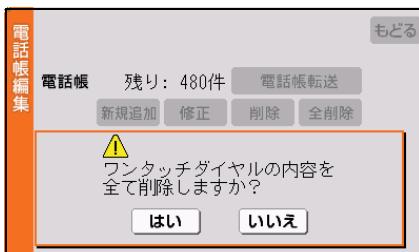


ワンタッチダイヤルをすべて削除する

1 電話帳編集画面でワンタッチダイヤルの **全削除** にタッチします。



2 **はい** にタッチします。



アドバイス

- ワンタッチダイヤルの01～17は、対応する電話帳のデータが削除されると、同時に削除されます。
- ワンタッチダイヤルのリダイヤルは、発信履歴をすべて削除した場合に削除されます。

履歴の削除

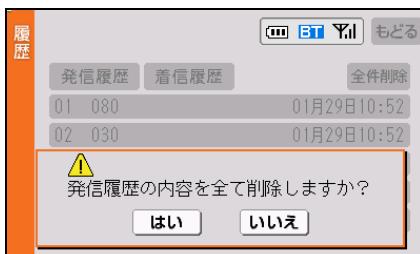
発信履歴および着信履歴のデータは、全件削除ができます。

■履歴を削除する

- 1 発信履歴画面または着信履歴画面(64 ページ参照)で、**全件削除**にタッチします。



- 2 **はい**にタッチします。



アドバイス

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(96 ページ参照)

電話帳制限設定の設定

■電話帳制限設定について

電話帳制限設定を設定すると、電話帳に関するハンズフリーの一部機能を使用できなくすることができます。

ホテルで車を預けるときなど、他人に登録してあるデータを見られたくないときにご利用になると便利です。なお、電話帳制限設定の設定および解除をするには、ロック No. の入力が必要です。

電話帳制限設定を使用するときは、必ずロック No. を変更してからご使用ください。

■ロック No. を変更する

電話帳制限設定の設定および解除をするには、ロック No. の入力が必要です。

ロック No. は 4 衡の数字で、初期設定は「0000」になっています。

電話帳制限設定を使用するときは、必ずロック No. を変更してからご使用ください。

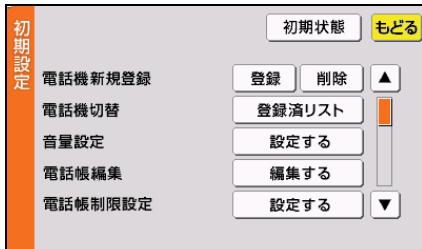
なお、ロック No. を変更するときは、他人にわかりにくい番号にしておいてください。

△ 注意

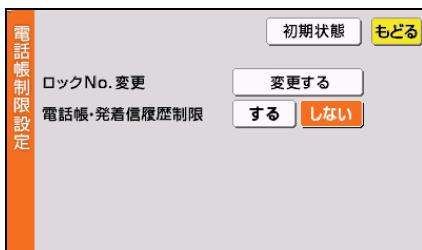
ロック No. を変更するときは、ロック No. を忘れないように管理してください。ロック No. を忘れると、販売店でも電話帳制限設定を解除することができません。万一ロック No. を忘れてしまった場合は、電話帳制限設定の初期化を行ってください。(89 ページ参照) ただし、電話帳制限設定の初期化を行うと、電話帳データも削除されます。

7. ハンズフリー機能について

1 初期設定画面（71 ページ参照）で、電話帳制限設定の **設定する** にタッチします。



2 ロックNo. 変更の **変更する** にタッチします。

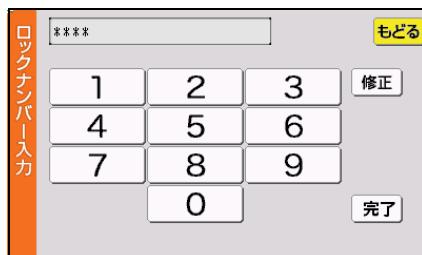


3 現在のロックNo.を入力します。

● 間違えたときは、**修正** にタッチすると、1 番号ずつ消去されます。



4 **完了** にタッチします。

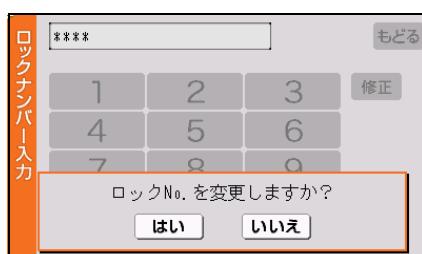


5 新しいロックNo.を入力します。

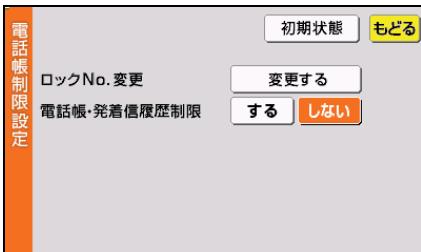


6 **完了** にタッチします。

7 **はい** にタッチします。



8 もどる にタッチします。

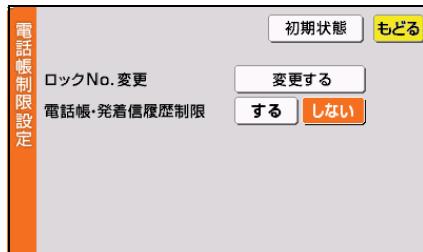


■ 電話帳・発着信履歴制限をする

電話帳・発着信履歴制限を設定すると、次の機能を使用できなくすることができます。

- 電話帳画面の表示、電話帳データの転送・登録・修正・削除、電話帳発信
- ワンタッチダイヤル画面の表示、ワンタッチダイヤルの登録・削除、ワンタッチダイヤル発信
- 発信時および着信時の相手先名称の表示
- 発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信
- 電話機詳細情報画面の表示
- ロックNo.の変更

1 電話帳制限設定画面で電話帳・発着信履歴制限の [する] にタッチします。



2 ロックNo. 入力画面が表示されます。
ロックNo.を入力し、[完了] にタッチします。



■ 設定を解除する

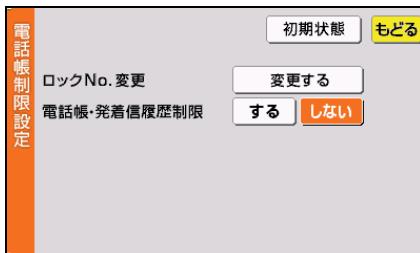
設定を解除するときは、電話帳制限設定画面で電話帳・発着信履歴制限の [しない] にタッチし、ロックNo.を入力します。

7. ハンズフリー機能について

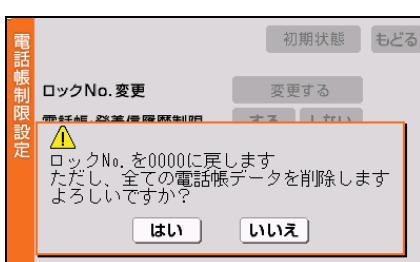
■ 設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

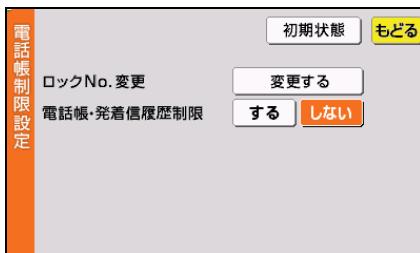
- 1 電話帳制限設定画面で **初期状態** にタッチします。



- 2 **はい** にタッチします。



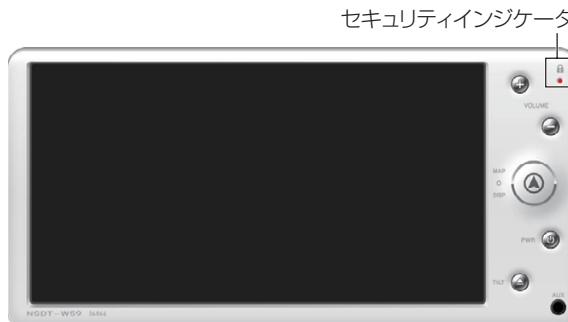
- 3 **もどる** にタッチします。



8. セキュリティを設定する

セキュリティを作動させる

本機に搭載されているセキュリティ機能は、ナビゲーションやオーディオをロックする機能です。セキュリティ機能作動中にバッテリーチャージャーをはずすと、再度接続しても、ナビゲーションやオーディオの機能が使用できなくなります。ロックを解除するには、セキュリティ機能を作動させるときに登録したパスワードが必要です。セキュリティ機能が作動しているときは、エンジンスイッチを OFF (LOCK) にするとセキュリティインジケーターが点滅します。



■ セキュリティ機能を設定する

セキュリティ機能を作動させるときには、本機にパスワードのヒント（パスワードを答えるとする質問文）とパスワードを登録します。登録が完了すると、セキュリティ機能が作動します。

パスワードのヒント：

自由に入力して登録する方法
マルチワードで設定 と、定型文から選択して登録する方法 **固定文より設定** があります。

パスワード：

自由に入力して登録します。

- パスワードには他人にわかりにくい言葉を登録してください。

セキュリティインジケーター

- 1 メニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。



- 2 設定 / 情報画面の **セキュリティ** にタッチします。

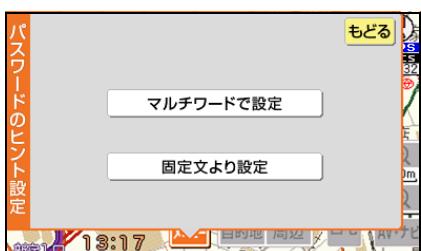


8. セキュリティを設定する

3 セキュリティ機能の**設定**にタッチします。

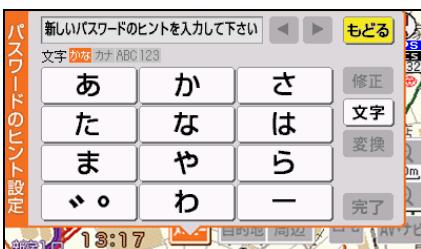


4 マルチワードで**設定**、または**固定文より設定**にタッチします。

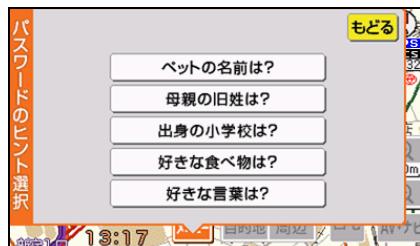


5 マルチワードで**設定**にタッチしたときは、ヒントを入力します。
固定文より設定にタッチしたときは、登録したいヒントにタッチします。

● 文字の入力方法は、「お気に入り地点の名称を入力する」(159ページ)を参照してください。



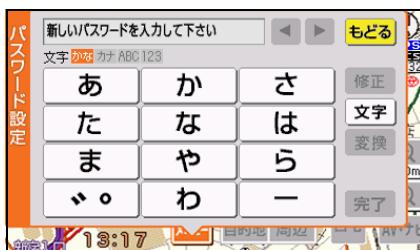
● マルチワード入力画面



● 固定文選択画面

6 パスワードを入力します。

● 文字の入力方法は、「お気に入り地点の名称を入力する」(159ページ)を参照してください。

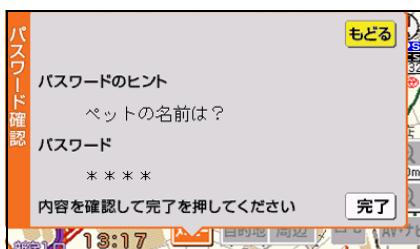


7 **確定**にタッチします。

8 **完了**にタッチします。

9 **完了**にタッチします。

● パスワードが登録され、セキュリティ機能が設定されます。



アドバイス

- ヒントとパスワードは全角12文字（半角24文字）まで入力することができます。全角／半角、大文字／小文字を区別しますのでご注意ください。
- 登録したパスワードは、ロックを解除するときに必要になります。登録したパスワードは忘れないよう控えておいてください。

■ パスワードを変更する

1 メニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。



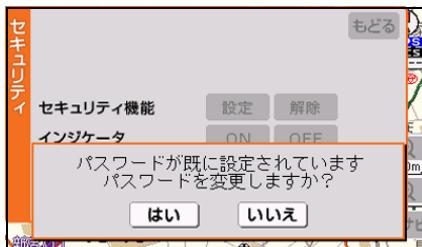
2 設定/情報画面の **セキュリティ** にタッチします。



3 セキュリティ機能の **設定** にタッチします。

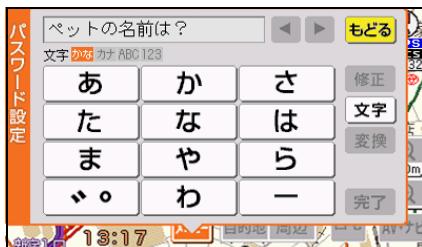


4 **はい** にタッチします。



5 現在のパスワードを入力します。

- 文字の入力方法は、「お気に入り地点の名稱を入力する」(159ページ) を参照してください。



6 **確定** にタッチします。

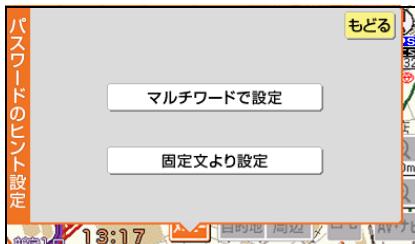
7 **完了** にタッチします。

8. セキュリティを設定する

8

新しいヒントとパスワードを登録します。

- ヒントとパスワードの登録方法については、「セキュリティを設定する」(91ページ)を参照してください。



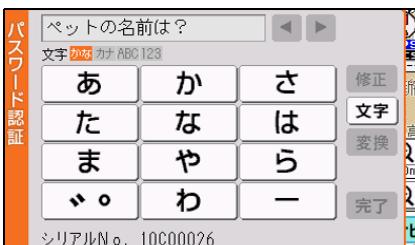
セキュリティのロックを解除する

セキュリティ機能が作動しているときにバッテリーターミナルをはずし、再度接続すると本機がロックされます。ロックを解除するには、パスワード認証画面で登録したパスワードを入力してください。

1

パスワードを入力します。

- 文字の入力方法は、「お気に入り地点の名称を入力する」(159ページ)を参照してください。



2

確定にタッチします。

3

完了にタッチします。

- 本機との照合が完了すると、ロックを解除します。

インジケータを解除する

セキュリティを設定中は、自動でインジケータが点滅します。インジケータの点滅を解除することができます。

1

メニュー画面で、**設定 / 情報**にタッチします。



2

設定 / 情報画面の**セキュリティ**にタッチします。



3

インジケータの**OFF**にタッチします。



アドバイス

セキュリティ機能が作動していない場合、インジケータの表示を **ON** に設定できません。

セキュリティを停止する

1 メニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。



2 設定 / 情報画面の **セキュリティ** にタッチします。

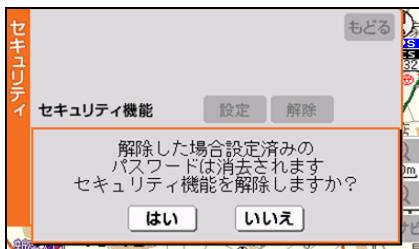


3 セキュリティ機能の **解除** にタッチします。



4

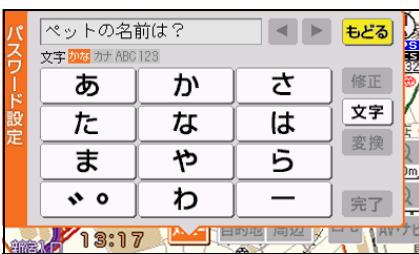
はい にタッチします。



5

現在のパスワードを入力します。

- 文字の入力方法は、「お気に入り地点の名称を入力する」(159ページ) を参照してください。



6

完了 にタッチします。

- 本機との照合が完了すると、セキュリティ機能を解除します。

アドバイス

パスワードを忘れた場合は販売店にご相談ください。

9. 個人情報をもとに戻す

個人情報の初期化

本機に登録した内容を消去し、初期状態にもどすことができます。初期化（消去）される項目は下記になります。

項目	初期化される内容
ナビ	走行軌跡
	目的地履歴
	お気に入り地点
AV	ラジオ、DTVでプリセットスイッチに記憶した周波数及びチャンネル情報
	DTVの個人情報データ ^{※1}
ハンズフリー	電話帳データ
	発信履歴および着信履歴
	ワンタッチダイヤル
	Bluetooth電話機の登録情報
	ロックNo.
	ハンズフリー関連の設定・編集項目
Bluetoothオーディオ	Bluetoothオーディオの登録情報

※1 プリセットCH、郵便番号設定、県域設定

アドバイス

一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。十分注意して初期化作業を行ってください。

1

メニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。



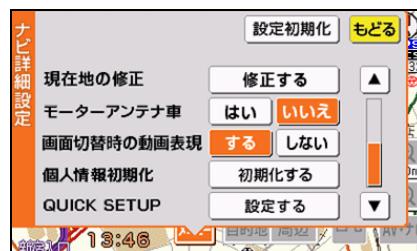
2

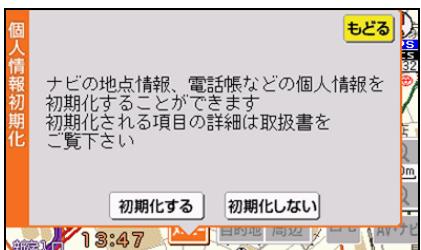
設定 / 情報画面の **ナビ詳細設定** にタッチします。



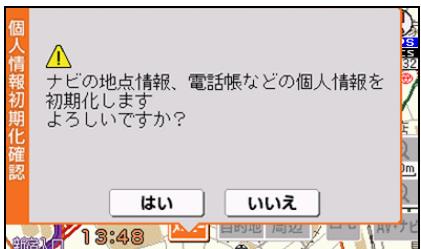
3

ナビ詳細設定画面で、個人情報初期化の **初期化する** にタッチします。



4 初期化するにタッチします。**5** はいにタッチします。

- 個人情報を初期化後、**3** の画面にもどります。



1. GPSボイスナビゲーションについて

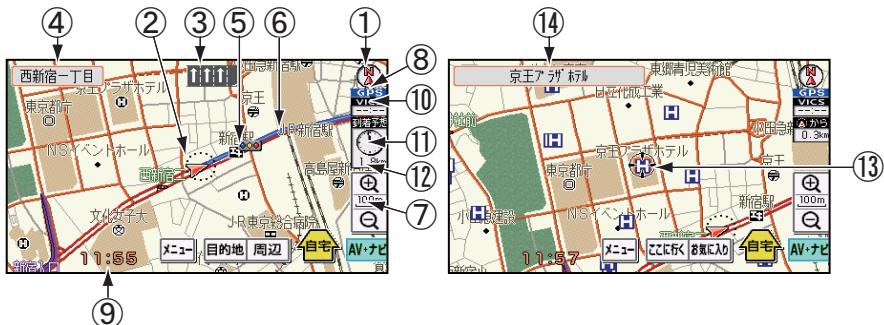
目的地を設定することによって、自動的にルートを探索し、音声と画面表示によるルート案内を行います。

GPS ボイスナビゲーションをお使いになる前に

- 地図データに情報が無い場合は、路線名の表示や施設の検索、ルートの案内などをすることができます。
- 本機が探索するルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート、早く行けるルート、渋滞していないルートではありません。
- 施設の表示やルートの案内などは、実際とは異なる場合があります。
- 到着予想時刻は、走行条件などにより、多少の誤差が生じる場合があります。
- 交差点案内や音声案内などは、状況により異なった案内が行われる場合があります。

ナビゲーション画面の見方

ナビゲーションの地図表示には現在地画面とスクロールさせた地図画面があります。



- ① 方位マーク (ヘディングアップ時は) 地図の方角が表示されます。

- 地図向き (ノースアップ/ヘディングアップ) の切り替えについては「地図向きの切り替え」(111ページ) を参照してください。

② 自車マーク

現在位置と車が向いている方角が表示されます。

③ レーン (車線) 表示

通過・分岐する交差点の車線が表示されます。(地図データに情報のある交差点のみ)

- 目的地案内中は走行を推奨する車線を表示します。

④ 名称表示 (西新宿一丁目)

状況により次の名称が表示されます。(地図データに情報のある地点のみ)

- 通過・分岐する交差点の名称
- 走行している道路の名称、または路線番号
- 通過するインターチェンジ (IC)・サービスエリア (SA)・パーキングエリア (PA) の名称 (高速道路を走行しているときのみ)
- 分岐するインターチェンジ (IC)・ジャンクション (JCT) の方面名称 (高速道路を走行しているときのみ)

⑤ 案内ポイント

交差点案内（車線表示・交差点名称表示・交差点拡大図）が表示されます。

- 交差点案内については、「交差点・レーン（車線）案内」（145ページ）を参照してください。

⑥ ルート表示

目的地を設定したとき、目的地までのルートが表示されます。

- 案内が行われるのは、濃い青（■）の表示上に現在地があるときです。

⑦ スケール表示

表示させている地図の縮尺が表示されます。

—— の長さがこの場合は 100m になります。

⑧ GPSマーク

GPS衛星からの位置情報の受信状態により、GPSマークは下記の色で表示されます。

・  (青色) :

GPS衛星の受信状態が4個以上のとき

 (黄色) :

GPS衛星の受信状態が3個以下のとき

 (赤色) :

GPS衛星を受信していないとき

ただし、GPSマークの表示色が青色のときでも、GPS衛星の状態などにより誤差が生じことがあります。

GPSは次のようなときに利用できないことがあります。

- ビル、トンネル、高架道路などでGPS衛星からの電波が遮断されるとき
- GPSアンテナのまわりに遮へい物があるなど電波が遮断されるとき
- GPS衛星が電波を出していないとき（米国の追跡官制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- デジタル式携帯電話（1.5GHz）をGPSアンテナ付近で使用したとき

⑨ 時計表示

現在の時刻が表示されます。

- 時計表示は常時表示されます。時計表示の時刻はGPS電波を利用して自動調整します。（操作することはできません。）

⑩ VICSタイムスタンプ 12:00

VICS情報が提供された時刻が表示されます。

- VICS情報の表示については、「VICS情報の表示」（178ページ）を参照してください。

- 地図上に表示されるマークについては、「地図に表示されるVICS表示マークについて」（183ページ）、または巻末の「**例**」を参照してください。

⑪ 到着予想時刻表示／目的地方向マーク

状況により次のマークが表示されます。

■ 到着予想時刻表示

目的地案内中、目的地へ到着する予想時刻が表示されます。

- 到着予想時刻については、「到着予想時刻表示の設定」（147ページ）を参照してください。

■ 目的地方向マーク

目的地案内中にルートからはずれたときは、目的地の方向が矢印で表示されます。

⑫ 残距離表示

現在地から目的地までの距離が表示されます。

- 目的地案内中は、表示されているルートを通っての距離が表示されます。

- ルートからはずれたときは、直線距離が表示されます。

⑬ カーソルマーク

検索した地図やスクロールさせた地図に表示されます。

スクロールするには地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチします。

⑭ カーソル位置地名表示

地図上の施設にタッチすると、施設名称が表示されます。

1. ナビメニュー画面・リスト画面について

ナビメニュー画面

ナビメニュー画面から、ナビゲーションの設定や編集をすることができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

2

設定、または編集したい項目スイッチにタッチします。

- 設定、または編集できる項目については、下記表を参照してください。



● ナビメニュー画面

項目（タッチスイッチ）	機能	ページ
施設表示	施設情報の表示・消去	115
地図向き	地図の向きの切り替え	111
電話	携帯電話でBluetooth通信を使用して情報の読み出し	125
携帯マニュアル	携帯電話でナビの操作説明を見る	38
全ルート	全ルート図の表示	136
VICS	VICS図形情報・文字情報の表示	181、182
	割り込み情報の表示	185
	VICS表示設定	176
お気に入り地点編集	お気に入り地点・自宅の登録・修正・消去	155
設定／情報	案内音量の設定	104
	自車位置マークの変更	107
	到着予想時刻（平均車速度）の設定	147
	ナビゲーションの詳細設定	101
	VICS提供放送局の選択	
	VICS情報表示の設定	173、176、180
	渋滞・規制音声案内の設定	
	走行軌跡の表示・解除	109
	セキュリティの設定	91
	カメラ表示優先設定	228
	BGMの設定	215
	使用データの表示	232
	ETC情報表示設定	190

ナビ詳細設定画面

1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

● ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**設定 / 情報**にタッチします。

3 **ナビ詳細設定**にタッチします。



4

各項目の設定スイッチにタッチすると、設定を行うことができます。

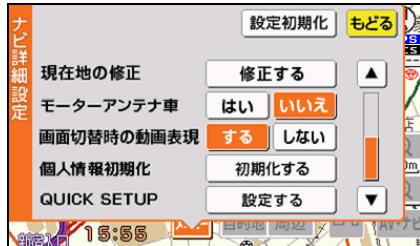
● 設定できる項目については以下の表を参照してください。

また、機能概要、初期設定（購入直後の設定）についても説明しています。

● 設定完了後、**もどる**にタッチすると設定は記憶され、直前の画面にもどります。



● ナビ詳細設定画面（1ページ目）



● ナビ詳細設定画面（2ページ目）

1. ナビメニュー画面・リスト画面について

項目	機能概要	設定 ^{※1} (タッチスイッチ)	ページ
車両ナンバー設定	ナンバープレートの分類を設定することができます。	1／3／5・7／軽	148
合流警告	高速道路走行中、自車マークが合流道路に近づくと、警告マークと音声で案内することができます。	する／しない	114
カーブ警告	自車マークが急カーブに近づくと、警告マークと音声で案内することができます。	する／しない	114
操作音の設定	パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音の設定をすることができます。	1／2／3／4／OFF	40
現在地の補正	現在地の位置修正をすることができます。	修正する	230
モーターアンテナ車	モーターアンテナ車の設定をすることができます。(お車のラジオアンテナがオートアンテナの場合)	はい／いいえ	43
画面切替時の動画表現	画面が切り替わるときの動きの表現を変更することができます。	する／しない	104
個人情報の初期化	登録した内容を消去し、初期状態に戻すことができます。	初期化する	96
QUICK SETUP	自宅の登録や案内音量、車両情報などを設定することができます。(初期設定サポート)	設定する	45

※1 太字は初期設定（購入直後の設定）です。

リスト画面の切り替え方

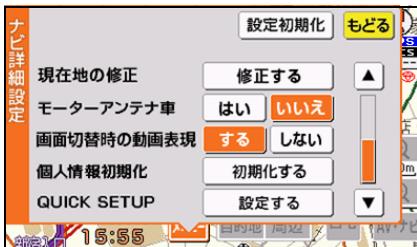
■リスト画面の切り替え表示

▲・▼にタッチすると、1ページずつリストが動きます。



【例】

上記画面の ▼ にタッチすると、次のリスト画面が表示されます。



■行の切り替え表示

あ行・か行・さ行・た行・な行・
は行・ま行・や行・ら行・わ行に
タッチすると、「あ行→か行」と行ごとにリ
ストが動きます。



【例】

上記画面の か行 にタッチすると、か行のリ
スト画面が表示されます。



2. 画面の調整・音声の設定

画面切り替え時の動画表現の設定

画面の切り替えを動きのある表現に設定することができます。(一部を除く)

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。

3 **ナビ詳細設定** にタッチします。



4 画面切替時の動画表現の **する**、または **しない** にタッチします。

- 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され、直前の画面にもどります。



音量の設定

ルート案内中に聞こえる音声の音量を調整することができます。

■ 音量を調節する

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。

3 **案内音量** にタッチします。



4 **消音**・**小**・**・**・**・**・**・**・**大** のいずれかにタッチします。



5 **完了** にタッチします。

■高速時の自動音量切り替えを設定する

高速走行中は、設定した音量が自動的に1段階上がるようになります。

自動音量切り替えをON（自動で上がる）にするか、OFF（上がらない）にするか、選ぶことができます。

アドバイス

- 高速時の自動音量切り替えを設定した場合、車速が約80km/h以上になると、音量が自動的に1段階上がり、車速が約70km/h以下になるととの音量にもどります。
- 初期設定は、自動音量切り替えはON（自動で上がる）に設定されています。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

● ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**設定／情報**にタッチします。

3 **案内音量**にタッチします。



4 **高速時の自動音量切替**にタッチします。



● スイッチがトーンアップされます。

5 **完了**にタッチします。

3. 地図の表示

現在地の表示

エンジンスイッチを ACC、または ON になると、現在地画面になります。

- 地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。
- 現在地以外の画面を表示させているときは、Ⓐ を押すと、現在地画面にもどります。

1 現在地画面で、Ⓐ を押します。

- 現在地付近の地名が表示されます。
- 現在地が道路上のときは、路線名・路線番号が表示される場合があります。（50m～200mスケール図のとき）



アドバイス

- 取り付け後、およびバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車マーク（Ⓐ）が表示されている（自車マーク（Ⓐ）がずれている）ことがあります。しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、自車位置が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

立体駐車場や地下駐車場などでGPS情報が利用されず、自車位置が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、自車位置の修正を行ってください。（230 ページ参照）

- 走行中は道路の表示が制限されます。

地図の移動（ワンタッチスクロール）

地図を表示させているときに、地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチすると、タッチした地点が画面の中心となり、地図を動かすこと（スクロール）できます。

1 地図にタッチ（タッチスイッチ以外の場所）します。

- 地図の右上に現在地からの直線距離が表示されます。
- 画面の中心付近にタッチし続けるとゆっくり連続して地図が移動します。
- 画面の端付近にタッチし続けると高速で連続して地図が移動します。

施設名称



アドバイス

- 安全のため、走行中の地図の移動は、一定の距離でのスクロールになります。
- ワンタッチスクロールで地図を動かすと、地図が固定され、現在地が移動しても地図は動きません。Ⓐ を押すと、もとの状態（地図が動く）にもどります。
- 地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（111 ページ参照）ができないことがあります。
- 地図の移動後、地図上の施設ランドマークにタッチすると、施設名称が約6秒間、画面の上部に表示されます。「施設の表示」（115 ページ参照）

自車位置マークの切り替え

地図上に表示される自車位置マークを切り替えることができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。

3 **自車位置マーク** にタッチします。



4 **ノーマル**・**クルマ**・**ヒヨコ**・**エンピツ** のいずれかのマークにタッチします。

- タッチしたマークが明るくなります。
- **ノーマル** にタッチすると、通常の自車位置マークを表示します。



5 **完了** にタッチします。

3. 地図の表示

希望の縮尺に切り替える

地図を1/2048万図～1/2500図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。

タッチスイッチ	縮尺	スケール表示	タッチスイッチ	縮尺	スケール表示
市街図	1/2500	25m		1/16万	1km
市街図	1/5000	50m	⊖	1/32万	3km
	1/1万	100m		1/64万	6km
	1/2万	200m		1/128万	10km
	1/4万	400m		1/256万	20km
	1/8万	800m		1/512万	50km
				1/1024万	100km
				1/2048万	200km

チェック

走行中は安全のため、縮尺を連続して切り替えることはできません。

1 地図の範囲を広くするときは **⊖** 、狭くするときは **⊕** にタッチします。

- タッチスイッチにタッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。
- **⊖** 、または **⊕** を約1秒以上タッチし続けると、縮尺を連続して切り替えることができます。

アドバイス

最大範囲（200kmスケール図）にすると **⊖** がトーンダウンします。また、最小範囲（50mスケール図）にすると **⊕** が市街図に切り替わります。（市街図が収録されている地域のみです。市街図が収録されていない地域は、市街図がトーンダウンします。）



■市街図を表示する

チェック

市街図は、収録されている地域の地図を50mスケールで表示している場合のみ表示されます。

1 市街図にタッチします。



- 市街図を表示した後、にタッチすると、市街図が解除されます。

アドバイス

- 市街図については、「市街図収録都市リスト」(339ページ)を参照してください。
- 市街図が収録されていない地域に地図、または現在地を移動させた場合、市街図表示は自動的に解除されます。
- 走行中に市街図を表示しているときは、地図の移動（スクロール）ができません。
- 市街図では、一方通行道路を→で表示します。
- 80km/h以上で走行したときには、市街図は表示できません。(70km/h以下の走行になった場合、市街図を表示します。)

走行軌跡の表示

走行した道路の軌跡（約1000km）を自動で保存し、表示することができます。

- 保存できる距離をこえて走行したときは、古い軌跡は消去して、新しい軌跡を保存します。



走行軌跡表示

3. 地図の表示

■走行軌跡を表示する

チェック

50m～50kmスケール図で表示させることができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

2 **設定／情報**にタッチします。



3 **走行軌跡表示**にタッチします。



■走行軌跡の消去・表示解除をする

1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

2 **設定／情報**にタッチします。



3 **走行軌跡解除**にタッチします。



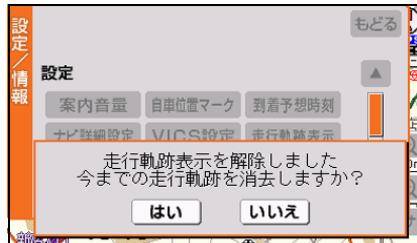
4 **はい**、または**いいえ**にタッチします。

● **はい** :

保存してある軌跡を消去して、表示も解除します。

● **いいえ** :

保存してある軌跡はそのままで、表示を消去します。



地図向きの切り替え

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

● ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図が表示されます。



● ノースアップ表示

● ヘディングアップ表示

車の進行方向がつねに上向きになるように地図が表示されます。



● ヘディングアップ表示

1

ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

2

地図向きにタッチします。

- タッチするたびに、ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。



アドバイス

- ヘディングアップ表示のとき、目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、ノースアップ表示になりますが、現在地画面にすると、ヘディングアップ表示にもどります。

- ヘディングアップ表示に切り替えると、自動的にフロントワイド表示に切り替わります。

フロントワイド表示について

画面の中心に表示される自車マークを、中心からずらして表示させることにより、進行方向の地図を広く表示させることができます。

本機は、地図向きをヘディングアップ表示に切り替えると、自動的にフロントワイド表示に切り替わります。「地図向きの切り替え」(111ページ参照)

- フロントワイド表示を解除したい場合は、地図向きをノースアップ表示に切り替えてください。

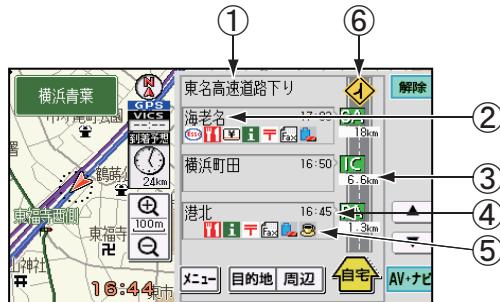
3. 地図の表示

高速略図画面

ルート案内中、高速道路走行中（東名高速道路、名神高速道路など）に、自動的に画面を左右に2分割して右側に高速略図画面を表示します。

チェック

マルチ画面の場合、ナビゲーション画面の部分は、高速略図のみの表示になります。



① 道路名称表示

走行中、または選んだ施設（SA・PA・IC）のある道路名称が表示されます。

② 施設名称表示

施設（SA・PA・IC）の名称が表示されます。

③ 距離表示

現在地からの距離が表示されます。

④ 通過予想時刻表示

選んだ施設（SA・PA・IC）の通過予想時刻が表示されます。

⑤ 設備マーク表示

選んだ施設【サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）】にある設備が最大7つまで表示されます。（ガソリンスタンドは常に先頭に表示されます。設備が多い場合、表示されないマークもあります。）

⑥ カーブ案内・合流案内・区間料金案内の表示

区間料金を表示します。また、カーブや合流が近づくと、カーブ案内、または合流案内を表示します。

■ 高速略図画面を操作する

1 ▲、または ▼ にタッチします。

- 選んだ施設 (SA・PA・IC) に切り替わります。



■ 高速略図画面を解除する

1 [解除] にタッチします。

- 高速略図画面が解除され、通常の地図画面に切り替わります。
- 再度、高速略図を表示するときは、通常の地図画面で [略図] にタッチします。
- 目的地案内中で、分岐点 [出口インターチェンジ (IC)、ジャンクション (JCT)] が近いときは、[拡大図] にタッチすると、高速分岐模式図が表示されます。



■ 設備マーク表示

マーク	内容
	身障者用施設
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	スナックコーナー
	休憩所
	レストラン
	お風呂
	コインシャワー
	ショッピングコーナー
	ドラッグストア
	ファックスサービス
	キャッシングコーナー
	コインランドリー
	自動販売機
	コイン洗車機
	仮眠室

3. 地図の表示

マーク	内容
	お手洗
	郵便ポスト
	ベビーベット
	身障者用電話
	公衆電話
	授乳室
	軽食
	コーヒーショップ

- ガソリンスタンドは、ロゴマークが表示されます。

アドバイス

- 対向車線の施設情報は表示されません。
- 通過予想時刻※は設定した平均車速（147ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じことがあります。
※ 通過予想時刻（④）には、VICS情報は考慮されません。
- サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）にはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、高速略図が解除されることがあります。
- 目的地案内中、出口インターチェンジ（IC）、分岐するジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）の手前では、高速分岐模式図（149ページ参照）が自動的に表示され、高速略図が解除されます。ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）のときは、高速分岐模式図が終了すると、自動的に高速略図にもどります。

道路形状警告（合流警告・カーブ警告）の設定

道路形状警告（下図参照）がある場所に近づくと、地図右上にマークを表示します。

【例】

形状	警告マーク
合流道路	
カーブ	



- 道路形状警告表示

■ 道路形状警告を設定する

道路形状警告を ON (警告する) にするか、OFF (警告しない) にするか、選ぶことができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **設定 / 情報** にタッチします。

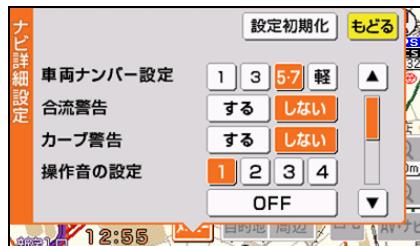


3 **ナビ詳細設定** にタッチします。



4 道路形状警告の項目の **する**、または **しない** にタッチします。

● 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され直前の画面にもどります。



アドバイス

合流警告の案内は、直前の分岐から距離が短い場合は案内されないことがあります。また、次のようなときは、道路形状警告が行われないことがあります。

- ・目的地案内開始直後
- ・目的地周辺

施設の表示

地図に 、または から半径約 10km 以内にある施設のマークを最大 200 件表示することができます。

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。(全ルート図表示画面を除く)



- 施設表示

アドバイス

- 、または が移動すると施設ランドマークの表示も切り替わります。
- 地図 “SDメモリーカード” を出し入れすると、施設表示の設定が初期化されます。

3. 地図の表示

■ 簡易操作で表示する

簡易操作で施設ランドマークを表示することができます。

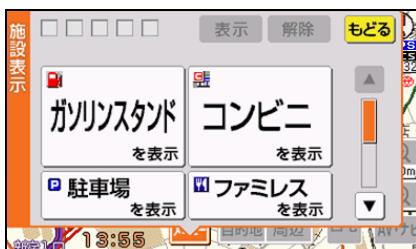
1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

2 **施設表示**にタッチします。

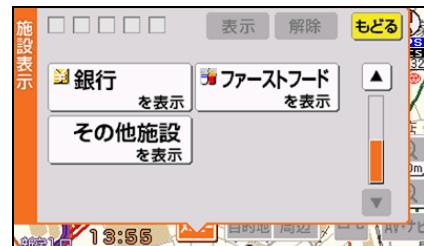


3 表示させる施設 **ガソリンスタンド**、**コンビニ**、**駐車場**、**ファミレス**、**銀行**、**ファーストフード**、**その他施設**にタッチします。

- タッチした施設ランドマークが表示されます。
- 表示させる施設は、最大5つまで選択することができます。
- もう一度タッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。



● 1ページ目



● 2ページ目

4 **表示**にタッチします。

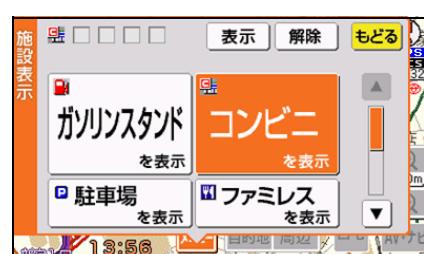
■ 施設ランドマークを消去する

1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

2 **施設表示**にタッチします。



3 **解除**にタッチします。



■複数ジャンルを表示する

複数（5ジャンルまで）の施設ランドマークを表示させることができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

2 **施設表示**にタッチします。



3 **その他施設を表示**にタッチします。



4 施設のジャンルにタッチします。



5

表示させる詳細な施設のジャンルにタッチします。

- マークが表示されていないジャンルにタッチしたときは、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。
- 5ジャンルまでの施設ランドマークを同時に表示させることができます。
- 全てにタッチすると、その項目のすべてのジャンルが選択されます。
- もう一度タッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。

施設表示



6

表示にタッチします。

施設表示



アドバイス

各ジャンルの **○○全て** を複数選択すると、より多くの施設ランドマークを表示させることができます。

3. 地図の表示

■周辺の施設を検索する

✿、または✿の10km以内にある施設を検索することができます。

1 現在地画面で、**周辺** にタッチします。

- 周辺施設検索画面が表示されます。

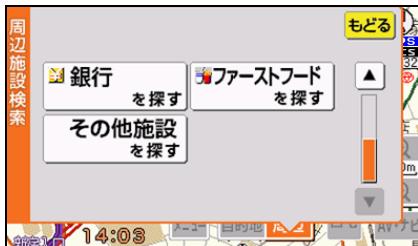
2 検索したい施設にタッチします。

- 選択した施設ランドマークが表示されます。

- **その他施設を探す** にタッチすると、リストが表示されます。検索したい施設にタッチします。



- 1ページ目



- 2ページ目

3 行きたい施設ランドマークにタッチします。

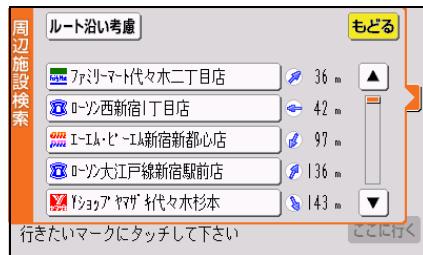
- 選んだ施設ランドマークを中心にした地図が表示され、施設の名称が表示されます。



- **近い順** にタッチすると、Ⓐ、またはⒷから近い施設順に並んだリストが表示されます。

- **もどる** にタッチすると、周辺施設検索画面にもどります。

- 目的地が設定されているときは、ルートに沿ったリストのみを表示することができます。「ルートを考慮したリストを表示する」(119ページ参照)



アドバイス

すでに目的地が設定されているときに、周辺施設検索で新規に目的地を設定すると、設定されていた目的地は消去されます。設定されていた目的地にもどす場合は、「履歴で地図を呼び出す」(126ページ) を参照してください。

■ルートを考慮したリストを表示する

目的地が設定されているとき、距離・方向をルートに連動したリストにすることができます。(距離の表示は道なり距離、マークの表示は施設がルートの左右どちらか、または現在地より後方を表示しています。)

チェック

目的地設定をしていないと、ルート沿い考慮を行うことはできません。

1 近い順にタッチします。



2 ルート沿い考慮にタッチします。

- ルートを考慮した順のリストに並びかわります。
- 施設名称にタッチすると、選んだ施設を中心とした地図が表示され、施設名称が表示されます。



- ルート沿い考慮表示

4. 地図の呼び出し方法

目的地の設定・自宅の登録・お気に入り地点の登録のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により呼び出し、表示させることができます。

地図の呼び出し方法を選ぶまでの手順については、各項目を参照してください。

● 目的地の設定のとき

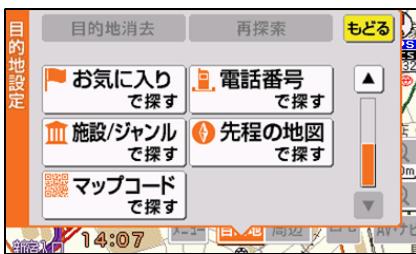


● 1ページ目

● お気に入り地点の登録のとき



● 1ページ目



● 2ページ目



● 2ページ目

● 目的地の設定 (134 ページ参照)

● お気に入り地点の登録 (155 ページ参照)

上の画面は、目的地設定・お気に入り地点登録のときの画面を代表として記載しています。表示された画面で、地図の呼び出し方法にタッチして項目を選択します。

項目（タッチスイッチ）		機能
目的地の設定のとき	お気に入り地点登録のとき	
50音で探す	50音から登録	施設の名称を入力することで、その施設周辺の地図を表示させることができます。（122 ページ参照）
住所で探す	住所から登録	住所を入力することで、その地点（または地域）の地図を表示させることができます。（123 ページ参照）
携帯電話で探す	携帯電話から登録	Bluetooth携帯電話で取得した位置情報を本機に転送して、地図を呼び出すことができます。（125 ページ参照）
履歴で探す	履歴から登録	過去に設定された目的地、または前回の出発地から、その地点周辺の地図を表示させることができます。（126 ページ参照）【目的地履歴が登録されているときのみ。目的地履歴については、「目的地履歴について」（143ページ）を参照してください。】
お気に入りで探す	お気に入りから登録	お気に入り地点周辺の地図を表示させることができます。（127 ページ参照）【お気に入り地点が登録されているときのみ。お気に入り地点については、「「地点の登録とは」（154ページ）を参照してください。】
電話番号で探す	電話番号から登録	電話番号を入力することで、その番号の施設周辺の地図を表示させることができます。また、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。（127 ページ参照）
施設／ジャンルで探す	施設／ジャンルから登録	現在地、目的地などの周辺施設を選びことで、その施設／ジャンルがある地図を表示させることができます。（128 ページ参照）
先程の地図で探す	先程の地図から登録	最後に表示していた地図を表示させることができます。（129 ページ参照）
マップコードで探す	マップコードから登録	マップコードを入力することで、その場所を特定し、地図を表示させることができます。（130 ページ参照）

4. 地図の呼び出し方法

50音で地図を呼び出す

部分的にわかっている施設の名称をひらがなで入力し、地域や市区町村名などで候補を絞り込んで地図を呼び出すことができます。

候補数が少ないとときは、リスト画面から直接選びます。

1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

2 **50音で探す** にタッチします。



3 **あ**～**わ**、**。。**、**ー** のいずれかの文字入力スイッチにタッチして、施設の名称を入力します。

● 文字入力について

- ・ **あ**～**わ** 行の同じ文字入力スイッチを続けてタッチすると、文字が順に送られ、入力されます。

[例]

「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」

- ・ **。。** (濁音、半濁音) の文字入力スイッチにタッチすると、濁音、半濁音が順に送られ、入力されます。

[例]

「」→「」

- ・ 入力している文字入力スイッチ以外の文字入力スイッチにタッチすると、カーソルが移動し、次の文字を入力することができます。

- **▶** にタッチすると、カーソルの位置を変更することができます。
- 間違えたときは、**修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。
- 1文字タッチするごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。

文字入力スイッチ



4 入力文字が確定したら、**確定** にタッチします。



5 **検索** にタッチします。

● 現在地周辺の都道府県リスト画面が表示されます。

● 入力した文字から検索された施設が40件以下の場合、**8** のリスト画面が表示されます。

6 都道府県名にタッチします。

- **指定なし** にタッチすると、全国リスト画面が表示されます。表示させる施設名称にタッチすると、地図が表示されます。表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(131ページ) を参照してください。



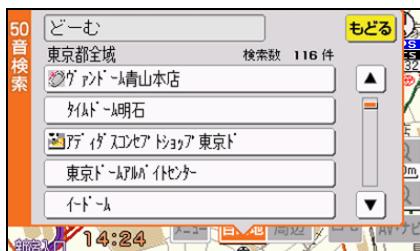
7 市区町村名にタッチします。

- リスト画面が表示されます。



8 リスト画面で、表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(131ページ) を参照してください。



アドバイス

- 入力文字は、最大で12文字までです。
- 入力中に検索先の候補が5件以下になり、約10秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国リスト画面が表示されます。

住所で地図を呼び出す

住所がわかっている場合は、住所から選んで地図を呼び出すことができます。

1 ナビゲーション画面で、[目的地] にタッチします。

2 [住所で探す] にタッチします。



4. 地図の呼び出し方法

3 都道府県名にタッチします。



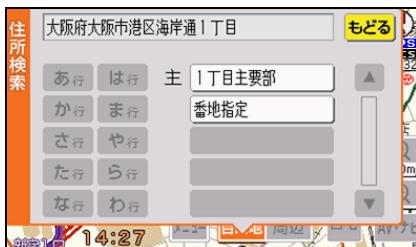
4 市区町村名・町名・丁目（字）の順で表示させる地名にタッチします。

- 住所の詳細がわからない場合は、**○○主要部**にタッチします。
タッチした地名の広域図が表示されます。
- **○○主要部**にタッチして地図を表示させた場合は、番地指定はできません。



5 丁目にタッチしたあと、**番地指定**にタッチします。

- 番地・号数を入力することができます。



6 **番地指定**にタッチしたときは、数字、または「ー」を1つずつタッチして番地を入力します。

- 間違えたときは、**修正**にタッチすると、1つずつ消去されます。



7 **検索**にタッチします。

- 入力した番地から検索された地図が表示されます。
- 表示された地図については「呼び出した地図の操作」(131ページ)を参照してください。
- 入力した番地に該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。

アドバイス

入力した番地に該当する住所がないときは、「該当する番地が検索できません エリアを拡大して地図を表示します」とメッセージが表示され、その住所付近の地図が表示されます。

携帯電話で地図を呼び出す

△ 警告

安全のため、運転者は走行中に携帯電話の操作をしないでください。

Bluetooth 携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を本機に転送して、その場所の地図を呼び出すことができます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。携帯電話の設定や利用方法については、各携帯電話会社にお問い合わせいただかず、携帯電話のパンフレット、専用カタログなどで確認することができます。

チェック

登録している携帯電話のみ使用することができます。

■ 本機の操作

1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

● 目的地設定画面が表示されます。

2 目的地設定画面で、**携帯電話で探す** にタッチします。



● 画面にメッセージが表示され、読み込んだ位置情報に該当する地図が表示されます。



- **中止** にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。
- 位置の変更や微調整をするときは、**△** にタッチします。



○ アドバイス

- 本機の情報を携帯電話に転送することはできません。
- 転送中に走行を開始した場合、前の画面に戻ります。ただし、携帯電話の操作が完了している場合、転送が完了してから前の画面に戻ります。
- 転送中にエンジンスイッチを OFF(LOCK) にした場合、転送が中止されます。その場合、エンジンスイッチを ACC、または ON にして再度操作します。
- 転送中に本機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、転送が中止されます。
- データ転送中は、Bluetooth オーディオ (304 ページ参照) の接続が切断されます。その場合、転送が終了すると、再接続されます (機種により、再接続できないことがあります)。
- 携帯電話の対応機種やアプリケーションの詳細については、販売店へご確認ください。

4. 地図の呼び出し方法

■施設情報を表示する

チェック

携帯電話から送信された目的地情報に情報がある施設のみ、**情報** が表示されます。

情報 は携帯電話から送信された目的地情報に「名称」、「住所」、「電話番号」の全てが無い時は表示しません。

1 **情報** にタッチします。



● **詳細情報を見る** にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。

履歴で地図を呼び出す

以前に設定した目的地を最新 100 件まで自動的に記憶し、簡単に同じ地点の地図を呼び出すことができます。

1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

● 目的地設定画面が表示されます。

2 目的地設定画面で、**履歴で探す** にタッチします。

3 リストから表示させる目的地履歴タッチします。

● 以前に設定した目的地の地図が表示されます。

● 目的地履歴には、以前、目的地に設定した日付が表示されます。

● 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(131ページ) を参照してください。



アドバイス

● 自宅は、目的地履歴に記憶されません。

● 目的地履歴を消去するには、「目的地履歴の消去」(143ページ) を参照してください。

お気に入り地点で地図を呼び出す

お気に入り地点をあらかじめいくつか登録しておけば、お気に入り地点から地図を呼び出すことができます。「お気に入り地点の登録」(155ページ参照)

- 1 ナビゲーション画面で、**目的地**にタッチします。
- 目的地設定画面が表示されます。
- 2 **お気に入りで探す**にタッチします。
- 3 リストから表示させるお気に入り地点タッチします。
- お気に入り地点の地図が表示されます。
- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(131ページ)を参照してください。
- **登録順**にタッチすると、登録した順にリストが並びかわります。
- **記号順**にタッチすると、マークの種類順にリストが並びかわります。



電話番号で地図を呼び出す

電話番号がわかっている場合、電話番号を入力すると、登録されている施設(ピンポイント検索)の場合は、周辺の地図を、それ以外はその局番を使用している周辺の地図を呼び出すことができます。

- 1 ナビゲーション画面で、**目的地**にタッチします。
- 目的地設定画面が表示されます。
- 2 **電話番号で探す**にタッチします。
- 3 数字を1番号ずつタッチして入力します。
- 市外局番から入力します。
- 市内局番まで検索する場合は、6桁(一部地域は5桁)入力した後、**検索**にタッチします。
- 間違えたときは、**修正**にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



4. 地図の呼び出し方法

4 検索にタッチします。

- 入力した番号から検索された地図が表示されます。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 表示された地図については「呼び出した地図の操作」(131ページ)を参照してください。
- 入力した番号に該当する施設がないときは、市内局番まで入力したときは、入力した市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称を選ぶ下記リスト画面が表示されます。
- 表示させる施設名称にタッチすると、地図が表示されます。表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(131ページ)を参照してください。



アドバイス

- 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。検索できない場合は、他の方法で地図を呼び出してください。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
 - ・ デパートの美術館、アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このとき、電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。

一般情報誌などではホールなどの電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このとき、電話番号を入力すると、ホール名ではなく、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地周辺の地図が表示されます。

- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。

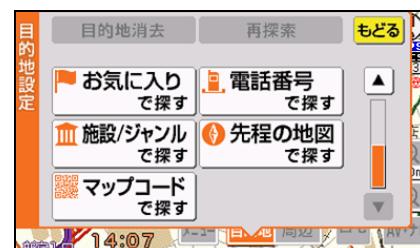
施設／ジャンルで地図を呼び出す

施設／ジャンルから地図を呼び出すことができます。

1 ナビゲーション画面で、[目的地]にタッチします。

- 目的地設定画面が表示されます。

2 目的地設定画面で、[施設／ジャンルで探す]にタッチします。



3 施設のジャンルにタッチします。



4

施設の詳細ジャンルにタッチします。



5

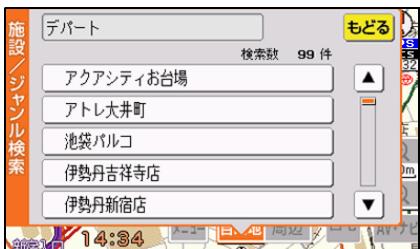
都道府県名にタッチします。



6

施設名称にタッチします。

- タッチした施設の地図が表示されます。
- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(131ページ) を参照してください。



最後に表示していた地図を呼び出す

最後に表示していた地図を呼び出すことができます。

1

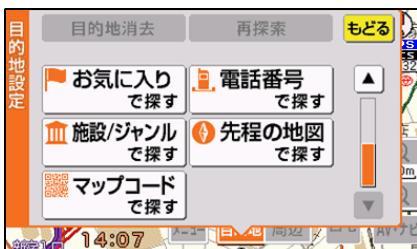
ナビゲーション画面で、[目的地] にタッチします。

2

先程の地図で探す にタッチします。

● 最後に表示されていた地図が表示されます。

● 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(131ページ) を参照してください。



4. 地図の呼び出し方法

マップコードで地図を呼び出す

マップコードから地図を呼び出すことができます。

1 ナビゲーション画面で、**目的地**にタッチします。

2 **マップコードで探す**にタッチします。

3 数字を1番号ずつタッチして入力します。

● 間違えたときは**修正**にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



4 **検索**にタッチします。

● 入力したマップコードから検索された地図が表示されます。
 ● 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(131ページ)を参照してください。

アドバイス

● マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号（標準マップコードの場合）でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、場所を特定していましたが、住所では特定できないところ（景勝地や山、川、海など）もマップコードで位置を特定することができるようになります。

● 標準マップコード（6～10桁）の後に*を入力し、高分解能マップコード（1～2桁）を入力することで、より詳細な位置を特定することができます。

● マップコードについては、次のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。

<http://www.e-mapcode.com>

● マップコードは、お気に入り地点（157ページ参照）を登録すると、修正画面に表示されます。

● 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

5.呼び出した地図の操作

ピンポイントで検索できた地図、またはピンポイントで検索できない地図（周辺）のどちらかが表示されます。ピンポイントで地図が表示されなかった場合、位置を調整してさらに検索することができます。

- ピンポイントで検索された場合、呼び出した地図に  マークと地点名称が表示されます。



- ピンポイントで検索できたとき



- ピンポイントで検索できないとき

位置の変更

- 1  にタッチして地図を動かします。

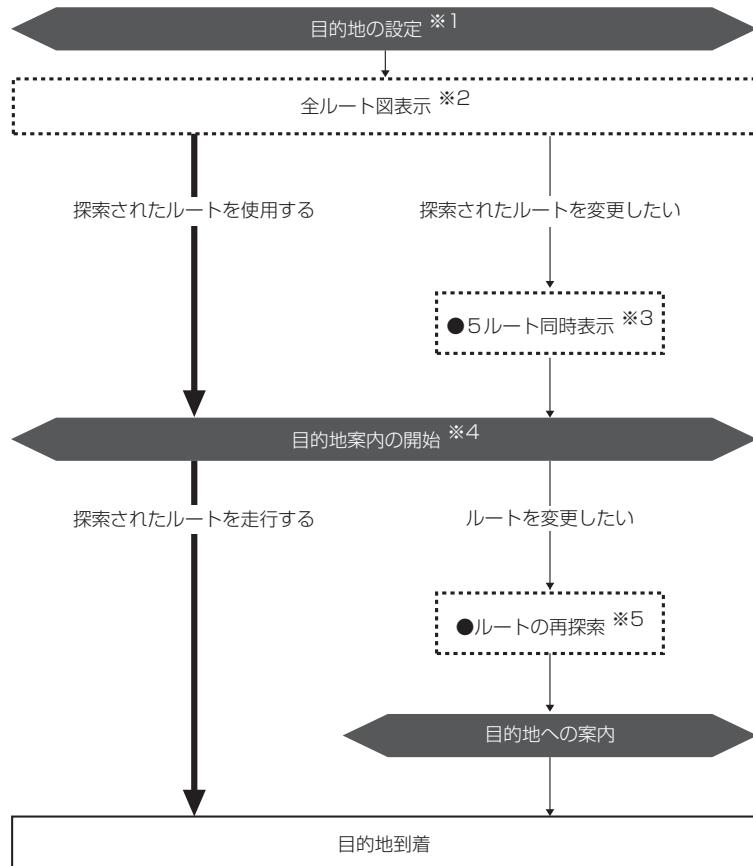


アドバイス

お気に入り にタッチすると、お気に入り地點に登録することができます。（155 ページ参照）

1. 目的地設定・ルート探索について

目的地へ案内するまでのルート探索の探索条件を設定することができます。



※1 「目的地の設定」 (134ページ参照)

※2 「全ルート図表示」 (136ページ参照)

※3 「5ルート同時表示 (5ルート探索機能)」 (138ページ参照)

※4 「案内の開始」 (144ページ参照)

※5 「ルートの再探索」 (153ページ参照)

2. 目的地を設定してルート探索

目的地案内（ルート案内）を行うには、目的地を設定することから始めます。目的地を設定するには以下の方法があります。

- 地図スクロールから設定
- 自宅から設定
- 地図の呼び出し方法から設定

項目	設定方法
地図スクロールから設定	地図をスクロールさせて ここに行く にタッチして設定します。
自宅を設定	自宅 にタッチして設定します。自宅を登録していないと使用できません。自宅が登録されていないときは、自宅を登録するメッセージが表示されます。 はい にタッチすると自宅を登録する画面に切り替わります。「自宅の登録」（156ページ参照）
地図の呼び出し方法から設定	地図の呼び出し方法から検索して設定します。「地図の呼び出し方法」（120ページ参照）

目的地を設定すると、自動的に推奨ルートの探索が始まります。

推奨ルート以外のルートを設定するときは、ルート探索後に設定します。

アドバイス

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶（最大100カ所まで）され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は消去することもできます。「目的地履歴の消去」（143ページ参照）

2. 目的地を設定してルート探索

目的地の設定

チェック

目的地を設定する場合は800mスケール図以下の詳細な地図で設定してください。

■地図スクロールから設定する

地図（タッチスイッチ以外の場所）にタッチして地図を移動します。

1 タッチスイッチ以外の場所にタッチします。

2 **ここに行く**にタッチします。

- 800mスケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。
-  の位置に目的地が  マークで表示され、ルート探索が開始されます。



- **ここに行く**にタッチしたとき、高速道路や有料道路、トンネルの付近では、目的地の道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。この場合は、**設定する**、または**他の道路**にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



■自宅を設定する

1 ナビゲーション画面で、**自宅**にタッチします。

- 自宅が登録されていないときは、**自宅**にタッチすると、自宅を登録するメッセージが表示されます。**はい**にタッチすると自宅を登録することができます。



2 **はい**にタッチします。

- 自宅を目的地が  マークで表示され、ルート探索が開始されます。



■ 地図の呼び出し方法から設定する

- 1 ナビゲーション画面で、**目的地**にタッチします。

- 2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」(120ページ)、「呼び出した地図の操作」(131ページ)を参照してください。



- 3 **ここに行く**にタッチします。

-  の位置に目的地が  マークで表示され、ルート探索が開始されます。



- **ここに行く**にタッチしたとき、高速道路や有料道路、トンネルの付近では、目的地の道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。この場合は、**設定する**、または**他の道路**にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



ルート探索

目的地を設定すると自動でルート探索を開始します。

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替ても探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるとときは、ルートは表示されません。
- ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。「全ルート図表示」(136ページ参照)

アドバイス

- ルートの探索は、道幅が5.5m以上の道路を対象としています。しかし、主要道路が5.5m未満の場合は、道路は灰色で表示され、ルート探索は行われません。
- 高速道路や有料道路のインターチェンジ(IC)・サービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、「ルートの再探索」(153ページ)を行ってください。

2. 目的地を設定してルート探索

全ルート図表示

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

探索されたルートが青色の表示色で表示されます。

- 全ルート図が表示されたあと、Ⓐ を押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときは、自動的に目的地案内が開始されます。



- ルート探索終了（全ルート図）画面

全ルート図の表示・タッチスイッチについて

全ルート図では、現在地から目的地までの到着予想時刻や距離などが表示されます。また、画面のタッチスイッチから探索されたルートを変更したり、案内の情報を表示することができます。



■表示について

最終目的地までの表示になります。

① インターチェンジ (IC) 名称表示

有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ (IC) の名称が下に、一番最後に出るインターチェンジ (IC) の名称が上に表示されます。

② 使用道路概要案内

- 有料道路を通る道が探索された場合：
有料道路の距離、フェリー利用のある/なしが表示されます。
- 有料道路を通らない道が探索された場合：
国道（番号）、または一般道表示、距離、フェリー利用のある/なしが表示されます。

③ 料金案内

目的地までに通るすべての有料道路の料金が表示されます

- 料金が特定できないときは、「不明」または「○○○円以上」と表示されます。
- 全ルート図を再表示したときは、全料金が表示されます。全ルート図の再表示については「全ルート図の再表示」（152ページ）を参照してください。

④ 距離表示

目的地までの距離が表示されます。

⑤ ICマーク

有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ (IC) と、一番最後に出るインターチェンジ (IC) の位置に表示されます。

⑥ 到着予想時刻表示

目的地への到着予想時刻が表示されます。

⑦ 残距離表示

目的地まで、表示されているルートを通っての距離が表示されます。（目的地案内開始後でルートからはずれたときは、目的地までの直線距離が表示されます。）

2. 目的地を設定してルート探索

■タッチスイッチについて

全ルート図表示画面で、タッチスイッチにタッチすると、次のことができます。

① 5ルート

別のルートを表示させ、選ぶことができます。

② 案内開始

(目的地案内開始後は、**案内にもどる**)

目的地案内、またはデモンストレーションを開始させることができます。(144 ページ参照) 目的地案内開始後は、現在地画面にもどります。

アドバイス

- 到着予想時刻は設定した平均車速(147 ページ参照)から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じことがあります。
- 交通規制(常時進入禁止、時間による進入禁止など)区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に  が表示されることがあります。
- 目的地案内開始後にも全ルート図を表示させることができます。(152 ページ参照)
- 料金は設定した車両ナンバー(148 ページ参照)から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。

季節規制区間のメッセージ表示

長期間にわたり規制される区間(冬季通行止めになる道路など)を含むルートが探索されたときは、画面にメッセージが表示されます。



- 季節規制区間メッセージ表示

5ルート同時表示 (5ルート探索機能)

目的地を設定すると推奨ルートが探索され、現在地から目的地までの全ルート図が表示されます。推奨ルート以外に有料道路優先ルート、一般道路優先ルート、距離優先ルート、別ルートの合計 5 ルートを同時表示させて選ぶことができます。探索が終了したルートから順に表示されます。

チェック

次のときは、5ルート同時表示はできません。

- 目的地案内が開始されたあと。

1 全ルート図表示画面で、**5ルート**にタッチします。

- 5つのルートが色分けされて表示されます。



2 **全行程**にタッチします。

- 5つのルートの料金・距離・所要時間が表示されます。
- ルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。



3 ルート名称にタッチします。

- タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。
- 5つのルートの特長については下記を参照してください。

探索条件	特長
推薦	現在地から次の目的地の間で、一般的なルートが探索されます。
有料道優先	現在地から次の目的地の間で、有料道路を優先してルートが探索されます。
一般道優先	現在地から次の目的地の間で、一般道路を優先してルートが探索されます。
距離優先	現在地から次の目的地の間で、距離の短いルートが探索されます。
別ルート	現在地から次の目的地の間で、他のルートとは別のルートが探索されます。

探索条件	料金	全行程	所要時間	もどる
推薦	12250円	531km	6時間50分	
有料道優先	12250円	531km	6時間50分	
一般道優先		538km	17時間57分	
距離優先	4900円	496km	13時間28分	
別ルート	13450円	592km	8時間45分	

様々な探索条件のルートを選択することができます

アドバイス

- 料金は設定した車両ナンバー（148 ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 所要時間は設定した平均車速（147 ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

2. 目的地を設定してルート探索

渋滞考慮探索

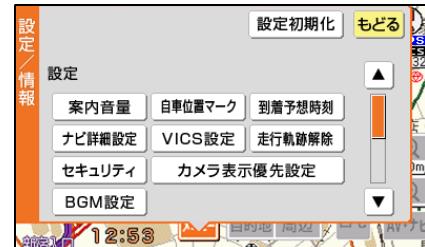
受信した VICS 情報（172 ページ参照）から交通状況を考慮して、ルートを探索することができます。また、5ルート同時表示（138 ページ参照）やルートの探索条件などが渋滞を考慮したルートになります。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **設定 / 情報** にタッチします。



3 **VICS 設定** にタッチします。



4

渋滞考慮探索の **する**、または **しない** にタッチします。



- 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され、直前の画面にもどります。

アドバイス

- オプションの光・電波ビーコンVICSユニットを接続時のみ設定ができます。
- FM多重放送のみのVICS情報では、渋滞考慮探索は行われません。
- 現在地から約 10km 以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮されません。

3. 探索ルートの変更

目的地案内中に、設定した目的地を変更したり、消去したりすることができます。

目的地の変更

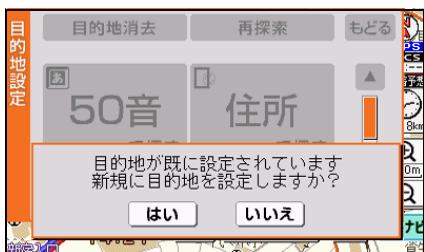
1 ナビゲーション画面で、**目的地**にタッチします。



2 地図の呼び出し方法を選びます。



3 **はい**にタッチします。



4

変更する目的地を設定する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」(120ページ)、「呼び出した地図の操作」(131ページ)を参照してください。

5

ここに行くにタッチします。

- ルート探索が開始されます。



3. 探索ルートの変更

目的地の消去

- 1 ナビゲーション画面で、**目的地**にタッチします。



- 2 **目的地消去**にタッチします。



- 3 **消去する**にタッチします。

- 目的地が消去され、現在地画面が表示されます。



4. 目的地履歴について

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます（最大 100 地点まで）。100 地点を超えたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。

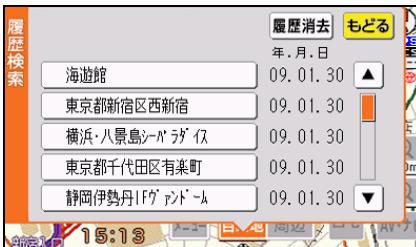
目的地履歴の消去

1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

2 **履歴で探す** にタッチします。



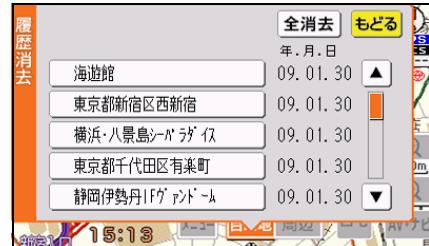
3 **履歴消去** にタッチします。



4

消去したい地点名称にタッチします。

- すべての目的地履歴を消去するときは、**全消去** にタッチします。



5

消去する にタッチします。



5. 目的地案内の開始

案内の開始

ルートの探索が終了すると、全ルート図が表示されます。全ルート図表示画面で**案内開始**にタッチすると目的地案内が始まります。

また、目的地案内を途中で中止することができます。目的地案内中に**目的地**にタッチすると、目的地を消去（142 ページ参照）して目的地案内を中止したり、目的地を変更（141 ページ参照）したりすることができます。

1 全ルート図表示画面で、**案内開始**にタッチします。

- 目的地案内が開始されます。
- 全ルート図が表示されたあと、Ⓐ を押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときも、自動的に目的地案内が開始されます。
- 自宅への案内中は、画面の**自宅**スイッチが**自宅案内中**に切り替わります。



デモンストレーション（デモ）

ルート探索終了後、目的地案内が開始される前に、目的地案内のデモ走行を見るることができます。



デモンストレーション（デモ）は、目的地設定後のルート探索終了時（案内開始前）に表示される全ルート図画面で行うことができます。また、走行中はデモンストレーション機能は使用できません。

1 全ルート図表示画面で、**案内開始**に約5秒以上タッチし続けます。

- デモが始まります。
- デモンストレーションの速度を速くしたいときは、縮尺を広域に、遅くしたいときは、縮尺を詳細にしてください。「希望の縮尺に切り替える」（108ページ参照）

2 デモ中にⒶを押します。

- デモが終了し、目的地案内が開始されます。
- デモ中に走行しても、デモは終了しません。



- デモ案内中画面

6. 目的地案内について

ルート探索が終了すると、希望ルートの案内を開始することができます。

目的地に向かって走行すると、目的地までのルートを案内します。(ルート案内の音声は、安全を考慮しているため、目的地の周辺で終了します。)

交差点・レーン（車線）案内

走行中、交差点に近づくと、交差点の案内が行われます。目的地案内中は分岐する交差点が近づく（約 300m 以内）と、交差点拡大図が自動的に表示されます。

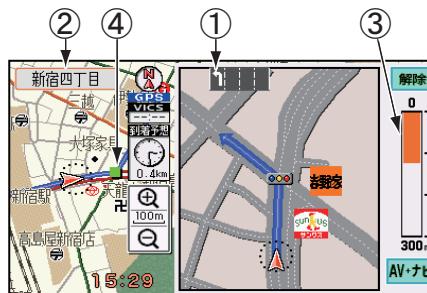
チェック

マルチ画面の場合、ナビゲーション画面の部分は、交差点拡大図のみの表示になります。

■ 分岐しない交差点について



■ 分岐する交差点（交差点拡大図）について



① レーン（車線）表示

- 通過・分岐する交差点の車線が表示されます。
 ・走行を推奨する車線が表示されます。

② 交差点名称表示

- 通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

③ 残距離表示

- 交差点までの距離が表示されます。
 (交差点に近づくとともに  が短くなります。)

④ 案内ポイント

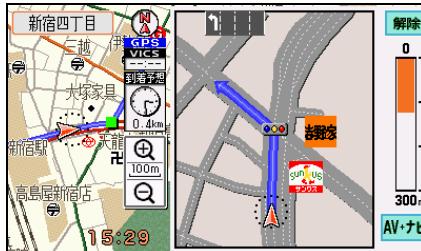
- 交差点案内が表示されます。

6. 目的地案内について

■ 交差点拡大図を解除する

- 1 交差点拡大図表示画面で、**解除** にタッチします。

- 交差点拡大図が解除されます。



■ 交差点拡大図を表示する

- 1 交差点拡大図を解除したナビゲーション画面で、**拡大図** にタッチします。

- 交差点拡大図が表示されます。

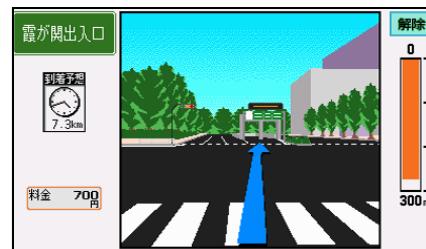


■ 3D イラスト拡大図について

都市高速の IC 入口などでは、立体的な案内画面が表示されます。

チェック

マルチ画面の場合、ナビゲーション画面の部分は3Dイラスト拡大図のみの表示になります。



- 3Dイラスト拡大図

■ 立体交差点拡大図について

立体交差点情報のある交差点では、立体的な案内画面を表示させることができます。

チェック

マルチ画面の場合、ナビゲーション画面の部分は立体交差点拡大図のみの表示になります。



- 立体交差点拡大図

フェリー航路の案内

フェリーの航路は  (破線) で表示されます。

- フェリーターミナルまで音声案内が行われます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。



アドバイス

フェリー航路を使用する全ルート図表示画面では、フェリー料金を表示しません。ただし、到着予想時刻は、フェリー時間を含んでいます。

到着予想時刻表示の設定

目的地案内の現在地画面（現在地がルート上有るとき）で、画面右に到着予想時刻が表示されます。



到着予想時刻表示

アドバイス

到着予想時刻は、ルートからはずれたとき目的地方向マークになります。

■ 平均車速を設定する

以下の時刻・時間を計算する基準として平均車速を設定することができます。

- 高速略図画面の通過予想時刻（112 ページ参照）
- 全ルート図表示画面の到着予想時刻（137 ページ参照）
- 全行程一覧表（5ルート同時表示）の所要時間（138 ページ参照）
- 現在地画面の到着予想時刻（98 ページ参照）

1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

2 **設定 / 情報**にタッチします。



3 **到着予想時刻**にタッチします。



6. 目的地案内について

4 それぞれの道路の設定速度を入力します。

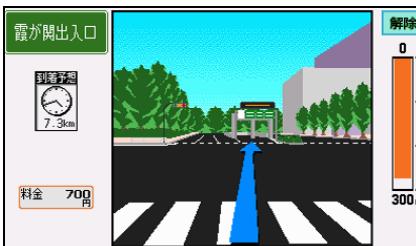
- 速度を上げるときは **▶** 、下げるときは **◀** にタッチします。(タッチするたびに、5km/hずつ変更されます。)
- 道路の設定速度の初期状態は、高速道 80km/h、有料道 60km/h、一般道 30km/hです。



5 完了 [完了] にタッチします。

料金案内表示について

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、料金所に近づくと、画面左下に料金を表示し、音声で案内することができます。



- 料金案内表示

アドバイス

- 料金は設定した車両ナンバー（148 ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。また、ETCによる割引は考慮されません。

● 有料道路と一般道が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道へずれることがあります。このときに再探索が行われると、実際と異なる料金を案内することがあります。

- 出発した地点がわからないとき（有料道路内で再探索したときなど）、または有料道路上に目的地を設定したときなどは「不明」、または「〇〇〇円以上」と表示されます。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは料金案内は行いません。

車両ナンバーを設定する

以下のときの検索および料金を計算する基準として車両ナンバーを設定することができます。

- 全ルート図表示画面の料金表示（137 ページ参照）
- 全行程一覧表（5ルート同時表示）の料金表示（138 ページ参照）
- 料金案内表示画面の料金案内（148 ページ参照）

1 ナビゲーション画面で、[メニュー] にタッチします。

2 [設定 / 情報] にタッチします。



3

ナビ詳細設定 にタッチします。



4

車両ナンバー設定の分類番号（**1**・**3**・**5・7**・**軽**）にタッチします。

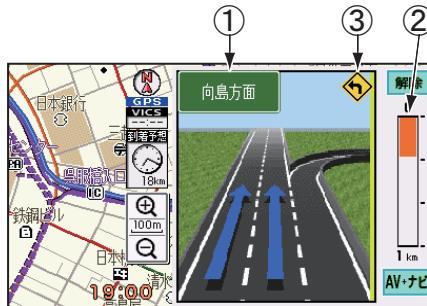
- 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され、直前の画面にもどります。

高速分岐案内（ジャンクションレーンアシスト）

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、高速道路を走行しているとき、分岐点【出口インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）】が近づくと、高速分岐模式図が自動的に表示されます。

チェック

マルチ画面の場合、ナビゲーション画面の部分は高速分岐案内（ジャンクションレーンアシスト）のみの表示になります。



① 分岐点名称表示

インターチェンジ（IC）の出口名称、ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）の方面名称が表示されます。

② 残距離表示

分岐点までの距離が表示されます。（分岐点に近づくとともに **1 km** が短くなります。）

③ カーブ案内・合流案内・区間料金案内の表示

区間料金を表示します。また、カーブや合流が近づくと、カーブ案内、または合流案内を表示します。

アドバイス

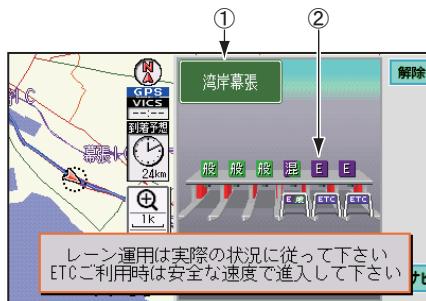
- 高速分岐模式図が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 次のようなときは、高速分岐模式図が表示されないことがあります。
 - ・ 目的地案内開始直後
 - ・ 目的地周辺

6. 目的地案内について

■ 高速分岐模式図を解除する

- 1 高速分岐模式図表示画面で、[解除] にタッチします。

- 高速分岐模式図が解除されます。



① 料金所名称表示

料金所の名称が表示されます。

② レーンの種別表示

E : ETC専用

混 : ETC／一般料金所混在の場合

般 : 一般料金所の場合

... : 同じ内容のレーンが4つ以上続く場合

■ : 続くレーン数が10レーンを越える場合

? : 不明

アドバイス

- 地図データに情報のない料金所では、料金所レーン案内図は表示されません。また、料金所レーン案内図が表示されても、料金所名称表示が表示されないことがあります。
- 料金所の名称、レーン数が実際の料金所と異なることがあります。

■ 高速分岐模式図を表示する

- 1 高速分岐模式図を解除したナビゲーション画面で、[拡大図] にタッチします。

- 高速分岐模式図が表示されます。



料金所レーン案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上有るとき）で、料金所に近づくと料金所のレーンを表示することができます。ETCレーンの位置を画面表示で案内します。

△ 注意

料金所、ETCレーンの車線運用は変更される場合があります。案内表示板や標識などにしたがってください。

音声案内

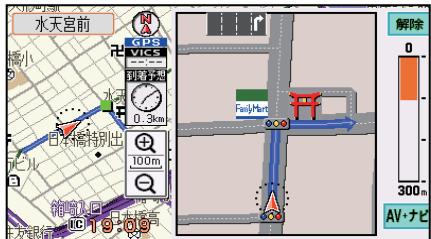
目的地案内中は、交差点、分岐点、カーブ・合流警告、高速道路の料金案内、インターチェンジ (IC)・パーキングエリア (PA)・サービスエリア (SA) の入口、出口、ジャンクション (JCT)、目的地に近づくと、自動で残りの道のりと曲がる方向を 10 方向 (右、左、ナナメ右、ナナメ左、右にもどる、左にもどる、右手前、左手前、もどる、直進) で音声案内します。音声案内は PCM 音声 (肉声) で案内します。

チェック

カーブ・合流の音声案内は、各道路形状警報が **する** に設定されているときに出力されます。(114 ページ参照)

1 ◎ を押します。

● 分岐交差点までの距離に応じた音声案内が行われます。



まもなく右方向です

【目的地案内中の音声案内の例】

● 一般道音声機能

交差点などで交差点名や残りの距離および方向などを案内します。

また、分岐点の直前でチャイム「ポンポン」が鳴ります。(ジャスト案内)

音声案内例は、下記のようになります。

- ・ およそ 700m 先、○○を右方向です。
△△が目印です。
- ・ まもなく右方向です。

● カーブ・合流の音声案内

カーブや合流を事前に音声で案内します。(ただし、分岐案内と重なった場合は、分岐案内が優先されます。カーブによっては案内しない場合もあります。) また、高速道路のルート走行中に合流点がある場合、音声にて合流を知らせます。(合流手前 1km 以内に分岐点などがある場合では案内しません。)

音声案内例は、下記のようになります。

- ・ この先、カーブがあります。
- ・ この先、右からの合流があります。

● 高速分岐音声案内

高速道路のルート走行中は、分岐点で拡大表示を行い、音声で進行方向を案内します。

音声案内例は、下記のようになります。

- ・ およそ○○km 先、○○方向、○○方面です。

● 高速料金音声案内

ルート走行中に高速道路料金所手前で高速道路の料金を案内します。

音声案内例は、下記のようになります。

- ・ この先○○m で料金所です。料金は○○です。

【目的地に到着したときの音声案内の例】

音声案内例は、下記のようになります。

- ・ 目的地周辺です。この先注意して走行してください。

アドバイス

● 音声案内は目的地周辺までの案内をします。実際の道路状況および交通規制にしたがって走行してください。

● 目的地に到着する直前でルートからはずれ再探索された後、目的地に近づくと再度、音声案内されることがあります。

● 音声案内の音量は調節することができます。(104 ページ参照) ただし、**消音** を選んでいると、音声案内されません。

7. 案内ルートの操作

全ルート図の再表示

出発地から目的地までの全ルート図を表示することができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **全ルート** にタッチします。

- 全ルート図表示画面になります。
- 再表示された全ルート図には、残りの距離、全料金が表示されます。



- 全ルート図表示画面の詳しい内容については、「全ルート図の表示・タッチスイッチについて」(137ページ) を参照してください。
- **案内にもどる** にタッチすると、現在地画面になります。

アドバイス

設定しているルートによっては、ルート全体を表示できないことがあります。

8. ルートの再探索

ルートの再探索

ルート案内中に、探索条件を変更して、ルートを再探索することができます。

- 1 ナビゲーション画面で、**目的地**にタッチします。

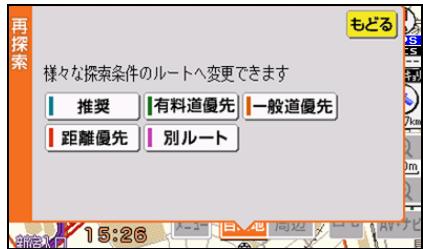


- 2 **再探索**にタッチします。



- 3 再探索させる項目（138 ページ参照）にタッチします。

- ルート探索が開始されます。



アドバイス

- 道路形状により再探索されないことや条件を変更しても同じルートを再探索することがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへもどるルートではなく、設定されている目的地に向かうルートが再探索されます。
- 「○○○優先」というのは、ルート探索のひとつつの条件にすぎません。大きく遠まわりになるようなときは、**有料道優先**にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、**一般道優先**にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- 高架道路の下や並行している一般道路上で、ルート探索を行うと、高架有料道路や並行している有料道路上のルート案内をしてしまうことがあります。（都市高速道路下の道路を走行または駐車しているのに、高速道路のルート案内をしてしまう場合など）また、逆のケースもあります。

自動再探索

ルートからはずれ、案内可能な道路を走行しているときに、自動的に再探索を行います。再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

1. 地点の登録とは

地図上に覚えておきたい地点を自宅、お気に入り地点に分けて 101 力所までお気に入り地点として登録することができます。(自宅 1 力所を含みます。)

お気に入り地点には、45 種類の記号、7 種類の音声付き記号から選択して地点ごとに登録することができ、すべての地点には、名称、名称読み、電話番号を設定することができます。

登録したお気に入り地点は、地図上に呼び出したり、ルート探索時に呼び出したりできるので、有効にご利用ください。

間違って登録した場合は、修正および消去することができます。

(すでにお気に入り地点が 101 力所登録されているときは、不要な地点を消去してから登録してください。)

■ 自宅

自宅は 1 力所登録でき、1 回の操作で自宅に帰るルートを探索することができますので、最初に登録することをおすすめします。

■ お気に入り地点

お気に入り地点（自宅を含む）は、登録した記号、または登録順に並びかえて表示することができ、地点検索時などにリストから選択することができます。

● 音声付き記号

音声付きお気に入り地点には、次のような機能を持たせることができます。

・ 近づくと音、または音声で知らせる設定

ベル、チャイム、オルゴール、注意、スピード注意、登録地点接近

・ 近づく方向を限定して知らせる設定

方向付きメモリ

アドバイス

- 表示されるお気に入り地点の住所は、登録の方法により異なります。
- 登録したお気に入り地点は、付近の住所およびマップコードが表示されます。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称が自動で入力されることがあります。

2. お気に入り地点の登録・修正・消去

お気に入り地点の登録

お気に入りの場所を登録することができます。

■ワンタッチで登録する

現在、表示させている地図にお気に入り地点を登録することができます。

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で登録することができます。

1 お気に入り地点を登録する位置に地図を動かし、**お気に入り** にタッチします。

-  (または ) の位置にお気に入り地点が  記号で表示されます。



■離れた場所を登録する

1

ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

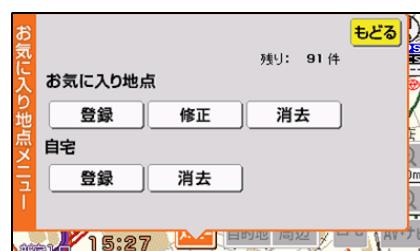
2

お気に入り地点編集 にタッチします。



3

お気に入り地点の **登録** にタッチします。



4

地図の呼び出し方法を選び、お気に入り地点を登録する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」(120ページ)、「呼び出した地図の操作」(131ページ)を参照してください。



2. お気に入り地点の登録・修正・消去

5 [セット] にタッチします。



6 お気に入り地点に表示させたい記号にタッチします。

- お気に入り地点が登録されます。
- 記号の入力、修正については、「お気に入り地点の記号を変更する」(158ページ) を参照してください。



アドバイス

携帯電話で探す から地図を呼び出したときは、施設の情報（住所や電話番号など）が登録できないことがあります。

自宅の登録

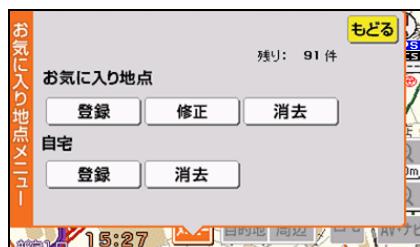
自宅を登録することができます。

1 ナビゲーション画面で、[メニュー] にタッチします。

2 [お気に入り地点編集] にタッチします。



3 [自宅の登録] にタッチします。



4 地図の呼び出し方法を選び、自宅を登録する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」(120ページ)、「呼び出した地図の操作」(131ページ) を参照してください。



5 セット にタッチします。

- 自宅が登録されます。



お気に入り地点の修正・入力

登録したお気に入り地点は、お気に入り地点修正画面から記号（音声なし、音声付き、音声・方向付き）、名称、名称読み、電話番号などを修正、入力することができます。

■ お気に入り地点修正画面を表示する

1 ナビゲーション画面で、メニューにタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

2 お気に入り地点編集にタッチします。

- お気に入り地点メニュー画面が表示されます。

3 お気に入り地点メニュー画面で、お気に入り地点の修正にタッチします。

4 修正するお気に入り地点にタッチします。

- 記号順にタッチすると、記号の種類別に並びかわります。
- 登録順にタッチすると、お気に入り地点の登録順に並びかわります。



5 修正、入力する項目にタッチします。

- 入力、修正方法は以降を参照してください。
 - 「お気に入り地点の記号を変更する」(158ページ参照)
 - 「お気に入り地点の名称を入力する」(159ページ参照)
 - 「お気に入り地点の名称を表示する」(164ページ参照)
 - 「お気に入り地点の名称読みを入力する」(165ページ参照)
 - 「お気に入り地点の位置を修正する」(165ページ参照)
 - 「お気に入り地点の電話番号を修正する」(166ページ参照)



2. お気に入り地点の登録・修正・消去

■ お気に入り地点の記号を変更する

1

お気に入り地点修正画面で、**記号**にタッチします。



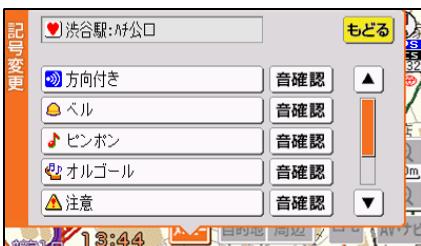
2

変更する記号にタッチします。

- **音声付き** にタッチすると、音声付のマークに変更することができます。



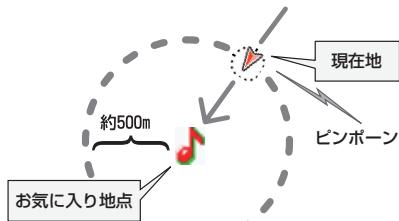
- 音声なし



- 音声付き

- **記号なし** にタッチすると、登録したお気に入り地点の記号を地図に表示されないようにすることができます。

- 音声付きの記号を選ぶと、お気に入り地点に約500mまで近づくと音が鳴るようにすることができます。

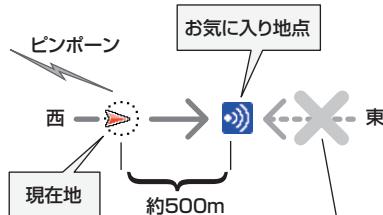


- **音確認** にタッチすると、それぞれの記号に近づいたときに鳴る音が output されます。

方向付きを設定する場合

- **方向付き** にタッチすると、設定した方向からお気に入り地点に約 500m まで近づいたときのみ音が鳴るようにすることができます。

例えば、東西に走る道路では、西側からお気に入り地点に近づいたときには音が鳴り、東側から近づいたときには音が鳴らないようにすることができます。



1

お気に入り地点修正画面で、**記号**にタッチします。



2 音声付き にタッチします。

3 方向付き にタッチします。



4 方向を設定します。

- 方向を反時計まわりに動かすときは 、時計まわりに動かすときは にタッチします。
- お気に入り地点が 記号で表示されます。



5 セット にタッチします。

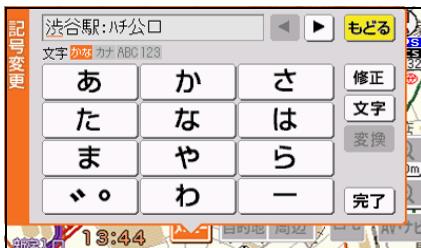
6 完了 にタッチします。

■ お気に入り地点の名称を入力する

1 お気に入り地点修正画面で、**名称** にタッチします。



2 すでに名称が表示されているときは、**修正** にタッチして名称を消去します。



- ひらがな・漢字以外の文字を入力するときは、**文字** にタッチします。**文字** にタッチするたびに、下記の順で、各入力画面が切り替わります。
「ひらがな・漢字入力画面」→「カタカナ入力画面」→「アルファベット（記号）入力画面」→「数字入力画面」→「ひらがな・漢字入力画面」

アドバイス

登録した地点によっては、すでにお気に入り地点の名称が入力されていることがあります。

2. お気に入り地点の登録・修正・消去

ひらがな・漢字を入力するには

1 ひらがな・漢字入力画面で、文字入力スイッチにタッチして、名称を入力します。

- ひらがな・漢字入力画面のときは、文字インジケータの「かな」が明るくなります。

● 文字の入力について

- ・ **あ** ~ **わ**、**。。**、**ー** のいずれかの文字入力スイッチにタッチして、名称を入力します。

・ **あ** ~ **わ** 行の同じ文字入力スイッチを続けてタッチすると、文字が順に送られ、入力されます。

[例]

「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」

- ・ **。。** (濁音、半濁音) の文字入力スイッチにタッチすると、濁音、半濁音が順に送られ、入力されます。

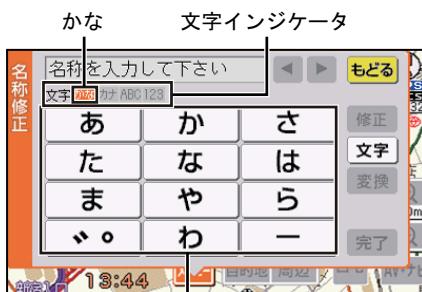
[例]

「」→「」

・ 入力している文字入力スイッチ以外の文字入力スイッチにタッチすると、カーソルが移動し、次の文字を入力することができます。

・ 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。

● **◀**・**▶**にタッチすると、カーソルの位置を変更することができます。



文字入力スイッチ

- 未確定状態での最大入力文字数をこえると、入力ができなくなります。また、確定しても入力制限文字数をこえる文字は削除されます。

2 ひらがなを入力するときは **確定**、漢字変換をするときは **変換** にタッチします。

● 漢字変換リスト画面が表示されます。

- ひらがなのみの入力で終了する場合は、**4** の操作を行います。

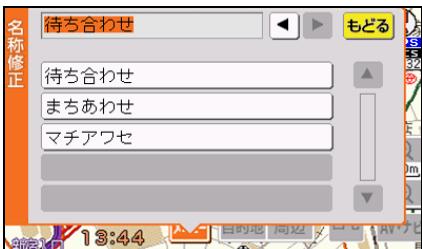


3 漢字変換リスト画面で、入力する漢字、または熟語にタッチします。

- 漢字入力終了後、再度、ひらがな・漢字を入力する場合は、**1** から操作を行ってください。また、カタカナ、アルファベット、数字を入力する場合は、**文字** にタッチして入力画面を切り替えてください。



- 変換する文字の範囲を変更するときは、**◀**・**▶**にタッチして、範囲を変更します。



4 **完了**にタッチします。

アドバイス

- 入力することができる最大文字数は、12文字までです。
- 地図上に表示できる名称の最大文字数は、12文字までです。
- 未確定状態で入力可能な文字数は最大 30 文字です。

カタカナを入力するには

1 **文字**にタッチして、カタカナ入力画面に切り替えます。

- 入力画面の切り替えについては、「お気に入り地点の名称を入力する」(159ページ)を参照してください。
- カタカナ入力画面のときは、文字インジケータの「カナ」が明るくなります。

2 カタカナ入力画面で、文字入力スイッチにタッチして、文字を入力します。

- 全角、半角の切り替えについて

カタカナの全角/半角を切り替えるときは、**全/半**にタッチします。**全/半**にタッチするたびに、全角、半角の順で入力画面が切り替わります。全角入力画面のときは文字インジケータの「全角」が、半角入力画面のときは「半角」が明るくなります。

文字の入力について

- **ア**～**ワ**、**。。**、**ー**のいずれかの文字入力スイッチにタッチして、名称を入力します。

● **ア**～**ワ** 行の同じ文字入力スイッチを続けてタッチすると、文字が順に送られ、入力されます。

[例]

「ア」→「イ」→「ウ」→「エ」→「オ」

● **。。** (濁音、半濁音) の文字入力スイッチにタッチすると、濁音、半濁音が順に送られ、入力されます。

[例]

「؂」→「؂」

● 入力している文字入力スイッチ以外の文字入力スイッチにタッチすると、カーソルが移動し、次の文字を入力することができます。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。

- **◀**・**▶**にタッチすると、カーソルの位置を変更することができます。

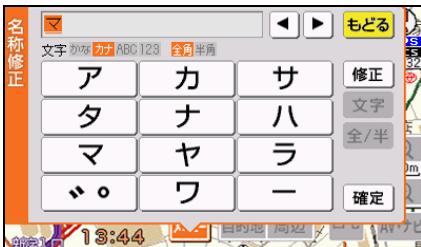


文字入力スイッチ

2. お気に入り地点の登録・修正・消去

3 入力文字が確定したら、**確定** にタッチします。

- カタカナ入力終了後、再度、カタカナを入力する場合は、**1** から操作を行ってください。また、ひらがな・漢字、アルファベット、数字を入力する場合は、**文字** にタッチして、入力画面を切り替えてください。



4 **完了** にタッチします。

アドバイス

- 入力することができる最大文字数は、全角12文字（半角24文字）までです。
- 地図上に表示できる名称の最大文字数は、全角12文字（半角24文字）までです。
- 未確定状態での入力可能な文字数は最大30文字です。

アルファベット（記号）を入力するには

1 **文字** にタッチして、アルファベット（記号）入力画面に切り替えます。

- 入力画面の切り替えについては、「お気に入り地点の名称を入力する」（159ページ）を参照してください。
- アルファベット（記号）入力画面のときは、文字インジケータの「ABC」が明るくなります。

2 アルファベット（記号）入力画面で、文字入力スイッチにタッチして、文字、または記号を入力します。

- 全角、半角の切り替えについて

アルファベット（記号）の全角/半角を切り替えるときは、**全/半** にタッチします。**全/半** にタッチするたびに、全角、半角の順で入力画面が切り替わります。全角入力画面のときは文字インジケータの「全角」が、半角入力画面のときは「半角」が明るくなります。

- 大文字、小文字の切り替えについて

アルファベット（記号）の大文字/小文字を切り替えるときは、**大/小** にタッチします。**大/小** にタッチするたびに、大文字、小文字の順で入力画面が切り替わります。大文字入力画面のときは文字インジケータの「大」が、小文字入力画面のときは「小」が明るくなります。

- 文字、記号の入力について

- ・ **@'.,** 、 **ABC** ~ **!?)** のいずれかの文字入力スイッチにタッチして、名称を入力します。
- ・ **@'.,** 、 **ABC** ~ **!?)** の同じ文字入力スイッチを続けてタッチすると、文字、または記号が順に送られ、入力されます。

[例]

「A」 → 「B」 → 「C」

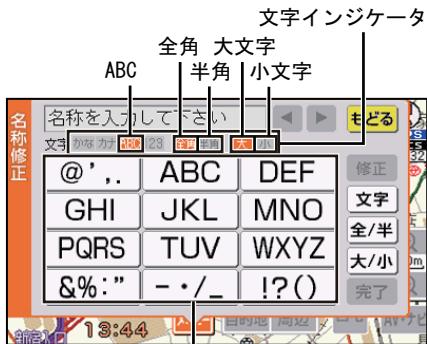
[例]

「@」 → 「.」 → 「,」 → 「.」

- ・ 入力している文字入力スイッチ以外の文字入力スイッチにタッチすると、カーソルが移動し、次の文字、または記号を入力することができます。

- ・ 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。

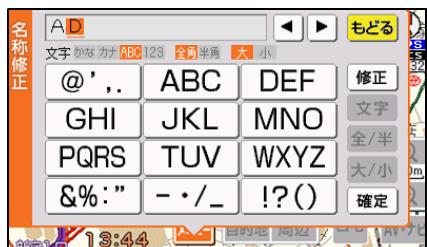
- ・にタッチすると、カーソルの位置を変更することができます。



文字入力スイッチ

3 入力文字が確定したら、**確定**にタッチします。

- アルファベット入力終了後、再度、アルファベットを入力する場合は、**1**から操作を行ってください。また、ひらがな・漢字、カタカナ、数字を入力する場合は、**文字**にタッチして、入力画面を切り替えください。



4 **完了**にタッチします。

数字を入力するには

1

文字にタッチして、数字入力画面に切り替えます。

- 入力画面の切り替えについては、「お気に入り地点の名称を入力する」(159ページ)を参照してください。
- 数字入力画面のときは、文字インジケータの「123」が明るくなります。

2

数字入力画面で、数字入力スイッチにタッチして、数字を入力します。

● 全角、半角の切り替えについて

数字の全角/半角を切り替えるときは、**全/半**にタッチします。**全/半**にタッチするたびに、全角、半角の順で入力画面が切り替わります。全角入力画面のときは文字インジケータの「全角」が、半角入力画面のときは「半角」が明るくなります。

● 数字の入力について

- ・ **1**～**0**、*****、**#**のいずれかの数字入力スイッチにタッチして、数字を入力します。

- ・ 入力している数字入力スイッチ以外の数字入力スイッチにタッチすると、カーソルが移動し、次の数字を入力することができます。
- ・ 間違えたときは **修正**にタッチすると、1つずつ消去されます。

- ・にタッチすると、カーソルの位置を変更することができます。

アドバイス

- 入力することができる最大文字数は、全角12文字(半角24文字)までです。
- 地図上に表示できる名称の最大文字数は、全角12文字(半角24文字)までです。
- 未確定状態での入力可能な文字数は最大30文字です。

2. お気に入り地点の登録・修正・消去



文字入力スイッチ

- 3 入力数字が確定したら、**完了** にタッチします。



アドバイス

- 入力することができる最大文字数は、全角12文字（半角24文字）までです。
- 地図上に表示できる名称の最大文字数は、全角12文字（半角24文字）までです。
- 未確定状態での入力可能な文字数は最大30文字です。

■ お気に入り地点の名称を表示する

入力したお気に入り地点の名称を地図に表示させることができます。



- 1 お気に入り地点修正画面で、地図の名称表示の **する**、または **しない** にタッチします。



- 2 **完了** にタッチします。

■ お気に入り地点の名称読みを入力する

お気に入り地点に名称読みを入力することができます。

チェック

名称読みは、カタカナ（半角）のみの入力になります。

1 お気に入り地点修正画面で、**名称読み** にタッチします。



2 名称を入力します。

- カタカナの入力については、「カタカナを入力するには」(161ページ) を参照してください。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。



3 **完了** にタッチします。

アドバイス

入力することができる名称読みの文字数は、最大24文字（半角のみ）までです。

■ お気に入り地点の位置を修正する

1 お気に入り地点修正画面で、**位置** にタッチします。



2 **↑** にタッチして、お気に入り地点を修正する位置に地図を動かします。



3 **セット** にタッチします。

- 位置の位置にお気に入り地点が 1 で表示されている記号で表示されます。
- 位置を修正すると、1 で表示されている住所とマップコードも修正されます。

4 **完了** にタッチします。

2. お気に入り地点の登録・修正・消去

■ お気に入り地点の電話番号を修正する

1 お気に入り地点修正画面で、**電話番号** にタッチします。

2 電話番号を入力します。



- 数字の入力については、「数字を入力するには」(163ページ) を参照してください。
- 間違えたときは、**修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



3 **完了** にタッチします。

お気に入り地点の消去

お気に入り地点、または自宅を消去することができます。

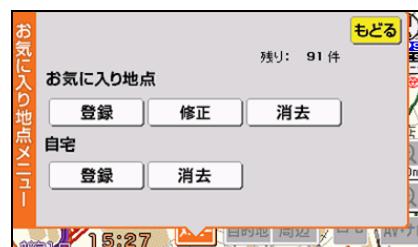
■ お気に入り地点を消去する

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

2 **お気に入り地点編集** にタッチします。

3 お気に入り地点の **消去** にタッチします。



4 消去するお気に入り地点にタッチします。

- **登録順** にタッチすると、登録した順にリストが並びかわります。
- **記号順** にタッチすると、記号の種類順にリストが並びかわります。
- すべてのお気に入り地点を消去するときは、**全消去** にタッチします。



5 消去する にタッチします。



■自宅を消去する

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

2 お気に入り地点編集 にタッチします。

3 自宅の **消去** にタッチします。



4 消去する にタッチします。

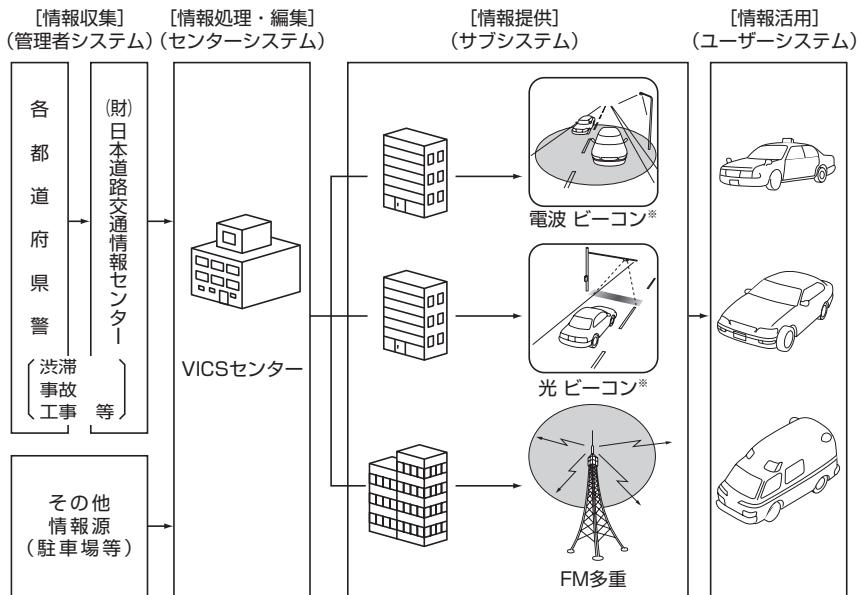


1. VICS 情報について

VICS とは

道路交通情報通信システム (VICS: Vehicle Information and Communication System) は渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、地図画面等に表示するシステムです。また、道路交通情報の提供をとおして、安全性の向上、交通の円滑による環境の保全等を促進することを目的としています。

VICS は大きく分けて、「情報収集」「情報処理・編集」「情報提供」「情報活用」の 4 つのブロックからなります。



VICS リンクデータベースの著作権は（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。

VICS および本機に付与された  vics のマーク・ロゴタイプは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICS のメディア概要

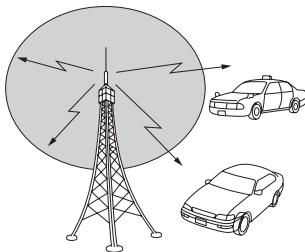
VICS は、それぞれ特性の異なる 3 つのメディアがあります。

本機では、内蔵の FM 多重チューナーで FM 多重放送を受信することができます。(VICS 情報の受信については「VICS 提供放送局の選択」(173 ページ) を参照してください。)

また、オプションの VICS ビーコンユニットを接続することによって、電波ビーコン、光ビーコンを受信することができます。「VICS ビーコンユニットを操作する」(185 ページ参照)

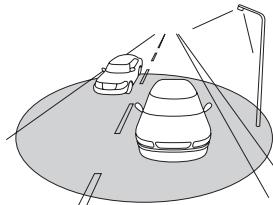
● FM 多重

FM 多重は、放送局から広く電波の届く範囲の車両に情報の提供を行います。



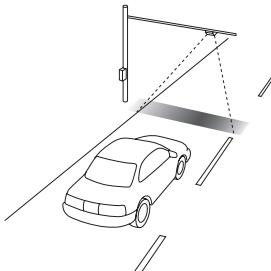
● 電波ビーコン (オプションの VICS ビーコンユニット接続時に対応)

※ 電波ビーコンは、主に高速道路の路側に設置され、その地点を通過する車両に情報の提供を行います。



● 光ビーコン (オプションの VICS ビーコンユニット接続時に対応)

※ 光ビーコンは、主に一般道路上の各レーンに設置され、そのレーンを通過する車両に情報の提供を行います。



■ VICS 特有の事項

● 提供情報はあくまで参考情報としてご利用ください。

(提供される情報は最新でない場合があります。)

● VICS の表示内容は、VICS センターが提供していますので、本取扱説明書の画面表示は、実際の表示内容とは異なる場合があります。

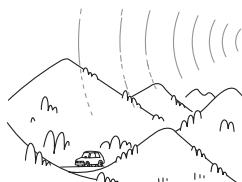
● 電波がうまく受信できないときに一部表示が乱れる場合があります。新しい電波が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。

1. VICS情報について

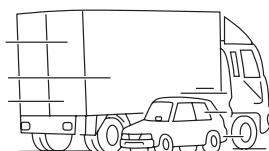
FM多重放送特有の事項



①高層ビルの間では電波が乱反射してうまく受信できないことがあります。

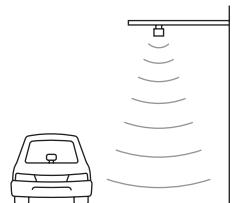


②盆地のような所では、うまく受信できないことがあります。

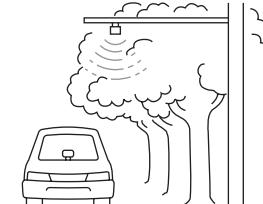


③トラックとすれちがったりするとうまく受信できないことがあります。

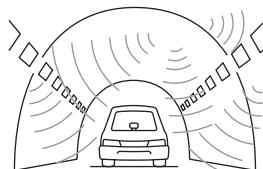
電波ビーコン特有の事項



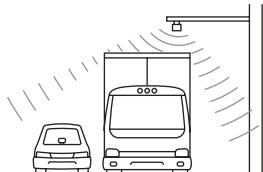
①直線的にしか電波は届きません。



②水に吸収される性質があるので、街路樹が繁っているとうまく受信できないことがあります。



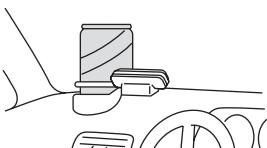
③トンネルの中や高架道路の所では乱反射して、うまく受信できないことがあります。



④ トラックの陰に入ると、うまく受信できないことがあります。



⑤高架道路の下で電波を受信すると誤った位置を判断することがあります。

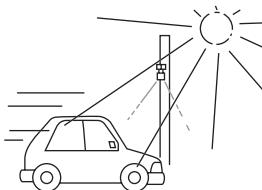


⑥VICS のアンテナの上や近くに金属を置かないでください。

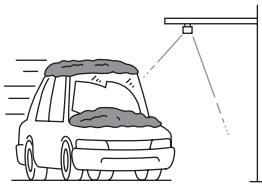
アドバイス

電波や光の信号がうまく受信できないときに一部表示が乱れる場合があります。新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。

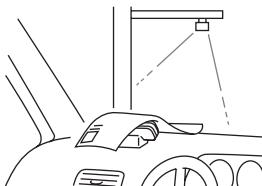
光ビーコン特有の事項



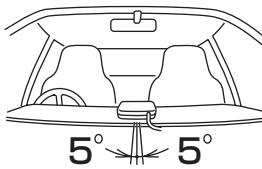
①太陽と光ビーコンからの信号が重なると、うまく受信できないことがあります。



②雪が積もっていたり、ウインドガラスが汚れていると、うまく受信できないことがあります。



③VICS のアンテナの上や近くに紙類等光を受信するのを妨げる物を置かないでください。



④VICS のアンテナの取り付け方向は、±5°でセットしてください。ずれた場合は、うまく受信できないことがあります。

アドバイス

電波や光の信号がうまく受信できないときに一部表示が乱れる場合があります。新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。

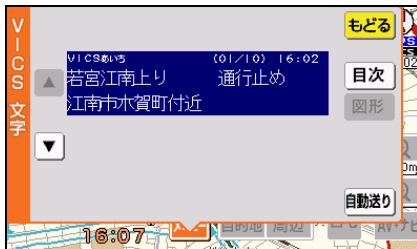
1. VICS 情報について

VICS 情報提供内容と表示について

- VICS 情報は文字情報表示、簡易図形情報表示、または地図情報表示から渋滞・交通規制等を表示します。
- VICS 情報は、FM多重放送局から送信された情報の提供時刻が表示されます。

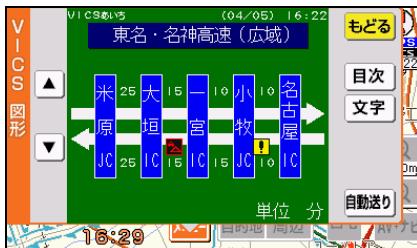
■ VICS 文字情報（レベル 1）

- 文字情報表示画面



■ VICS 図形情報（レベル 2）

- 簡易図形情報表示画面



■ VICS 地図情報（レベル 3）

- 地図情報表示画面



アドバイス

- 情報が受信できない場合など、VICS 情報が表示できないことがあります。
- 情報提供エリアの違いなどによって情報内容が異なります。

2. 放送局の受信

VICS 提供放送局の選択

VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。

- 1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。



- 2 **設定 / 情報** にタッチします。



- 3 **VICS 設定** にタッチします。



- 4 **選局設定** にタッチします。



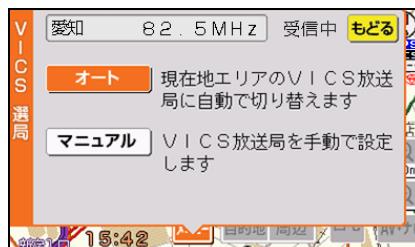
- 5 **オート**、または **マニュアル** にタッチします。

- **オート**
自動で選択します。

- **マニュアル**

手動(エリアまたは周波数)で選択します。

- 初期設定は、**オート** が選択されています。「オート」で受信されないときのみ、**マニュアル** で放送局(または放送エリア)を選択してください。



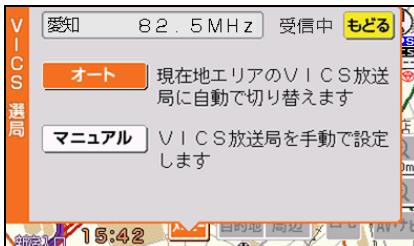
2. 放送局の受信

■自動で選択する

現在地がある都道府県の放送局が受信され、現在地を移動させると、自動的に受信可能な放送局に切り替わります。

1 オート にタッチします。

- 放送局が受信されると、「受信中」が表示されます。
- 自動選択中は、タッチスイッチの色が明るくなります。



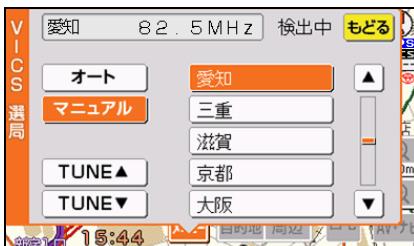
■エリアで選択する

選んだ都道府県の放送局が受信されます。受信状態が変わると、選んだ都道府県内で、自動的に受信可能な放送局に切り替わります。

1 マニュアル にタッチします。

2 受信させる放送局のある都道府県名にタッチします。

- 放送局が受信されると、「受信中」が表示されます。



3 もどる にタッチします。

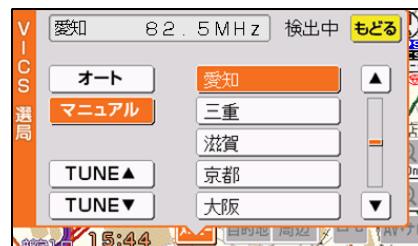
■周波数を手動で選択する

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 マニュアル にタッチします。

2 TUNE▲ 、または TUNE▼ にタッチして、放送局の周波数を選びます。

- 放送局が受信されると、「受信中」が表示されます。



3 もどる にタッチします。

アドバイス

- 通常は **オート** でご使用ください。
- VICS 情報が受信できる代表的な周波数（2008年3月現在）

北海道（旭川地区 85.8MHz）（函館地区 87.0MHz）（札幌地区 85.2MHz）
 （室蘭地区 88.0MHz）（釧路地区 88.5MHz）（帯広地区 87.5MHz）
 （北見地区 86.0MHz）

青森県	86.0MHz	秋田県	86.7MHz	岩手県	83.1MHz
山形県	82.1MHz	宮城県	82.5MHz	福島県	85.3MHz
茨城県	83.2MHz	栃木県	80.3MHz	群馬県	81.6MHz
埼玉県	85.1MHz	千葉県	80.7MHz	東京都	82.5MHz
神奈川県	81.9MHz	山梨県	85.6MHz	静岡県	88.8MHz
長野県	84.0MHz	岐阜県	83.6MHz	愛知県	82.5MHz
三重県	81.8MHz	新潟県	82.3MHz	石川県	82.2MHz
富山県	81.5MHz	福井県	83.4MHz	滋賀県	84.0MHz
京都府	82.8MHz	大阪府	88.1MHz	兵庫県	86.5MHz
奈良県	87.4MHz	和歌山県	84.7MHz	岡山県	88.7MHz
広島県	88.3MHz	鳥取県	85.8MHz	島根県	84.5MHz
山口県	85.3MHz	香川県	86.0MHz	徳島県	83.4MHz
高知県	87.5MHz	愛媛県	87.7MHz	福岡県	84.8MHz
大分県	88.9MHz	佐賀県	81.6MHz	長崎県	84.5MHz
熊本県	85.4MHz	宮崎県	86.2MHz	鹿児島県	85.6MHz
沖縄県	88.1MHz				

- 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。
- VICS 情報のサービスエリアについては、「VICS 情報有料放送サービス契約約款」（344 ページ）を参照してください。
- VICS システムでは、あらかじめ地図データに情報提供される道路単位（VICS リンク）を設定しています。これは毎年追加・更新・削除されるため、データベースの更新を行わない場合、本機の発売から経年で VICS 地図情報（レベル3）（渋滞や混雑の矢印など）の一部が表示されなくなることがあります。
 最新の情報に対応するためには、地図データの更新を行う必要があります。
 情報提供サービス維持のため、変更前の VICS リンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。
- VICS FM 多重放送の運用時間は24時間です。休止時間については、VICS FM 多重放送の「お知らせ」でご案内します。運用時間は予告なく変更されることがあります。

3. VICS 情報の表示・案内

VICS 情報表示の設定

地図に表示する VICS 地図情報（レベル 3）を設定することができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **設定 / 情報** にタッチします。



3 **VICS 設定** にタッチします。



4

VICS 情報を表示させる項目の **する**、または **しない** にタッチします。

● VICSマーク（183 ページ参照）は、事象・規制情報の表示、または駐車情報の表示が **する** に設定されていないと表示されません。

● 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され、直前の画面にもどります。



アドバイス

VICS 対象道路は将来の計画も含めた情報提供の可能性のある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。

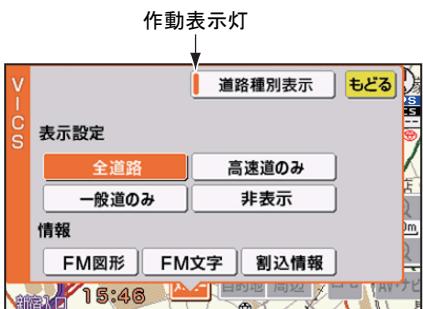
■ VICS 表示道路色を切り替える

VICS 情報を表示する道路の色を切り替えることができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **VICS** にタッチします。

3 **道路種別表示** にタッチします。



- 設定すると、作動表示灯が点灯します。
- 再度、**道路種別表示** をタッチすると、道路種別表示が解除され、VICS対象道路別で表示します。
 - ・ VICS対象一般道…緑色
 - ・ VICS対象高速道…紫色
 - ・ 上記以外…灰色

アドバイス

VICS対象道路でもVICS情報を表示しないことがあります。

3. VICS情報の表示・案内

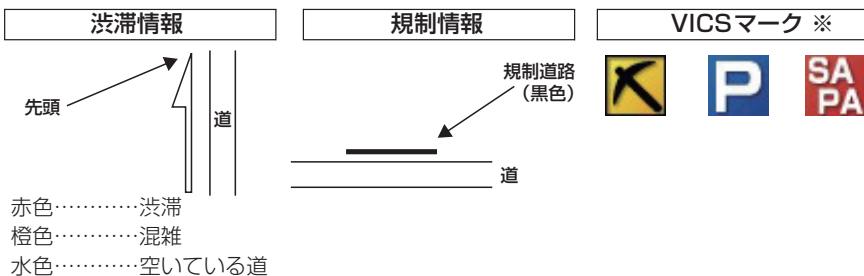
VICS情報の表示

地図にVICS情報（渋滞・規制情報、VICSマーク）を表示させることができます。

- VICS情報が受信されると、タイムスタンプにVICS情報が提供された時刻が表示され、VICS情報が表示されます。
- タイムスタンプの表示は下記になります。

 表示中の地図にVICS地図情報（レベル3）がある場合

 VICS情報を受信していない場合（タイムスタンプ内のVICSの文字がトーンダウンします。）



※ 規制情報、駐車場、サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）情報の詳細については「地図に表示されるVICS表示マークについて」（183ページ）を参照してください。



- VICS情報表示画面

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。

アドバイス

VICSマークによっては、200mスケール図以下の詳細な地図で表示するマークもあります。

■ VICS 情報を地図表示する

VICS 情報を表示させる道路を選ぶことができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

2 VICS にタッチします。



3 **全道路** (一般道・有料道路)・
高速道のみ (有料道路のみ)・
一般道のみ (一般道のみ) のいずれかにタッチします。



■ VICS マークの内容表示について

規制情報、または駐車場情報の内容を表示することができます。

1 VICS マークにタッチします。

● VICS マークの内容と現在地からの直線距離が表示されます。



アドバイス

- タイムスタンプは、VICS 情報が提供された時刻を示しています。VICS が受信された時刻ではありません。
- VICS 情報は継続して受信されないと、提供時刻の約 30 分後に自動的に消去されます。
- VICS マークによっては、内容が表示されない VICS マークもあります。

■ VICS 情報を消去する

1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

2 VICS にタッチします。

3 **非表示** にタッチします。

- VICS 情報が表示されなくなります。



3. VICS情報の表示・案内

渋滞・規制音声案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上有るとき）で、約 10km 以内のルート上の VICS 情報（渋滞・規制案内）を音声でお知らせします。

また、音声を聞き逃したときは、Ⓐ を押すと、もう一度音声を聞くことができます。

【音声案内の例】

- VICS 渋滞表示がある地点では、「およそ 1km 先、渋滞があります。」
- VICS マークのある地点では、「およそ 5km 先、電気工事のため車線規制中です。」

音声案内はあくまでも参考としてください。

■ 渋滞・規制の音声自動発声を設定する

VICS 渋滞・規制音声自動発声を ON（出力する）にするか、OFF（出力しない）にするか、選ぶことができます。

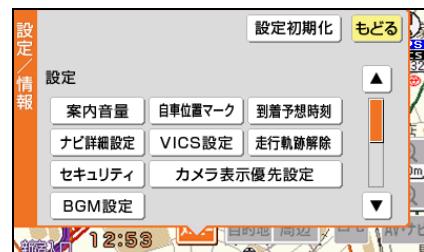
1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **設定 / 情報** にタッチします。



3

VICS 設定 にタッチします。



4

VICS 音声案内の する 、または しない にタッチします。

- 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され、直前の画面にもどります。



VICS 図形情報の表示

1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

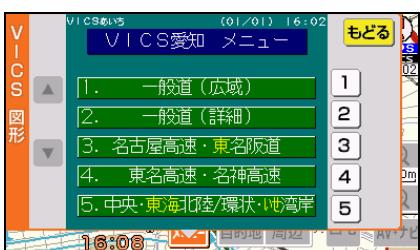
2 VICSにタッチします。



3 FM图形にタッチします。



4 表示させる図形情報の番号にタッチします。



5 ▲、または▼にタッチするか、**自動送り**にタッチします。

● ▲、または▼にタッチすると、图形情報のページを1ページずつ送ることができます。

● **自動送り**にタッチすると（タッチスイッチが**停止**になります。）、图形情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。（走行中は自動送りできません。）

● 図形情報の自動送りを停止するときは**停止**にタッチします。

また、自動送り中に▲、または▼にタッチして、图形情報を送ったときは、自動送りは終了します。

● **文字**にタッチすると、VICS文字情報が表示されます。

● **目次**にタッチすると、目次にもどります。



アドバイス

モーターアンテナ車の設定が**はい**の場合、オーディオがOFFのときはVICS情報を受信することができません。モーターアンテナ車の設定については、「ラジオアンテナの設定」(43ページ)を参照してください。

3. VICS情報の表示・案内

VICS 文字情報の表示

1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

2 VICSにタッチします。



3 FM文字にタッチします。



4 表示させる文字情報の番号にタッチします。



5 ▲、または▼にタッチするか、**自動送り**にタッチします。

● ▲、または▼にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。

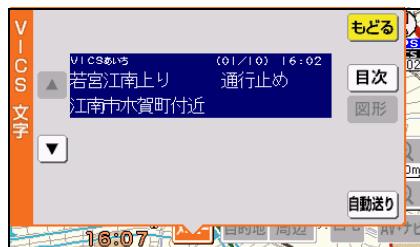
● **自動送り**にタッチすると（タッチスイッチが**停止**になります。）、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。（走行中は自動送りできません。）

● 文字情報の自動送りを停止するときは**停止**にタッチします。

また、自動送り中に▲、または▼にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは終了します。

● **图形**にタッチすると、VICS图形情報が表示されます。

● **目次**にタッチすると、目次にもどります。



アドバイス

● 緊急情報を受信した場合、他の情報より優先して表示されます。割り込んで表示された情報は**割込情報**から再表示することができます。

● モーターアンテナ車の設定が**はい**の場合、オーディオがOFFのときはVICS情報を受信することができません。モーターアンテナ車の設定については、「ラジオアンテナの設定」(43ページ)を参照してください。

地図に表示される VICS 表示マークについて

VICS 情報の中で使用されるマークの代表的な例を示します。

表示	情報内容
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	注意 (地震警戒宣言)
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止

表示	情報内容
	駐車場 空
	駐車場 満
	駐車場 混雑
	駐車場 不明
	駐車場 閉鎖
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入り口閉鎖
	大型通行止め
	入り口規制
	出口規制
	速度規制 30km/h
	SA PA情報 空
	SA PA情報 満
	SA PA情報 混雑
	SA PA情報 不明
	イベント

表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して 1 つのマークで表示することがあります。

3. VICS情報の表示・案内

VICS の用語説明

より正しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

■ 緊急情報

津波情報等の緊急に伝達される必要のある情報の場合、本機では、他の情報より優先して表示提供されます。

■ 交通情報関連の用語

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態をいいます。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態をいいます。

■ 駐車場情報関連の用語

- 満車：駐車場において、ほぼ満車の状態をいいます。
- 混雑：駐車場において、利用率が高い状態をいいます。
- 空車：駐車場の利用が可能な状態をいいます。
- 不明：駐車場の情報が無い状態をいいます。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態をいいます。

VICS の問い合わせ先

● VICS車載機の調子や使用方法、受信の可否に関して

● 地図表示（レベル3）の内容に関して

● VICS情報の受信エリアや内容の概略に関して

これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

● 文字表示（レベル1）の内容に関して

● 簡易図形表示（レベル2）の内容に関して

● VICSの概念、サービス提供エリアに関して

これらの内容のお問い合わせは、（財）VICSセンター（東京）までご連絡ください。

電話受付 <受付時間 09:30～17:45 土曜、日曜、祝日を除く>

電話番号 0570-00-8831 (全国)

(全国どこからでも市内通話料金でご利用になります。)

※ PHSからはご利用できません。

FAX受付 <受付時間 24時間>

FAX番号 03-3592-5494 (全国)

VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記のホームページでご覧いただけます。

URL : <http://www.vics.or.jp/>

なお、お問い合わせ先の判断に迷うようなときには、まずお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

1. VICSビーコンユニットを操作する

VICSビーコンユニットでできること

内蔵のFM多重機能とは別に、オプションのVICSビーコンユニットを接続した場合は、FM多重放送に加え電波・光ビーコンの受信が可能になります。

- ビーコンが設置されている付近の道路交通情報が提供されます。
- ビーコンから受信した最新の渋滞情報を考慮した経路探索が可能になります。
- ビーコンからの割り込み情報を受信できます。

VICSビーコンユニットの構成

VICSの電波／光ビーコンを受信するシステム



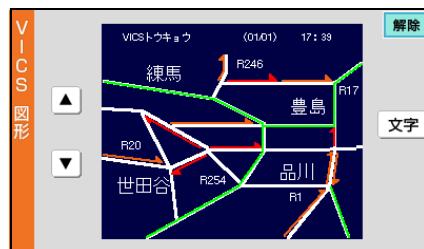
アドバイス

オプションのVICSビーコンユニットを接続すると、電波・光ビーコンの情報を受信して、VICS情報を表示することができます。

割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示

ビーコンからVICS情報が受信されたとき、VICS图形情報（または文字情報）を自動的に表示させることができます。

- **▲** または **▼** にタッチして、表示させる割り込み情報を切り替えます。
- 文字情報と图形情報の両方の割り込み情報があるときは、**文字**（文字情報を表示させているときは**图形**）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。
- **解除**にタッチする、または設定時間以上操作しなかったときは、もとの画面にもどります。表示時間は、調整することができます。「割り込み情報の表示時間を調整する」（186ページ参照）



- 割り込み情報の表示

1. VICSビーコンユニットを操作する

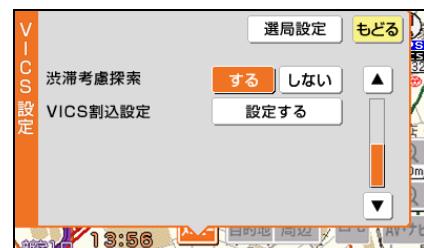
■割り込み情報の表示を設定する

割り込み情報を ON (表示する) にするか、OFF (表示しない) にするか、選ぶことができます。

1 メニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。

2 設定 / 情報画面の **VICS 設定** にタッチします。

3 VICS 割込設定の **設定する** にタッチします。



4 割り込み情報の項目の **する**、または **しない** にタッチします。

- ・ 注意警戒情報…注意警戒情報の表示
- ・ ビーコン文字情報…文字情報の表示
- ・ ビーコン図形情報…図形情報の表示
- タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。



5 **完了** にタッチします。

アドバイス

- FM多重放送のみのVICS情報では、ビーコンからの割り込み情報は表示されません。
- ビーコンの運用時間は24時間です。運用時間は予告なく変更されることがあります。
- 割り込み情報を **しない** に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報（または図形情報）が表示されます。

■割り込み情報の表示時間を調整する

割り込み情報が表示されてから、もとの画面にもどるまでの時間を調整することができます。

1 メニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。

2 設定 / 情報画面の **VICS 設定** にタッチします。

3 VICS 割込設定の **設定する** にタッチします。

4 自動割込みの表示時間の **▶**、または **◀** にタッチして調整します。

- 表示時間を長くするときは **▶**、短くするときは **◀** にタッチします。（タッチするたびに、5秒ずつ変更されます。）



5 **完了** にタッチします。

アドバイス

最長（30秒）にすると **▼次** 、最短（5秒）にすると **▲前** がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

■ 割り込み情報を呼び出す

割り込み情報を OFF (表示しない) にしているときに、受信された割り込み情報を表示させることができます。また、一度表示された割り込み情報を再度表示させることもできます。

1 メニュー画面で、**VICS** にタッチします。

2 **割込情報** にタッチします。



3 **▲** 、または **▼** にタッチして、表示させる割り込み情報を切り替えます。

● 文字情報と图形情報の両方の割り込み情報があるときは、**文字** (文字情報を表示させているときは **图形**) にタッチして、表示させる情報を切り替えます。

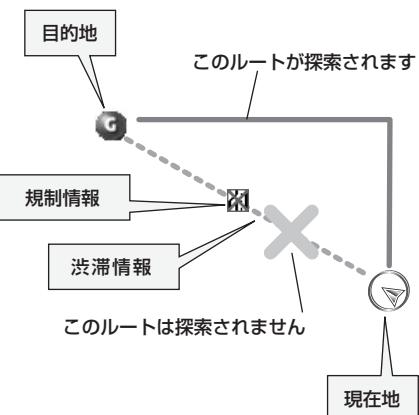


アドバイス

- 提供時刻より約 30 分以上経過した割り込み情報は表示させることができません。
- 再表示した割り込み情報画面は自動的に地図画面にはもどりません。**もどる** にタッチすると割り込み情報画面を解除します。
- 各割り込み情報の自動割込を **しない** に設定しているときは、**割込情報** から表示することができます。

■ 渋滞考慮探索

ビーコンからの VICS 情報を受信するたびに、受信された渋滞・規制情報が考慮されたルート探索をさせることができます。



アドバイス

- 渋滞考慮探索はナビ詳細設定の渋滞考慮探索が **する** になっているとき、探索します。（140 ページ参照）
- 現在地から約 10km 以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮しません。
- ルート探索後に道路状況が変わり、別のルートのほうが到着時間が早くなる場合があります。

2. ETC システムを操作する

本機能はオプションのナビゲーション対応の ETC 車載器を接続した場合に表示・操作できます。

ETC システムの状態を確認する

■ 車両情報などを ETC 車載器に登録する（セットアップ）

ETC 車載器のご利用には、取り付けられる車両情報などを ETC 車載器に登録する「セットアップ」が必要になります。

また、車両を変更する場合には、新しい車両の情報などを ETC 車載器に登録する「再セットアップ」が必要となります。詳しくは、ETC 車載器を購入された販売店へお問い合わせください。

■ ETC カードを入手する

ETC 車載器のご利用には、ETC 車載器に挿入して使用する ETC カードが必要となります。クレジット会社が発行する ETC カードを利用する場合は、別途発行手続きに伴う審査・条件が必要となります。詳しくは、各 ETC カード発行会社へお問い合わせください。

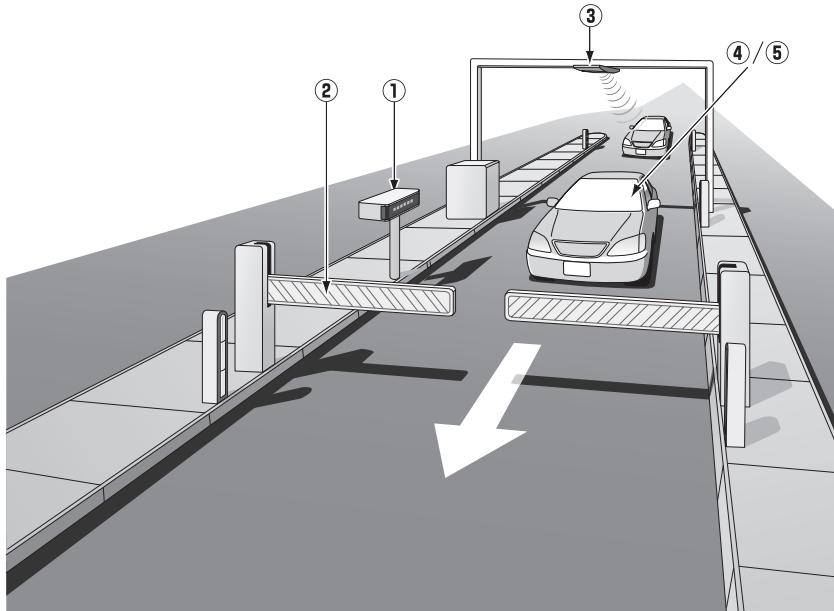
アドバイス

ETC 車載器の取り扱い、ご利用の方法は、ETC 車載器の取扱書をお読みください。

ETC とは

ETC (Electronic Toll Collection) システムは、有料道路の利用時に料金所、検札所の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

路側無線装置と ETC 車載器との間で通信を行い、料金はお客様が登録した銀行口座から後日引き落とされます。



①路側表示器	料金所のETCレーンに設置されています。進入車両に対し、通行の可否などのメッセージが表示されます。
②発進制御装置（開閉バー）	料金精算を確実にするために、料金所のETCレーンに必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
③路側無線装置	料金所のETCレーンに設置されています。料金精算のため、車両のETC車載器との通信を行うためのアンテナです。
④ETC車載器	車両に装着されています。ETCカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
⑤ETCカード	ETC車載器に挿入します。ICチップを搭載した、ETC車載器用カードのことです。ETCカードでは、このICチップに料金精算に必要なデータが保持されています。 ※ ETCカードには有効期限があります。あらかじめETCカードの有効期限をご確認ください。

2. ETCシステムを操作する

ETC メニュー画面

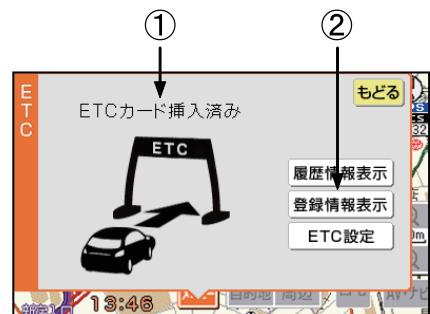
1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

● ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**設定 / 情報**にタッチします。

3 設定 / 情報画面で、**ETC**にタッチします。

● ETCメニュー画面になります。



① ETCカードメッセージ※

現在のETC車載器の状態が表示されます。
「ETCカード認証完了」…ETCがカードが挿入されたことを確認した状態です。

「ETCカード未挿入」…ETCカードが挿入されていません。

「ETCカード確認中」…ETCカードを読み込んでいます。

「ETCカード異常」…ETCカードを読み込むことができません。

「システム異常」…ETCシステムに何らかの異常が発生しています。(含む、ETCアンテナは故障検知)

「未セットアップ」…ETCがセットアップされていない状態

「セットアップ完了」…ETCがセットアップ完了している状態

② 登録情報表示

登録情報表示にタッチすると、お客様の車のETC車載器に登録された情報が表示されます。

■ ETC カードの有効期限の案内について

ETC カードの有効期限が当月、または切れている場合、音声と画面表示で案内します。

ETC カードを挿入する、または挿入した状態で車両のエンジンスイッチを ACC、または ON にすると、「ETC カードの有効期限が切れています」などと案内されます。

△ 注意

本機能は、ETCカードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。
ETCを使用する前は、必ずETCカードに記載されている有効期限を確認してください。

○ アドバイス

ETCカードの有効期限は、ETC音声案内(193 ページ参照)が“しない”に設定されている場合も案内されます。

走行中の案内について

△ 注意

- ETC レーン通過時には ETC レーン周辺に表示されている案内表示板や標識などにしたがって走行してください。
- ETC レーンに進入する場合は発進制御装置（開閉バー）の手前で十分止まれる速度まで減速し、開閉バーが開いて安全であることを確認してから通過してください。万一、開閉バーが開かないときには衝突するおそれがあります。また、前走車がいる場合は、前走車が急停車しても十分止まることができる車間距離を確保してください。万一、前走車が急停車したときに追突するおそれがあります。
- 走行中は、交通事故防止のため ETC 車載器から ETC カードの抜き差しをしないでください。
- 走行中に ETC 車載器から ETC カードの抜き差しを行うと ETC カード内のデータが破損する恐れがあります。
- ETC レーンを通行する場合は路側表示器の表示にしたがって走行してください。路側表示器に停止の表示があった場合は車を停止し、係員の指示にしたがってください。
- ETC ユニットを用いたサービス（スマート IC など）があります。サービス提供者から案内される利用方法をご確認下さい。

⌚ アドバイス

- ETC カードは必ず、入口料金所で使用した ETC カードを使用して出口料金所を通過してください。他の ETC カードに差し替えると入口料金所情報が ETC カードに保持されないため、出口料金所を通過できなくなります。
- 出口に ETC レーンが無い場合は、係員に ETC カードを渡し精算処理を行ってください。
- ETC レーンを通過しても本機が無反応だった場合は通信が正常に行われておりません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合にはお近くのインターホンにてお問い合わせください。

- ETC を利用するには、ETC カードを ETC 車載器に差し込んでおく必要があります。ETC カードが差し込まれていない状態では ETC を利用できません。

■ ETC レーンの通過案内について

ETC レーン（清算用）通過時

ETC による料金徴収が行われた時に、「支払い料金は〇〇円です」と音声および画面表示で案内します。

⌚ アドバイス

- 走行中、ETC ゲートを通過する手前で、ETC ゲートの通行の可否を音声と画面表示で案内します。
※ センターからの情報がない場合は通行可の案内は行われません。
- 予告アンテナおよび経路チェックアンテナを通過したときも料金所・検札所の ETC レーンを通過した場合と同様の表示になります。
- 予告アンテナを通過したときにエラーが表示された場合は、その先の料金所では ETC を利用できません。ETC 混在レーンまたは一般レーンへ進入し、係員の指示にしたがってください。なお、予告アンテナが設置されていない料金所もあります。
- 払い戻しアンテナを通過したときに払い戻しを受ける場合も、精算用の ETC レーンを通過した場合と同様の表示になります。
- ETC の利用料金は路側表示器に表示される場合があります。
- ETC の利用料金および利用履歴は、クレジットカード会社から発行される利用明細にてご確認ください。

2. ETCシステムを操作する

履歴情報を表示する

- 1 ETCメニュー画面で、**履歴情報表示**にタッチします。

- 2 ▲、または ▼にタッチして、表示させる履歴を切り替えます。

- 履歴を切り替えたとき、**最新**にタッチすると、最も新しい履歴にもどります。
- **詳細**にタッチすると、履歴の内容を表示します。



アドバイス

- 表示させることができる履歴は、最大100件までです。
- 利用履歴の確認は利用料金支払に使用したETCカードをETC車載器に差し込んでいないとできません。

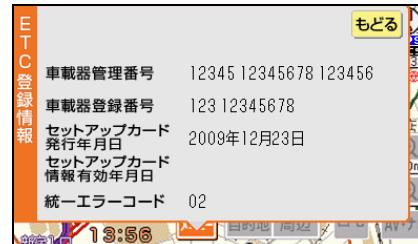
登録情報を表示する

注意

- 走行中は安全のため、運転者は利用履歴の確認を行わないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。
- ETCゲート付近で履歴を表示させると、路側アンテナとの通信ができないことがあります。

- 1 ETCメニュー画面で、**登録情報表示**にタッチします。

- ETC車載器の機器情報が表示されます。



アドバイス

ETC登録情報画面のセットアップカード情報有効年月日は、現在使用されていないため表示されません。

ETC システムの設定をする

1 メニュー にタッチします。

2 設定 / 情報 にタッチします。

3 ETC にタッチします。

4 ETC 設定 にタッチします。

5 設定 にタッチします。

6 ETCの項目の する 、または しない にタッチして設定します。

● タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。

● ETC割込表示*

ETCを利用するときに、画面にメッセージが表示されます。

● ETC音声案内*

ETCを利用するときに、音声が出力されます。

* 道路側から利用料金やエラーの情報が得られた場合に、音声と画面表示で案内します。

● ACCオン時警告表示

エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETCの異常を画面に表示して警告します。

● ACCオン時警告音声案内

エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETCの異常をお知らせします。

● カード抜き忘れ警告

エンジンスイッチをACC からOFF (LOCK) の位置にしたとき、カードの抜き忘れをお知らせします。



7 完了 にタッチします。

アドバイス

ETC音声案内をOFF (発声しない) にする場合は、ETC音声案内を しない に設定してください。

3. バックガイドモニターを操作する

オプションのバックガイドモニターを接続している場合、駐車などの後退操作を補助することができます。車両の後方の映像にガイド線を表示したり、音声で案内することで、簡単に駐車することができます。

※ 車種により、バックガイドモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

バックガイドモニターについて

■ バックガイドモニターの注意点

△ 注意

- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、角度センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け替えるときは必ず販売店でバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください。（そのままでは本機能をご使用になれない車種があります）
- **バックガイドモニターを過信しないでください。**
一般的の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- **画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。**
画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあります。画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 次のような状況では使用しないでください。
 - ・ 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・ タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
 - ・ バックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・ 坂道など平坦でない道
- バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを行ってください。また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れことがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じことがあります。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。

⌚ アドバイス

カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

■ カメラについての注意点

カメラは、車両の後方に取り付けられています。

△ 注意

パックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことに注意してください。

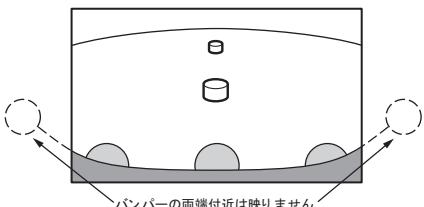
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすことがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。

⌚ アドバイス

カメラのレンズがよごれると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

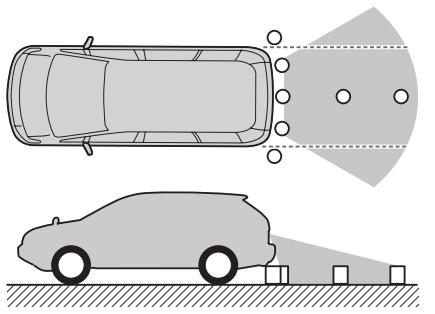
■ 画面に映る範囲について

バンパー後端から車の後方を映すことができます。バンパーの両端付近やバンパーの下は映すことできません。



3. バックガイドモニターを操作する

＜映る範囲＞



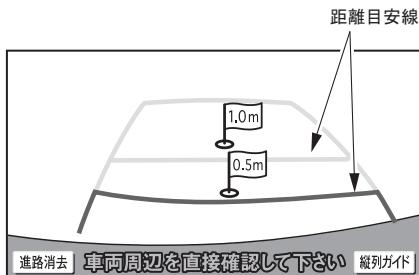
アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがあります、異常ではありません。
 - ・ 暗いところ。(夜間など)
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。(雨天時など)
 - ・ カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
 - ・ 太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき。

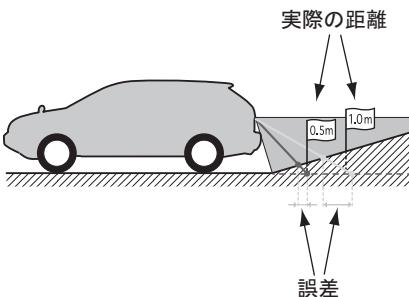
画面と実際の路面との誤差

次の場合、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)

■ 急な上り坂が後方にあるとき

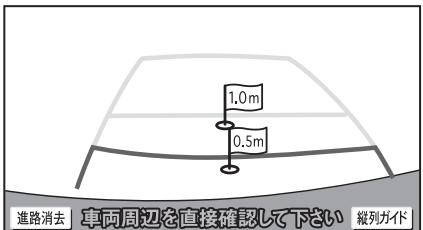


＜車の状況＞

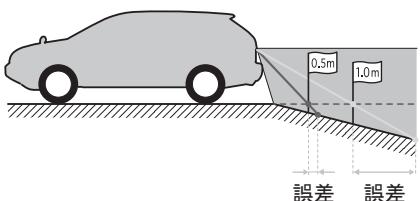


距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■ 急な下り坂が後方にあるとき



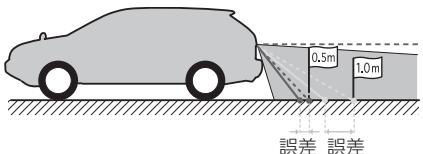
＜車の状況＞



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■ 車が傾いているとき

＜車の状況＞



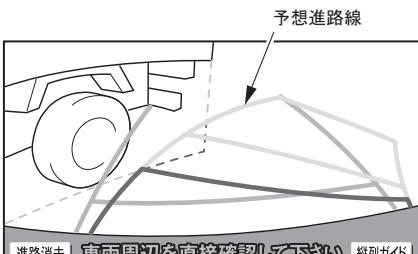
乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

立体物が近くにあるときの注意点

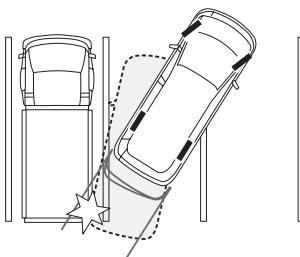
画面のガイドは平面物（道路など）を対象にしています。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことに注意してぶつからないようしてください。

■ 予想進路線

予想進路線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することはできません。



＜車の状況＞

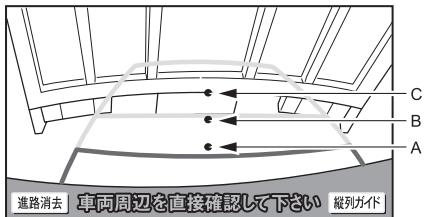


画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えますが、実際には荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。このように予想進路線が障害物の近くを通るときは、後方や周囲の安全を直接確認してください。

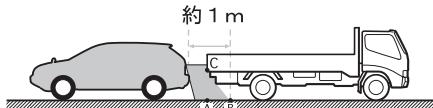
3. バックガイドモニターを操作する

■ 距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。



<A, B, Cの位置>



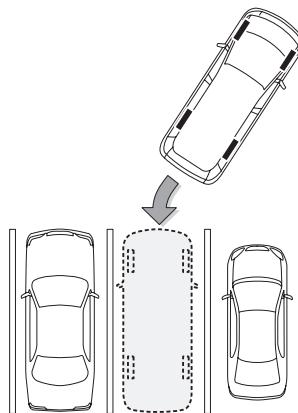
画面では、距離目安線により約1m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

ガイド方法について

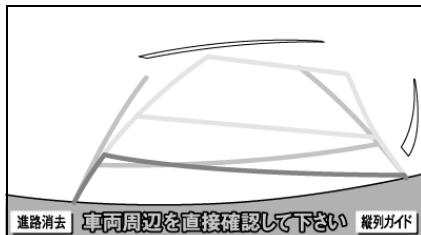
バックガイドモニターは、駐車する時のガイド方法を選ぶことができます。

■ 並列駐車（車庫入れ）をするとき

車庫入れなど並列駐車をするときは、進路表示モード、または駐車ガイド線表示モードを使用します。

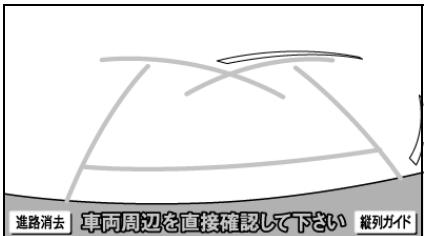


● 進路表示モードで並列駐車をする（200ページ参照）



ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されるモードです。

● 駐車ガイド線表示モードで並列駐車をする（203ページ参照）

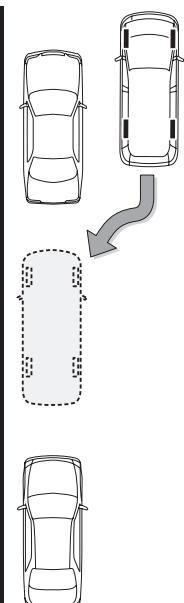


ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

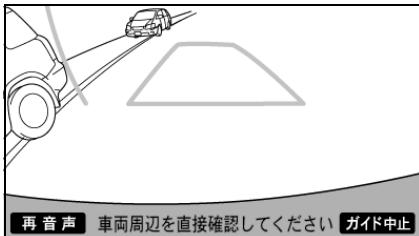
車両感覚に慣れた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はご使用ください。

■ 縦列駐車をするとき

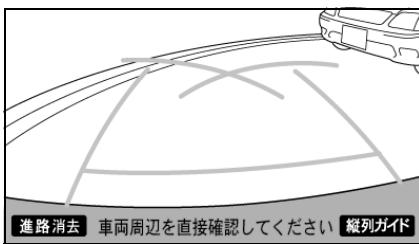
縦列駐車をするときは、縦列ガイドモード、または駐車ガイド線表示モードを使用します。



- 縦列ガイドモードで縦列駐車をする（205 ページ参照）



- 駐車ガイド線表示モードで縦列駐車をする（213 ページ参照）



ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

縦列ガイドモードを必要とせずに駐車のできる方や縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

3. バックガイドモニターを操作する

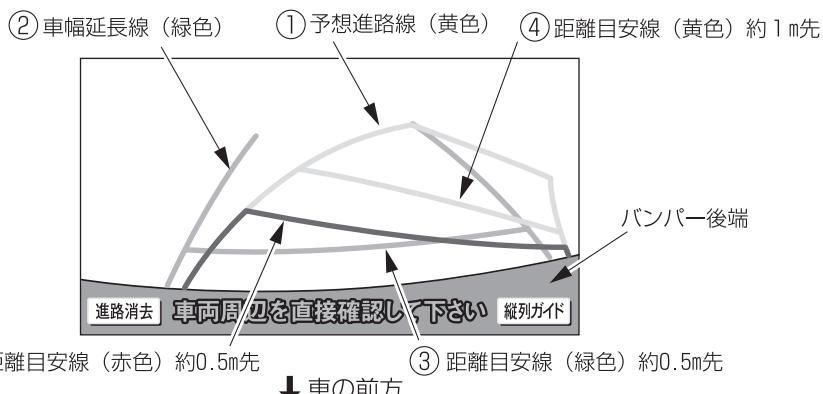
並列駐車をする

■ 進路表示モードで駐車する

画面の見方

△ 注意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。
必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲がり角・カーブなどがなく、渋滞の少ない道路を前進で約5分以上走行してください。
それでもなおならないときは、販売店で点検を受けてください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。



①予想進路線（黄色）	車が後退していく進路の目安を示します。 ● ハンドル操作と連動します。
②車幅延長線（緑色）	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ● 実際の車幅より広く表示しています。 ● ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。
③距離目安線（緑色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ● 約0.5m先を示します。
④距離目安線（赤色／黄色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ● ハンドル操作と連動します。予想進路線とともに動きます。 ● それぞれの中心位置で、約0.5m先（赤色）・約1m先（黄色）を示します。 ● ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっていないときは誤差が生じます。 上記の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色：約0.5m先、黄色：約1m先）より、右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。

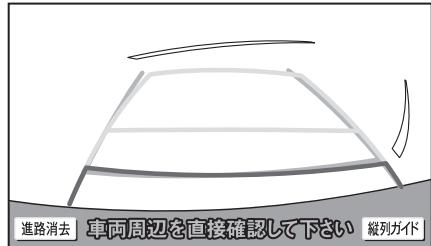
進路表示モードで駐車する

進路表示モードで駐車する場合、駐車ガイド線の表示を **しない** に設定します (215 ページ参照)。

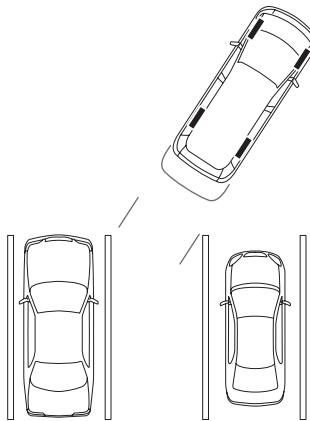
次の説明と逆方向のスペースに駐車する場合、ハンドル操作が左右逆になります。

1 チェンジレバーを⑧にします。

- 車両のチェンジレバーを ⑧ 以外にした場合、もとの画面に戻ります。
- **進路消去** にタッチすると、予想進路線や車幅延長線を消すことができます。この場合、距離目安線はハンドル操作と連動しません。**進路表示** にタッチすると、もとに戻すことができます。

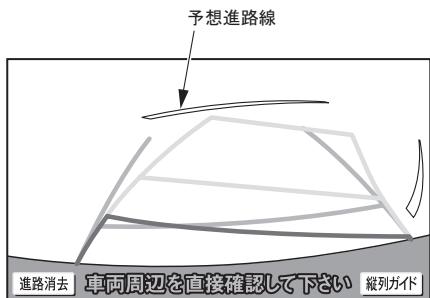


〈車の状況〉

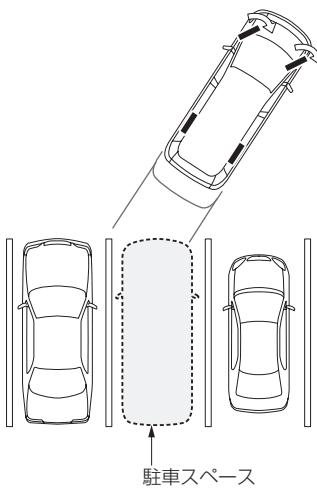


2

予想進路線が駐車スペースの中にはいるようにハンドルを操作して、ゆっくり後退します。

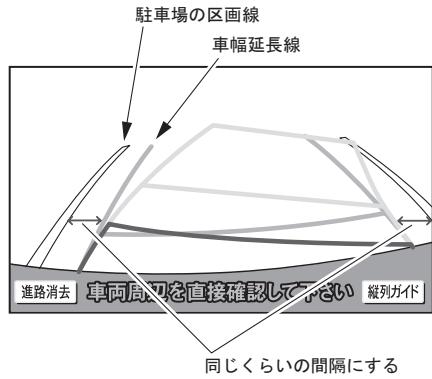


〈車の状況〉

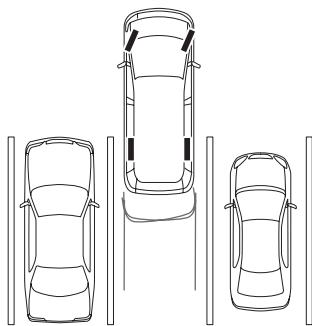


3. バックガイドモニターを操作する

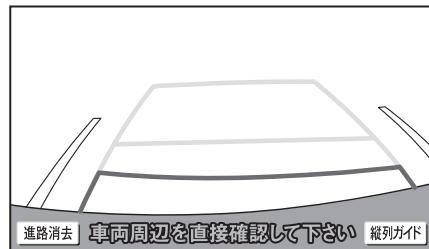
3 車の後部が駐車スペースの中にはいたら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が車の近くの位置で同じくらいになるようにハンドルを操作します。



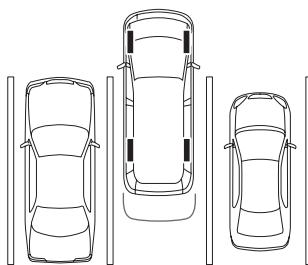
<車の状況>



4 車幅延長線と駐車場の区画線が平行にならなければ、ハンドルをまっすぐ(直進状態)にして、車が駐車スペースに全部はいるまで、ゆっくり後退します。

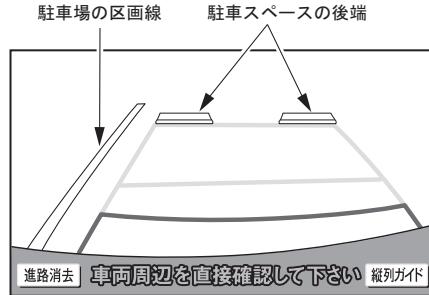


<車の状況>



アドバイス

- 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても、実際には平行ではないことがあります。
- 駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端(右端)が画面では平行に見えても(下図参照)、実際には平行ではないことがあります。

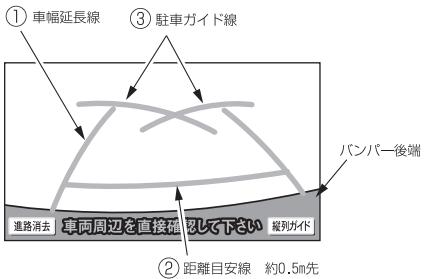


■駐車ガイド線表示モードで駐車する

画面の見方

△ 注意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。



↓車の前方

①車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ● 実際の車幅より広く表示しています。
②距離目安線	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ● 約0.5m先を示します。
③駐車ガイド線	ハンドルをいっぱい今までまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。 ● 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

駐車ガイド線表示モードで駐車する

進路表示モードで駐車する場合、駐車ガイド線の表示を **する** に設定します（215 ページ参照）。

次の説明と逆方向のスペースに駐車する場合、ハンドル操作が左右逆になります。

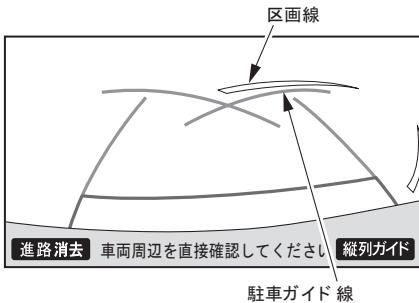
1

チェンジレバーを⑧にします。

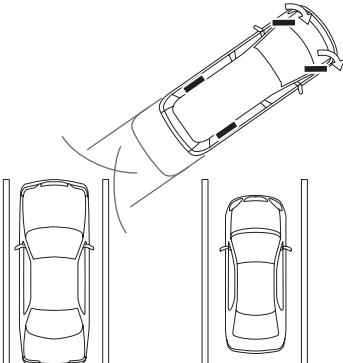
- 車両のチェンジレバーを ⑧ 以外にした場合、もとの画面に戻ります。
- **進路消去** にタッチすると、予想進路線や車幅延長線を消すことができます。この場合、距離目安線はハンドル操作と連動しません。**進路表示** にタッチすると、もとに戻すことができます。

2

駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まります。

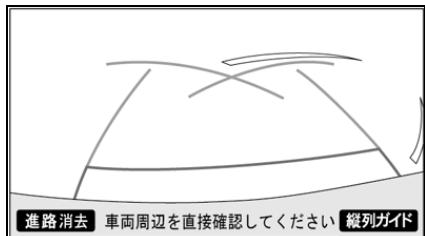


＜車の状況＞

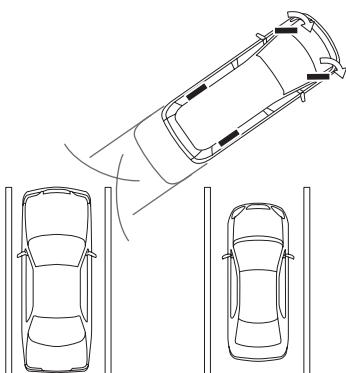


3. バックガイドモニターを操作する

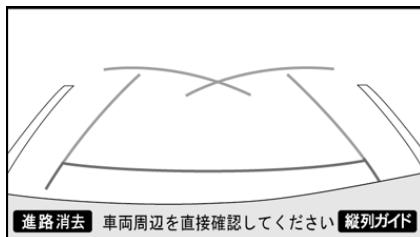
- 3 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退します。



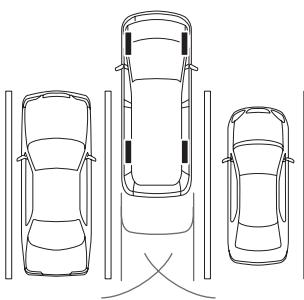
<車の状況>



- 4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終えます。



<車の状況>



縦列駐車する

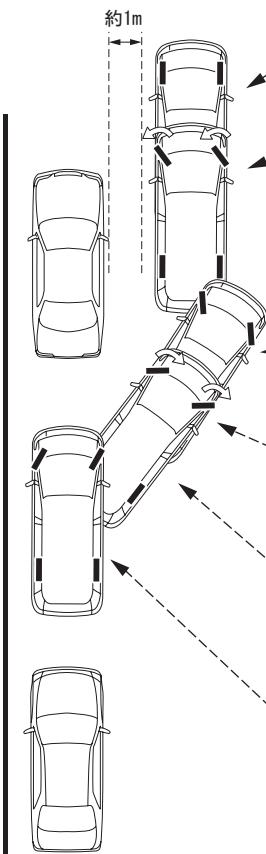
■縦列ガイドモードで駐車する

車の動きと画面・音声案内の流れ

△ 注意

- カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路では、使用しないでください。
- ハンドル操作は必ず車を止めた状態で行ってください。

●車の動き



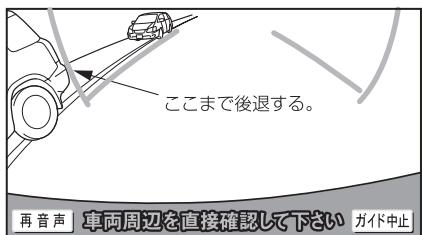
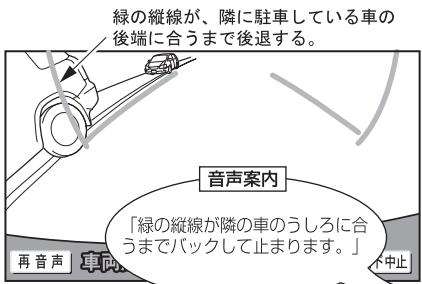
●操作内容

- 道路と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置で止まる。
- 緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。（画面①）
車を止めたままハンドルを操作し、緑の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。（画面②）
- 緑の曲線が表示されて、緑の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。（画面③）
- 駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。（画面④）
- ハンドルをそのままにして距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確認し後退する。（画面⑤）
- 車がほぼまっすぐになつたら縦列ガイドモードが終了する。

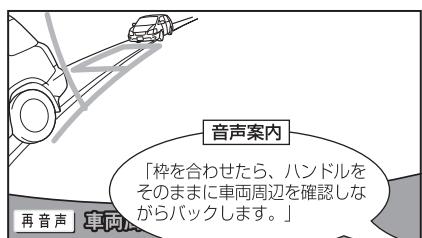
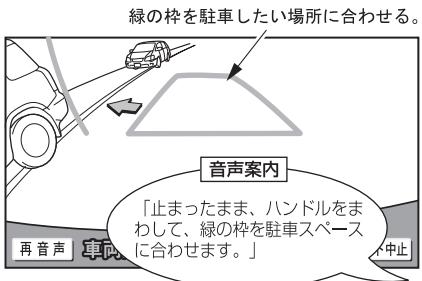
3. バックガイドモニターを操作する

● 画面・音声案内の流れ

<画面①>

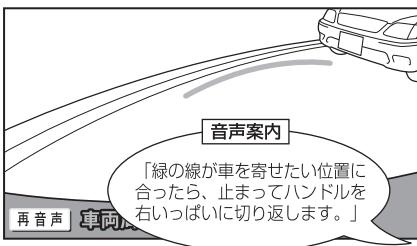
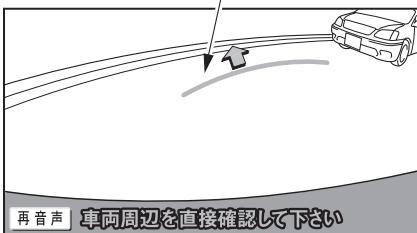


<画面②>



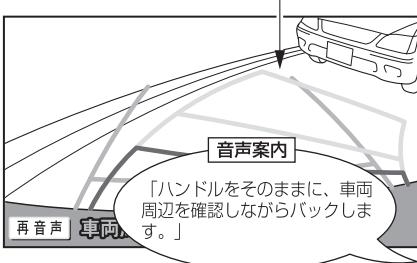
<画面③④>

緑の曲線が駐車したい場所の左端に合うまで後退する。



<画面⑤>

距離目安線などを参考に、
目視やミラーで周辺を確認し後退する。



○ アドバイス

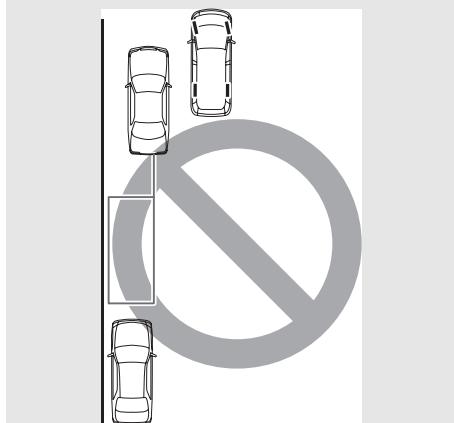
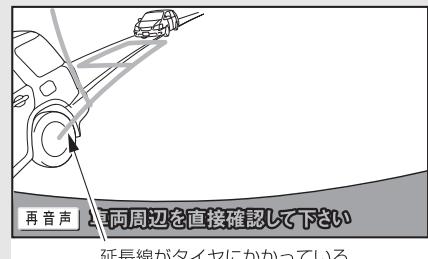
音声案内の音量は調節することができます。
「駐車ガイド線の表示」(217ページ参照)

縦列ガイドモードで駐車する

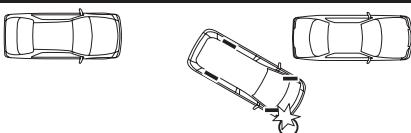
ここでは、左側の駐車スペースに駐車する場合の手順を説明します。右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドルの操作などがすべて左右逆になります。

△ 注意

- 緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用することができません。
- 緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に伸びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。



- 車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

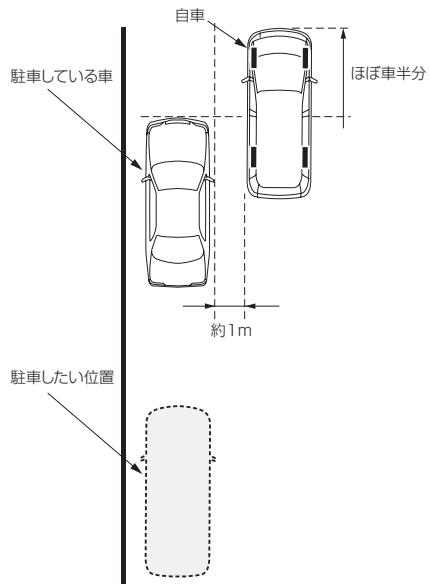


- 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



- 1** 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。

- 前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。



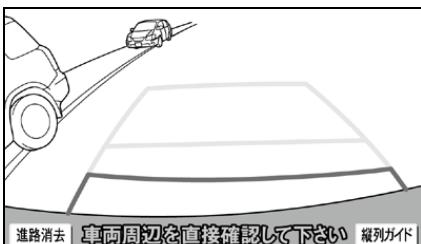
3. バックガイドモニターを操作する

2 チェンジレバーを⑧にします。

- 車両のチェンジレバーを ⑧ 以外にした場合、もとの画面に戻ります。

3 車の位置を確認し、**縦列ガイド**にタッチします。

- 画面で駐車している車のリヤタイヤより後ろの部分が映っていることを確認します。映っていないときは車を正しい位置まで前進させ操作をやり直します。



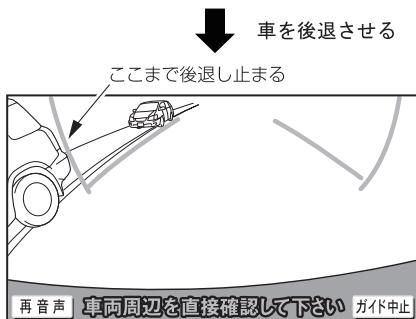
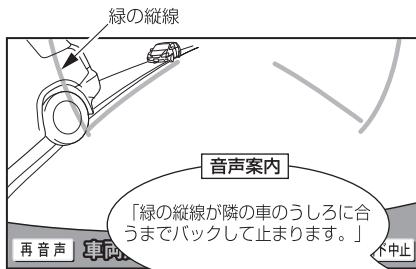
4 表示された画面と同じ位置に車が止まっていることを確認したら、**次へ**にタッチします。

- **ガイド中止** にタッチすると、前の画面にもどります。

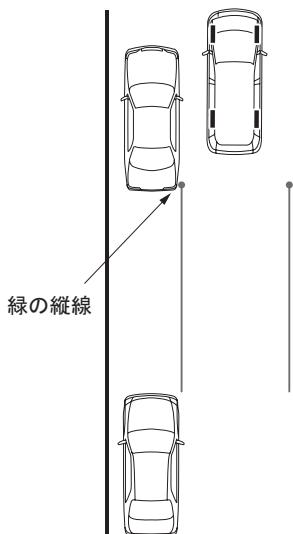
- **次回からこの表示を省略** にタッチすると、この画面を表示させないようにできます。再度、表示させたい場合、はじめのコツ表示を **する** に設定します (215 ページ参照)。



5 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まります。

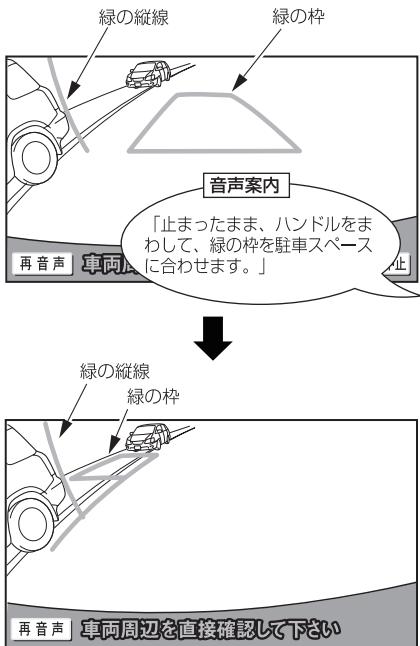


<車の状況>

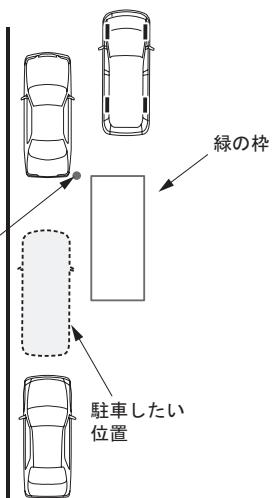


- **ガイド中止** にタッチすると、最初の画面（車両のエンジレバーを⑧にしたときの画面）を表示することができます。
- **再音声** にタッチすると、音声案内を再度聞くことができます。
- ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。その場合、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やり直します。
- チェンジレバーを⑧以外にしても、約10秒以内にチェンジレバーを⑧に戻すと、この画面を表示することができます。

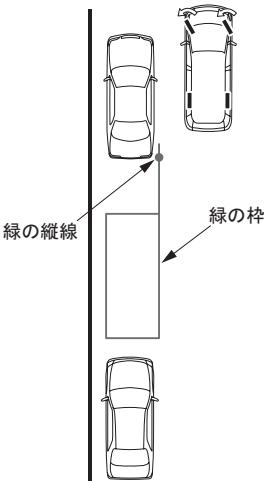
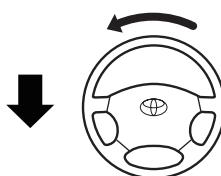
6 音声で案内され緑の枠が表示されたら、止まったままハンドルを左にまわして、緑の枠を駐車したい位置に合わせます。



<車の状況>



ハンドルを左にまわす



3. バックガイドモニターを操作する

- 7** 緑の枠を合わせ、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退します。

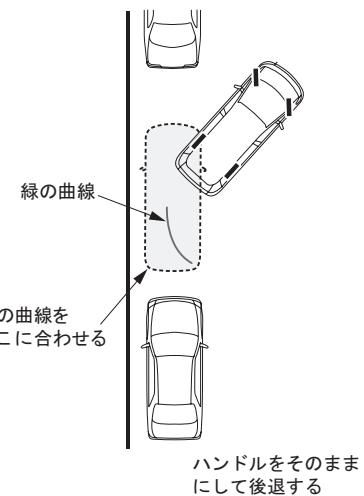
ハンドルはそのまま



音声案内

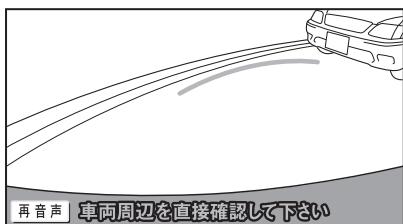
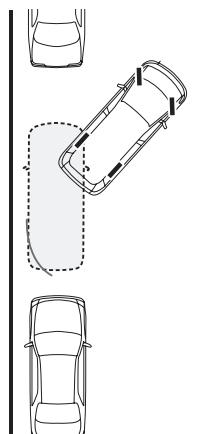
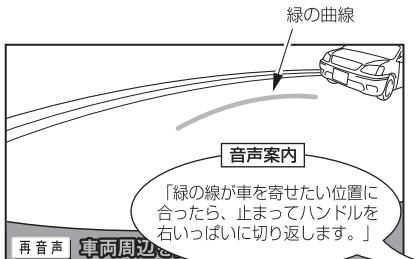
「枠を合わせたら、ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

<車の状況>



- 8** 音声で案内され緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして、後退します。緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まります。

● 後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。



9

車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまでまわします。

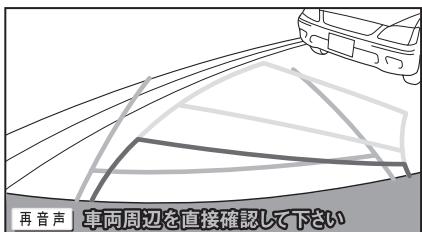
- 必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。

ハンドルを右いっぱいまでまわす



10

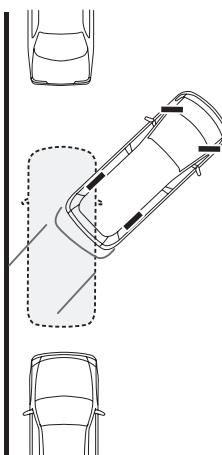
画面が切り替わり音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして、後退してください。



音声案内

「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

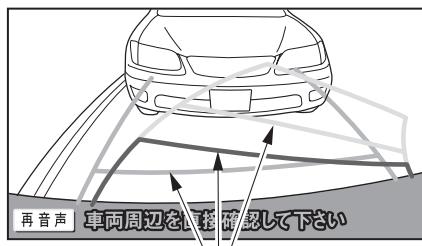
<車の状況>



11

車が道路（または路肩）と平行になつたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にもどします。距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認し、ゆっくり後退して止まります。

- 車がほぼまっすぐになると、音声案内されて縦列ガイドモードが終了します。

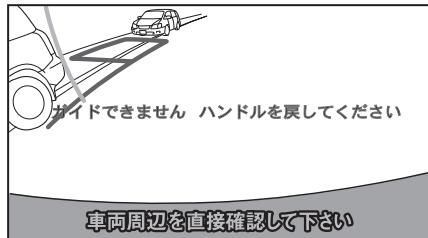
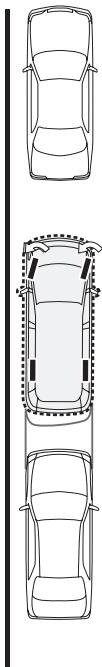


音声案内

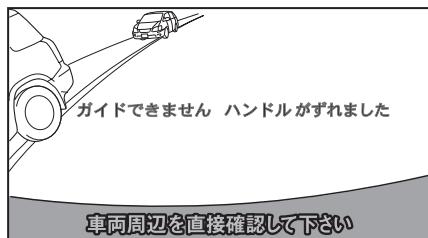
「縦列ガイドを終了します。」

3. バックガイドモニターを操作する

<車の状況>



- 後退中にハンドルを操作すると、ガイドできません。
その場合、チェンジレバーを⑥以外にしてから、再度チェンジレバーを⑥にして最初からやり直してください。

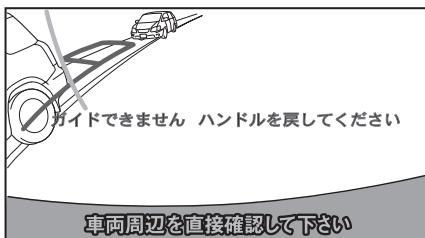


- ごく低速で後退すると、次の案内が行われないことがあります。
- 後退を開始すると、ガイド線が表示されなくなります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

アドバイス

画面の中にメッセージが表示されることがあります。

- 枠が赤くなって、次のようなメッセージが表示されたら、ガイドすることができませんので、ハンドルをもどしてください。



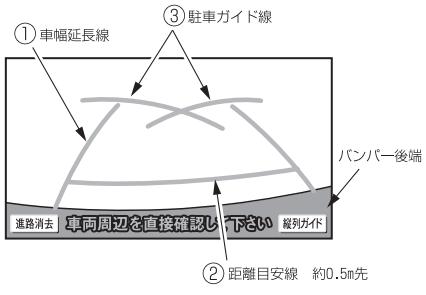
- 枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、次のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩から離れすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約1m）を確認してください。

■駐車ガイド線表示モードで駐車する

画面の見方

△ 注意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。



↓ 車の前方

①車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ● 実際の車幅より広く表示しています。
②距離目安線	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ● 約0.5m先を示します。
③駐車ガイド線	ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。 ● 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

駐車ガイド線表示モードで駐車する

駐車ガイド線表示モードで駐車する場合、駐車ガイド線の表示を **する** に設定します（215 ページ参照）。

△ 注意

車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

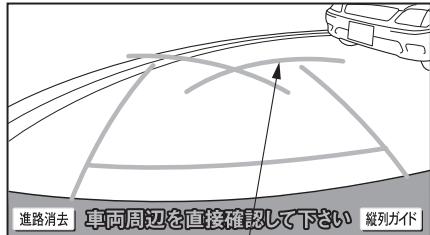


1 チェンジレバーを⑧にします。

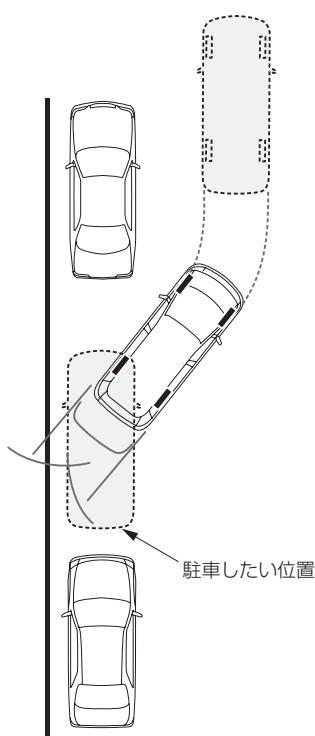
- 車両のチェンジレバーを ⑧ 以外にした場合、もとの画面に戻ります。

3. バックガイドモニターを操作する

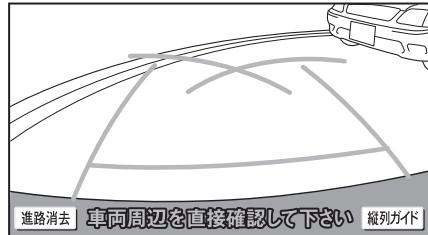
2 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まります。



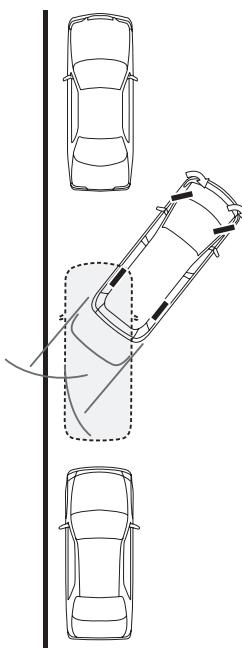
<車の状況>



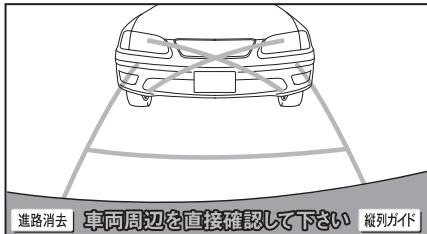
3 ハンドルを右いっぱいにまわし、ゆっくり後退します。



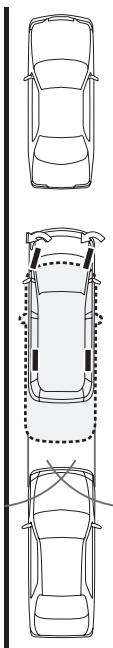
<車の状況>



- 4** 車が道路（または路肩）と平行になつたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。画面を参考に必ず目視やミラーで車の前後を確認し、最適な位置まで後退して駐車を終えます。



<車の状況>



バックガイドモニターの設定をする

■ 縦列ガイドの音量を設定する

音声案内の音量を調整することができます。

- 1** ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

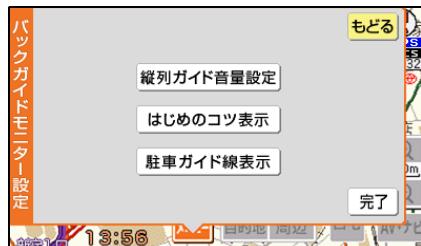
● ナビメニュー画面が表示されます。

- 2** ナビメニュー画面で、**設定 / 情報**にタッチします。

- 3** 設定 / 情報画面で、**BGM 設定**にタッチします。

● パックガイドモニター設定画面が表示されます。

- 4** **縦列ガイド音量設定**にタッチします。



3. バックガイドモニターを操作する

5 **消音**・**小**・**・**・**・**・**大** のいずれかにタッチします。

- タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。
- **消音**にタッチすると、音声案内は出力されません。



6 **完了**にタッチします。

- 設定が記憶され現在地画面にもどります。
- **もどる**にタッチすると、設定はキャンセルされバックガイドモニター設定画面にもどります。

■はじめのコツを表示する

縦列ガイドモードで表示される「はじめのコツ」を表示するか表示しないかを選ぶことができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

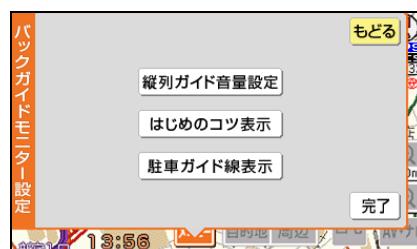
- ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**設定 / 情報**にタッチします。

3 設定 / 情報画面で、**BGM 設定**にタッチします。

- バックガイドモニター設定画面が表示されます。

4 **はじめのコツ表示**にタッチします。



5 表示するときは**する**、表示しないときは**しない**にタッチします。

- タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。



6 完了

- 設定が記憶され現在地画面にもどります。
- **もどる** にタッチすると、設定はキャンセルされパックガイドモニター設定画面にもどります。

■駐車ガイド線の表示

駐車ガイド線表示モードにするか、進路表示モードにするか、選ぶことができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

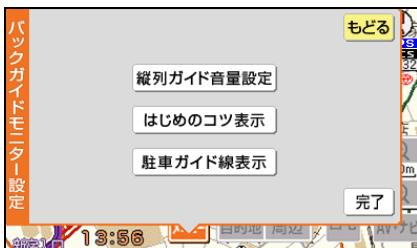
- ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。

3 設定 / 情報画面で、**BGM 設定** にタッチします。

- パックガイドモニター設定画面が表示されます。

4 駐車ガイド線表示 にタッチします。



5

駐車ガイド線表示モードにしたいときは **する** 、進路表示モードにしたいときは **しない** にタッチします。

- タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。



6 完了

にタッチします。

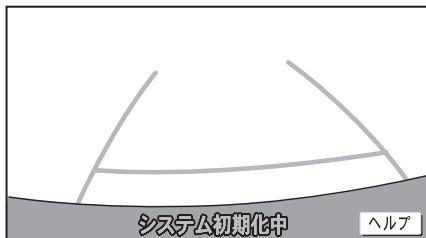
- 設定が記憶され現在地画面にもどります。
- **もどる** にタッチすると、設定はキャンセルされパックガイドモニター設定画面にもどります。

3. バックガイドモニターを操作する

こんなときは

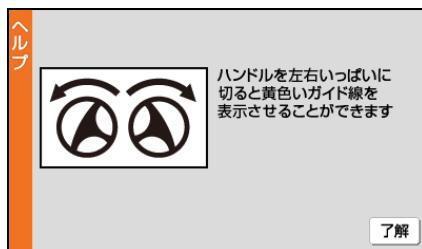
■システム初期化中の表示がでたときは

バッテリーの脱着やバッテリー能力が低下したなどの場合、システム初期化中画面が表示されます。この場合、次のどちらかの操作が必要です。



システム初期化中画面

- **ヘルプ** にタッチすると、操作方法を表示することができます。



- **了解** にタッチすると、もとの画面にもどります。
- システム初期化中、またはヘルプ画面が表示されたままの場合、販売店で点検を受けてください。

停車しての操作

車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいにまわしたあと、右いっぱいまでまわします。
(左右どちらが先でも可)

- システム初期化中画面が表示されたままの場合、販売店にご相談ください。

走行しての操作

できるだけ曲がり角やカーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約5分間以上走行します。

- システム初期化中画面が表示されたままの場合、販売店にご相談ください。

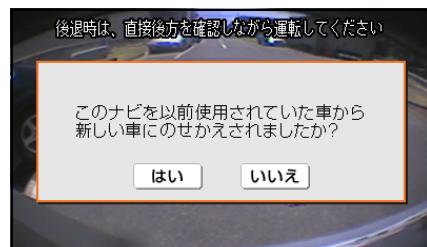
■ バッテリーの脱着や本機の載せ替えをしたときは

バッテリーの脱着や本機を載せ替えた場合、チェンジレバーを にすると確認画面が表示されます。

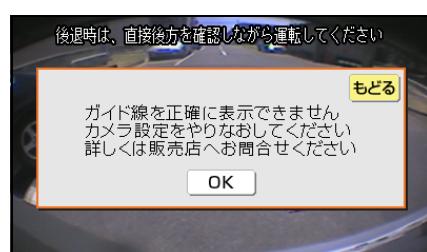
本機を載せ替えた場合、必ず販売店でバックガイドモニターの設定を行ってください。

- 1 **はい** にタッチします。

- 載せ替えをしていない場合、**いいえ** にタッチします。



- 2 **OK** にタッチします。



4. バックモニターを操作する

バックモニターについて

オプションのバックモニターを装着した場合、チェンジレバーを④にすると、本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド線（車両の車幅や距離感覚を補う補助線）を映すことができます。（ご使用の車に合わせたガイド線の表示設定は販売店にて行います。）

- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示される距離目安線やガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

■ バックモニターの注意点

△ 注意

- バックモニターを過信しないでください。
- 本機（バックモニター）は、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。
- 自車の状況（乗車人数・積載量）により、画面のガイド線の示す位置は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・バックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
 - ・坂道など平坦でない道路
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

アドバイス

- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれてバックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりバックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 写真は一例です。モニター画面に写る範囲は車種によって異なります。
- チェンジレバーを④にした瞬間は、一端白画面になりますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- バックモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

4. バックモニターを操作する

■画面に映る範囲について

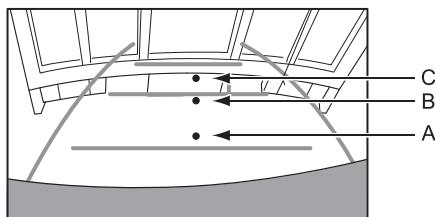
バンパー後端から車の後方を映すことができます。バンパーの両端付近やバンパーの下は映すことができません。

距離目安線

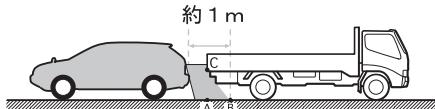
距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。画面では、距離目安線により約1m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

<画面>



<A、B、Cの位置>



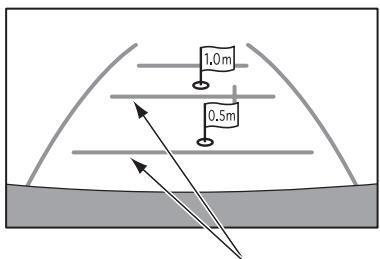
アドバイス

- 次の場合、画面が見づらくなることがあります、異常ではありません。
 - ・夜間などの暗いところ。
 - ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高い雨天時などのとき
 - ・カメラ付近に泥などの異物がついたとき。
 - ・太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- 後方の映像は実際の色合いと異なることがあります。
- 車両によりバックガイド線が左右にずれて表示されることがあります、故障ではありません。

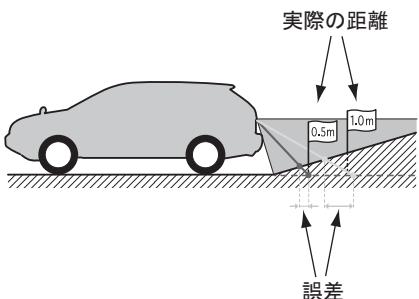
■ 画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します。)

■ 急な上り坂が後方にあるとき



＜車の状況＞

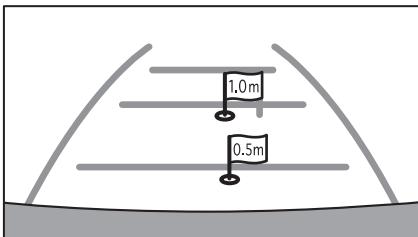


距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。

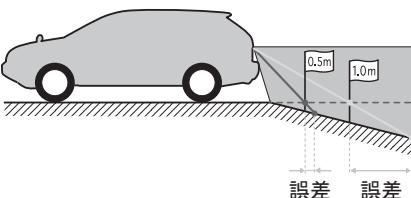
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■ 急な下り坂が後方にあるとき

＜画面＞



＜車の状況＞



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

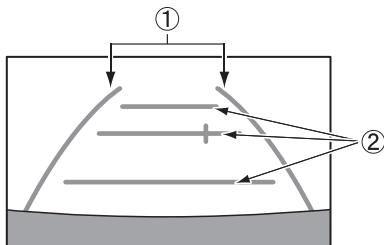
4. バックモニターを操作する

後方の映像を表示する

△ 注意

車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

画面の見方



① 車幅延長線（黄色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

● 実際の車幅より広く表示しています。

② 距離目安線

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

● ハンドル操作と連動しません。

● それぞれの中心位置で、約0.5m先（1本目）・約1m先（2本目）・約2m先（3本目）を示します。

■ 後方の映像を表示する

1

車両のチェンジレバーを④にします。

- 車両のチェンジレバーを④以外にした場合、もとの画面に戻ります。

2 アドバイス

後方の映像に表示されるガイド線は、表示を切り替えることができます。

ガイドの表示を設定する

後方の映像にガイド線を表示することができます。

1

車両のチェンジレバーを④にします。

2

Ⓐを1秒以上押します。

3

ガイドON、またはガイドOFFにタッチします。



- ガイドON：

ガイド線が表示されます。

- ガイドOFF：

ガイド線が消去されます。

4

完了にタッチします。

5. ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムを操作する

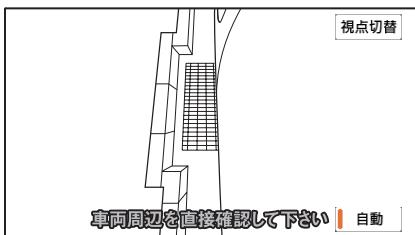
ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムについて

オプションのブラインドコーナーモニター やサイドモニターシステムを装着した場合、周辺状況を画面に映すことができます。

- ブラインドコーナーモニター…見通しの悪い交差点やT字路などで、車両の左右前方を確認することができます。
- サイドモニターシステム…左折や幅寄せなどをする際に、車両の左前方を確認することができます。
- ※ 車種によっては、ブラインドコーナーモニター、またはサイドモニターシステムが装着できない場合があります。詳しくは、販売店に問い合わせてください。



● ブラインドコーナーモニター画面



● サイドモニター画面

■ ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムについての注意点

△ 注意

- ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムを過信しないでください。運転は一般的の車と同様、慎重に行ってください。
- 画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあります、画面だけを見て走行すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすことがあります。走行するときは、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認してください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- サイドモニターシステムは、以下のようない状況では使用しないでください。
 - ・ ドアミラーを格納したとき
 - ・ 助手席ドアが完全に閉まっていないとき

👉 アドバイス

カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は実際の位置や距離と異なります。

5. ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムを操作する

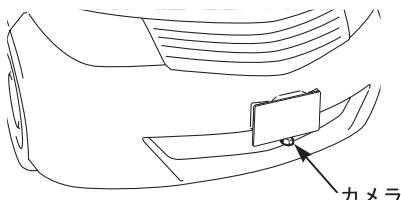
■ カメラについての注意点

△ 注意

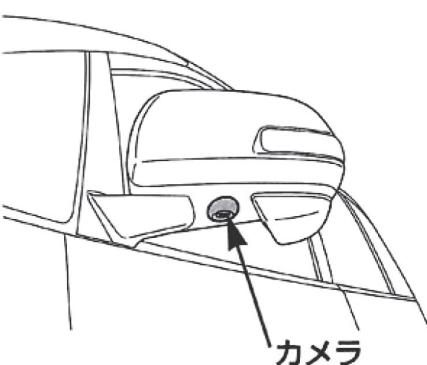
ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことにご注意ください。

- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- カメラの表面を強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのレンズはガラスですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- カメラの表面に飛び石などで傷がつくことがあります。
- ブラインドコーナーモニターの取り付け位置は、車種により異なります。

■ ブラインドコーナーモニター



■ サイドモニターシステム



⌚ アドバイス

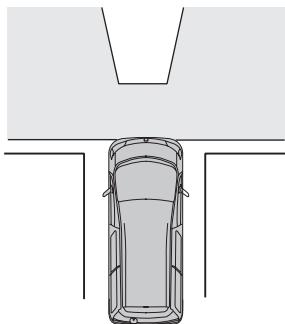
カメラのレンズがよごれると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

■画面に映る範囲について

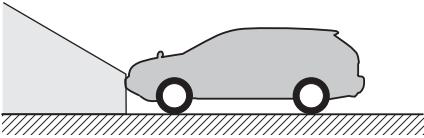
ブラインドコーナーモニターについて

車両の左右前方の映像（下図の範囲）を表示することができます。

■左右方向



■上下方向



アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- 画面に車体の一部（バンパーやグリル、ライセンスプレートなど）が写ることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ブラインドコーナーモニターは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

- 次のようなときは、画面が見づらくなることがあります、異常ではありません。

- ・暗いところ。（夜間など）
- ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
- ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
- ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
- ・太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき。

- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり見づらくなることがあります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

- 次のようなときは故障ではありません。

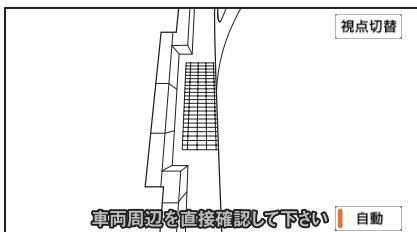
- ・雨の日など湿度が高いときはカメラが曇ることがあります。
- ・夜間走行のときなどに、前方の車のランプや建物などの灯りが映像に映り込むことがあります。
- ・夜間など暗い場所では、ノイズを目立たなくするために、白黒映像のように見えたり、実際とは異なった色で見えます。
- ・画面の中央や四隅は映像の鮮明度が低下することがあります。

5. ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムを操作する

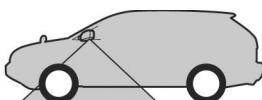
サイドモニターシステムについて

■ VIEW A

車両の左前方の映像を、左側中心（下図の範囲）に表示することができます。

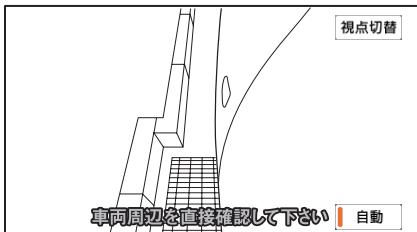


<映る範囲>

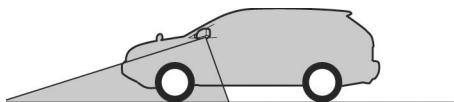


■ VIEW B

車両の左前方の映像を、前方中心（下図の範囲）に表示することができます。



<映る範囲>



アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラはレンズの特性のため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・ 暗いところ。（夜間など）
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
 - ・ カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
 - ・ 太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり見づらくなることがあります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- 次のようなときは故障ではありません。
 - ・ 雨の日など湿度が高いときはカメラが曇ることがあります。
 - ・ 夜間走行のときなどに、前方の車のランプや建物などの灯りが映像に映り込むことがあります。
 - ・ 夜間など暗い場所では、ノイズを目立たなくするために、白黒映像のように見えたり、実際とは異なった色で見えます。
 - ・ 画面の四隅は映像の鮮明度が低下することがあります。
 - ・ 50Hz 電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。

周辺の映像を表示する

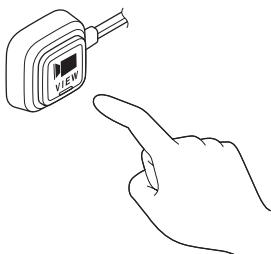
ブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムは、カメラ映像呼び出しボタンを押すだけで表示することができます。また、サイドモニターシステムは、表示範囲を切り替えることができます。

■ 周辺の映像を表示する

チェック

車両のエンジンスイッチがONで車速が約12km/h未満の場合、周辺の映像を表示することができます。

- 1 カメラ映像呼び出しボタンを押します。



- ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に接続している場合、再度、カメラ映像呼び出しボタンを押すと、映像が切り替わります。

- 次の場合、周辺の映像は解除されます。
 - ・ 車速が約12km/h以上になった場合
 - ・ カメラ映像呼び出しボタンを押した場合^{※1}
 - ・ チェンジレバーを⑩にした場合^{※2}
 - ・ ▲を押した場合

^{※1} 優先表示に設定されている画面を表示している場合、2回押してください。

^{※2} バックガイドモニター、またはバックモニターを装着していない場合、サイドモニター画面は解除されません。

アドバイス

- ブラインドコーナーモニター画面は、車両のチェンジレバーが⑩の場合、切り替えることができません。
- 周辺の映像は自動で表示することができます。(228ページ参照)
- ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に接続している場合、優先して表示する映像を設定することができます。(229ページ参照)

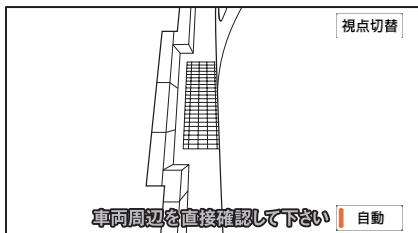
5. ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムを操作する

■サイドモニターシステムの表示範囲を切り替える

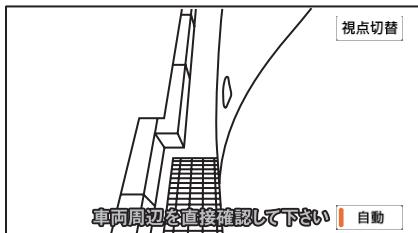
サイドモニターシステムはVIEW AとVIEW Bの、2つの表示範囲に切り替えることができます。

VIEW Aは車両左前方の映像を、左側中心で表示することができます。

VIEW Bは車両左前方の映像を、前方中心で表示することができます。

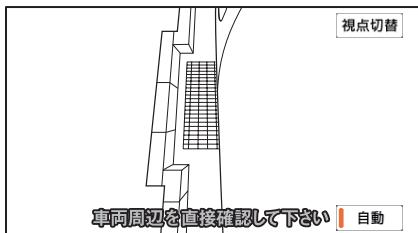


● VIEW A表示画面



● VIEW B表示画面

1 視点切替にタッチします。



● タッチするごとに、表示範囲が切り替わります

ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムの設定をする

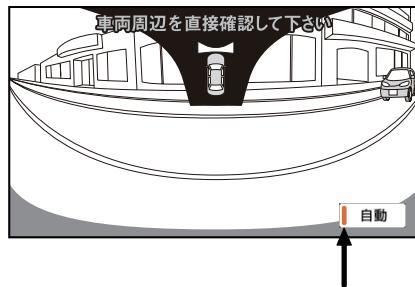
■自動切り替えを設定する

各モニター画面を自動でON(切り替える)にするか、OFF(切り替えない)にするか、選ぶことができます。

また、表示するタイミングも選ぶことができます。

1 各モニター画面で、自動にタッチします。

- タッチするごとに、作動表示灯および表示条件が切り替わります。
 - 各モニター画面は、以下の場合に解除されます。
 - ・車速が約12km/h以上になった場合
 - ・カメラ映像呼び出しボタンを押した場合※1
 - ・エンジレバーを⑧にした場合※2
- ※1 優先表示に設定されている画面を表示している場合、2回押してください。
- ※2 バックガイドモニター、またはバックモニターを装着していない場合、サイドモニター画面は解除されません。



作動表示灯

作動表示灯	表示条件
黄色	減速して約10km/h以下になった場合
橙色	エンジンスイッチをONにした場合
無灯	自動表示しません

アドバイス

- 車速が約12km/h以上のときは、カメラ映像呼び出しボタンを押してもメッセージが表示され、画面が切り替わりません。
- ブラインドコーナーモニター画面は、センジングバーが⑧の場合は切り替えることができません。
- ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に装着している場合、自動表示の設定は同じになります。異なる設定にすることはできません。

■ 優先表示を設定する

ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に装着している場合、優先して表示する画面を選ぶことができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**設定/情報**にタッチします。

3 設定/情報画面で、**カメラ表示優先設定**にタッチします。



4

ブラインドコーナーモニター、またはサイドモニターシステムにタッチします。

5

完了にタッチします。

- 優先表示に設定されていない画面は、カメラ呼び出しボタンを押して表示することができます。



1. 補正が必要なとき

実際の現在地と異なる場所に自車マーク  が表示されている（自車マーク  の位置と向いている方向を手動で修正することができます。

ただし、地図の自車マーク  がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

- タイヤを交換したときは、自動で距離補正が行われます。

現在地の修正

■ 手動で補正する

チェック

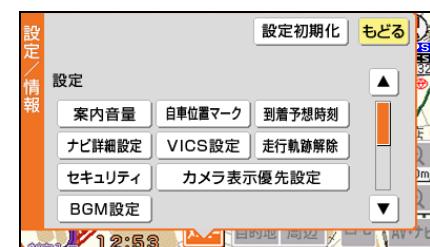
800mスケール図以下の詳細な地図で補正することができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **設定 / 情報** にタッチします。



3 **ナビ詳細設定** にタッチします。



4

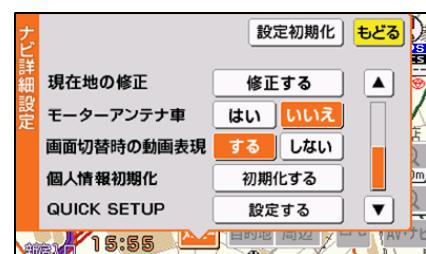
現在地の修正の **修正する** にタッチします。

5

 にタッチして、実際の現在地に地図を動かします。

6

セット にタッチします。



7

方向を設定します。

- 方向を反時計まわりに動かすときは  、時計まわりに動かすときは  にタッチします。



8

セット にタッチします。

アドバイス

走行中、ナビゲーションの自車マーク  の進み方と、実際の車の進み方が違っているときは、自動的に自車マーク  の進み方を修正（距離の補正）します。

自動補正されない場合は、販売店で点検を受けてください。

2. 地図データの情報

地図データの情報表示

地図“SDメモリーカード”に収納されている使用データの情報を見ることができます。

以下の画面は表示例であり、地図データの作成時期・種類によって表示内容が異なります。

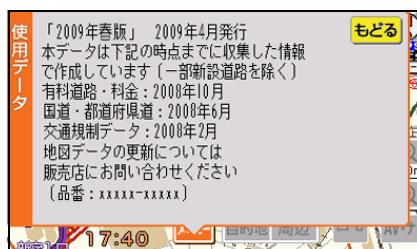
1 ナビゲーション画面で、**メニュー**にタッチします。

2 **設定 / 情報**にタッチします。

3

使用データにタッチします。

- 使用データの情報画面が表示されます。



- 使用データ情報画面

3. 精度と誤差

測位精度について

GPS衛星は米国国防総省によって管理されている非常に精度の高いものですが、建物などの反射によるマルチパスがあると誤差が生じることがあります。

GPS衛星の電波の性質と受信状態について

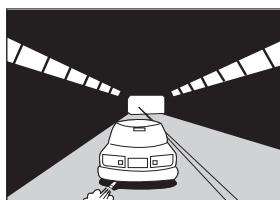
GPSアンテナとGPS衛星の間に障害物があると、衛星からの電波を受信できなくなります。また、測位するには3個以上の電波を同時に受信する必要がありますので、下記のような場所ではGPSによる測位ができなくなることがあります。

さらに、GPSアンテナの上または周囲に障害物（積載物など）がある場合も、衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

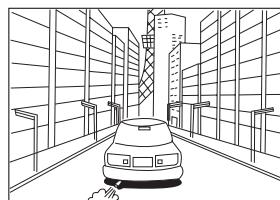
チェック

- GPS衛星は地球を周回していますので、同じ場所でもその時の位置によって電波の受信状態が変化します。また、水平線に近い衛星の電波は障害物の影響を受けやすくなります。
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、故意に測位精度を落とすことがあります。

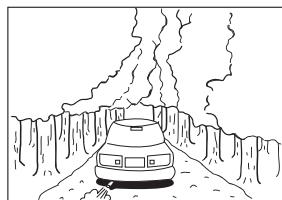
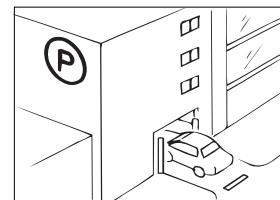
トンネルの中



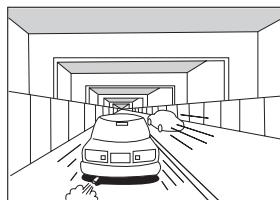
高層ビルなどの障害物で周囲を囲まれたところ



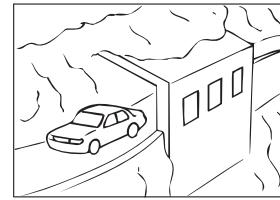
建物の中や地下、屋内駐車場



樹木などが密集しているところ



高架道路の下



崖下の道、洞門

3. 精度と誤差

現在地表示の誤差について

本機は現在地を測位するために、GPS衛星電波、車速センサーおよび振動ジャイロセンサーからの情報を使用していますが、それぞれには誤差が含まれているため、表示している現在地が実際の位置と一致しないことがあります。

チェック

実際の位置と一致しない場合は、表示している現在地を修正することができます。安全な場所に停車してから行ってください。

タイヤによる誤差について

本機では自車の移動した距離をスピードセンサーで測定（タイヤの回転数に比例）しているので、次の場合には誤差が大きくなっている現地を正しく測定できなくなることがあります。

- 規格外のタイヤを使用したとき。
- 雪道や砂利道などのスリップしやすい道を走行しているとき。
- タイヤの空気圧が適正圧でないとき。
- 新品のタイヤを装着したとき。（自動で距離補正が行われます。）

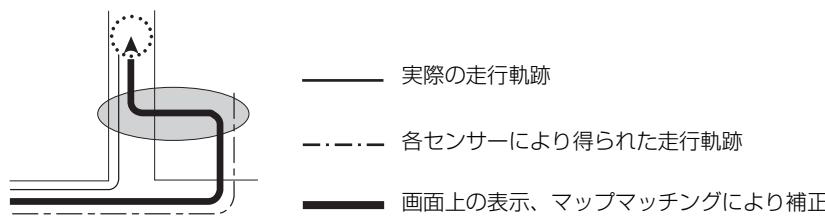
マップマッチングによる自車位置検出の補正について

マップマッチングとは、GPSなどで得られた現在地の情報と今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路上に現在地を補正させるシステムです。

本機では、自立航法と衛星航法を組み合わせて得られた現在地の情報を、道路形状に合わせて補正させています。

しかし、現在地の誤差はどうしても避けられない為、マップマッチングで補正しても現在地が実際の位置からずれる場合があります。

また、地図データと実際の道路形状が異なる道路を走行すると自車マークがずれる場合があります。

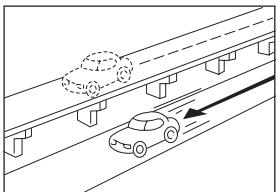


アドバイス

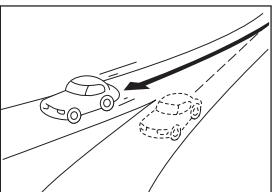
本機の電源を入れた直後は、動作が安定していないため、お車を動かすと、自車マークが実際と異なる動きをする場合があります。しばらく走行すると、動作が安定するため、通常の動きに戻ります。

現在地表示、ルート案内の精度について

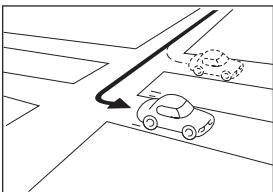
次にあげるように、本機の故障ではありませんが、道路条件や走行状態によっては、正確な現在地表示やルート案内が行われない場合があります。



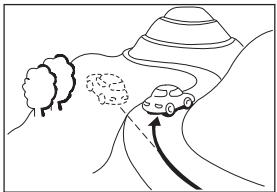
並走している道路に現在地が表示される。



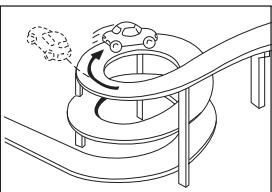
角度の小さなY字路を曲がったとき、他方の道路に現在地が表示される。



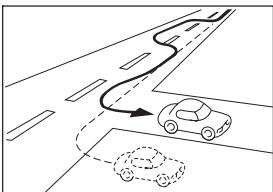
右左折のとき、手前または先の道路に現在地が表示される。



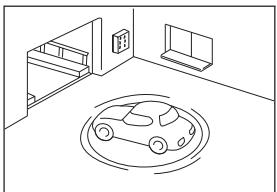
急勾配の道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



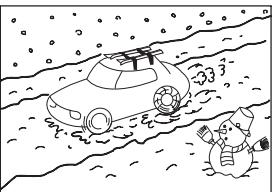
同一方向のカーブが連続する道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



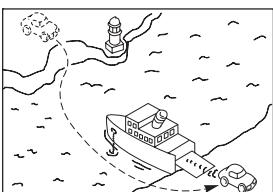
車線変更など蛇行運転をしたとき、現在地がずれて表示される。



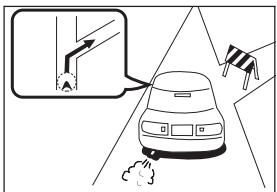
駐車場のターンテーブルなどで、ACC OFFの状態で旋回したとき、現在方位がずれて表示される。



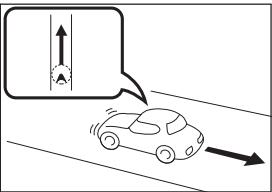
雪道などの滑りやすい路面を走行しているときや、タイヤチェーンなどを装着して走行しているとき、現在地がずれて表示される。



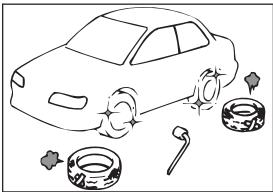
フェリーなど、自車走行以外で移動したとき、GPSによる測位ができるまで移動前の場所に現在地が表示される。



実際には通行できない道路（進入禁止など）を案内する。



後退時に現在地がずれて表示される。



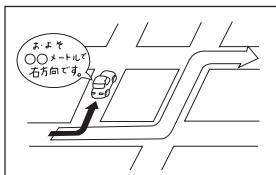
タイヤを交換した場合、自車マークがずれて表示される。

3. 精度と誤差

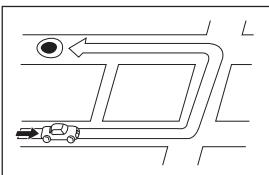
道路、地名データについて

道路や地名は、地図データ作成後に変更される場合がありますので、実態と合わない場合があります。

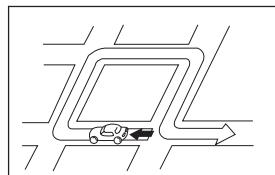
ルート案内について



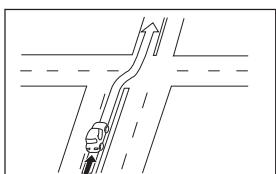
案内ルートをはずれて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内が誤ってできる場合があります。



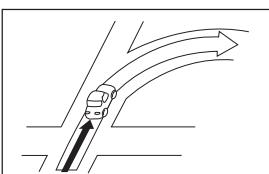
ルート探索時に、ルートが遠回りになる場合があります。



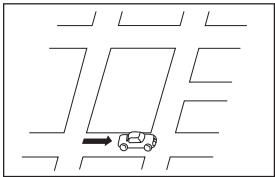
Uターンするルートを案内する場合があります。



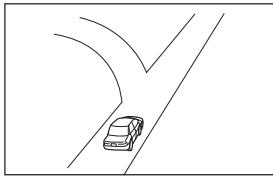
直線道路を走行中に、直進の案内が出る場合があります。
(交差点の形状がわかりにくい場合など)



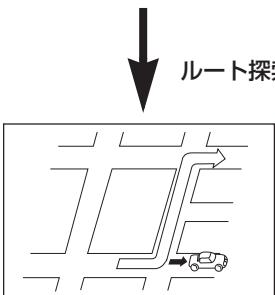
交差点で曲がるのに案内でない場合があります。



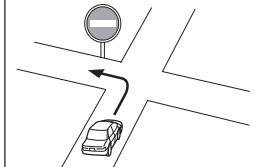
ルート探索時のルート表示が、次の右左折までに間に合わない場合があります。



方面の案内で、いくつもの地名を表示する場合があります。



↓ ルート探索完了



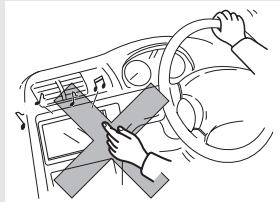
実際の交通規則にしたがって運転してください。

- 高速走行時の再探索時間が長い場合があります。
- 自車マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行すると、その後正しく位置を表示しません。
- 再探索しても、ルートが変わらない場合があります。
- 離島や周囲に案内可能な道路がないところが現在地・目的地として設定されている場合に、ルートが探索されないことがあります。
- 現在地と目的地が近い場合にルートが表示されない場合があります。
- 有料優先を選択しても必ず有料道路を通るわけではありません。
同様に優先しない条件でも有料道路を使うルートが表示されることがあります。
(「有料道路を優先する、しない」とは、有料道路と一般道路のいずれの道を選ぶことも可能な場合、どちらを優先するかを設定するものです)

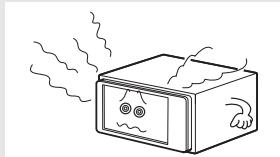
1. ご使用になる前に

△ 注意

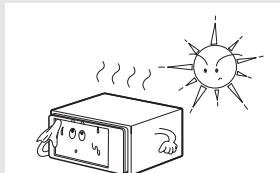
- 走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。
交通事故の原因となります。



- 故障したままの使用は絶対しないでください。
煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



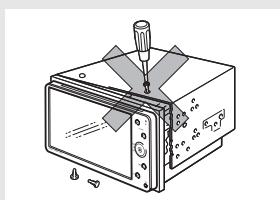
- 車内温度には注意してください。
夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。
故障の原因となります。



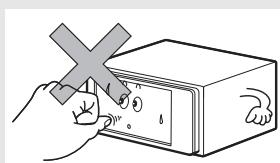
- 走行中運転者はテレビの操作を極力しないでください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



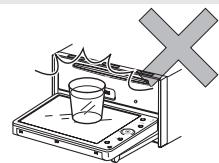
- 分解、改造はしないでください。
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。



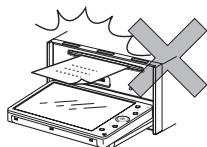
- モニターに強い力を加えたりしないでください。
故障の原因となります。



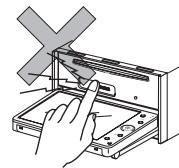
- モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。
また、モニターを倒したままにしないでください。
故障の原因となります。



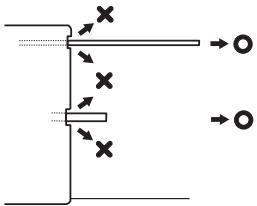
- 差し込み口にはディスクおよび“SDメモリーカード”以外の
ものを絶対に入れないでください。
故障の原因となります。



- モニター収納時指などを差し込まないよう注意してください。
ケガをしたり、故障の原因となります。



- 本機からディスクまたは“SDメモリーカード”を取り出すときは水平方向に引き出してください。
上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。
ディスクに傷がつき、音とびをしたり、“SDメモリーカード”
を破損するおそれがあります。



1. ご使用になる前に

ディスクについて

アドバイス

- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

使用できるディスクについて

- 音楽用CD、映像用DVDは下記のマークのついたディスクが使用できます。



- DVDビデオディスクによっては、一部機能が使用できない場合があります。
- DualDiscには対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- Dolby Digitalに対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- CD-R (CD-Recordable)、CD-RW (CD-ReWritable) は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWやUDFフォーマットで書き込みされたCD-R、CD-RWは再生できません。
- DVD ± R/RW (DVD ± Recordable/ReWritable) は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないDVD ± R/RWは再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。
- CD-TEXT機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
- 記録部分に透明または半透明部分があるCD、C-thruDiscは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。
- スーパーオーディオCD (SACD) はハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます。



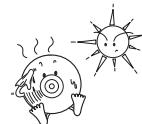
- CCCD (Copy Control CD) は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。



- CD-EXTRAは音楽CDとして再生することができます。
- Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTSが混在のMixed Mode CDは正常に再生されません。
- Video-CDは再生できません。
- 本機は8cm CD／DVDを再生することができます。故障の原因となるため、アダプタ等は使用せず、そのまま差し込んでください。

■ ディスクの取扱いについて

- ディスクは直射日光を避け、必ずケースにいれて保管してください。
ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。



- 記録面はもちろん、ラベル面にも紙テープを貼らないでください。
故障の原因となります。



- ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



- 記録面に触れないように持ってください。(虹色に光っている面)
ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。



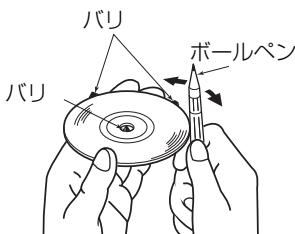
- 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをすることがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。



1. ご使用になる前に

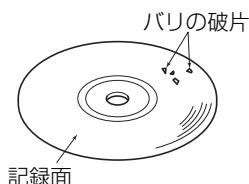
■ 新しいディスクについて

- 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しない場合があります。



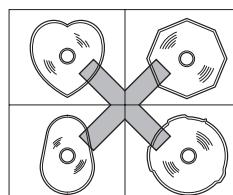
■ レンタルディスクについて

- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



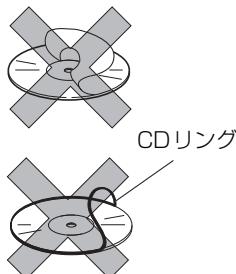
■ 特殊形状のディスクについて

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



■ ディスクのアクセサリーについて

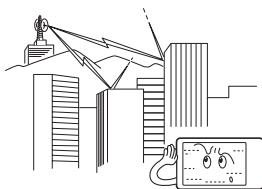
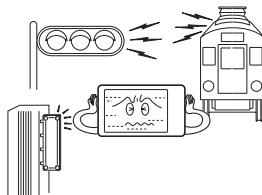
- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スピアライザ、保護シールなど）、CDラベルなどは使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるために、故障の原因となる場合があります。
- 音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリー（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかつたり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



ワンセグ／DTVについて

アドバイス

- 本機は、「ワンセグデジタルTVチューナー」を内蔵しており、地上デジタルTV放送（ワンセグ）を受信することができます。また、地上デジタルTV放送（DTV）を受信するための拡張機能も装備しています。地上デジタルTV放送（DTV）を受信するには、オプションの「地上デジタルTVチューナー」が必要になります。
- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。
- 車載器でのワンセグ放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。
 - ・ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
 - ・ 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - ・ ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
 - ・ トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - ・ 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - ・ 一部の地域において、地上デジタルTV、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- B-CASカードは不要です。（オプションのTVチューナー接続時のみ必要）



1. ソースの切り替え方

ソースを切り替える

- 1 オーディオ操作画面のオーディオソース切り替えスイッチにタッチします。
- マルチ画面でも切り替えることができます。
 - ナビゲーション画面の場合は、AV+ナビにタッチします。

オーディオソース切り替えスイッチ



操作画面の表示

- 1 ♪AV を押します。

- ナビゲーション画面の場合は、AV+ナビにタッチし、マルチ画面にしてから♪AVにタッチします。
- DVD、ワンセグまたはVTRがフル映像表示の場合は、画面にタッチします。



2. 各ソースの操作画面

各ソースの操作画面は、次のように表示されます。

● ラジオ (AM) 操作画面



● ラジオ (FM) 操作画面



● CD プレーヤー操作画面



● MP3/WMA プレーヤー操作画面



● DVD プレーヤーの操作画面



● ワンセグ操作画面



● Bluetoothオーディオ操作画面



● iPod操作画面 (オプション)



2. 各ソースの操作画面

● 外部入力操作画面（オプション）



3. 音の調整

主音量の調整

1 VOLスイッチを押します。

- \oplus :
音量UP (大きくなる)
- \ominus :
音量DOWN (小さくなる)
- \oplus を1秒以上押すと、連続して音量が上がりります。
- \ominus を1秒以上押すと、連続して音量が下がります。



アドバイス

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- 調整レベルは0～36です。
- ソースを切り替えたとき、音量に違いが生じことがあります。音量は、お使いになるソースに合わせて調整してください。
- DVD、外部入力およびBluetoothオーディオモードを再生中に音量を調整すると、それぞれのモード用の音量レベルとして記憶させることができます。
- DVD、外部入力およびBluetoothオーディオモードを再生中に調整した音量レベルは、他のオーディオモードでは、機能しません。それぞれのモードの前に使用していたオーディオモードで調整した音量レベルになります。

4. 音質の調整

音質の設定や、音量バランスなどを調整することができます。

音設定画面の表示

各オーディオの操作画面から音設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 音量バランスの調整
- 音質の調整

- 1** 各オーディオ操作画面で、**音設定** にタッチします。

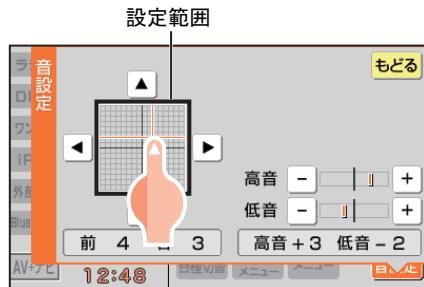


音量バランスの調整

前後、左右の音量バランスを調整することができます。

- 1** 設定範囲内にタッチします。

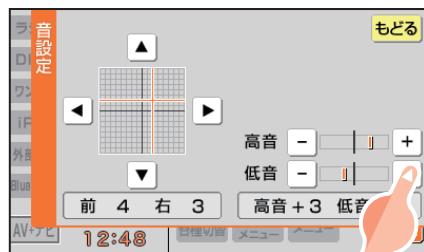
- バランス調整スイッチの **▲**、**▼**、**◀**、**▶** のいずれかにタッチすると、数値が 1 ずつ変化します。
- バランス調整スイッチの **▲**、**▼**、**◀**、**▶** のいずれかにタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 **▲**、**▼** にタッチしてください。
- 調整完了後、**もどる** にタッチすると調整は記憶され、直前の画面にもどります。



音質の調整

低音域、高音域の音質を調整することができます。

- 1** 高音、低音の **－**、または **＋** にタッチします。
- タッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 **－**、または **＋** にタッチしてください。
 - 調整できる最大値は低音、高音ともに +6、最小値は低音、高音ともに -6 です。
 - 調整完了後、**もどる** にタッチすると調整は記憶され、直前の画面にもどります。



5. 画面の設定

画面モード切り替え



チェック

DVD再生・外部入力設定画面で画面モードを切り替えることができます。

1

映像設定画面を表示させます。

- 映像設定画面は下記の操作で表示させることができます。

DVD再生：

操作画面で、**各種切替** → **ワイド切替**にタッチ

外部入力：

操作画面で、**外部入力設定**にタッチ

2

○標準、**○ワイド**、または
()ズームにタッチします。



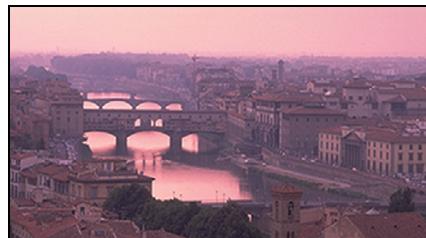
● 標準モード

たて 3：よこ 4 の割合の画面（普通の TV 画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



● ワイドモード

たて 3：よこ 4 の割合の画面（普通の TV 画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



● ズームモード

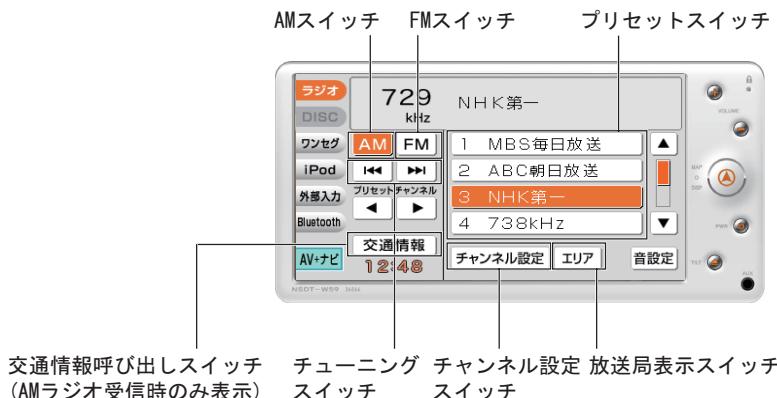
たて 3：よこ 4 の割合の画面（普通の TV 画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。



アドバイス

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1. ラジオの使い方



ラジオを聞く

- 1 ラジオにタッチします。

- ラジオ操作画面が表示されます。



- 2 AMラジオを受信するときはAMに、FMラジオを受信するときはFMにタッチします。



聞きたい放送局を選ぶ

■ 手動で選ぶ

- 1 ▶ (右側)、または◀ (左側)を押します。

- ▶ (右側) : 1ステップずつ上がる
 - ▶ (左側) : 1ステップずつ下がる
- (1ステップ : AM 9kHz, FM 0.1MHz)



■自動で選ぶ

- 1 、または  を“ピッ”と音がするまで押します。

- 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。



アドバイス

受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。



アドバイス

プリセットチャンネルは、 または  でも選択可能です。

放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるには手動設定と自動設定の2つのモードがあります。

■手動設定で記憶する

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。



- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピッピッ”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

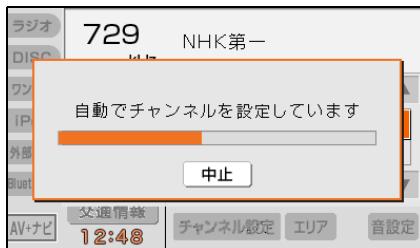


1. ラジオの使い方

■自動設定で記憶する

1 チャンネル設定 にタッチします。

- “自動でチャンネルを設定しています”と表示され、自動的に選局を始めます。“ピップピップ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。
- 受信感度の良い放送局を周波数の低い順に8局まで自動的に記憶します。



アドバイス

- 受信電波の弱い地域では自動設定での自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とチャンネル設定スイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- チャンネル設定スイッチと同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信できた放送局が8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

■今いる地域の放送局を表示する

自分のいる地域の放送局の受信周波数がわからない場合、その地域の放送局を表示し、選局することができます。

1 エリア にタッチします。



- 今いる地域で放送している放送局の表示が完了しました。
- 放送局が表示された後、プリセットスイッチにタッチすると、放送局を選局することができます。
- 放送局が表示された後、 エリア にタッチすると、手動で記憶した放送局に表示が切り替わります。

■交通情報を聞く

AM ラジオ受信中にのみ 交通情報 が表示されます。FM ラジオを受信している場合は、AM ラジオに切り替えてください。

1 交通情報 にタッチします。

- あらかじめセットされている交通情報局 (1620kHz) を受信します。

ラジオを止める

1 Ⓡ を押します。

2. CD プレーヤーの使い方



CD を聞く

ディスク差し込み口に CD を差し込むと、再生を始めます。

1 CDが差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

2 **CD** にタッチします。

● 再生を始めます。



聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 **▶▶** 、または **◀◀** を押します。

● **▶▶** (右側) :

次曲を選ぶとき

◀◀ (左側) :

頭出し・前曲を選ぶとき



アドバイス

- CD-TEXT にタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
- CD-R/RW の CD-TEXT は表示できない場合があります。
- アーティスト名等の表示文字において本機で表示できない文字（例：JIS第一水準漢字以外の漢字や特殊記号）は空白スペースにて表示されます。

2. CDプレーヤーの使い方

早送り・早戻しする

1 、または  を“ピッ”と音がするまで押します。

-  (右側) : 曲を進めるとき
-  (左側) : 曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



同じ曲を繰り返し聞く

1 **リピート** にタッチします。

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 一度 **リピート** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **リピート** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 **ランダム** にタッチします。

- いま聞いているCDの全曲でランダム再生します。
- 一度 **ランダム** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **ランダム** にタッチすると解除されます。

アドバイス

- ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。
- ランダム再生中に **リピート** にタッチすると、再生中の曲を繰り返し再生します。もう一度 **リピート** にタッチするとランダム再生にもどります。

CDを止める

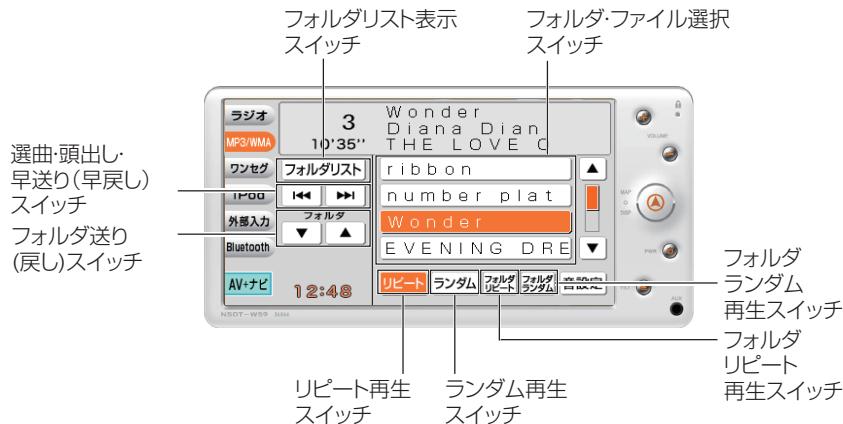
1  を押します。

アドバイス

- CD-TEXT にタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
- CD-R/RW の CD-TEXT は表示できない場合があります。
- アーティスト名等の表示文字において本機で表示できない文字(例: JIS第一水準漢字以外の漢字や特殊記号)は空白スペースにて表示されます。

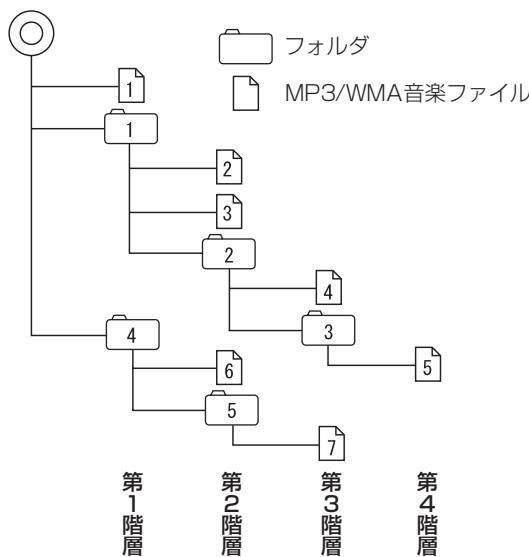
3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



[MP3/WMA ファイル作成例]

ここでの操作説明は、MP3/WMA ファイル作成例をもとに説明しています。



アドバイス

- MP3/WMAディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角20文字まで、ファイル名は半角22文字まで表示できます。
- DRM (著作権管理Digital Rights Management) システムのWMAファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) されたWMAファイルは再生できません。

3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMA を聞く

ディスク差し込み口にMP3/WMAファイルが記録された CD-R/RW を差し込むと、再生を始めます。

- 1** CD-R/RWが差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースを切り替える」(244 ページ) を参照してください。

- 2** **MP3/WMA** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 通常は、**[1]** → **[2]** → **[3]** → **[4]** → **[5]** → **[6]** → **[7]** の順に再生します。「[MP3/WMA ファイル作成例]」(255ページ)
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語 (SJIS コード) の昇順に再生します。

聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

- 1** **フォルダリスト** にタッチします。

- 2** 聞きたいフォルダ名にタッチします。

- 選択されたフォルダ内の音楽ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

■ フォルダ・ファイル選択スイッチから選ぶ

- 1** 音楽ファイル名にタッチします。

- 表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。
- 同じフォルダ内に音楽ファイルが 6 個以上ある場合は、**▲**、**▼** にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。(走行中は操作できません。)

■ 選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

- 1** **▶**、または **◀** を押します。

- **▶** (右側) : 次の音楽ファイルを選ぶとき
- **◀** (左側) : 頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき

早送り・早戻しする

1  、または  を“ピッ”と音がするまで押します。

●  (右側) :

曲を進めるとき

 (左側) :

曲を戻すとき

“ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

1 **リピート** にタッチします。

● 再生中のファイルを繰り返し再生します。

● 一度 **リピート** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **リピート** にタッチすると解除されます。

順番をランダムに聞く

1 **ランダム** にタッチします。

● 現在再生中のフォルダ内の全ファイルで、ランダム再生します。

● 一度 **ランダム** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **ランダム** にタッチすると解除されます。

アドバイス

ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

同じ音楽フォルダを繰り返して聞く

1 **フォルダリピート** にタッチします。

● 再生中のフォルダ内にある全てのファイルを繰り返し再生します。

● 一度 **フォルダリピート** にタッチすると、解除するまで繰り返します。

もう一度 **フォルダリピート** にタッチすると解除されます。

CD内の全曲をランダムに聞く

1 **フォルダランダム** にタッチします。

● CD内の全ファイルで、ランダム再生します。

● 一度 **フォルダランダム** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。

もう一度 **フォルダランダム** にタッチすると解除されます。

MP3/WMAを止める

1 Ⓢ を押します。

3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMA について

MP3 (MPEG Audio レイヤ3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media™ Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

本機で使用できる MP3/WMA ファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

■再生可能な MP3 ファイルの規格について

● 対応規格：

MPEG Audio レイヤ3 (=MPEG1 Audio Layer III、MPEG2 Audio Layer III、MPEG2.5 Audio Layer III)

● 対応サンプリング周波数：

8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 (kHz)

● 対応ビットレート：

8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160、192、224、256、320 (kbps)

※ VBRに対応しています。

※ フリーフォーマットには対応していません。

● 対応チャンネルモード：

ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

■再生可能な WMA ファイルの規格について

● 対応規格：

WMA Ver.9 Standard Decoder Class3に準拠

● 対応サンプリング周波数：

22.05、32、44.1、48 (kHz)

● 対応ビットレート：

20、22、32、36、40、44、48、64、80、96、128、160、192、256、320 (kbps)

※ 2ch再生のみ対応しています。

※ VBRに対応しています。

※ 可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。

● 対応チャンネルモード：ステレオ、モノラル

■ ID3 タグ /WMA タグについて

MP3 や WMA ファイルには、ID3 タグ /WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができます、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3 タグは、ID3 Ver.1.0,1.1 に対応しています。

WMA タグは、WMA Ver.9 に対応しています。

■ ID3 タグ /WMA タグ

入力できる項目	MP3		WMA
	Ver1.0	Ver1.1	ASF Revision 1.02.02
TITLE	全角 15 文字	半角 30 文字	全角 15 文字 半角 15 文字
ARTIST ALBUM	英数字 (ASCII コード) 日本語 (S-JIS コード)	英数字 (ASCII コード) 日本語 (Unicode)	

■ 使用できるメディアについて

MP3/WMA の再生に使用できるメディアは CD-R および CD-RW です。DVD ± R および DVD ± RW に記録された MP3/WMA は再生できません。

なお、CD-R、CD-RW は通常の音楽 CD に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部の CD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合、再生できることや音飛びすることがあります。

一部の CD-R、CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

■ 使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記になります。

● ディスクフォーマット：

CD-ROM MODE1、CD-ROM XA MODE2 (Form1)

■ ファイルフォーマット

● ISO9660

	LEVEL 1	LEVEL 2
フォルダ名 (最大文字数)	半角8文字	半角31文字
ファイル名 (最大文字数)	8.3形式	半角31文字
表示できる文字	英数字 (ASCIIコード)	

● 拡張フォーマット

	ROMEO形式	JOLIET形式
フォルダ名 (最大文字数)	半角64文字	半角128文字 ^{※1}
ファイル名 (最大文字数)	半角64文字 ^{※2}	半角128文字
表示できる文字	英数字 (ASCIIコード) 日本語 (S-JISコード)	英数字 (ASCIIコード) 日本語 (Unicode)

※1 区切り文字 “.” 含む

※2 区切り文字 “.” + 拡張子含む

● 最大ディレクトリ階層：

8階層

● 1枚のディスクに書き込み可能なフォルダ数：

255個

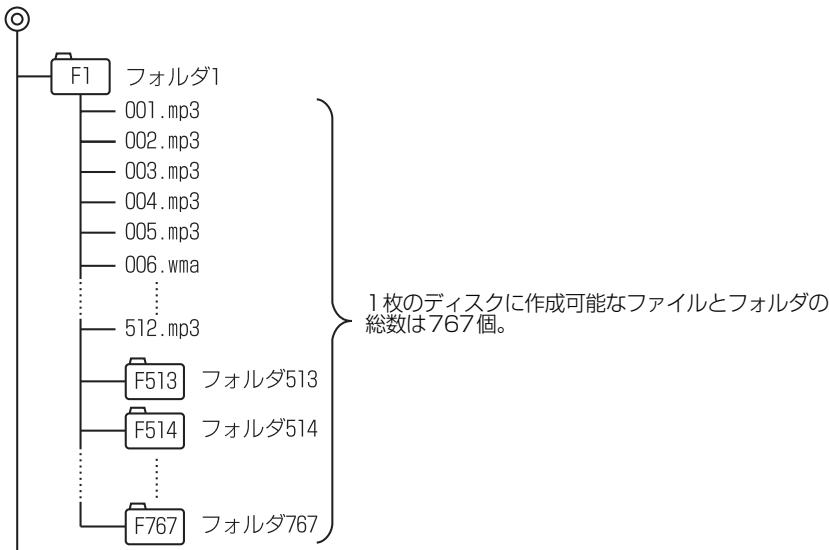
● 1枚のディスクに書き込み可能なファイル数：

512個

アドバイス

- MP3/WMAディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角20文字まで、ファイル名は半角22文字まで表示できます。
- DRM (著作権管理Digital Rights Management) システムのWMAファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) されたWMAファイルは再生できません。

[MP3/WMA 対応 CD の構造例]



■ ファイル名について

MP3/WMA と認識し再生するファイルは MP3/WMA の拡張子 “mp3” / “wma” が付いたものだけです。MP3/WMA ファイルには、“mp3” / “wma” の拡張子を付けて保存してください。

拡張子名 “mp3” / “wma” は大文字でも小文字でもかまいません。

アドバイス

MP3/WMA以外のファイルに “mp3” / “wma” の拡張子を付けると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに、“mp3” / “wma” の拡張子を付けないでください。

3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

■ CD-R、CD-RWについて

- マルチセッションに対応しており、MP3/WMAを追記したCD-Rや、CD-RWの再生が可能です。
- CD-RW を消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。
(消去方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。また、クイックおよび高速消去は使用しないでください。)
- CD-R、CD-RWはディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス記録ディスクのみ読み取り対応です。
- パケットライト記録ディスクには対応しておりません。(例えば、DirectCD等で作成したディスクには対応していません)。
- CD-R、CD-RWは、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。ただし、CD-RWは書き込みの設定で、“CDを閉じる”や“CDの終了処理をする”ようにしてください。(設定の方法はライティングソフトで異なりますので確認してください)
- ファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWやUDFフォーマットで書き込みされたCD-R、CD-RWは再生することができません。

■ MP3/WMA の再生について

MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを差し込むと、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初の MP3/WMA ファイルを再生します。

チェックが終わるまで “MP3/WMA データを読み込み中です” が表示されます。(最大 10 分程度) なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音はできません。

ファイルのチェックを早く終わらせるために MP3/WMA ファイル以外のファイルや必要なないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

■ MP3/WMA の演奏時間表示について

MP3/WMA ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※ VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

■ MP3/WMA ファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3/WMA ファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にある MP3/WMA ファイル、フォルダを次のように表示します。

1 MP3/WMA ファイルを数字、アルファベット、日本語 (SJIS コード) の昇順に表示

2 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語 (SJIS コード) の昇順に表示

3 同一階層内に、同じファイル名で MP3 と WMA が存在する場合は MP3 を優先して表示

MP3/WMA ファイルの作り方、楽しみ方

MP3/WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

■ インターネット上の MP3/WMA 音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な MP3/WMA 音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

■ 音楽 CD から MP3/WMA ファイルに変換する場合

パソコンと市販の MP3/WMA エンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンの CD-ROM ドライブに音楽 CD を入れ、MP3/WMA エンコーダソフトの手順に従って音楽 CD の曲を圧縮変換すると、MP3/WMA 形式の音楽データファイルができます。

アドバイス

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMAは市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。

■ CD-R/RW に書き込む場合

MP3/WMA ファイルをパソコンに接続されている CD-R/RW ドライブを介して CD-R/RW に書き込みます。この時、ライティングソフトで ISO9660 レベル 1 またはレベル 2、ROMEO、JOLIET という記録フォーマットに設定して書き込みます。

アドバイス

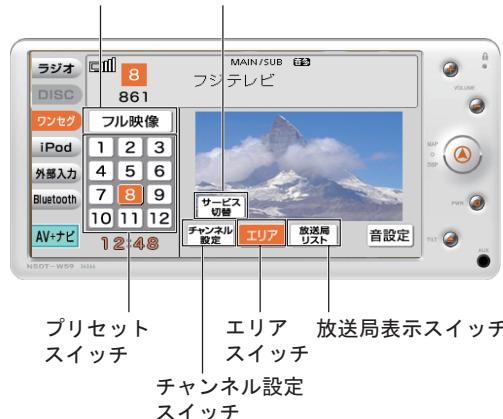
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- 走行中はファイル、フォルダ表示のページ切り替え操作ができません。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

1. ワンセグの使い方

チェック

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみワンセグ放送をご覧になることができます。(走行中にソースをワンセグに切り替えた場合、音声のみになります。)

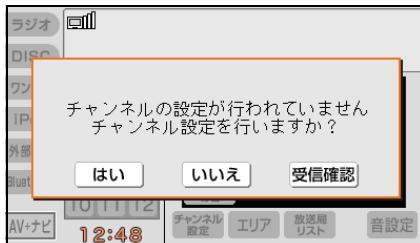
フル映像スイッチ サービス切替スイッチ



初期設定をする

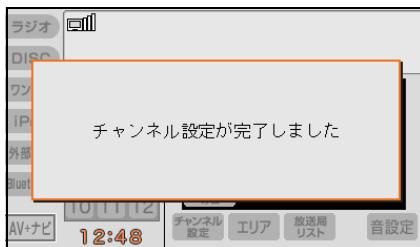
初めてワンセグ機能をご使用になる場合は、初期設定でプリセットスイッチにチャンネルを設定させます。

1 **ワンセグ** にタッチします。

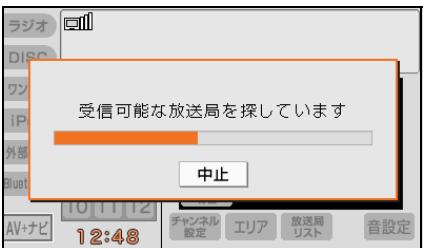


2 **はい** にタッチします。

- 初期設定画面が表示されます。
- チャンネルの自動選局を開始します。
- 自動選局が終了すると、チャンネルが設定され、プリセットスイッチで選局できるようになります。



- 自動選局中に **中止** にタッチすると、チャンネル設定を中止し、前の画面にもどります。



ワンセグを見る

1 ワンセグ にタッチします。

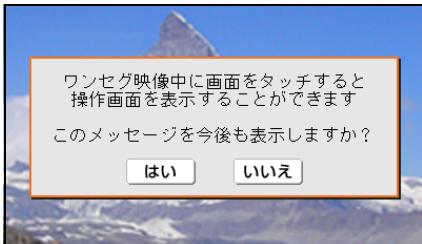
- ワンセグ操作画面が10秒間表示され、フル映像に切り替わります。
- フル映像からワンセグ操作画面に切り替えたいときは、画面にタッチします。

再度、フル映像にしたいときは **フル映像** にタッチします。



アドバイス

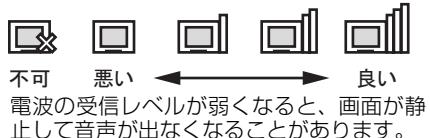
- ワンセグ操作画面からフル映像に自動で切り替わる際に、次のメッセージが表示された場合は、**はい** または **いいえ** にタッチします。



- ワンセグ操作画面で **フル映像** にタッチしたとき、全画面で表示される放送と4:3画面（画面の左右両端が黒表示）で表示される放送があります。

- 本機は双方向通信やデータ放送に対応していません。

- アンテナインジケータは、放送電波の受信レベルを表します。電波の状態によって以下のように表示されます。



- アンテナインジケータの受信レベルは目安です。受信レベルが弱くても映像が受信できたり、強くても映像が静止したり音声がとぎれる場合があります。

1. ワンセグの使い方

見たいチャンネルを選ぶ

■ プリセットスイッチから選ぶ

1 設定されているプリセットスイッチにタッチします。

- 放送局受信画面に切り替わります。

プリセットスイッチ



■ 放送局名から選ぶ

1 放送局リストにタッチします。

- 放送局リスト画面が表示されます。



2 見たい放送局にタッチします。

- フル映像画面が表示されます。



今いる地域の放送局を表示する

自分のいる地域の放送局の受信周波数がわからない場合、その地域の放送局を表示し、選局することができます。

1 エリアにタッチします。



- 放送局が表示された後、プリセットスイッチにタッチすると、放送局を選局することができます。

- 放送局が表示された後、エリアにタッチすると、自動で記憶した放送局に表示が切り替わります。

各種切替画面の切り替え

ソースがワンセグのとき、各種切替画面より下記の操作ができます。

● 機能スイッチの表示

- 音声設定(第1音声／第2音声の切り替え)
- 二重音声設定(音声多重放送の切り替え)
- 字幕設定(字幕の切り替え)

1 放送局リストにタッチします。



2 各種切替にタッチします。



音声を切り替える

ご覧になっている番組が複数の音声を提供しているときは、お好みに合わせて音声を切り替えることができます。

1

第1音声 または、第2音声にタッチします。



音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、音多マークが表示され、お好みに合わせて、主音声と副音声を切り替えて聞くことができます。

1

各種切替画面で、二重音声の MAIN、SUB、または MAIN/SUBにタッチします。



1. ワンセグの使い方

字幕を切り替える

ご覧になっている番組が字幕を提供しているときは、お好みに合わせて字幕を切り替えることができます。

- ワンセグ設定画面で、字幕の
第1言語、**第2言語**、または
OFFにタッチします。



緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送(EWS:Emergency Warning System)は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

EPG (電子番組表) を見る

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で簡単に、見たい番組を探すことができます。

- 放送局リストにタッチします。

- 番組表にタッチします。

- 受信している放送局の番組表が表示されます。
- ▲、または▼にタッチすると、画面をスクロールすることができます。



- 番組表画面

番組の情報を見る

1 番組表画面で見たい番組にタッチします。

- 番組詳細画面が表示されます。
- ▲、または ▼ にタッチすると、画面をスクロールすることができます。



ワンセグを終わる

1 Ⓡ を押します。

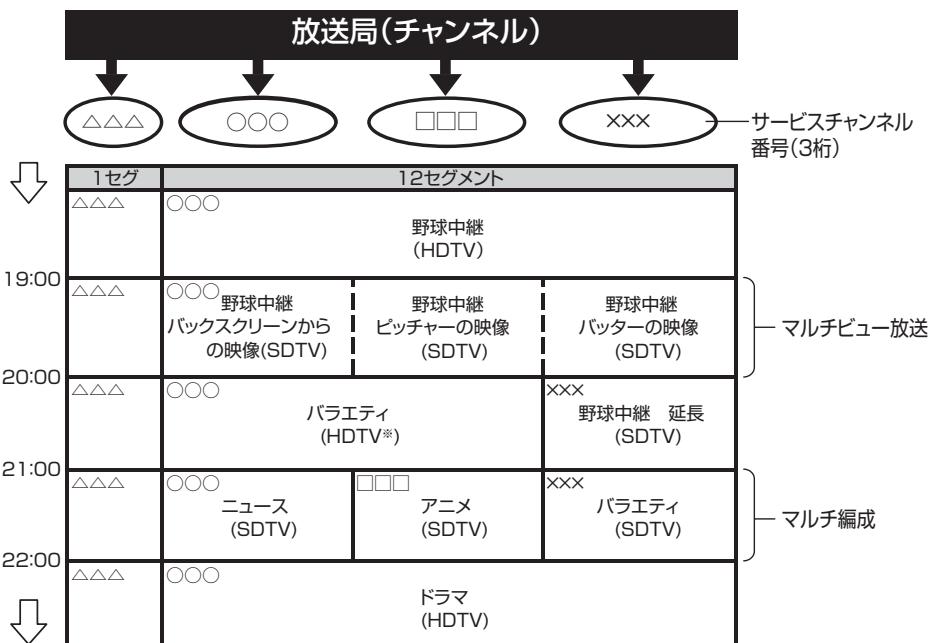
2. DTV をお使いになる前に

オプションの地上デジタル TV チューナーを接続すると、地上デジタル TV 放送を視聴することができます。エンジンスイッチが ON または ACC で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ、地上デジタル TV 放送をご覧になることができます。（走行中に DTV モードを選択した場合、音声のみになります。）本冊では、DTV モードへの切り替えや、チャンネルの切り替えなどについて記載しています。その他の操作については、地上デジタル TV チューナーの取扱書を参照してください。

地上デジタル放送（DTV）について

地上デジタル TV 放送は、1 つのチャンネルが 13 の「セグメント」という単位で分割されています。一般的に、地上デジタル TV 放送は 12 セグメントを使用した、ハイビジョン映像（HDTV）や標準映像（SDTV）の放送を指します。1 セグメントはワンセグ放送と呼ばれる携帯端末向けの放送に使用されます。

標準映像の番組は 4 セグメントを使用するため、最大で 3 つの番組を同時に提供するマルチ編成や、1 つの番組で最大で 3 つの映像を提供するマルチビュー放送をおこなうことができます。



アドバイス

- ワンセグ放送のサービスチャンネル番号は、611～728 に割り当てられています。
- ワンセグ放送は、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。



DTV の使い方

■ DTV (地上デジタル放送) を見る

1 オーディオモード切り替えスイッチの **TV** にタッチします。

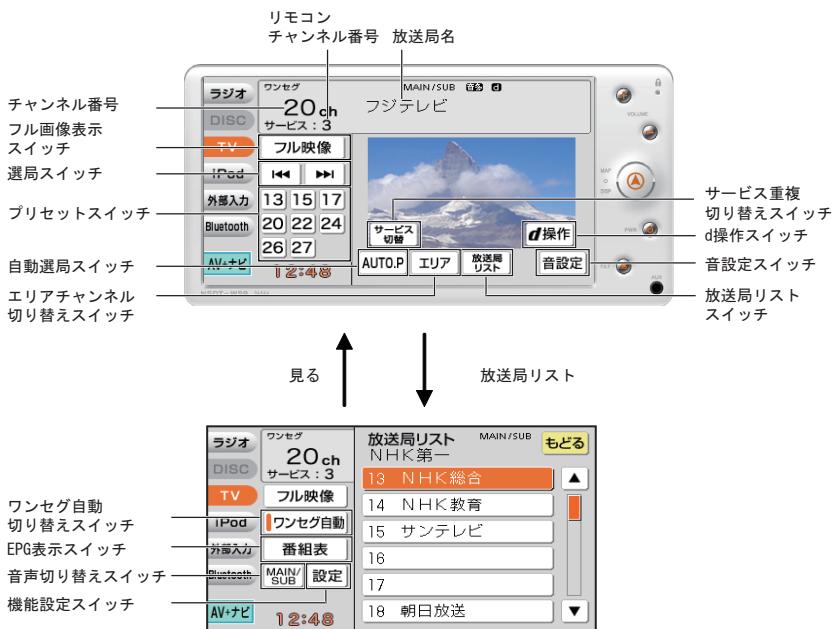
- DTV操作画面になります。
- **フル映像**、または映像にタッチすると全画面になります。DTV操作画面にしたいときは画面にタッチします。

アドバイス

- オプションの後席ディスプレイを接続すると、走行中でも後席で地上デジタルTV放送をご覧することができます。
- DTV 操作画面を表示させてから約 10 秒以上操作をしなかったときは、DTV 操作画面は自動解除され、放送受信画面にもどります。
- 電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音が出なくなることがあります。
- 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。
- 地上デジタルTV 放送では、5.1ch を AAC 方式で圧縮した番組 (AAC5.1ch 放送) を放送している場合があります。本機は AAC 5.1ch 放送には対応していません。AAC5.1ch 放送を受信した場合、2ch 再生となります。
- 本機は双方向通信に対応していません。

2. DTVをお使いになる前に

■ 基本操作

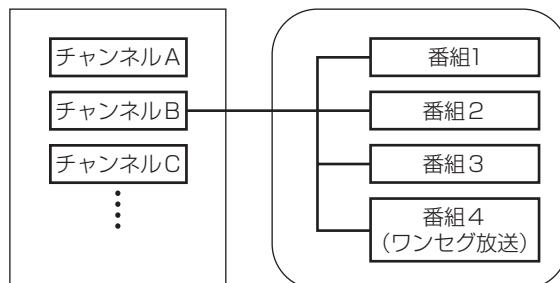


■ 見たいチャンネルを選ぶ

地上デジタルTVのチャンネル構成について

地上デジタルTV放送は、1つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。1つのチャンネルで同じ番組を放送している場合があります。

チャンネル（放送局）選択 番組（サービス）選択



■パネルスイッチから選ぶ

手動で選ぶ

1  、または  にタッチします。

- 押すごとに 1 ステップずつチャンネルが UP/DOWN します。

 (右側) :

チャンネルUP (大きくなる)

 (左側) :

チャンネルDOWN (小さくなる)

自動で選ぶ

1  、または  を “ピッ” と音がするまでタッチします。

- 受信中のチャンネルに一番近い放送局を、自動で選局します。途中で止めたいときはもう一度タッチすると解除されます。

アドバイス

受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

■プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- プリセットスイッチの記憶は「チャンネルを記憶する」(277ページ) を参照してください。

■放送局名から選ぶ

プリセットされているチャンネルを放送局名で選ぶことができます。

1 **放送局リスト** にタッチします。

- プリセットされているチャンネルの放送局名を一覧で表示します。



2 見たい放送局名にタッチします。

- 放送局受信画面が表示されます。



■番組を切り替える

地上デジタル放送の 1 つのチャンネル(放送局)内で、複数放送されている番組(サービス)を切り替えることができます。

1 **サービス切替** にタッチします。

- 詳しくは、地上デジタルTVチューナーの取扱書を参照してください。

2. DTVをお使いになる前に

アドバイス

- ワンセグ放送のサービスチャンネル番号は、611～728に割り当てられています。
- 地上デジタルTV放送は1つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。
- ワンセグ自動切替がON（する）に設定されている場合、通常の地上デジタルTV放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えると自動で通常の地上デジタルTV放送に戻ります。ワンセグの自動切り替えについては、「TV放送の受信方法を設定する」（275ページ）参照してください。

■ EPG（電子番組表）を見る

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で簡単に、見たい番組をさがすことができます。

- 詳しくは、地上デジタルTVチューナーの取扱書を参照してください。

1 **放送局リスト**にタッチします。

2 **番組表**にタッチします。



■ データ放送を見る

データ放送とはテレビ映像の他に、図形や文字の情報を附加した放送です。受信するデータ放送により、番組に連動した情報や独立した情報を見るることができます。

1 **d操作**にタッチし、データ放送操作スイッチを操作します。

- 詳しくは、地上デジタルTVチューナーの取扱書を参照してください。



■ 地上デジタル放送を止める

1 **①**を押します。

- もう一度①を押すと、電源を切る前の受信放送局（チャンネル）が受信されます。

■ 今いる地域の放送局を表示する

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルを表示・選局することができます。

1 エリアにタッチします。

- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度にタッチすると、もとの記憶されていたチャンネルに表示が切り替わります。



アドバイス

放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

■ TV 放送の受信方法を設定する

通常の地上デジタルTV放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ放送の受信に切り替えることができます。(ワンセグ自動切替)

通常の地上デジタルTV放送が受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切り替わります。

1 放送局リストにタッチします。

2

ワンセグ自動にタッチします。

- 一度 ワンセグ自動にタッチすると、解除するまで自動で切り替えます。もう一度 ワンセグ自動にタッチすると解除されます。
- ワンセグ自動切替がON (する) になっているときは作動表示灯が点灯します。
- ワンセグ放送受信中は、ワンセグインジケータが表示されます。

作動表示灯 ワンセグインジケータ



アドバイス

- 放送が切り替わるとき、一時的に黒い画面が表示されます。
- 自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- 自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、ワンセグ自動切替をON (する) にしていても、ワンセグ放送に切り替わりません。

2. DTVをお使いになる前に

■主音声と副音声を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えて聞くことができます。

1 **放送局リスト** にタッチします。

2 **MAIN/SUB** にタッチします。

- **MAIN/SUB** にタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主/副音声
 MAIN → SUB → MAIN/SUB



■いろいろな設定について

初期設定画面に切り替えると下記の操作ができます。詳しくは、「地上デジタル TV チューナーの取扱書」を参照してください。

- 機能設定
- 文字スーパーの表示
- 居住地域の登録
- イベントリレーの設定
- メールの閲覧
- ICカード情報の閲覧、動作確認
- 個人情報のリセット
- 画面位置の調整
- 映像・音声・字幕切り替え

1 **放送局リスト** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- 初期設定画面が表示されます。



■緊急警報放送(EWS)を受信したときは

緊急警報放送システム(EWS:Emergency Warning System)とは、放送局が緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせするシステムです。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

■チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル(手動)とAUTO.P(自動)の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

チャンネルを手動で記憶する

“AUTO.P”または“エリア”が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは、**AUTO.P**または**エリア**(275ページ参照)にタッチすると、表示が消えてマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたいチャンネルを選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

チャンネルを自動で記憶する

1

AUTO.Pを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P**が点灯し、自動で選局を始めます。“ピッピッ”と音がすると自動選局が終了し一時に記憶されます。
- 受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。
- もう一度、**AUTO.P**にタッチすると、マニュアルで記憶したチャンネルに表示が切り替わります。

自動で記憶したチャンネルを変更する

1

手動選局、または自動選局で記憶させたいチャンネルを選びます。

2

記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

アドバイス

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- AUTO.Pで自動受信をした場合、地上アナログTV放送の電波などを受信することができます。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

3. DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機はDVDビデオを再生することができます。DVDビデオがもつ高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生したり、記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示したりすることができます。また、DVDビデオでは、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルで再生することもできます。

DVDの特長

■マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、音声言語を切り替えることができます。



■マルチアングル機能について

DVDディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。

チェック

DVDビデオモード時のみ操作できます。



- 映像のアングルが切り替わります。

■ 字幕表示機能について

DVD ディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。

△ 注意

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。



3. DVDプレーヤーをお使いになる前

ディスクについて

■再生できるディスクの種類について

本機は、NTSC カラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」および下記のマークが表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
	12cm／片面 1層 2層	<MPEG 2方式> 133分 242分
	8cm／片面 1層 2層	<MPEG 2方式> 41分 75分
	12cm／両面 1層 2層	<MPEG 2方式> 266分 484分
	8cm／両面 1層 2層	<MPEG 2方式> 82分 150分

アドバイス

- DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- 本機は、ビデオモードで書き込まれたDVD±R/RW (DVD±Recordable/ReWritable) ディスクに対応しています。
- 故障の原因となるため、8cmDVDを再生する場合、アダプタ等を使用せず、そのまま差し込んでください。

■再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVD ディスクには  (地域番号) が表示されているものがあり、このマーク (数字) はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「この DVD はリージョンが違うので再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあります。本機で再生できないことがあります。

■ディスクに表示されているマークについて

DVD のディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
 	選択可能な画像アスペクト比 (TV画面の横と縦の比率) を表します。 ● 「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ● ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

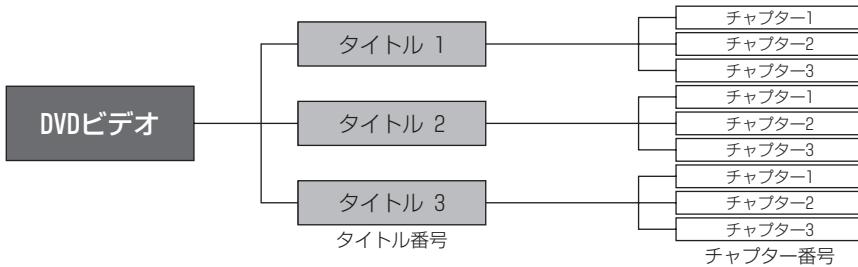
3. DVDプレーヤーをお使いになる前

■ディスクの構成について

DVDビデオディスクの構成

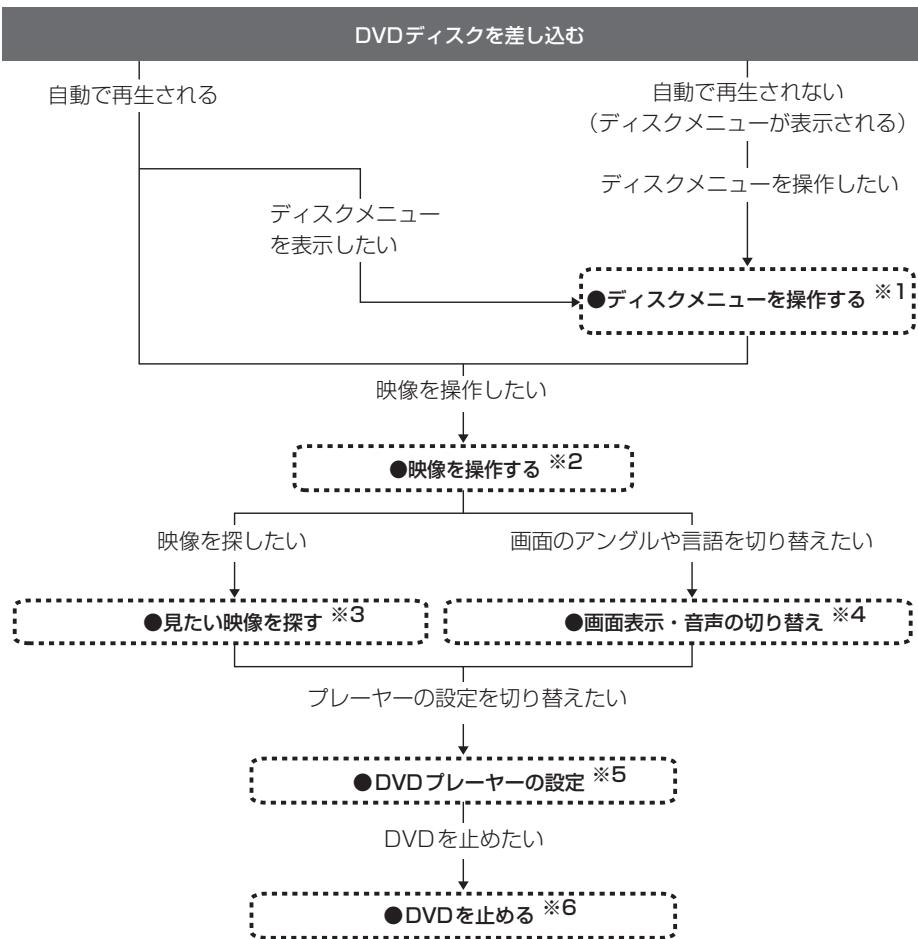
DVDビデオに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプターファイル番号）が付けられています。



操作の流れについて

映像の操作や検索、DVD プレーヤーの初期設定などの流れを説明します。



※1 「ディスクメニューを操作する」(286ページ参照)

※2 「映像を操作する」(285ページ参照)

※3 「見たい映像を探す」(287ページ参照)

※4 「画面表示・音声の切り替え」(288ページ参照)

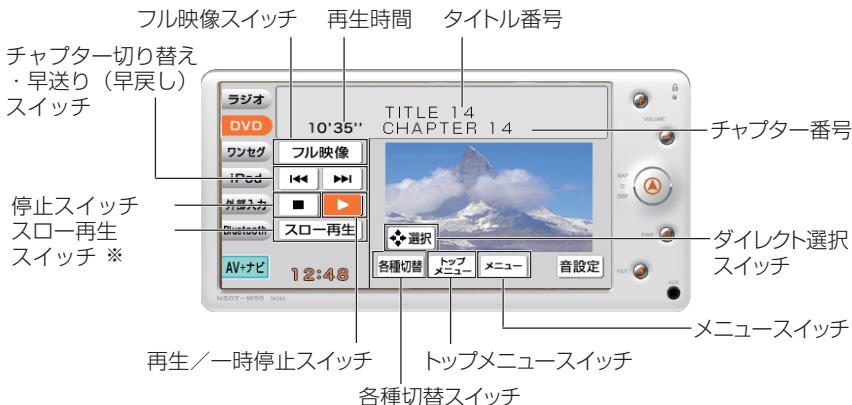
※5 「DVDプレーヤーの設定」(290ページ参照)

※6 「DVDを止める」(287ページ参照)

4. DVD プレーヤーの使い方

チェック

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になることができます。(走行中にソースをDVDプレーヤーに切り替えた場合、音声のみになります。)



※ 一時停止スイッチを押したときに表示されます。

DVDを見る

ディスク差し込み口に DVD を差し込むと、再生を始めます。

- ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されないものがあります。「ディスクメニューを操作する」(286ページ参照)

1 DVDが差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースを切り替える」(244 ページ) を参照してください。

2 DVDにタッチします。

- DISC操作画面が10秒間表示され、フル映像に切り替わります。

フル映像からDISC操作画面に切り替えたいときは、画面にタッチします。再度、フル画像にしたいときは、**フル映像**にタッチします。

アドバイス

- オプションの後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でDVDをご覧になることができます。

映像を操作する

■ 映像を再生する

1

▶ にタッチします。

- 映像、または静止画を再生します。



■ 早送り・早戻しする

1

◀ 、または ▶ を“ピッ”と音がするまでタッチします。

- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



映像を一時止める

1

■ にタッチします。

- 再生中のみ画面表示 ■ になります。
- ▶ にタッチすると、一時停止が解除されます。
- 一時停止中に スロー再生 タッチするとスロー再生します。



■ 映像をスロー再生する

1

スロー再生 にタッチします。

- 一時停止中のみ画面に スロー再生 が表示されます。
- ▶ にタッチすると、スロー再生が解除されます。

■ 映像を止める

1

□ にタッチします。



4. DVDプレーヤーの使い方

ディスクメニューを操作する

ダイレクトタッチ操作画面でディスクに収録されているメニューを操作することができます。

1 画面にタッチします。

2 メニュー、トップメニュー または  選択 にタッチします。

- 再生している映像がディスクに収録されているメニューに切り替わると、ダイレクトタッチ操作画面が表示されます。



画面を直接タッチして操作する

メニューのアイコンに直接タッチして、選択することができます。

1 ダイレクトタッチ操作画面でメニューのアイコンに直接タッチします。



アドバイス

ディスクによって、表示されるメニューをダイレクトタッチ操作画面から操作できない場合があります。

■ タッチスイッチから操作する

画面にタッチしづらいときは、タッチスイッチで操作することができます。

1     にタッチし、メニューを選びます。

2 決定 にタッチします。



アドバイス

ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

DVD を止める

- 1 ⏹ を押します。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号(内容ごとに区切られた番号)から探すことができます。

■ チャプターから探す

- 1 ▶▶ 、または ▶▶ を押します。

● ▶▶ (右側) :
次のチャプターを選ぶとき

◀◀ (左側) :
頭出し・前のチャプターを選ぶとき



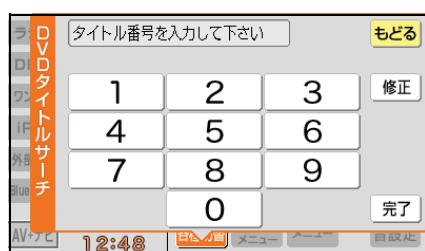
■ タイトル番号から探す

- 1 各種切替 にタッチします。

- 2 サーチ にタッチします。



- 3 タイトル番号を入力します。



- 4 完了 にタッチします。

4. DVDプレーヤーの使い方

■ 指定位置から再生する

1 各種切替 にタッチします。

2 リターン にタッチします。



- 指定された位置から再生します。

画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングル、音声多重を切り替えることができます。

■ アングルを切り替える

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングル・音声多重を切り替えて表示することができます。

チェック

- 画面にマルチアングルマークが表示されているときに、アングルを切り替えることができます。
- マルチアングルマークを表示するには、マルチアングルの設定を“表示”するに設定する必要があります (293 ページ参照)。

1 各種切替 にタッチします。

2 アングル にタッチします。



3 アングル切替 にタッチします。



- アングル切替 にタッチするごとにアングル番号が替わり、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。

■字幕言語を切り替える

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 各種切替 にタッチします。

2 字幕 にタッチします。



3 字幕切替 にタッチします。



- 字幕切替 にタッチするごとに字幕番号が替わり、表示言語が切り替わります。

アドバイス

字幕表示を消す場合は、字幕消し にタッチしてください。

■音声言語を切り替える

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 各種切替 にタッチします。

2 音声 にタッチします。



3 音声切替 にタッチします。



- 音声切替 にタッチするごとに音声番号が替わり、音声言語が切り替わります。

4. DVD プレーヤーの使い方

DVD プレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

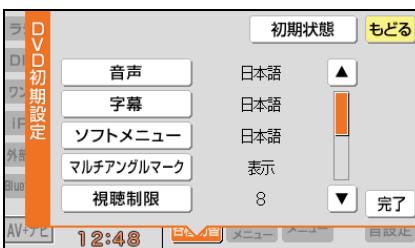
1 各種切替 にタッチします。



2 DVD 初期設定 にタッチします。



3 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。



タッチスイッチ	機能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	291
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	291
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	292
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	293
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	293
オートスタート	走行中の自動再生を設定します。	294
映像出力切換	画面サイズを設定します。	295

アドバイス

- DVD 初期設定画面で設定を変更した後、完了 にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチを押すとDVDの再生は停止した状態になります。

再度再生する場合は映像操作画面で ▶ にタッチします。(285 ページ参照)

- 初期状態 にタッチすると、視聴制限以外の項目設定が初期の状態に戻ります。

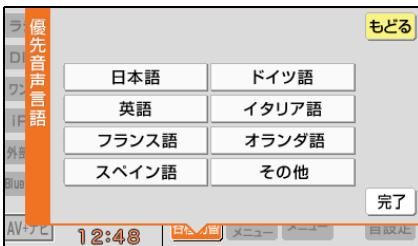
■ 音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

- 1 DVD 初期設定画面で **音声** にタッチします。

- 2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。

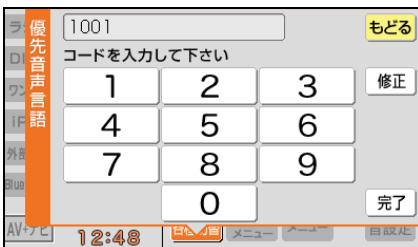


コードを入力する

- 1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

- 2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(296ページ)を参照してください。



- 3 **完了** にタッチします。

アドバイス

● 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。

● ディスクに優先される音声言語、または字幕言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、「画面表示・音声の切り替え」(288ページ)で言語を切り替えてください。

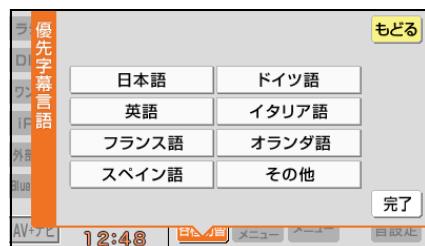
■ 字幕言語を設定する

再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

- 1 DVD 初期設定画面で **字幕** にタッチします。

- 2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



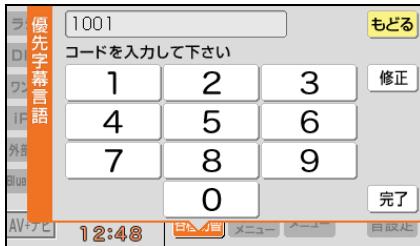
4. DVDプレーヤーの使い方

コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(296ページ) を参照してください。



3 **完了** にタッチします。

アドバイス

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ディスクに優先される音声言語、または字幕言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、「画面表示・音声の切り替え」(288ページ) で言語を切り替えてください。

■ メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

1 DVD初期設定画面で **ソフトメニュー** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。

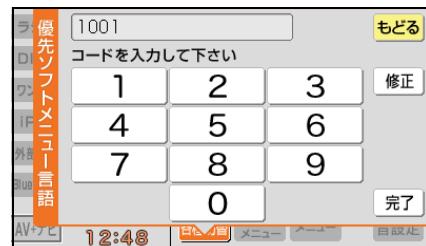


コードを入力する

1 ソフトメニュー言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(296ページ) を参照してください。



3 **完了** にタッチします。

アドバイス

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ディスクに優先される音声言語、または字幕言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、「画面表示・音声の切り替え」(288 ページ) で言語を切り替えてください。

■マルチアングルマークの表示を設定する

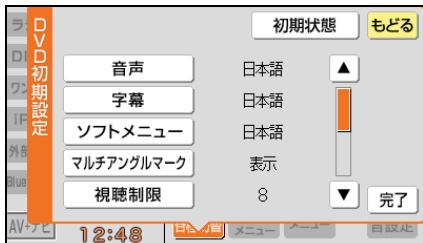
再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

チェック

マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の上部にマルチアングルマークが表示されます。

- DVD 初期設定画面で **マルチアングルマーク** にタッチします。

- タッチするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。



- 完了 にタッチします。

■視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

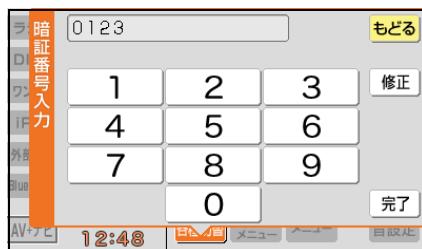
チェック

視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定ができません。

- DVD 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

- 数字を 1 番号ずつタッチして暗証番号を入力します。

- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「-----」で表示されます。

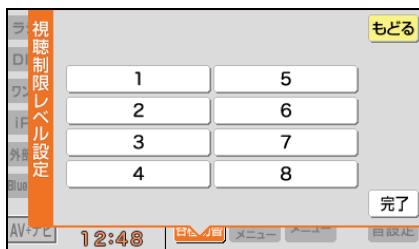


- 完了 にタッチします。

4. DVDプレーヤーの使い方

4

お好みの視聴制限レベルにタッチします。



5

「完了」にタッチします。

アドバイス

- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、修正に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。

レベル1…

子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）

レベル2～7…

子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）

レベル8…

全てのDVDソフトを再生します。（初期設定）

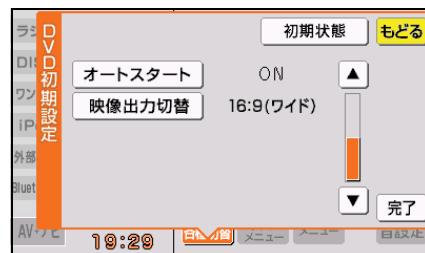
- 「初期状態」にタッチしても、視聴制限は初期状態に戻りません。再度、視聴制限の設定をしてください。

■走行中の自動再生を設定する

走行中は映像を表示できないため、ディスクに収録されているメニューを操作することができません。オートスタートを“ON”に設定すると、走行中にメニューを自動で実行して再生することができます。

1

DVD初期設定画面で「オートスタート」にタッチします。



- タッチするごとに、“ON”、“OFF”が切り替わります。

2

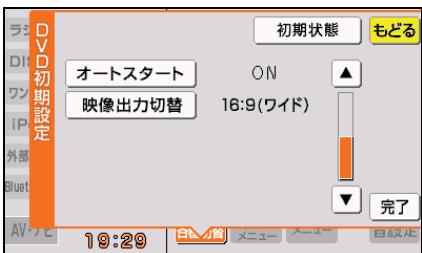
「完了」にタッチします。

アドバイス

- オートスタートを“ON”に設定していても、次の場合は本編を再生しない場合があります。
 - ディスクの初期設定が、本編再生や再生以外に設定されている場合
 - 走行を開始する前に、メニューで本編再生や再生以外の項目を選択していた場合
- オプションの後席ディスプレイを接続した場合、走行中にメニューをリモコンで操作するときは、オートスタートを“OFF”に設定してください。

■ 映像出力を切り替える

- 1 DVD 初期設定画面で **映像出力切替** にタッチします。



- タッチするごとに下図の順に画面サイズが切り替わります。

16:9 (ワイド) → 4:3 (レターボックス) → 4:3 (パンスキャン)



- 16:9 (ワイド)

通常のワイドサイズで表示されます。

4:3 のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

- 4:3 (レターボックス)

上下両端が黒く表示された映像になります。

4:3 のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。

- 4:3 (パンスキャン)

左右両端がカットされた映像になります。

4:3 のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。

- 2 **完了** にタッチします。

アドバイス

● お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

● 後席用モニターなど別のディスプレイを接続した場合、本機（フロント）で設定した映像出力切替のサイズにより、後席用モニターで表示されるサイズは異なります。

4. DVDプレーヤーの使い方

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アブバジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスマラク語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	オーランダ語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グラニ語
0721	グジャラート語

コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌビアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カンナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネバール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スンダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タール語
2023	トワイ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベク語
2209	ベトナム語
2215	ポラビュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーパ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

5. VTR の使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。

チェック

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。(走行中にソースを外部入力に切り替えた場合、音声のみになります。) VTR機器を接続する場合は、販売店で「VTRアダプター」をお買い求めください。



VTRを見る

1 「外部入力」にタッチします。

- 外部入力画面になります。
- 「フル映像」にタッチすると全画面になります。外部入力操作画面にしたいときは、画面にタッチします。



アドバイス

- オプションの後席ディスプレイを接続すると、走行中でも後席でビデオをご覧になることができます。
- 接続される機器類により、映像が正常に表示されない場合があります。

- VTR モード中に音量を調整すると、VTR モード用の音量レベルとして記憶させることができます。記憶した音量レベルは、VTR 機器を取りはずすと初期設定値にもどります。

外部入力設定画面の切り替え

外部入力設定画面に切り替えると映像設定ができます。(249 ページ参照)

1 「外部入力設定」にタッチします。

VTRを終わる

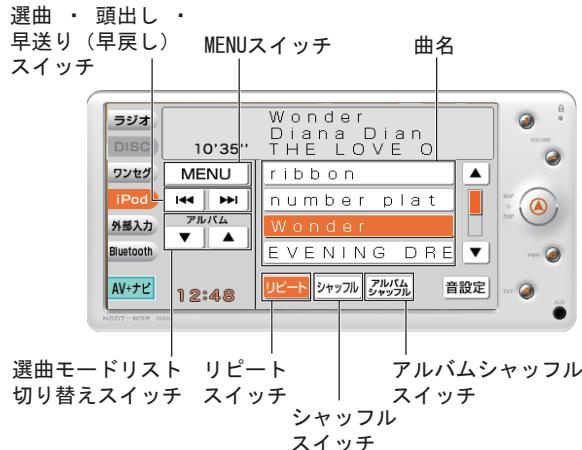
1 ⏻ を押します。

1. iPod プレーヤーの使い方

iPod を接続すると iPod の音楽ファイルを再生することができます。また、リピート再生やランダム再生の切り替えなどを、本機で操作することができます。

 チェック

- iPodを接続する場合は、オプションの「iPod接続用ケーブル」をお買い求めください。
 - 走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

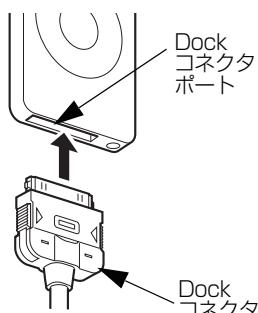


iPod を接続する

チェック

- iPod に接続されているアクセサリはすべて取りはずしてください。

1 iPodとiPod接続用ケーブルのDockコネクタを接続します。



iPodを取りはずす

△ 注意

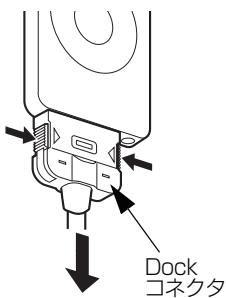
- 本機に対応したiPod接続用ケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用すると、iPodが故障する原因となります。本機に対応するケーブルについては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
 - 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
 - iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

チケッタ

エンジンスイッチがONの場合、オーディオソースがiPod以外になっていること、またはエンジンスイッチがOFFになっていることをご確認ください。

1

Dockコネクタを矢印の方向に押しながら、取りはずします。



アドバイス

- ご使用になる iPod が本機に対応しているかどうか確認してください。対応している iPod については、「対応可能な iPod について」(303 ページ) を参照してください。
- 本機と iPod を接続しても、自動で iPod モードに切り替わりません。
- iPod を本機に接続すると、iPod に "TOYOTA" が表示されます。
また、"TOYOTA" が表示されている間は iPod による操作をすることができません。
- ご使用になる iPod によっては接続中に "TOYOTA" が表示されない場合がありますが、故障ではありません。
- iPod の電源を OFF にしたまま接続すると、"TOYOTA" が表示されず "充電済" マークが表示されることがあります。この場合、iPod のいずれかのボタンを押すと、"TOYOTA" が表示されます。
- iPod と接続用ケーブルが正しく接続されていないと、iPod の電源が ON にならない場合や、本機に認識されない場合があります。この場合は、一度 iPod を取り外し、再度接続してください。
- エンジンスイッチが ON または ACC になっている場合、接続した iPod のバッテリーが充電されます。ただし、電池残量により iPod が起動するまでに時間がかかる場合があります。
- 本機に iPod を接続すると、本機で表示される曲名リストの順番が iPod と異なることがあります。

● iPod が操作不能になった場合は、iPod の接続をはずし、iPod をリセットしてから再度接続してください。iPod のリセット方法については、iPod の取扱書を参照してください。

● 映像ファイルが入っている iPod を接続すると、曲名リストに映像ファイル名が表示される場合がありますが、映像ファイルの再生には対応していません。また、曲名リストが重複する場合があります。

iPod を聞く

1

iPod にタッチします。

- iPod に入っている音楽ファイルの再生を始めます。



アドバイス

- iPod に収録されている音楽ファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- iPod 本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、再生中は、iPod 保護のため、iPod から Dock コネクタを取りはずさないでください。
- 正しく動作しない場合、iPod の接続をはずし、エンジンスイッチを OFF (LOCK) にして、再度接続してください。
- アーティスト名や曲名 (トラック名称) などは、全角で最大 11 文字まで表示できます。(名称によっては、表示できない場合があります。)
- アーティスト名等の表示文字において本機で表示できない文字 (例: JIS 第一水準漢字以外の漢字や特殊記号) は空白スペースにて表示されます。

1. iPodプレーヤーの使い方

早送り・早戻しする

1 、または を“ピッ”と音がするまで押します。

- (右側) : 曲を進めるとき
- (左側) : 曲を戻すとき
- 早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



聞きたい音楽ファイルを選ぶ

1 、または を押します。

- (右側) : 次の音楽ファイルを選ぶとき
- (左側) : 頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき



聞きたい音楽ファイルをリストから探す

アーティスト名やジャンルなどの選曲モードからリストを表示して、聞きたい音楽ファイルを探すことができます。

■メニューから探す

1 **MENU** にタッチします。

- MENU画面が表示されます。



2 検索したい選曲モードスイッチにタッチします。

- 選択したモードのリスト画面が表示されます。

選曲モードスイッチ



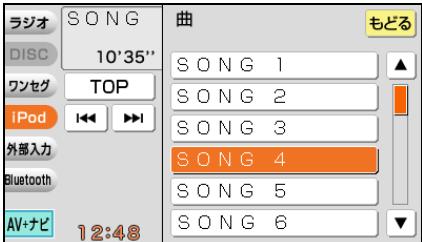
3 聞きたいリストにタッチします。

- 曲画面が表示されるまで繰り返します。各選曲モードにより、曲画面が表示されるまでの順序は下記のようになります。

選曲モード	表示順序
プレイリスト	プレイリスト画面→曲画面
アーティスト	アーティスト画面→アルバム画面→曲画面
アルバム	アルバム画面→曲画面
曲	曲画面
Podcast	Podcast画面→Podcast番組リスト画面
ジャンル	ジャンル画面→アーティスト画面→アルバム画面→曲画面
作曲者	作曲者画面→アルバム画面→曲画面

4 聞きたい音楽ファイルにタッチします。

- 選択された音楽ファイルを再生します。
- 7個以上リストがある場合は、・にタッチするとリストを切り替えることができます。



アドバイス

- 各リストの表示文字数は、全角で最大11文字です。
- TOP**にタッチすると、TOP画面にもどります。
- アーティストの選曲モードでアーティスト名にタッチ、または MENU 画面で **アルバム** にタッチすると、**全曲** が表示されます。**全曲** にタッチすると、そのフォルダ内の曲が再生されます。
- ジャンル** **全アーティスト** にタッチすると、**全アーティスト** にタッチすると、全てのアーティストが表示されます。

■選曲モードリスト切替スイッチから探す

選曲モードリスト切替スイッチの 、または をタッチするごとに各選曲モードリストを切り替えることができます。

スイッチの上に各選曲モードが表示されます。

選曲モードリスト切り替えスイッチ



- 切り替えた各選曲モードリストの先頭の曲から再生されます。
- 選曲モードが「曲」の場合、選曲モードリスト切替スイッチがトーンダウンして、操作できなくなります。

1. iPodプレーヤーの使い方

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

1 リピートにタッチします。

- 再生中の音楽ファイルを繰り返し再生します。
- 一度 **リピート** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **リピート** にタッチすると解除されます。
- **リピート** が解除されている場合、再生の対象となるリストが繰り返し再生されます。

アドバイス

本機で **リピート** を設定した状態でiPodを取りはずした場合、iPodはリピート再生の設定に切り替わります。

音楽ファイルの順番をランダムに聞く

■今聞いているリストの中からランダムに聞く

1 シャッフルにタッチします。

- 再生中のリスト内の全ファイルでランダム再生します。
- 一度 **シャッフル** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **シャッフル** にタッチすると解除されます。

アドバイス

本機で **シャッフル** を設定した状態でiPodを取りはずした場合、iPodはシャッフル再生の設定に切り替わります。

■リストをランダムに聞く

リストをランダムに再生することができます。ただし、リスト内の音楽ファイルは先頭から順に再生されます。

1 アルバムシャッフルにタッチします。

- 一度 **アルバムシャッフル** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **アルバムシャッフル** にタッチすると解除されます。

アドバイス

本機で **アルバムシャッフル** を設定した状態でiPodを取りはずした場合、iPodはシャッフル再生の設定に切り替わります。

iPod を止める

1 Ⓛ を押します。

対応可能な iPod について

本機は下記の iPod を使用することができます。

種類	世代	ソフトウェア
iPod ^{※1}	第4世代	3.1.1
	第5世代	1.3
iPod photo	第1世代	1.2.1
	第2世代	1.2.1
iPod classic	第1世代	1.1.2
	第2世代	2.0.1
iPod touch	第1世代	1.1.5 ^{※2}
		2.2 ^{※3}
	第2世代	2.2
iPod mini	第1・2世代	1.4.1
iPod nano	第1世代	1.3.1
	第2世代	1.1.3
	第3世代	1.1.3
	第4世代	1.0.3

※1 第1～第3世代の iPod には対応していません。

※2 無償ソフトウェアバージョン

※3 有償ソフトウェアバージョン

アドバイス

- iPod のソフトウェアバージョンは、iPod 本体で確認することができます。詳しくは、iPod の取扱書をご覧ください。
- iPod のソフトウェアバージョンが上表未満の場合、アップル社の Web サイトからバージョンアップすることができます。
- iPod は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPod および iTunes は、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod の写真表示機能、ビデオ映像表示機能には対応していません。
- オーディオブック機能には対応していません。
- iPod の機種およびソフトウェアバージョンにより、正しく動作しなかったり、反応しない場合があります。
- iPhone、iPod shuffle は、対応しておりません。

2. Bluetooth オーディオの使い方

Bluetooth を搭載したポータブルオーディオを接続すると、ポータブルオーディオに収録された音楽を再生することができます。さらに、接続する機器によって、アーティスト名、アルバム名、トラック名などが表示され、アルバムからの選曲などを本機で操作することができます。

※ 本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことを確認のうえお使いください。

Bluetooth オーディオについて

Bluetooth オーディオは、車載機とポータブルオーディオの通信を無線（Bluetooth）を使用して行うポータブルオーディオです。従来のポータブルオーディオを車載機に接続するには、別途接続ケーブルなどを用意して、接続する必要がありました。これに対し Bluetooth オーディオでは、接続ケーブルなど必要なく再生することができます。例えば、ポケットにポータブルオーディオを入れたままでも通信範囲内であれば、使用することができます。

■ 対応 Bluetooth 仕様および対応プロファイルについて

本機に接続することができるポータブルオーディオ機器は、下記の仕様に対応している必要があります。ただし、ポータブルオーディオ機器の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

△ 注意

- 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・化学・医療用機器のほか、工場製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します。）

本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合は、速やかに場所を変更して電波干渉を回避してください。

- 本機の使用周波数は2.4GHz帯です。
- 変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。
- 想定干渉距離は10m以下です。
- 本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 本機は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

- 対応 Bluetooth 仕様：
Bluetooth Specification Ver. 1.1以上
(Ver. 2.0+EDR以上を推奨)

- 対応プロファイル：
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) Ver. 1.0以上
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) Ver. 1.0以上(Ver. 1.4まで対応)

1 アドバイス



Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

2 ポータブルオーディオを登録する

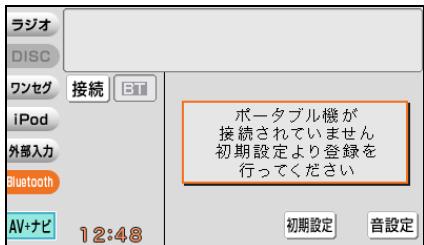
Bluetooth オーディオを使用するためには、ポータブルオーディオを本機に登録する必要があります。

ポータブルオーディオは、最大 2 台まで登録することができます。操作の前にポータブルオーディオの電源を ON にするなど、本機と接続できる状態にします。

1 **AV** にタッチします。

2 **Bluetooth** にタッチします。

3 **初期設定** にタッチします。



4

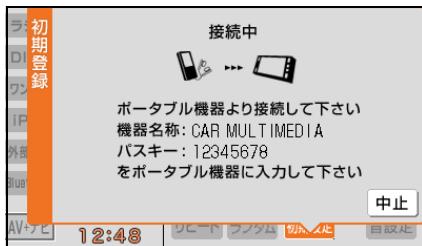
登録 にタッチします。



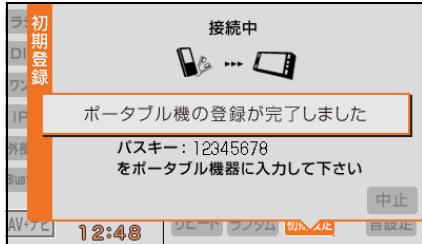
5

Bluetooth オーディオ接続中画面が表示されたら、ポータブルオーディオ側から Bluetooth 登録を行います。

- ポータブルオーディオ本体で、画面に表示されている接続名称を選択し、パスキーを入力します。
- ポータブルオーディオ側の登録操作は、Bluetooth オーディオ接続中画面が表示されているときに行なってください。
- **中止** にタッチすると、登録が中止されます。



- 登録が完了すると、メッセージが表示されます。



2. Bluetooth オーディオの使い方

アドバイス

- パスキーとは、Bluetooth オーディオを本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。「パスキーを変更する」(312 ページ) を参照してください。
- ポータブルオーディオを登録すると、一番新しく登録したポータブルオーディオが使用するポータブルオーディオとして選択されます。複数登録している場合は、使用するポータブルオーディオを選択(311 ページ参照)することができます。
- ポータブルオーディオ登録時の操作方法は、ポータブルオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

ポータブルオーディオを接続する

■自動で接続する

ポータブルオーディオを登録すると、自動で接続される状態になります。これにより、エンジンスイッチを ACC または ON にするたびに、本機に選択されているポータブルオーディオ (305 ページ参照) と自動的に接続します。

1 ポータブルオーディオの電源を ON にするなど、本機と接続できる状態にします。

2 エンジンスイッチを ACC または、ON にします。

- 自動で、ポータブルオーディオとの接続が開始されます。
- 接続が完了すると接続完了のメッセージが表示されます。
- 接続に失敗したときは、メッセージが表示されます。画面の案内にしたがってやり直してください。
- 接続に失敗したときや自動接続の設定(313 ページ参照) が “しない” に設定されているときは、手動で接続することができます。

■ 手動で接続する

ポータブルオーディオとの自動接続に失敗したときや自動接続の設定（313 ページ参照）が“しない”に設定されているときは、手動で接続することができます。

1 ポータブルオーディオの電源をONにするなど、本機と接続できる状態にします。

2 **AV+ナビ** にタッチします。

3 **Bluetooth** にタッチします。



4 **接続** にタッチします。

- Bluetooth オーディオ接続中画面が表示され、ポータブルオーディオとの接続が開始されます。
- 接続が完了すると接続完了のメッセージが表示されます。

アドバイス

機器により自動接続では、接続できない場合があります。この場合は、手動で接続してください。

■ 接続中の表示について

ポータブルオーディオと接続中、Bluetooth 操作画面左上に接続状態と電池残量が表示されます。



Bluetooth接続状態表示

Bluetooth の接続状態を表示しています。接続の状態により、次のように表示されます。

- 青色表示： Bluetooth 接続状態が良好であることを示します。
- 黄色表示： この状態では、音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、ポータブルオーディオを移動してください。
- 切断表示： ポータブルオーディオがBluetooth接続されていない状態を示します。この状態では、Bluetoothオーディオを使用することができません。再度ポータブルオーディオの選択を確認してください。（311 ページ参照）

2. Bluetooth オーディオの使い方

電池残量表示

ポータブルオーディオの電池残量の目安を表示しています。電池残量は、ポータブルオーディオの表示と一致しない場合があります。また、接続した機種によっては、表示されない場合があります。

△ 注意

- 本機でBluetoothオーディオを使用しているときにポータブルオーディオのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- ポータブルオーディオを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- ポータブルオーディオを本機に近づけすぎないでください。音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

表示				
残量	無し	少		多

⌚ アドバイス

- 次のような場所や状態で Bluetooth オーディオを使用すると、Bluetooth接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth接続ができないことがあります。
- ポータブルオーディオがディスプレイから隠れる場所にあるとき（シートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるとき）
- ポータブルオーディオが金属製のものに接したり、覆われているとき上記の場合、青色の表示ができるように、ポータブルオーディオを移動させてください。
- ポータブルオーディオと他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 接続により、ポータブルオーディオの電池が早く消耗します。
- Bluetooth オーディオは、充電機能はありません。

Bluetooth オーディオを聞く

1

本機とポータブルオーディオが接続されているときに、**AV+ナビ** をタッチします。

2

Bluetooth にタッチします。

- 再生を始めます。
- にタッチすると、再生を一時停止します。
- にタッチすると、再生を再開します。

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1

、または を“ピッ”と音がするまでタッチします。

- (右側) : 曲を進めるとき
- (左側) : 曲を戻すとき

⌚ アドバイス

- ポータブルオーディオに収録されている音楽ファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- アーティスト名や曲名（トラック名称）などは、アルファベット・記号の半角文字では、最大20文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では、10文字まで表示されます。（本機での表示に対応したポータブルオーディオのみ）
- ポータブルオーディオ機器によっては、機能に対応していないため、タッチスイッチが表示されなかったり、操作ができない場合があります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることができます。

- Bluetooth オーディオモード中に音量を調整すると、Bluetooth オーディオモード用の音量レベルとして記憶させることができます。記憶した音量レベルは、ポータブルオーディオを取りはずすと初期設定値にもどります。
- Bluetooth オーディオ再生中に携帯電話の接続動作を行った場合、Bluetooth オーディオの音声が途切れることができます。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

1  、または  にタッチします。

-  (右側) : 次の音楽ファイルを選ぶとき
-  (左側) : 頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき

アルバムを切り替える

1 アルバムの  、または  にタッチします。

-  : 次のアルバムを選ぶとき
-  : 前のアルバムを選ぶとき

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

1 **リピート** にタッチします。

- 再生中の音楽ファイルを繰り返し再生します。
- 一度 **リピート** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **リピート** にタッチすると解除されます。

音楽ファイルの順番をランダムに聞く

1 **ランダム** にタッチします。

- ポータブルオーディオに収録されている全音楽ファイルの中から任意に選曲し、再生します。
- 一度 **ランダム** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **ランダム** にタッチすると解除されます。

ライブラリから探す

1 **ライブラリ** にタッチします。

- ライブラリ画面が表示されます。

2 聞きたい音楽ファイルにタッチします。

- 選択された音楽ファイルを再生します。
- 7個以上リストがある場合は、・にタッチするとリストを切り替えることができます。



2. Bluetooth オーディオの使い方

再生リストから探す

1 再生リスト にタッチします。

- 再生リスト画面が表示されます。

2 聞きたい音楽ファイルにタッチします。

- 選択された音楽ファイルを再生します。
- 7個以上リストがある場合は、 . にタッチするとリストを切り替えることができます。



⌚ アドバイス

- ポータブルオーディオに収録されている音楽ファイル数、ソフトウエアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- アーティスト名や曲名（トラック名称）などは、アルファベット・記号の半角文字では、最大20文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では、10文字まで表示されます。（本機での表示に対応したポータブルオーディオのみ）
- ポータブルオーディオ機器によっては、機能に対応していないため、タッチスイッチが表示されなかったり、操作ができない場合があります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。

Bluetooth オーディオを止める

1 Ⓞ を押します。

- もう一度 Ⓞ を押すと再生が再開されます。

⌚ アドバイス

ポータブルオーディオ機器によっては、機能に対応していないため、タッチスイッチが表示されなかったり、操作ができない場合があります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。

Bluetooth オーディオの設定

Bluetooth オーディオの設定をすることができます。

項目	機能	ページ
ポータブルオーディオの選択使用する	ポータブルオーディオを選択します。	311
機器名称の変更	Bluetoothネットワーク内での本機の名称を変更します。	312
パスキーの変更	ポータブルオーディオを本機に登録する際のパスキーを変更します。	312
自動接続の設定	Bluetooth自動接続の設定をします。	313
詳細情報の表示	現在使用しているポータブルオーディオの情報を表示・変更します。	313
ポータブルオーディオの登録削除	登録したポータブルオーディオを削除します。	315

■ ポータブルオーディオを切り替える

使用するポータブルオーディオを選択することができます。本機には、一番新しく登録したポータブルオーディオが使用するポータブルオーディオとして選択されます。

1 **♪AV** にタッチします。

2 **Bluetooth** にタッチします。

3 **初期設定** にタッチします。

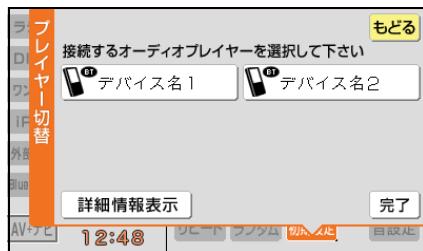


4 **登録済リスト** にタッチします。



5

使用するオーディオプレーヤーにタッチします。



- **詳細情報表示** にタッチすると、選択したポータブルオーディオの機器名称などの情報を表示することができます。(313 ページ参照)

6 **完了** にタッチします。

■ 機器名称およびパスキーを変更する

機器名称やパスキーを任意に変更することができます。

1 **♪AV** にタッチします。

2 **Bluetooth** にタッチします。

3 **初期設定** にタッチします。



2. Bluetooth オーディオの使い方

機器名称を変更する

1 機器名称の **変更** にタッチします。

- 機器名称変更画面が表示されます。



2 文字に1文字ずつタッチして入力します。



- 半角20文字まで入力できます。

3 入力後、**完了** にタッチします。

- Bluetooth オーディオ設定画面にもどります。

パスキーを変更する

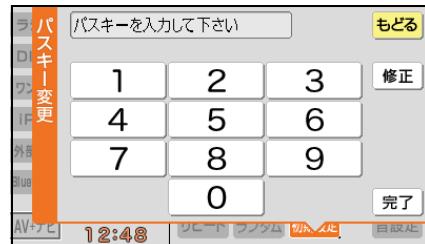
1 パスキーの **変更** にタッチします。

- パスキー変更画面が表示されます。



2 数字に1文字ずつタッチして、4~8行の数字を入力します。

- 間違えた場合は、**修正** にタッチすると、1文字ずつ削除されます。



3 入力後、**完了** にタッチします。

- Bluetooth オーディオ設定画面にもどります。

■ Bluetooth 自動接続を設定する

初期状態では、エンジンスイッチを ACC、または ON にしたとき、ポータブルオーディオを自動で接続するように設定されています。自動で接続するか、しないかを選択することができます。

1 **AV** にタッチします。

2 **Bluetooth** にタッチします。

3 **初期設定** にタッチします。



4 **する**、または **しない** にタッチします。



5 **もどる** にタッチします。

■ 詳細情報を表示する

1 **AV** にタッチします。

2 **Bluetooth** にタッチします。

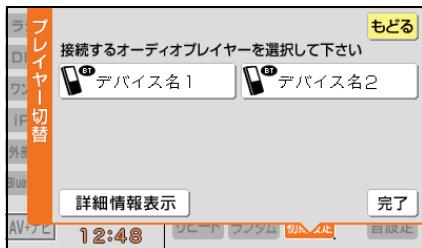
3 **初期設定** にタッチします。



4 **登録済リスト** にタッチします。



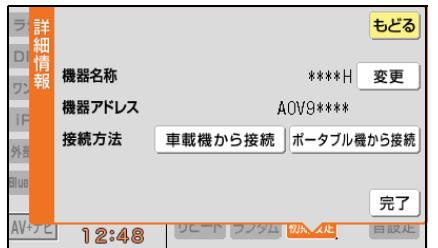
5 現在使用しているポータブルオーディオにタッチします。



2. Bluetooth オーディオの使い方

6 詳細情報表示 にタッチします。

項目	内容
機器名称	現在使用中のポータブルオーディオの名称が表示されます。名称は変更することができます。
機器アドレス	ポータブルオーディオ機器特有のアドレスが表示されます。アドレスの変更はできません。
接続方法	接続方法を選択することができます。



アドバイス

機器名称を変更しても、ポータブルオーディオ側は変更されません。

機器名称の変更

1 機器名称の **変更** にタッチします。

● 機器名称変更画面が表示されます。

2 文字に1文字ずつタッチして入力します。(312 ページ参照)



3 入力後、**完了** にタッチします。

● Bluetooth オーディオ設定画面にもどります。

接続方法の変更

1 **車載器から接続** 、または **ポータブル機から接続** にタッチします。

● **車載器から接続** :

本機側から接続するとき

ポータブル機から接続 :

ポータブルオーディオから接続するとき

2 **完了** にタッチします。

● Bluetooth オーディオ設定画面にもどります。

■ ポータブルオーディオの登録を削除する

ポータブルオーディオの登録を削除します。

1 **♪AV** にタッチします。

2 **Bluetooth** にタッチします。

3 **初期設定** にタッチします。

4 **Bluetooth** オーディオ設定の **削除** にタッチします。



5 **削除** にタッチします。

削除するポータブルオーディオにタッチします。

7 **完了** にタッチします。

8 **はい** にタッチします。

● ポータブルオーディオの登録が削除されます。

■ 初期設定にもどす

Bluetooth オーディオの設定を初期設定の状態にもどすことができます。

1 **♪AV** にタッチします。

2 **Bluetooth** にタッチします。

3 **初期設定** にタッチします。

4 **初期状態** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。

● 初期状態にもどります。

3. AUX の使い方

市販のポータブルオーディオを接続すると、ポータブルオーディオに収録された音楽を本機で再生することができます。

チェック

- ポータブルオーディオを接続する場合は、「ミニプラグコード」をお買い求めください。
- 本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認のうえお使いください。

AUX画面呼び出しスイッチ



ポータブルオーディオをお使いになる前に

警告

- 接続したポータブルオーディオやミニプラグコードを、SRSエアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。

SRSエアバッグ展開場所については、お車の取扱書をご覧ください。



- ポータブルオーディオやミニプラグコードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。

運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。



ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）

△ 注意

ミニプラグコードの端子に手を引っ掛けたりしないよう注意してください。

チェック

- ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。
- オーディオのソースがAUX以外になっている、またはOFFになっていることを確認してください。

1 ミニプラグコードをポータブルオーディオに接続します（取りはずします）。

⌚ アドバイス

運転中は、ポータブルオーディオの接続・取りはずしをしないでください。

ポータブルオーディオを聞く

ポータブルオーディオ側の操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱書をご覧ください。

1 接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生します。

2 AV+ナビ にタッチします。

3 外部入力 にタッチします。

4 AUX にタッチします。



- ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。

⌚ アドバイス

- 運転中は、ポータブルオーディオの操作をしないでください。
- 接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意ください。
- AUXを再生中に音量を調整した場合、AUX用の音量レベルとして記憶することができます。記憶した音量レベルは、ミニプラグコードを抜くと初期設定に戻ります。
- ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリー等を使用してください。お車に搭載されているシガライタソケットやアクセサリーソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

ポータブルオーディオを終わらす

1 ⏹ を押します。

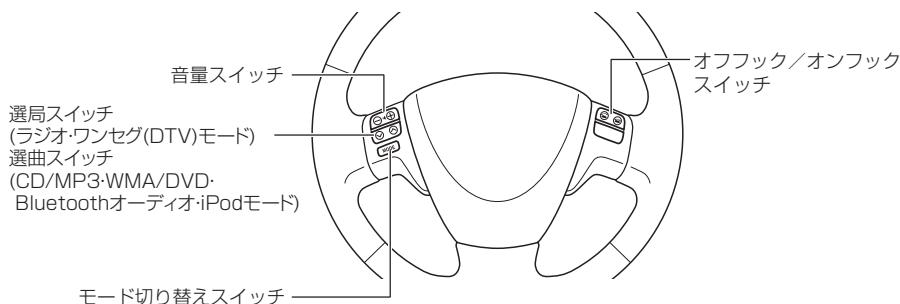
- AUX を終了してもポータブルオーディオは、再生を続けます。（音声は出力されません。）

1. ステアリングスイッチから操作する

ステアリングスイッチについて

ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリング部スイッチで各オーディオモードの主要操作をすることができます。

■ 各部の機能名称と概要



共通操作

スイッチ	名称	機能	ページ
(+) · (-)	音量スイッチ	押すごとに1ステップづつ音量が変わります。 また、押し続けると音量が連続して変わります。	247
(MODE)	モード切り替えスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> 電源がOFFのとき、スイッチを押すと電源がONになります。 スイッチを押すごとにモードが切り替わります。FM → (CD/MP3・WMA/DVD) → ワンセグ(DTV) → (iPod) → (AUX) → (VTR) → (BT) → AM → FMに戻る ()：再生または視聴できないときは切り替わりません。 スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、電源がOFFになります。 	244

CD/DVD・MP3/WMAプレーヤーの操作

● CD

スイッチ	名称	機能	ページ
(^) · (v)	選曲スイッチ	次曲・再生中の曲の頭（繰り返し押すと前曲）に切り替えます。	253

● MP3/WMA

スイッチ	名称	機能	ページ
(^) · (v)	選曲スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> 次のファイル・再生中のファイルの頭（繰り返し押すと前のファイル）に切り替えます。 スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、次のフォルダ・前のフォルダに切り替えます。 	256

● DVD

スイッチ	名称	機能	ページ
(^) · (v)	チャプター切り替えスイッチ	次のチャプター・再生中のチャプターの頭（繰り返し押すと前のチャプター）に切り替えます。	287

ラジオの操作

スイッチ	名称	機能	ページ
(^) · (v)	選局スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> プリセットに記憶させた放送局を順に呼び出します。 スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、自動選局を開始します。 	250

ワンセグの操作

スイッチ	名称	機能	ページ
(^) · (v)	選局スイッチ	プリセットに記憶させた放送局を順に呼び出します。	266

1. ステアリングスイッチから操作する

DTVの操作

スイッチ	名称	機能	ページ
(^) · (v)	選局スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> プリセットに記憶させた放送局を順に呼び出します。 スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、自動選局を開始します。 	273

Bluetoothオーディオプレーヤーの操作

スイッチ	名称	機能	ページ
(^) · (v)	選曲スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> 次曲・再生中の曲の頭（繰り返し押すと前曲）に切り替えます。 スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、次のアルバム・前のアルバムに切り替えます。 	309

iPodの操作

スイッチ	名称	機能	ページ
(^) · (v)	選曲スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> 次曲・再生中の曲の頭（繰り返し押すと前曲）に切り替えます。 スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、次のプレイリストの先頭曲・前のプレイリストの先頭曲に切り替えます。 	300

ハンズフリーの操作

スイッチ	名称	機能	ページ
	オフフックスイッチ	着信中や応答保留中に押すと、通話を開始することができます。また、電話の待ち受け中にスイッチを押すと、ハンズフリーの電話番号入力画面が表示されます。	62 66
	オンフックスイッチ	通話中や応答保留中に押すと、通話を終了することができます。	67 69

2. 後席ディスプレイを操作する

後席ディスプレイについて

本機にオプションの後席ディスプレイを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。また、後席ディスプレイに付属のリモコン操作により映像の切り替えやオーディオの操作をすることができます。リモコン本体の取扱については、後席ディスプレイの取扱書を参照してください。

■ 後席ディスプレイに表示される画面について

- 後席ディスプレイには、ワンセグ (DTV)・DVD・VTRの映像のみ表示します。
- ワンセグ (DTV)・DVD・VTR以外のオーディオモードをご使用になっている場合は、本機の映像は表示されません。
- オーディオOFFの場合は、本機の映像は表示されません。
- ナビゲーション画面、カメラ映像は表示されません。

■ 後席ディスプレイの操作について

後席ディスプレイを操作するときは、リモコンを本体の受光部に向けて操作してください。詳しくは、後席ディスプレイの取扱書を参照してください。

アドバイス

後席ディスプレイでは、走行中／停車中に限りなく映像が表示されるため、走行中でもワンセグ (DTV)・DVD・VTRの映像をご覧になることができます。

2. 後席ディスプレイを操作する

リモコンについて

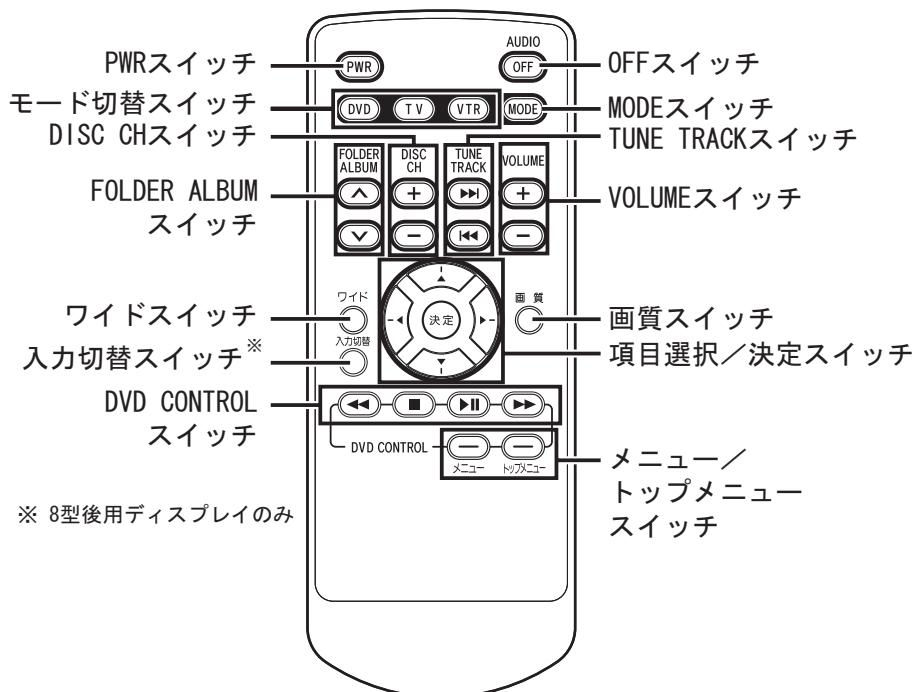
■各部の機能名称と概要

△ 警告

事故防止のため、電池および絶縁シートは幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

△ 注意

- リモコンを落としたり、衝撃をあたえないでください。
- リモコンの上に重いものをのせたり、すわったりしないでください。
- リモコンを分解しないでください。
- 電池を交換するときは+極と-極を必ず正しい向きにして取り付けてください。



共通操作

- オーディオモードが、映像を伴わないモードの場合、後席ディスプレイには黒い画面が表示されます。
- 映像を伴うオーディオモードに切り替えた場合、通常、走行中には音声のみになりますが、後席ディスプレイでは映像をご覧ることができます。

スイッチ	名称	機能	ページ
(PWR)	PWRスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ● 後席ディスプレイの電源のON/OFFが切り替わります。 ● 1秒以上押すと、エンジンスイッチをACCまたはONにしたときの後席ディスプレイ作動を設定することができます。1秒以上押すごとに、OFF START※¹とLAST START※²が切り替わります。 <p>※1 電源OFF ※2 エンジンスイッチをOFF (LOCK) にする直前の状態</p>	後席ディスプレイ取扱書
AUDIO (OFF)	OFFスイッチ	オーディオの電源がOFFになります。	ナビゲーション取扱書
(MODE)	MODEスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ● スイッチを押すごとにモードが切り替わります。 FM → (CD/MP3・WMA/DVD) → ワンセグ (DTV) → (iPod) → (AUX) → (VTR) → (BT) → AM → FMに戻る ()：再生または視聴できないときは切り替わりません。 ● 2秒以上押すと、オーディオの電源がOFFになります。 	244
(DVD)	モード切替スイッチ	モードが差し込まれているディスクのモードに切り替わります。	244
(TV)		モードがワンセグ (DTV) に切り替わります。 (DTVチューナー接続時で、地上デジタルTV放送が受信可能な場合は、DTVに切り替わります。)	
(VTR)		モードがVTRに切り替わります。	
VOLUME (+)・(-)	VOLUMEスイッチ	<p>押すごとに1ステップずつ音量が変わります。また、押し続けると音量が連続して変わります。</p> <p>後席ディスプレイの画面モードが入力2のときに、後席ディスプレイの音量が変わります。このとき、オーディオの音量は変わりません。※</p>	247 後席ディスプレイ取扱書

2. 後席ディスプレイを操作する

スイッチ	名称	機能	ページ
ワイド (○)	ワイドスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> モードがDVD・VTRのときに、後席ディスプレイのワイドモードが切り替わります。押すごとに、ノーマル・ワイド1・ワイド2・ワイド3に切り替わります。 1秒以上押すと、後席ディスプレイの背面にあるインジケータ表示を設定することができます。1秒以上押すごとに、インジケータのON/OFFが切り替わります。※1 	後席ディスプレイ取扱書
入力切替 (○)※	入力切替スイッチ	後席ディスプレイの画面モードを切り替えます。押すごとに入力1/入力2が切り替わります。	後席ディスプレイ取扱書
画質 (○)	画質スイッチ	<p>モードがDVD・ワンセグ(DTV)・VTRのとき、または後席ディスプレイの画面モードが入力2※1のときに、後席ディスプレイの画質調整画面に切り替わります。</p> <p>1秒以上押すごとに、オートディマー機能のON/OFFが切り替わります。※2</p>	後席ディスプレイ取扱書
(▲)・(▼)	項目選択/決定スイッチ	後席ディスプレイの画質調整画面で、明るさ、コントラストなどの調整項目が切り替わります。	後席ディスプレイ取扱書
(◀)・(▶)		後席ディスプレイの画質調整画面で、明るさ、コントラストなどを調整します。	
(決定)		<ul style="list-style-type: none"> 後席ディスプレイの画質調整画面で、調整内容を決定します。 後席ディスプレイのワイドモードを切り替えたとき、選択したモードを決定します。 	

※1 8型後席ディスプレイのみ

※2 9型後席ディスプレイのみ

ラジオの操作

- リモコンでは、放送局をプリセットスイッチに記憶させることができません。本体側で操作してください。
- 受信電波の弱い地域では、自動的に選局できないことがあります。

スイッチ	名称	機能	ページ
DISC CH (+)・(-)	DISC CHスイッチ	プリセットに記憶させた放送局を順に呼び出します。	
TUNE TRACK (▶)・(◀)	TUNE TRACKスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> 押すごとに1ステップずつ周波数、またはチャンネルが変わります。 1秒以上押すと、自動選局を開始します。 	250

CDプレーヤーの操作

- 後席ディスプレイには青い画面が表示されます。

スイッチ	名称	機能	ページ
TUNE TRACK (· ())	TUNE TRACKスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ● 押すごとに1ステップずつ周波数、またはチャンネルが変わります。 ● 1秒以上押すと、自動選局を開始します。 	253 254
DVD CONTROL (· ())	DVD CONTROLスイッチ	押し続けている間、早送り・早戻しを行います。	

MP3/WMAプレーヤーの操作

- 後席ディスプレイには青い画面が表示されます。

スイッチ	名称	機能	ページ
TUNE TRACK (· ())	TUNE TRACKスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ● 次のファイル・再生中のファイルの頭（繰り返し押すと前のファイル）に切り替えます。 ● 1秒以上押すと、早送り・早戻しを開始します。 	256 257
FOLDER ALBUM (· ())	FOLDER ALBUMスイッチ	次のフォルダ・前のフォルダに切り替えます。	
DVD CONTROL (· ())	DVD CONTROLスイッチ	押し続けている間、早送り・早戻しを行います。	257

ワンセグの操作

- リモコンでは、チャンネルをプリセットスイッチに記憶させることができません。本体側で操作してください。

スイッチ	名称	機能	ページ
DISC CH (+ · (-))	DISC CHスイッチ	プリセットに記憶させた放送局を順に呼び出します。	266
TUNE TRACK (· ())	TUNE TRACKスイッチ		

2. 後席ディスプレイを操作する

DTVの操作

- リモコンでは、チャンネルをプリセットスイッチに記憶させることができません。本体側で操作してください。

スイッチ	名称	機能	ページ
DISC CH (+)・(-)	DISC CHスイッチ	プリセットに記憶させた放送局を順に呼び出します。	
TUNE TRACK (▶)・(◀)	TUNE TRACKスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> 押すごとに1ステップずつ周波数、またはチャンネルが変わります。 1秒以上押すと、自動選局を開始します。 	273

DVDプレーヤーの操作

- 自動再生されないディスクや、記録されているメニュー項目を操作しないと再生されないディスクがあります。
- ディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

スイッチ	名称	機能	ページ
メニュー (-)	メニュー/トップメニュー/スイッチ	DVDメニューが表示されます。	
トップ メニュー (-)		DVDトップメニューが表示されます。	
(▲)・(▼) (◀)・(▶)	項目選択/決定スイッチ	DVDメニューやDVDトップメニューで項目の選択に使用します。	
(決定)		DVDメニューやDVDトップメニューで選択の決定に使用します。	
DVD CONTROL (▶)	DVD CONTROLスイッチ	再生します。再生中に押すと、一時停止します。	
DVD CONTROL (◀)・(▶)		押し続けている間、早送り・早戻しを行います。一時停止中に(▶)を押すと、スロー再生します。	
DVD CONTROL (■)		再生を停止します。	
TUNE TRACK (▶)・(◀)	TUNE TRACKスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> 次のチャプター・再生中のチャプターの頭(繰り返し押すと前のチャプター)に切り替えます。 1秒以上押すと、早送り・早戻しを開始します。 	287 285

Bluetoothオーディオプレーヤーの操作

- 後席ディスプレイには黒い画面が表示されます。

スイッチ	名称	機能	ページ
TUNE TRACK ( · ( · ( iPodの操作			

- 後席ディスプレイには黒い画面が表示されます。

スイッチ	名称	機能	ページ
TUNE TRACK ( · ( · ( · ( 327			

1. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

■ 共通操作関係

メッセージ	原因	処置
高温のため、動作を停止します。 しばらく経つてから電源を入れなおすください	本機内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
地図メディアが入っていません SDカードを入れて下さい	地図データの入った“SDメモリーカード”が挿入されてないため。	地図データが入った“SDメモリーカード”を挿入してください。
地図メディアが正しく読めません SDカードをご確認下さい	地図データ以外のデータが入ったSDカードを挿入しているため。	地図データが入ったSDカードを挿入してください。
データが読みません SDカードをご確認下さい	何らかの原因で“SDメモリーカード”が読み込めないため。	“SDメモリーカード”をお確かめください。

■ ナビゲーション関係

メッセージ	原因	処置
施設情報は800m図より広域の地図には表示されません	施設（施設ランドマーク）表示中に800mスケール図より広域な地図にしたため。	800mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。 (108 ページ参照)
周辺に該当する施設がありません	周辺の施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからなため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。 (118 ページ参照)
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの周辺施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからなため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。 (118 ページ参照)
自宅が登録されていません 自宅登録を行いますか? はい いいえ	自宅が登録されていないときに、 自宅 にタッチしたため。	はい にタッチするとお気に入り地点登録画面を表示します。 (156 ページ参照) いいえ にタッチするとともとの画面にもどります。
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかつたため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかつたため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。

メッセージ	原因	処置
履歴が登録されていません	履歴で地図を呼び出すとき、過去に目的地を設定していないことが原因で、地図を呼び出せなかったため。	目的地を設定すると目的地履歴に登録されます。目的地履歴が登録されていないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。(120 ページ参照)
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	800mスケール図より広域の地図で目的地、お気に入り地点などを設定・登録しようとしたため。(ワンタッチお気に入り地点登録のときを除く)	目的地、お気に入り地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図(800mスケール図以下)で行ってください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地の移動をしますか？	目的地と最寄りの道路との間に、河川などがあるため。	はい にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、 いいえ にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	はい にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、 いいえ にタッチしてください。
お気に入り地点が登録されていません お気に入り地点を登録してからお使い下さい	お気に入り地点が登録されていないときに、お気に入り地点で地図を呼び出そうとしたため。	お気に入り地点を登録してからお使いください。(155 ページ参照)
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	お気に入り地点を登録した数が100カ所のときに、さらに登録しようとしたため。	不要なお気に入り地点を消去してから登録してください。(166 ページ参照)
VICS文字(図形)情報を受信中ですしばらくお待ち下さい	VICSメニューを受信していないため。	しばらくしてもメッセージを表示する場合、選局しなおしてください。(173 ページ参照)
VICS情報は800m図より広域の地図には表示されません	VICS表示中に800mスケール図より広域の地図にしたため。	800mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。(108 ページ参照)
VICSの文字(図形)情報を受信していません	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していないため。	選局しなおしてVICSの情報を受信してください。(173 ページ参照)
走行中は自動送りできません 停車してから自動送りを再開します	自動送り機能を走行中にしたため。	車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態で操作してください。
走行中は操作できません	モバイルサイトへアクセスするための2次元バーコードのサイズ変更を走行中にしたため。	停車してからご使用ください。
該当するマップコードがありません 確認して修正してください	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかつたため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。

1. 知っておいていただきたいこと

■ オーディオ・ビジュアル関係

メッセージ	原因	処置
ディスクをお確かめ下さい	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
異常検知でディスク再生停止中です*	なんらかの原因でCDプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
走行中は音声のみをお楽しみ下さい	走行中にDVD、ワンセグ、またはVTRを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてパーキングブレーキをかけてからお楽しみください。
iPodとの通信エラーのため再接続してください	iPodからの応答がないため。	Dockコネクタを再接続してください。(298 ページ参照)
iPodのファームウェアバージョンをご確認ください	iPodのソフトウェアバージョンが対応していないため。	最新のソフトウェアをApple社のWebサイトからダウンロードしてください。
	iPodとの接続が検知できないため。	販売店にご相談ください、もしくはiPodをご確認ください。
再生できるデータがありません	iPodに再生可能な音楽データが記録されていないため。	iPod内のデータを確認してください。データが記録されている場合はiPodをリセットしてください。
放送を受信できません	ワンセグ放送の受信エリア外にいるため。	ワンセグ放送を受信できるエリアに移動するか、受信可能なチャンネルに切り替えてください。
放送を休止中です	ワンセグ放送をしていない局を選択しているため。	ワンセグ放送をしている他の局を選択してください。
データを受信中です	番組表または番組詳細画面の放送データの受信をしているため。	しばらくそのままお待ちください。
データを受信できません	番組表または番組詳細画面の放送データの受信ができないため。	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。
受信可能なチャンネルがありませんでした	チャンネル設定時に受信できるチャンネルがなかったため。	チャンネルを受信できるエリアに移動してください。
緊急放送を受信しました 緊急放送画面に切り替えます 安全な場所に停車してご覧下さい	緊急放送を受信したため。	緊急放送画面が表示されたときは、安全な場所に停車してご覧ください。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

* イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

■ 共通操作関係

症 状	考えられること	処 置
地図が表示されない。	地図“SDメモリーカード”が入っていますか？	同梱の地図“SDメモリーカード”を挿入してください。
エンジンスイッチをONの位置にしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのパックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	パックライトが温まれば、数分後には解消されます。
日中なのに画面が暗い。	夜画面になつていませんか？	昼画面に切り替えてください。(42 ページ参照)
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか？	コントラスト、明るさを調整してください。(41 ページ参照)
画面が乱れる、ノイズが入る。	電気的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか？ 高電圧を発生させて作動するもの (例)マイナスイオン発生器 高電波を発生するもの (例)携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い。	液晶の特性によるものです。	故障ではありませんので、しばらくそのままお待ちください。
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じことがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
ディスプレイが閉じない。	ディスク、または地図“SDメモリーカード”が正確に挿入できていますか？	ディスク、または地図“SDメモリーカード”が正確に挿入されていることをご確認ください。

1. 知っておいていただきたいこと

■ナビゲーション関係

症 状	考えられること	処 置
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になってしませんか？	現在地画面を表示させてください。(106 ページ参照)
自車マーク (A) が表示されない。	現在地画面以外になてしませんか？	現在地画面を表示させてください。(106 ページ参照)
GPSマークの色が青色で表示されない。	GPS情報を利用できない状態ではありませんか？	GPSマークは受信状態によりマークの表示色が切り替わります。(98 ページ参照) 場所を移動しても GPS マークの表示色が切り替わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
案内音声が出力されない。	案内の音量が小さく(音声 OFF に)なっていませんか？	音量を大きくしてください。(104 ページ参照)
音声案内がGマークの手前で終了する。	目的地周辺のルートが細街路(灰色)ではありませんか？	音声案内は濃い青色のルートの最終地点手前 100m で終了します。(136 ページ参照) 故障ではありませんので、そのままご使用ください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
実際の現在地と異なる場所に自車マーク (A) が表示されている。 (自車マーク (A) がずれている。)	GPS衛星の状態、車両の状態(走行場所や運転条件)などにより、自車マーク (A) がずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車マーク (A) がずれことがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。) GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。(230 ページ参照)
目的地設定画面・ナビメニュー画面の一部がトーンダウンしている。 50音・住所などがトーンダウンしている。 お気に入り地点などトーンダウンしている。	走行中ではありませんか？	停車してから操作してください。

症 状	考えられること	処 置
高速道路上で案内が終了してしまった。	目的地が高速道路上に設定されていませんか？	目的地が高速道路周辺の場合、目的地を設定するときに道路の種類を選択します。（135 ページ参照）目的地が別の道路上の場合は、目的地設定をやり直してください。 故障ではありませんのでそのままご使用ください。
地図上にVICS情報が表示されない。	スクロールさせても情報がない場合、情報をまだ受信していない。	受信状態が悪い場合、情報を受信するまで数分かかることがあります。
	VICS放送を行っている放送局を受信していますか？	FM多重選局でVICS放送を行っている局に選局してください。
	VICS表示がOFFになっていませんか？	VICS表示をONにしてください。
	表示情報の設定が全て「しない」になっていませんか？	表示情報の設定を「する」にしてください。
	VICSサービスエリアを外れていませんか？	VICSの提供エリアは、「VICSの問い合わせ先」（184 ページ）を参照してください。
	地図データ情報が古い。 VICSエリアは毎年拡大され、そのエリアは地図データにより更新されます。	最新版の地図データに更新してください。
	スクロールさせたら表示する場合は、そのエリアには情報がない。	情報を受信次第表示されます。
VICSの時間が時刻と違う。	VICS放送が行われていない時間帯であるとき。	情報を受信次第表示されます。
	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています。 VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます。	情報を受信次第更新されます。
ナビ詳細設定画面で「車両ナンバー設定」の 1 、 3 、 5・7 、 軽 がトーンダウンしている。	目的地が設定されていませんか？	目的地を消去してください。（142 ページ参照）
VICSが受信できない	ラジオアンテナが下がっていますか？	ラジオアンテナを上げてください。（43 ページ参照）
	ラジオをお聞きになってしまっていますか？	ラジオモードをOFFにしてください。

1. 知っておいていただきたいこと

■ オーディオ・ビジュアル関係

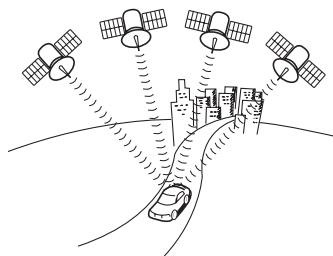
症 状	考えられること	処置
音が出ない	音量が0になってしまいませんか？	VOLスイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードが正しく接続されていますか？	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量バランスは適切ですか？	左右（前後）音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない	お聞きの放送、ディスクが調整した音質に対応していますか？	放送、ディスクを変更して確認してください。
ラジオが受信できない	ラジオアンテナが下がっていますか？	ラジオアンテナを上げてください。(43 ページ参照)
ラジオの受信感度が悪い		
CD・DVDが入らない	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに差込口に1枚入っていますか？	すでに入っているCD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・DVDを入れてください。
CD・DVDの再生ができない	本機が結露していませんか？	しばらく待ってから使用してください。(240 ページ参照)
	CD・DVDに大きなキズやソリがありますか？	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れていますか？	クリーニングしてください。(240 ページ参照)
	CD・DVDが裏返しになっていますか？	CD・DVDを正しい向きで差し込んでください。
	本機に対応していないCD・DVDが差込まれていませんか？	対応しているCD・DVDを差し込んでください。(240 ページ参照)
音声は出るが、映像が出ない	画面消 にタッチして画面を消していませんか？	▲を押してください。(42 ページ参照)
音声は出るが、DVD映像・ワンセグ映像やVTR映像が出ない（停車中）	パーキングブレーキが解除されていますか？	パーキングブレーキを引いてください。
映像も音も出ない	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードが正しく接続されていますか？	各接続コードの接続を確認してください。
ワンセグ放送の映像が止まって音が出ない	ワンセグ放送の受信状態は良好ですか？	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。
ワンセグ放送が受信できない	お車がワンセグ放送を受信できない地域にありませんか？	ワンセグ放送を受信できる地域に移動してください。

症 状	考えられること	処置
iPodの充電ができない	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	Dockコネクタが正しく接続されていますか？	Dockコネクタの接続をご確認ください。
Bluetoothオーディオ機器と接続できない	正しく設定されていますか？	登録したオーディオ機器を削除してから、登録しなおしてください。
		オーディオ機器のパスキー、設定を確認してください。 オーディオ機器の設定を確認してください。

2. 用語説明

より楽しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

● GPS (Global Positioning System)



GPSは、高度約21000kmの軌道上を回周する通常4個以上、場合により3個のGPS衛星から地上に放射される電波を受信して、現在の位置（緯度、経度、高度）を知ることができます。

この衛星は、主として軍事利用のために米国国防総省によって打ち上げられ管理されていますが、民間の使用も解放されています。本機では、GPSの情報や各種センサー、道路地図データなどを利用してナビゲーションを行っています。

● 自立航法

車速センサー、振動ジャイロセンサーからのデータによって自車走行軌跡を求め、現在地を表示する技術です。トンネルや高架下道路などでも自車の現在地を表示できます。

● 広域地図、詳細地図

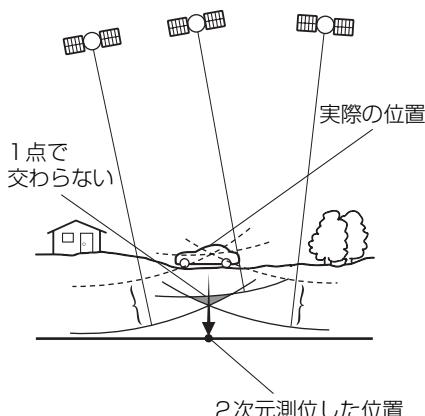
広域地図とは範囲の大きな地図で、詳細地図とは範囲の小さな地図のことです。地図の縮尺は1/2048万、1/1024万、1/512万、1/256万、1/128万、1/64万、1/32万、1/16万、1/8万、1/4万、1/2万、1/1万、1/5000です。

● 測位



3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。本機では、地図画面の右上にGPSマークを表示しています。また、GPS衛星の受信状態により、GPSマークの表示色が切り替わります。（メニュー画面、設定や登録の画面では、「GPS」は表示しません。）

● 2次元測位と3次元測位



GPSは3点測量の原理にしたがって位置を計算しています。

1個の衛星から電波を受信するとその衛星との距離がわかり、3個の衛星から受信すると現在地が測位できます。

しかし、実際にはGPS衛星およびナビユニットに誤差があるので、3個のGPS衛星からの電波しか受信できないときには、緯度と経度の2次元で測位しています。この場合は精度が低くなります。

また、4個以上のGPS衛星からの電波を受信したときは、緯度、経度、高度の3次元で測位しています。3次元測位は2次元測位より精度が上がり、自車位置の表示の誤差も少なくなります。

● 振動ジャイロセンサー

走行中に右や左にどれだけ曲がったかを電気的に検出する振動ジャイロセンサーと路面の傾斜を検出する傾斜計（Gセンサー）で現在地を割り出しています。

本機の自立航法では、このセンサーが非常に重要な役割を果たしています。

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD（Direct Stream Digital）方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。

スーパーオーディオCDには以下の種類があります。

● シングルレイヤーディスク

HD層※が1層のみのディスク

● デュアルレイヤーディスク

HD層※が2層のみのディスク

● ハイブリッドレイヤーディスク

HD層※とCD層※が合わさった2層のディスク

※ HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層

CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

● CD-EXTRA

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第1セッションには音楽データトラックを記録し、第2セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第2セッション以降のPCデータトラックを再生することができなくなります。

2. 用語説明

● Mixed Mode CD

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第1トラックにはPCデータトラックを記録し、第2トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第1トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出力されてしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第1セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。

● ワンセグ放送

ワンセグ放送とは、1セグメントを使用した携帯端末向けの放送のことです。1セグメントのみ使用するため解像度は低いですが、視聴可能な範囲が広いのが特長です。

● MP3

MP3はMPEG Audio LayerIIIの略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するため、元のファイルを約1/10のサイズにすることができます。

● ID3タグ

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3タグに対応したプレイヤーでID3タグ情報の表示や編集が可能です。

● WMA

WMA (Windows Media™ Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

● WMAタグ

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

WMAタグに対応したプレイヤーでWMAタグ情報の表示や編集が可能です。

● Bluetooth

2.4GHz帯域を用いて、Bluetooth搭載機器間で無線通信を行うことができます。

本機は、Bluetoothを搭載した携帯電話やポータブルオーディオとの無線通信によりハンズフリーや音楽ファイルの再生ができます。

3. 市街図収録都市リスト

● 北海道

- ・ 札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、当別町、釧路町

● 青森県

- ・ 青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市

● 岩手県

- ・ 盛岡市、宮古市、大船渡市、奥州市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、滝沢村

● 宮城県

- ・ 仙台市、石巻市、塩竈市、大崎市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、七ヶ浜町、利府町

● 秋田県

- ・ 秋田市、能代市、横手市、大館市、由利本荘市、男鹿市、湯沢市、大仙市、鹿角市

● 山形県

- ・ 山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市

● 福島県

- ・ 福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、南相馬市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、西郷村

● 茨城県

- ・ 水戸市、日立市、土浦市、古河市、石岡市、筑西市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、坂東市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、神栖市、つくばみらい市、大洗町、東海村

● 栃木県

- ・ 宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市

● 群馬県

- ・ 前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、富士見村、玉村町

3. 市街図収録都市リスト

● 埼玉県

- ・ 川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、ふじみ野市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、さいたま市、三芳町、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、ときがわ村、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、騎西町、北川辺町、大利根町、宮代町、白岡町、菖蒲町、栗橋町、鷺宮町、杉戸町、松伏町

● 千葉県

- ・ 千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、香取市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、匝瑳市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、山武市、いすみ市、酒々井町、印旛村、本埜村、栄町、多古町、東庄町、横芝光町、大網白里町、九十九里町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町

● 東京都

- ・ 東京23区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稻城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町

● 神奈川県

- ・ 横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、相模原市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村

● 新潟県

- ・ 新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、佐渡市、上越市、阿賀野市

● 富山県

- ・ 富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市

● 石川県

- ・ 金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、白山市、野々市町、内灘町

● 福井県

- ・ 福井市、敦賀市、越前市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市

● 山梨県

- ・ 甲府市、富士吉田市、甲州市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、中央市

● 長野県

- ・ 長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、千曲市、佐久市、東御市、軽井沢町、下諏訪町

● 岐阜県

- ・岐阜市、大垣市、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、下呂市、岐南町、笠松町、坂祝町、富加町

● 静岡県

- ・静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、伊豆の国市、清水町、新居町

● 愛知県

- ・名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稻沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、東郷町、長久手町、豊山町、春日町、伊佐町、扶桑町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、一色町、吉良町、幡豆町、幸田町、三好町、小坂井町

● 三重県

- ・津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、伊賀市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、龜山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、玉城町、度会町

● 滋賀県

- ・大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、東近江市、草津市、守山市、栗東市

● 京都府

- ・京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、京丹後市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

● 大阪府

- ・大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、泉南市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、島本町、豊能町、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村

● 兵庫県

- ・神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、たつの市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、猪名川町、稻美町、播磨町

● 奈良県

- ・奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市

● 和歌山県

- ・和歌山市、海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、岩出町

3. 市街図収録都市リスト

- 鳥取県
 - ・ 鳥取市、米子市、倉吉市、境港市
- 島根県
 - ・ 松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市
- 岡山県
 - ・ 岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、真庭市、美作市、赤磐市、浅口市、吉備中央町、和気町、早島町、里庄町、矢掛町、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、美咲町、久米南町
- 広島県
 - ・ 広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町
- 山口県
 - ・ 下関市、宇部市、山口市、萩市、周南市、防府市、下松市、岩国市、山陽小野田市、光市、長門市、柳井市、美祢市、和木町
- 徳島県
 - ・ 徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市
- 香川県
 - ・ 高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市
- 愛媛県
 - ・ 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、四国中央市、伊予市
- 高知県
 - ・ 高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、四万十市、宿毛市、土佐清水市
- 福岡県
 - ・ 北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、嘉麻市、朝倉市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、中間市、小郡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、前原市、古賀市、福津市、那珂川町、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、二丈町、志摩町、苅田町、吉富町
- 佐賀県
 - ・ 佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市
- 長崎県
 - ・ 長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、五島市、平戸市、松浦市、長与町、時津町、波佐見町
- 熊本県
 - ・ 熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、天草市、山鹿市、菊池市、宇土市
- 大分県
 - ・ 大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市

● 宮崎県

- ・ 宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、清武町

● 鹿児島県

- ・ 鹿児島市、薩摩川内市、鹿屋市、枕崎市、いちき串木野市、阿久根市、名瀬市、出水市、伊佐市、指宿市、南さつま市、霧島市、西之表市、垂水市

● 沖縄県

- ・ 那覇市、うるま市、宜野湾市、宮古島市、石垣市、浦添市、奄美市、糸満市、沖縄市、豊見城市、南風原町

4. VICS 情報有料放送サービス契約約款

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総 則

(約款の適用)

第 1 条 財団法人道路交通情報システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 52 条の 4 の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第 2 条 当センターは、この約款を変更することができます。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターと VICS サービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランプラー

FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第 4 条 VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易图形表示型サービス

簡易图形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畠型サービス

車載機のモニターデジタル道路地図上に情報を重畠表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章 契 約

(契約の単位)

第 6 条 当センターは、VICS デスクランプラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができますない場合があります。

(契約の成立等)

第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランプラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第 9 条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行なうことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者が VICS デスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有する VICS デスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第 12 条

1 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することができます。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章 料 金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいている料金です。

第 5 章 保 守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条

1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することができます。

2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。

ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章 雜 則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第 17 条

1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間をもって、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行なうことがあります。

[別表] 視聴料金 315 円（うち消費税 15 円）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

5. バッテリーの交換について

バッテリー交換、地図データの全更新をする前に

バッテリーの交換や地図データの全更新を行うと、下記項目以外の設定が初期化（消去）されます。記憶される項目は下記になります。

△ 注意

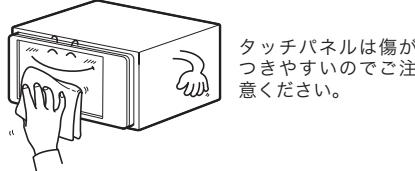
一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。ご注意ください。

項目	記憶される内容
お気に入り地点	登録したお気に入り地点（自宅を含む）
電話帳	登録した電話帳データ
ワンタッチダイヤル	設定したワンタッチダイヤル
発信/着信履歴	記憶された発信/着信履歴

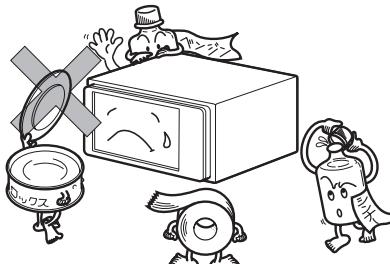
6. お手入れについて

本機のお手入れについて

- 汚れをおとすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。
汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげる。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。



- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。
変質したり、塗装がはげることがあります。



アンテナのお手入れについて

- 掃除をするときは、タオルや柔らかい布などで軽く押えるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。
- アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理に取り外すと動作できなくなり、再使用もできません。
- コードのコネクタ部分に力をかけないでください。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。
- 受信状態が良くなる角度に調整してください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることができますのでご注意ください。

7. 仕様

<GPSアンテナ>

寸法／重量	26 (W) × 16 (H) × 6 (D) mm (突起部を除く) / 約86 (g)
電源電圧	4.2V～5.0V
消費電流	10mA (最大)
作動温度／保存温度	-30°C～+85°C / -40°C～+100°C

<ディスプレイ>

液晶パネル	7.0型ワイド低反射パネル
画面寸法	156.0 (W) × 82.7 (H) mm
画素数	280,800個 (400 (H) × 234 (V) × 3)
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス方式
動作温度範囲／保存温度範囲	-20°C～+65°C / -40°C～+85°C

<ラジオ・チューナー部>

受信周波数	AM522～1,629kHz / FM76～90MHz
実用感度	AM22dB μ V (S/N20dB) / FM14dBf (新IHF)
周波数特性	30～15,000Hz (FM)
ステレオセパレーション	35dB (1kHz)

<CD部>

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.01% (0dB、1kHz)
周波数特性	20～20,000Hz
S/N比	90dB (1kHz)
ダイナミックレンジ	88dB

7. 仕様

<共通部>

定格出力	15W×4 (1kHz、1%4Ω) (EIAJ)
最大出力	40W×4 (試験電圧 14.4V)
適合負荷インピーダンス	4Ω (各チャンネル)
電源電圧	DC13.2V (10.5-15.8V) ／アース専用
消費電流	<ul style="list-style-type: none"> ● 0.5W×4出力時 約3.5A ● 最大約 15A
外形寸法	横幅 180mm・高さ 100mm・奥行 165mm
質量 (重量)	約2.9kg

<ワンセグ・チューナー部>

受信周波数	470MHz～770MHz (UHF帯: 13ch～62ch)
インピーダンス	75Ω
アンテナ	フロント1ch

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますので
ご了承ください。

8. 凡例

表示	内容	表示	内容
■ (紫色)	高速・都市高・有料道路	幼 (幼)	幼稚園
■ (赤色)	国道	病 (病)	病院・医院
■ (緑色)	主要道	電 (電)	電力会社・発電所
■ (黄色)	県道	電 (電)	電話局
■ (灰色)	その他の道路 (巾5.5m以上)	銀 (銀)	銀行・信用金庫・農協
■ (灰色)	その他の道路 (巾3.0m以上)	デ (デ)	デパートなど
■■■■■	トンネルまたは整備計画区間 (上記各道路で表示あり)	ホ (ホ)	ホテル・旅館など
■■■■■	私鉄	ビ (ビ)	ビル
■■■■■	JR	工 (工)	工場
■■■■■	水域	灯 (灯)	灯台
■■■■■	都道府県界	神 (神)	神社
■■■■■	緑地	寺 (寺)	寺院
■■■■■	駅舎・敷地	教 (教)	教会
○ (オ)	官公庁	靈 (靈)	靈園・墓地
□ (カ)	都道府県庁	城 (城)	城・城跡
○ (オ)	市役所・東京23区役所	名 (名)	名所・観光地など
○ (オ)	町村・東京以外区役所	ゴ (ゴ)	ゴルフ場
■ (ク)	警察署	ス (ス)	スキー場
■ (ク)	消防署	海 (海)	海水浴場
■ (ク)	郵便局	アイ (アイ)	アイススケート場
IC	インターチェンジ	マ (マ)	マリーナ・ヨットハーバー
SA	サービスエリア	陸 (陸)	陸上競技場・体育館
PA	パーキングエリア	キ (キ)	キャンプ場
■ (ク)	信号機	公 (公)	公園
P	駐車場	温 (温)	温泉
■ (ク)	駅	山 (山)	山
■ (ク)	道の駅	その (そ)	その他の施設
FB	フェリーターミナル	ト (ト)	トヨタ販売店・共販店
■ (ク)	港湾	ネ (ネ)	ネッツ店
■ (ク)	空港・飛行場	ト (ト)	トヨタL&F
■ (ク)	学校		

• 表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。

トヨタ自動車株式会社
富士通テン株式会社

AH08Y042
090002-32370131
0903 (N)